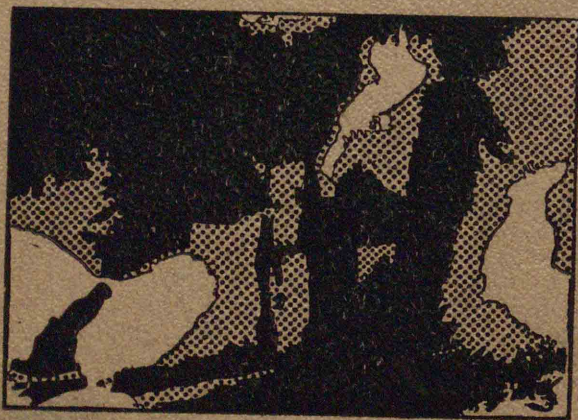


日九十月二年四和昭  
科理地校學範師・校學中  
濟定檢省部文

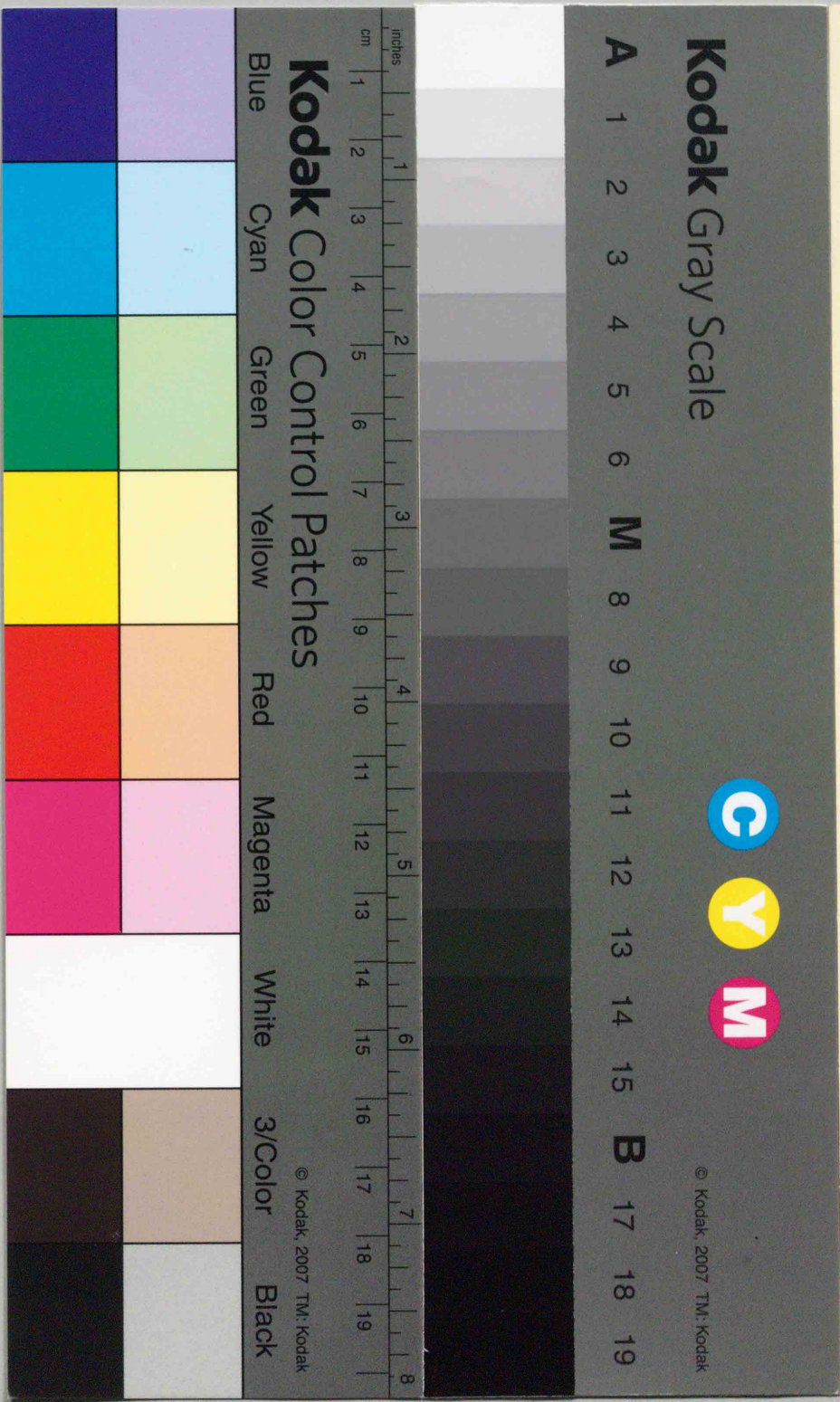
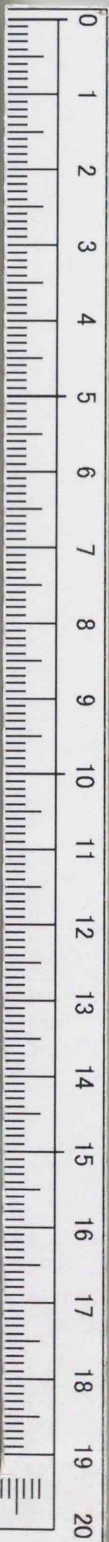
# 中日地理

爾啓中田  
著



東京  
店書黑目

教  
41-  
01304



42811

教科書文庫

|                |
|----------------|
| 4              |
| 290            |
| 41-1929        |
| 01304<br>49492 |





中央図書館

広島大学図書

0130449492

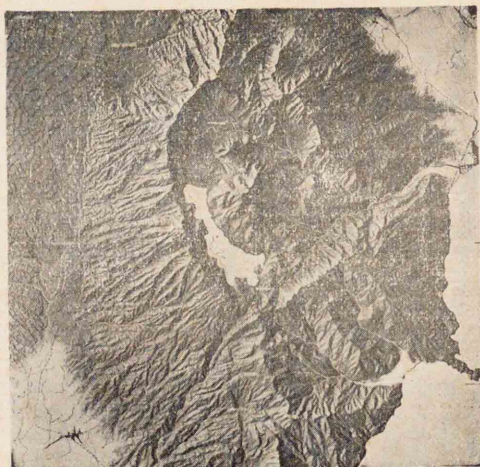




教科書文庫  
4  
290  
41-1929  
0130449492

# 中 等 日 本 地 理

田 中 啓 爾  
著



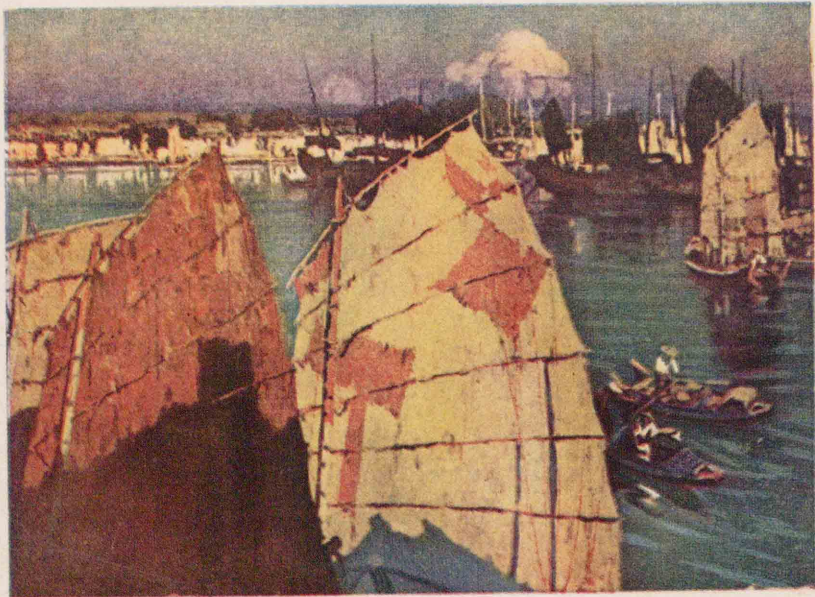
東 京  
目 録  
發 行  
店 書 兌





夏の利根川

後藤工志氏筆



高雄の午後の風

石川寅治氏筆

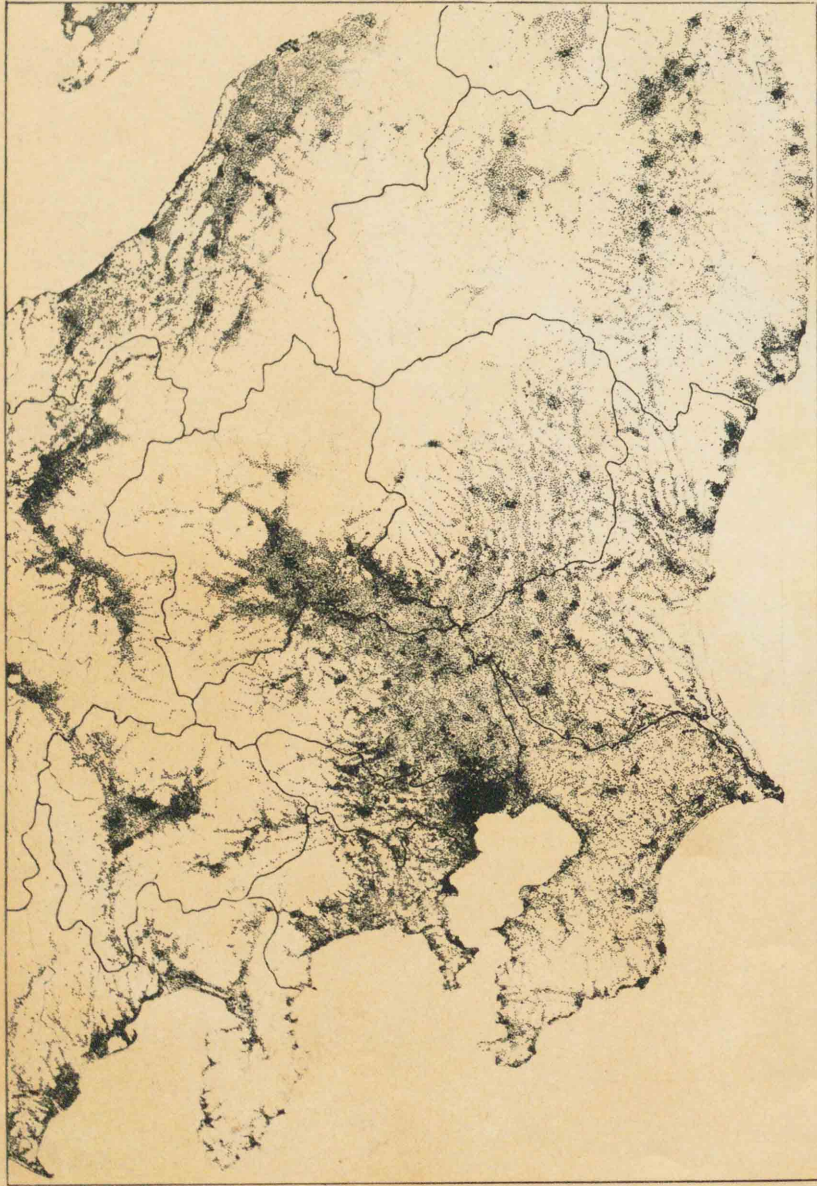
広島大学図書

0130449492

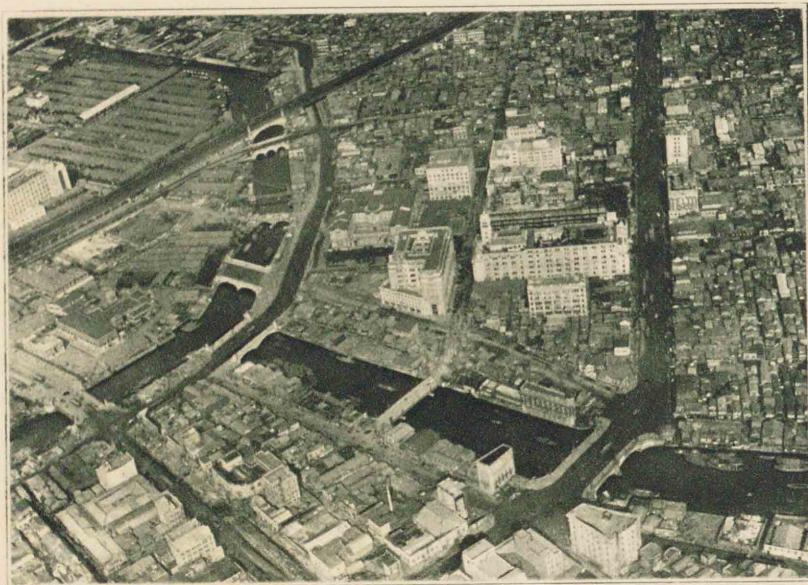




關東・中部二地方の人口分布  
(各點・10000人・5000人・200人)



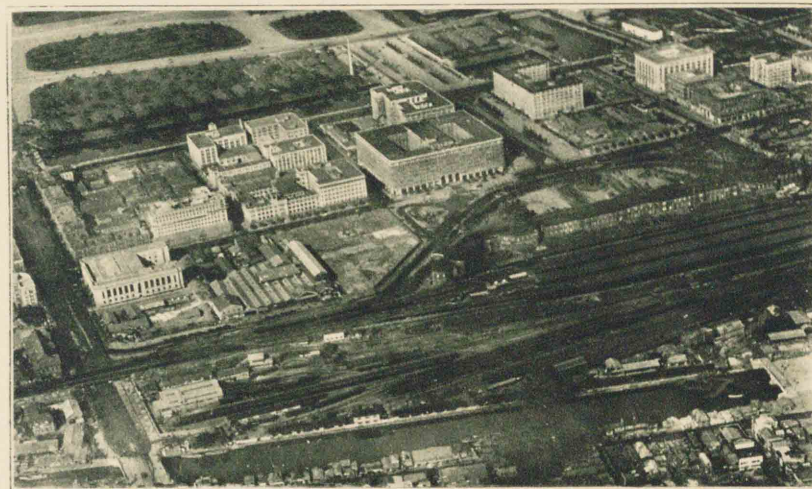




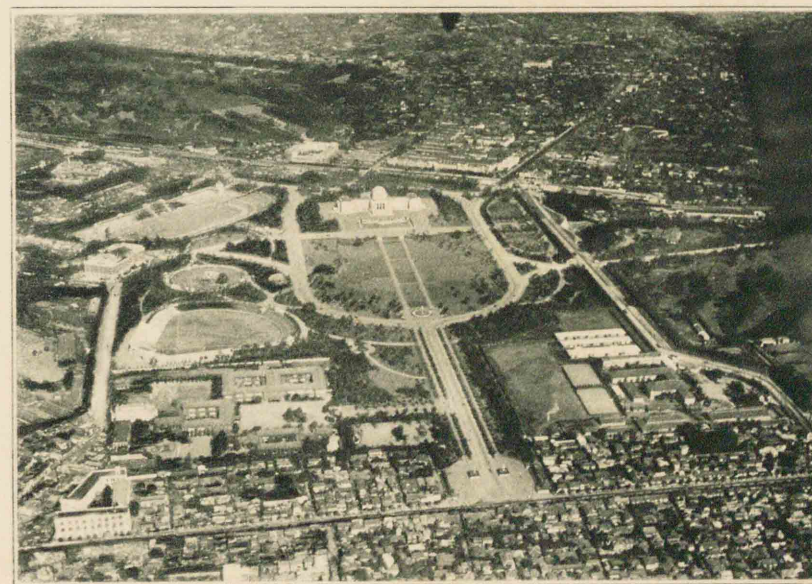
飛行機から見た東京市日本橋附近



飛行機から見た大阪市中ノ島附近



飛行機から見た東京驛附近



飛行機から見た明治神宮外苑



近畿・中部二地方の人口分布

(各點・10000人・5000人・200人)



### 緒言

本書は中等教育の教科書として編纂し、拙著「中等外國地理」と姉妹篇をなしてゐる。

編纂上特に留意した點を擧ぐれば左の如くである。

- 一、本書は初等教育の地理書との連絡については徒らに重複することを避け、同一教材を説く場合にもその内容を深めて有意義な取扱をすることにした。
- 一、初等教育で地方に大別して説述された後を受けて、各地方を詳説するに數多の地理區に分つて説き眞に地理的價値ある知識の内容を増すことにした。
- 一、各地方誌に於て最初に地形・氣候等の自然を説くにはそれ／＼地形區・氣候區により、且つその場合人文との關係については一言も言及せず、處誌を述べる時に到つて、人文とそれ等の關係を學習者に發見せしめ、最後に人文の節に於て歸納的に統括した。
- 一、卷末の總説の篇に於ては各地方別に習得した知識の相互の關係を系統づける點に重きを置き、すべて歸納的に説述した。
- 一、記述は單に羅列的にせず、紙數の許す限り説明的にし、問題は能ふ限り地理的意義の豊富な



ものを選んだ。

一、各地の標式的現象は重要視して殊に多くの紙数を割いた。

一、教材の配列については、中央の日本から西南の日本及東北の日本へ順次に説き及ぼし地形、氣候人文等の變化が推移のまゝ系統的に學習者に印象される如くした。

一、カットの選擇に際しては陸地測量部の各種の地圖を挿入して、これ等によつて地理的讀圖力を養成し、將來の應用を期待した。

一、地形圖・氣候圖・交通運輸圖等を多く掲げたのは學習者に地理的に考察させて理法を發見させるため、ドットマップの生産分布圖を二種類併用したのはその生産地域・生産額及府縣別の産額等を知るに便ならしめるためである。

一、模型圖及飛行機から見た寫眞等を多く採擇して、地圖と相俟つて地理的考察力の増進をはかり、又模型圖及各種の地圖に地名を省いたのは學習者をしてこれによつて暗射し練習させるためである。

一、歴史的沿革圖を挿入したのは新舊を對照し、その變化により理法を會得させるためである。統計は出来るだけ地圖化して地理的表現にとめた。

終に地圖繪畫類の採擇については陸地測量部東京朝日新聞社諸官廳・會社等に負ふ所が多い。茲に深くその厚意を謝する。

昭和三年八月

著者識

# 中等日本地理

## 目次

### 序説

### 第一編 地方誌

|     |         |     |
|-----|---------|-----|
| 第一章 | 關東地方    | 四   |
| 第二章 | 中部地方    | 三五  |
| 第三章 | 近畿地方    | 七一  |
| 第四章 | 中國及四國地方 | 八六  |
| 第五章 | 九州地方    | 一〇八 |
| 第六章 | 奥羽地方    | 一四一 |
| 第七章 | 北海道地方   | 一五五 |
| 第八章 | 樺太地方    | 一七三 |
| 第九章 | 臺灣地方    | 一八二 |



第十章 朝鮮地方……………二九

第二編 總說

第一章 地文……………一〇二

  第一節 地形……………一〇二

  第二節 海洋……………一〇三

  第三節 氣候……………一〇五

  第四節 生物……………一〇七

第二章 人文……………一〇八

  第一節 産業……………一〇八

  第二節 交通……………一一四

  第三節 商業……………一二九

  第四節 住民……………一三三

  第五節 政治……………一三四

目次終

# 中等日本地理

田中啓爾著

## 序說

**位置** 我が大日本帝國はアジヤ大陸の東縁に在つて、太平洋に面し、内側にオホーツク海、日本海、黄海、東支那海等の縁海を抱いてゐる。三つの弓狀の列島と、大陸の一部である朝鮮半島から成つてゐる。樺太の北境は北緯五十度で、臺灣の南部は北緯二十三度半の線が通過してゐる。千島の東北端から臺灣の西南端までは距離約五千軒(千二百里)に及び、朝鮮半島の突出は約一千軒(二百五十里)である。而して北は露ソヴィエト聯邦領シベリヤ、西は支那中華

極北 千島  
阿頼度島北端  
(北緯五〇度五六分)

極南 臺灣  
七星島南端  
(北緯二度四五分)

極東 千島  
占守島東端  
(東經一五六度三分)

極西 臺灣  
澎湖島花嶼西端  
(東經一九度一分)

東京の位置  
(新布天文臺)  
北緯三五度三九分一六秒  
東經一三九度四四分四一秒

序說



●各地方面積比較

| 各地方面積比較 |         |
|---------|---------|
| 本州      | 三三(一四九) |
| 朝鮮      | 三三(一四三) |
| 北海道     | 五五(五七)  |
| 九州      | 四四(三七)  |
| 樺太      | 三三(三三)  |
| 臺灣      | 三三(三三)  |
| 四國      | 一九(二三)  |

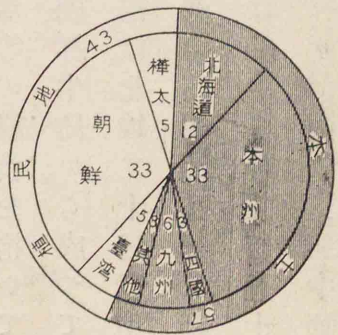
民國南は米蘭英領のマレー群島と英米佛蘭領の大洋洲東方は太平洋を隔て、北米合衆國及英領カナダと對してゐる。其の内陸地により直接外國と境を接するのは樺太と朝鮮とに於てのみである。

面積

在來の本州・四國・九州・北海道を中心

とし、明治の代には先づ臺灣を得て南に延び、次に樺太を得て北に延び、後に朝鮮を併合して大陸に擴がつた。尙關東州を租借し、南洋諸島を委任統治するに及んで、益、我が政治的の勢力は遠きに及ぶやうになつた。これ等新附の土地を植民地と呼び、これに對して本州島其他を内地又は本土と呼んでゐる。

我が總面積約六十七萬平方千(四萬四)の内、本州と朝鮮とは各三分の一、北海道は本州の約三分の一、九州・臺灣・樺太は各北海道の約二分の一、四國はその二分の一に當る。



區分

行政上内地は一道・三府・四十三縣に、植民地は樺太・臺灣・朝鮮の三地方に分たれる。本書は地理的に考察して先づ中央の日本として關東地方・中部地方を説き、次に西南の日本として近畿・中國及四國・九州の順に南下し、轉じて東北の日本として奥羽・北海道の順に北上し、更に植民地の樺太・臺灣・朝鮮を述べる。

舊道別・國名は慣用されることが多し。

|     |    |    |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|
| 畿内  | 山城 | 大和 | 河内 | 和泉 | 攝津 |
| 東海道 | 伊賀 | 伊勢 | 志摩 | 尾張 | 三河 |
| 東山道 | 近江 | 美濃 | 下總 | 常陸 | 遠江 |
| 北陸道 | 若狹 | 越前 | 加賀 | 能登 | 越中 |
| 山陽道 | 播磨 | 美作 | 備前 | 備後 | 安藝 |
| 山陰道 | 丹波 | 丹後 | 但馬 | 因幡 | 備後 |
| 南海道 | 紀伊 | 淡路 | 阿波 | 讃岐 | 伊豫 |
| 西海道 | 筑前 | 筑後 | 豊前 | 豊後 | 肥前 |
| 北海道 | 渡島 | 後志 | 石狩 | 天鹽 | 北見 |
|     |    |    |    |    | 釧路 |
|     |    |    |    |    | 根室 |
|     |    |    |    |    | 千島 |
|     |    |    |    |    | 對馬 |



# 第一編 地方誌

## 第一章 關東地方

### 位置と地理的區分

關東地方は本州島の中央の東南部を占めてゐる。關東地方と所謂中部地方とを合すると、中央の日本と見るべき地域が形成されるが、關東地方は我國最大の平野を含むなどのため特に中部地方から區別してある。又この地方は日本列島の主要部が東西

の方向から南北の方向に轉ずる所にある。

この地方は地理的に大別すると、關東平野、北境山地、西境山地の三區となる。

### 地形

北境山地の東部に阿武隈山地の南端現はれ、其の西南の筑波山は屹立して平野に臨んでゐる。北境山地の西部には越後山脈があり、其の南に那須火山脈が結合してゐる。利根・信濃兩河

| 行政區劃 |         | 廳所在地 |
|------|---------|------|
| 府縣名  | 管轄國名    |      |
| 東京府  | 武藏一部・伊豆 | 東京市  |
| 神奈川縣 | 武藏一部・相模 | 横濱市  |
| 埼玉縣  | 武藏北部    | 浦和市  |
| 群馬縣  | 上野      | 前橋市  |
| 栃木縣  | 下野      | 宇都宮市 |
| 茨城縣  | 常陸・下總一部 | 水戸市  |
| 千葉縣  | 安房・上總   | 千葉市  |
|      | 下總大部    |      |

1 その東北部に越後平野、西南部に濃尾平野があるに似て、東南部に關東平野がある。  
2 外に伊豆諸島、小笠原島がある。

1 清水越・三國越ともいふ

● 飛行機から見た筑波山

殊に深い岩石の所が男體女體と稱する双峯となつて聳えてゐる。山上に神社と氣象觀測所とがある

● 日光附近模型圖 (二〇頁)

● 日光附近地圖 (二〇—二二頁)

● 箱根火山模型圖 (二六頁)

● 箱根火山地圖 (二七頁)



士帶火山脈に屬する箱根火山が横はつてゐる。

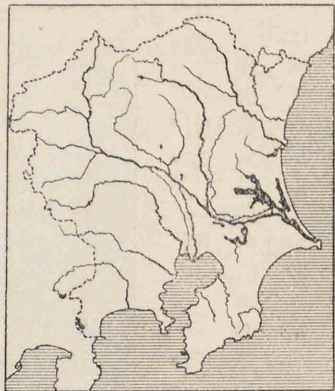
舊大噴火口の内に神山及釣鐘型の駒ヶ岳、双子山が噴出し、其の西に蘆湖を湛へ、早川は峽谷をなして山壁を破つて流出してゐる。其の溪谷に強羅宮下塔、澤湯本等の温泉がある。神山の東腹の大涌谷は火山活動の餘勢を示してゐる。



●關東の水系

●十六島附近の地圖 (二三四)

- 1 東京市中では隅田川と稱する
- 2 上流は桂川、川口は馬入川と稱する
- 3 濃尾・越後・筑紫の諸平野に比ぶれば臺地が割合に多い
- 4 臺地は洪積層で低地は沖積層である



十六島を含む湖沼地方がある。關東平野は主としてこの流域が占めてゐて、その分流江戸川は東京灣に注いでゐる。これより東北に位する那珂川・久慈川と西南に位する荒川・多摩川・相模川・酒匂川とは利根川を軸にして向ひ合つて弓なりの流路を取つてゐる。平野は一般に低平だけれども武蔵野臺地・常總臺地の如き臺地と河の兩岸の幅狭き低地とに分つことができる。南部の房總三浦の兩半島は浦賀水道の陥没により切り離され

關東平野

河流は北境及西境山地から發してゐる。利根川は支流の碓氷川・渡良瀬川・鬼怒川・小貝川等を扇狀に集めて關東平野の中央を對角線狀に東南流して銚子半島に於て海に注いでゐる。下流には手賀沼・印旛沼・霞浦・北浦及水郷

●關東の海岸地形

●東京の氣候  
年平均氣溫攝氏  
八月 同 一三・九度  
一月 同 二五・五度  
年降水量一五七四毫

〔東京・神奈川〕



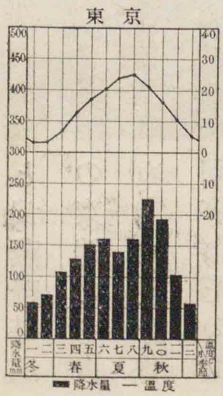
氣候

此の地方は表日本に於ける氣候

の良好な地帯の東端を占め、殊に南は海に面し、北に丘陵を負へる湘南地方と房總半島の南部の如きは極めて温暖である。又冬は北境山地によつて裏日本の深雪地方と境されてゐる。

處誌

京濱地方 (1)大東京 東京市とその接續市街を合せたものは自然の東京であつて人口約四百萬、關東の中心であると共



た丘陵性の地塊である。

海岸は東京灣・浦賀水道・相模灘の彎入と房總三浦の兩半島の突出が著しい變化を與へてゐる。古い地塊の一小片である銚子半島を核として弓狀の砂濱九十九里濱及鹿島浦が發達して居り、相模灘にも同じ濱がある。



に新日本の政治・經濟・交通・學術・軍事等の中心である。東京は東京



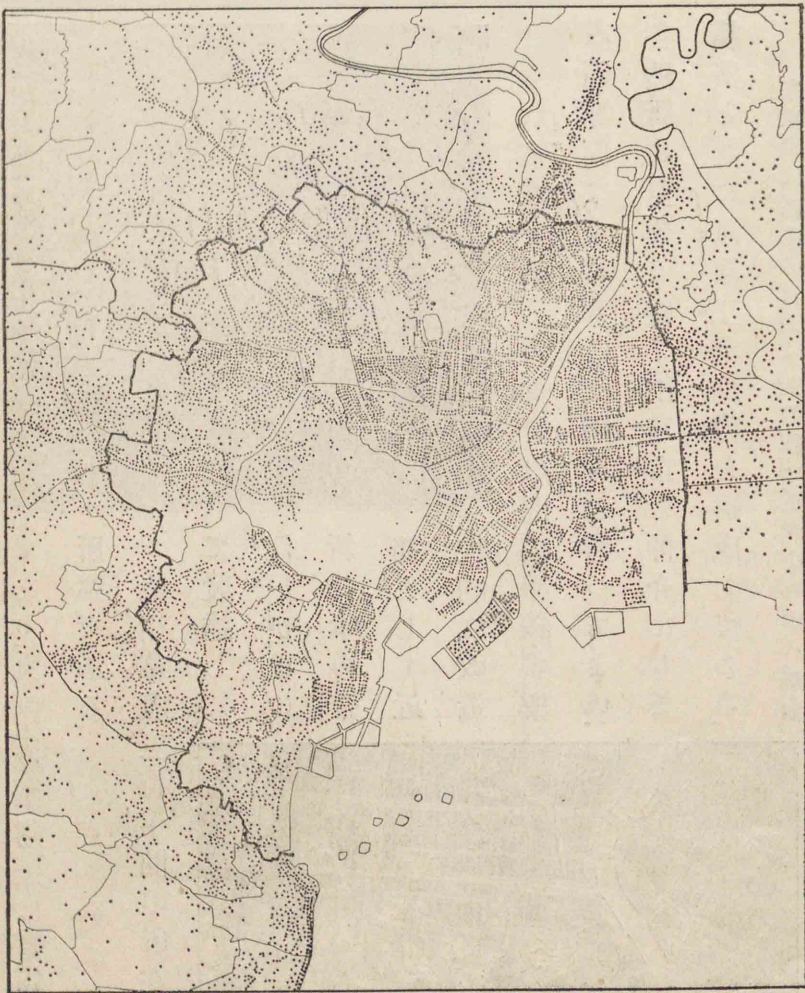
●東京の地形  
約二十萬分の一  
等高線は五米毎であ  
る

1 下谷・神田等

灣頭と隅田川  
河畔との低地  
と武藏野臺地  
の東端とを占  
め、宮城・上野公  
園等はその低  
地に臨んであ  
る臺地末端の  
形勝な位置に  
設けられてあ  
る。所謂下町  
(低地)は、日本橋

1 本所・深川等

- 東京の人口分布  
十五萬分の一  
(各點二百人)
- 2 麻布・芝・赤坂・牛  
込・小石川・本郷  
等
- 3 近來住宅區は西  
郊武藏野に向つ  
て著しく延び、  
新宿はその發展  
の中心となりつ  
ゝある

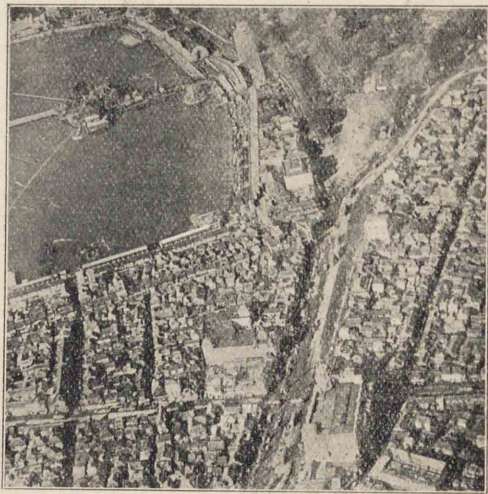


京橋等  
の商業  
區と江  
東の工  
業區を  
含み、山  
の手・臺  
地は麴  
町・四谷  
等及そ  
の接續  
の町村の  
住宅區



1 市の中心は高層ビルディングにより上層に發展する傾向が著しい

● 飛行機から見た上野附近(震災前)



● 東京の工業區・商業區・官衙區・宮城・住宅區(陸羽)(震災前)(次頁に續く)

せられ、宮城を始め官衙會社商店學校娛樂設備等備はらぬものは無いと言つてよい。各種新式工業も盛で、川崎市を仲介にして横濱と共に京濱工業地帯を形成してゐる。

東京驛は西南の日本へ、上野驛は東北の日本へ、新宿

であり、丸内、霞ヶ關附近は官衙區、事務所區である。

徳川幕府三百年間の所在地とし

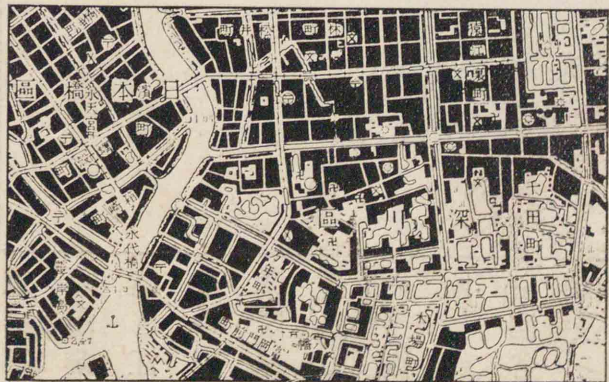
て發達した

江戸が更に

新日本の帝

都として近

代的に改造



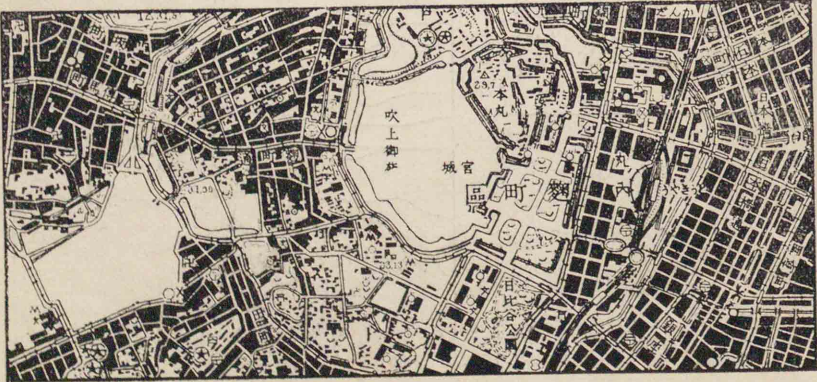
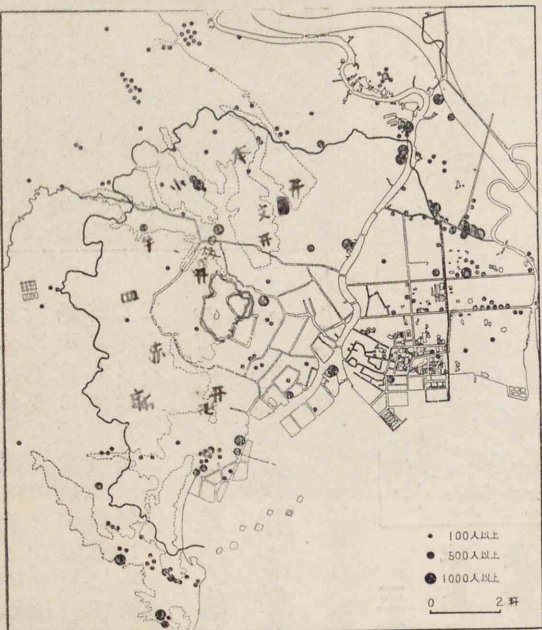
1 高商・高工

● 東京の工場分布  
● 飛行機から見た  
● 東京市の水道村  
● 山貯水池



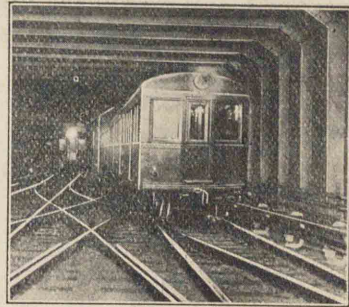
驛は中央高地への門戸であり、山手線は大都市の環狀線としては模式的のものである。我が國唯一の地下鐵道も開通してゐる。  
(2) 横濱市は東京の外港であり、又日本東半の關門で、我が國二大貿易港の一つである。

● 100人以上  
● 500人以上  
● 1000人以上





- 東京の地下鐵道網
- 東京附近の交通

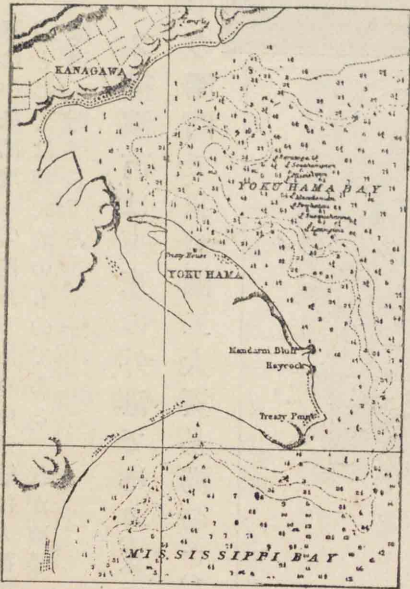


もとは砂嘴と潟との小漁村に過ぎなかつたが今は船岸壁に歐米航路の巨船横着けし陸上には商館並び埋立地には倉庫工場が密集してゐる。

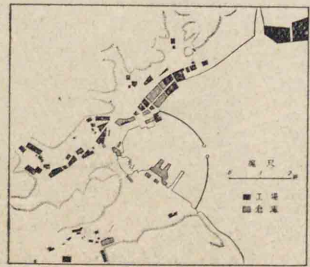
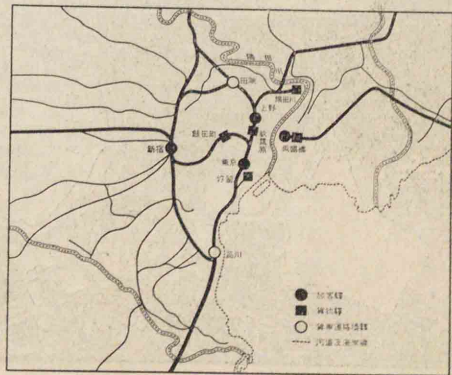
貿易は後背地の生絲及絹織物の輸出を特色としてゐる。

【神奈川】

- ベルリの測量によつてできた横濱の古圖
- 横濱の工場及倉庫の分布

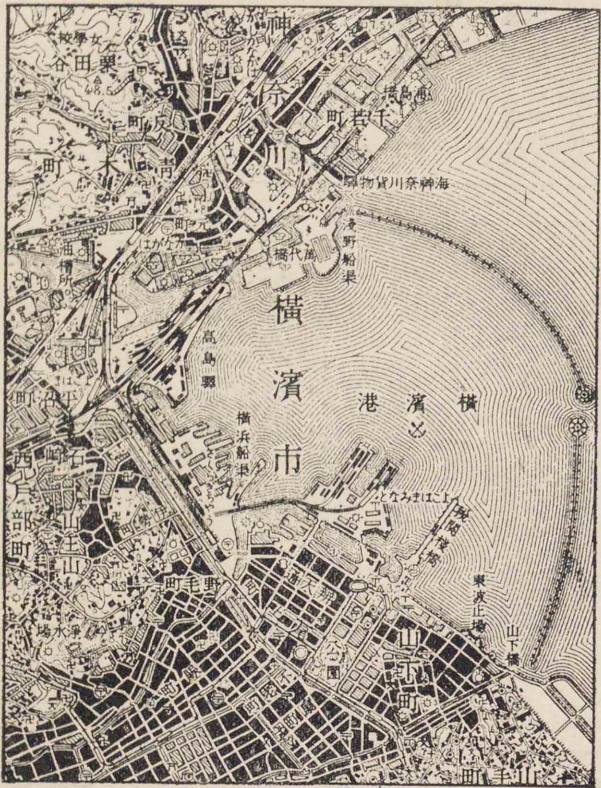


三浦半島の東岸の横須賀市は東京にとつて軍事的に樞要な東京灣口



- 三浦半島(陸測) 廿萬分の一 東岸は活動地で西岸は休養地である
- 横濱(陸測)(震災前)

に位し、小出入に富み海岸は直ちに深く、軍港の好適地で、海軍鎮守府及工廠があり巨艦を造ることができ。追濱は海軍飛行場がある。



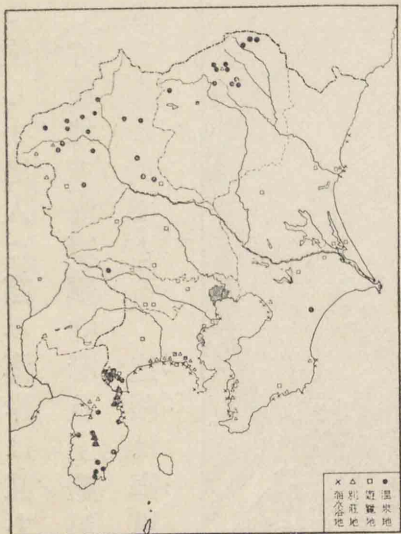
り、浦賀は米艦の渡來で知られ、その灣頭に造船所がある。湘南地方は避暑地、避暑共に適し、景色



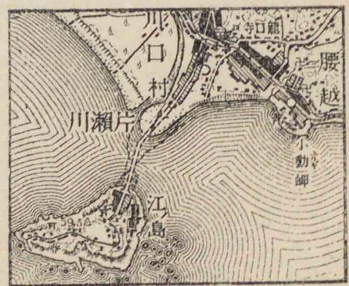


●江ノ島(陸湖)

【神奈川・東京・埼玉・群馬・栃木】  
●京濱中心の休養遊覽地帯



よく、名所古蹟に富み、且つ京濱に近いため、葉山、逗子、鎌倉、大磯、國府津、小田原等が休養地帯として最も早く開けた。鎌倉はもと幕府の所在地で、我が政治の中心地であつたことがある。箱根は東京に最も近い變化の多い趣味深い火山であつて、蘆湖、關所址、箱根八里の舊道などがあり、而も温泉を伴ひ種類も多く、理想的の休養地と見られてゐる。



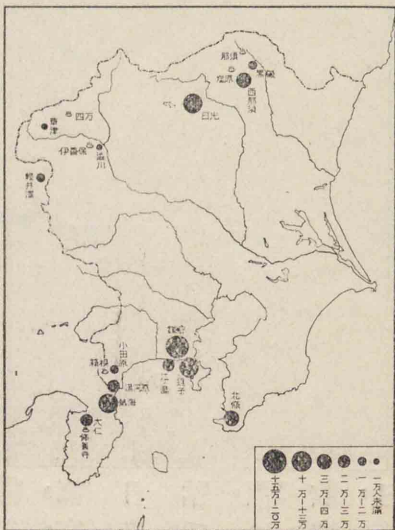
西部及西北部山麓地帯は關東山塊の東麓及榛名赤城兩火山の南麓地方で、桑畑多く養蠶が主な産業の一つとなつてゐる。従つて製絲業も亦到る處に行はれ、前橋、

1 高工

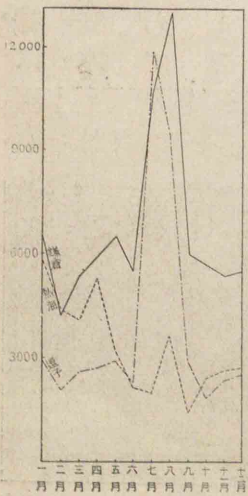
●京濱より休養遊覽地帯への一ケ年降車人員

2 附近の長瀨(ナガトロ)は最も古い岩石でなる峽谷の美をもつて知られてゐる

●主要休養地驛二等降車客數月別



父盆地の中心、所澤、立川には飛行場があり、帝都に近い飛行場の適地として選ばれた所である。高崎市は關東平野の西北隅にあつて、中央高地の東縁の麓に當り、高崎線、信越線、上越線、兩毛線等の結合點であつて交通の焦點である。高崎に接近して前橋市があるが、これは繭生絲の

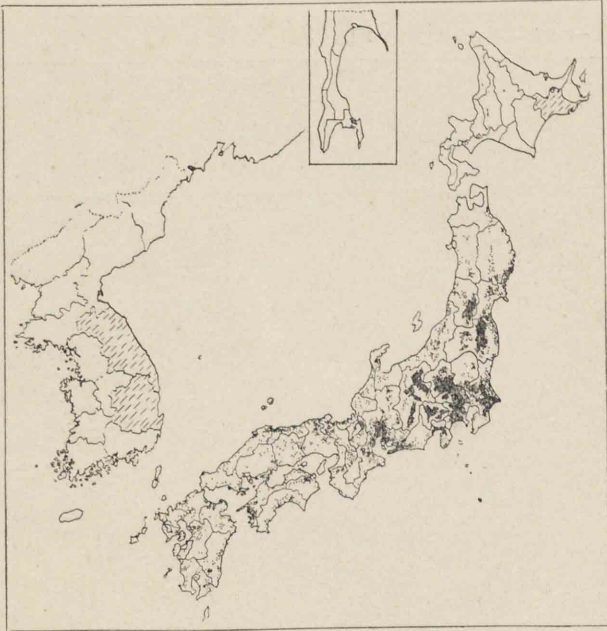








- 桑畑の分布 (各縣二百町歩)
- 關東平野西北部の桑畑の分布
- 【栃木・茨城】



人工の美とをよく調和した日光廟のある所、町はその門前町で、大谷川の谷の口の扇状地の軸にある。今市から上り来る参拜道には有名な杉並木がある。

中禪寺湖・華嚴瀧は男體山の熔岩流が大谷川を堰き止めたために生じた美景である。  
那須野は礫層から成り永く原野であったが、漸次灌漑用水路を設けて開墾した。この附近は東京への薪炭の一供給地である。東部



2 高校

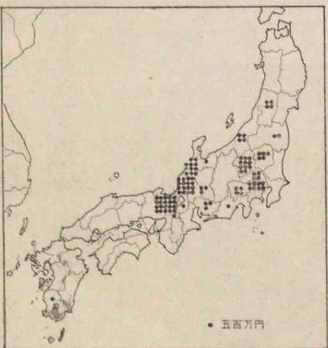
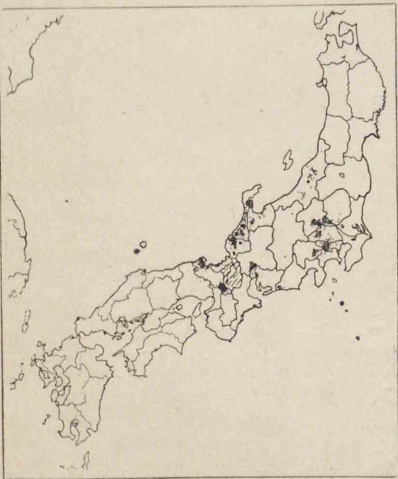
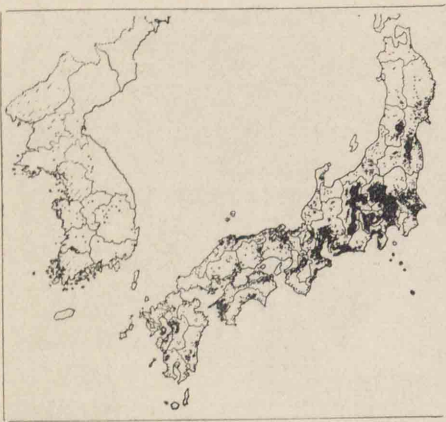
- 埼玉・群馬・栃木・茨城・千葉

1 豚の飼料には搾り粕を利用するものが多い

- 繭の生産分布 (各縣二萬貫)

●絹織物の生産分布 (各縣五十萬圓)

●同(府縣別)

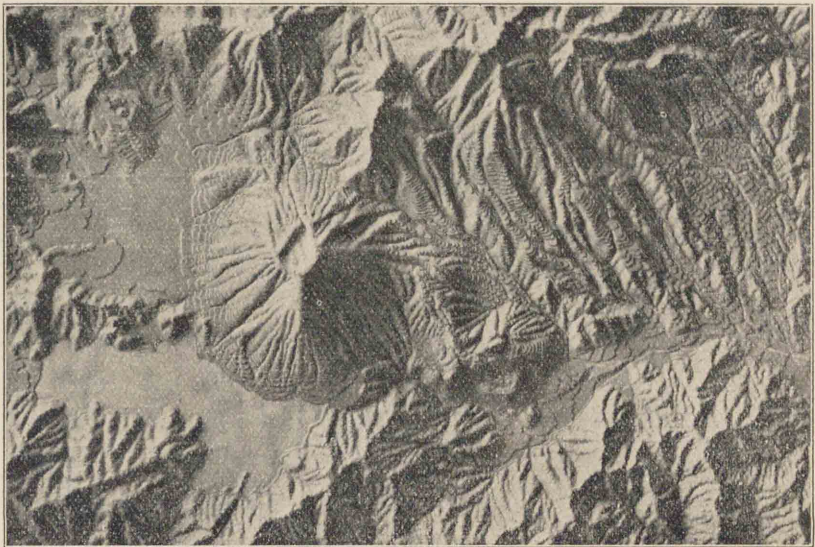


は煙草の産地で、その中心は烏山・茂木・太田等である。

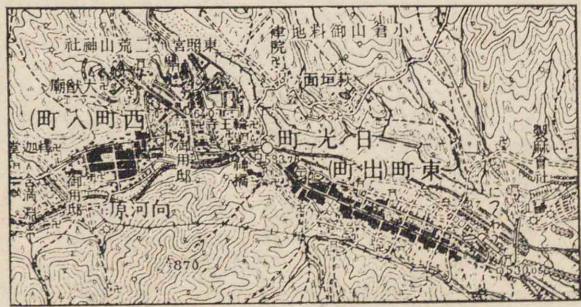
中央及東部平野は利根川中流及下流を主とした地域で、米は勿論、臺地が多いため麥作も盛である。煙草の栽培も亦行はれてゐる。銚子・野田の醤油、流山の味淋、佐原の酒、土浦・石岡の酒、醤油等、醸造業が盛で、養豚も亦これに伴うて行はれてゐる。養豚が養鶏と共に盛なのは京濱に近いためもある。浦和は縣廳の所在地であるが、

東京に餘り近いので地





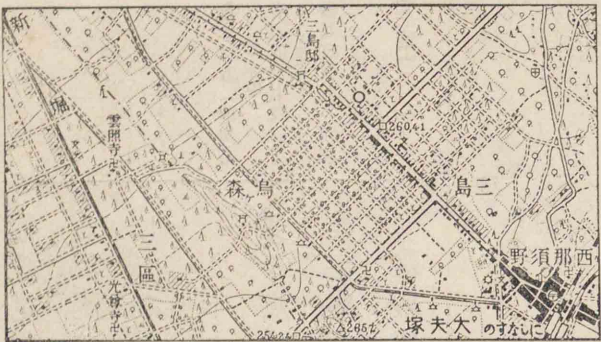
方の中心都會としては今まで大をなさなかつた。大宮は鐵道の分岐點で、東京の北方に於ける鐵道工場の所在地として選ばれてゐる。結城は紬の産地である。水戸は水戸徳川家の舊城。下町で史蹟に富み、常磐公園の景は世に聞えてゐる。湖沼地方の十六島は水郷の景觀を有してゐる。湖沼地方の交通の中心は佐原で、土浦亦湖頭の好位置にあつて、繭の集散が多い。



●日光の模型  
●日光附近の地形(陸測)

土浦の附近に霞浦海軍飛行場がある

●那須野の一部(陸測)  
●垂巖瀧



銚子は著しく突出してゐるので漁港に適し、且つ大吠岬の燈臺及無線電信局がある。常總臺地の南部には雑木林が多く、又原野もあつて、その一部の習志野、下志津、原國府、臺の如きは軍用地として利用されてゐる。千葉市はこの地方の一中心で、鐵道の

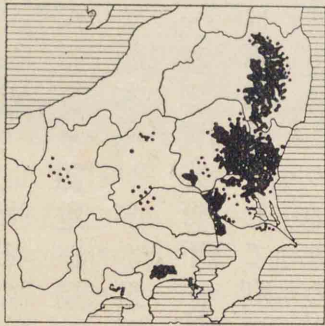


分岐點であり、佐倉、木更津は名邑である。船橋には軍用





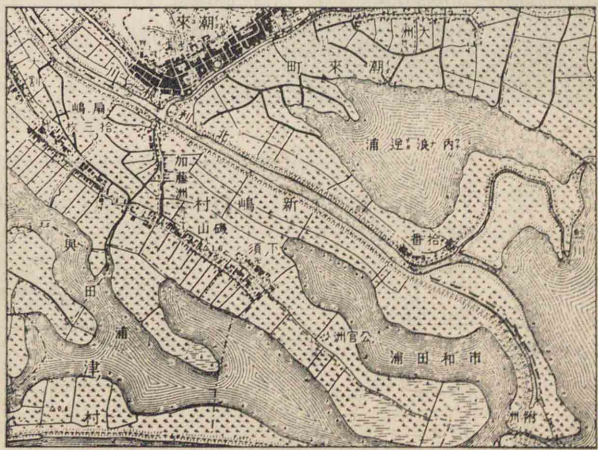
- 十六島（陸羽）七萬五千分の一
- 煙草の生産分布（府縣別）
- 關東附近の煙草の生産分布（各點二十町歩）



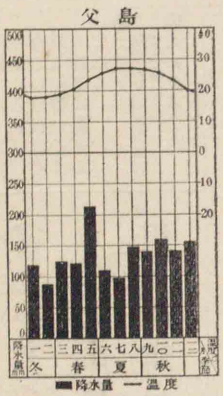
無線電信局がある。成田は不動を祀る所、門前町としては模式的の發達をしてゐる。

九十九里濱には納屋の名の付く幾多の漁村が連つて地曳網による鱈漁業が盛である。

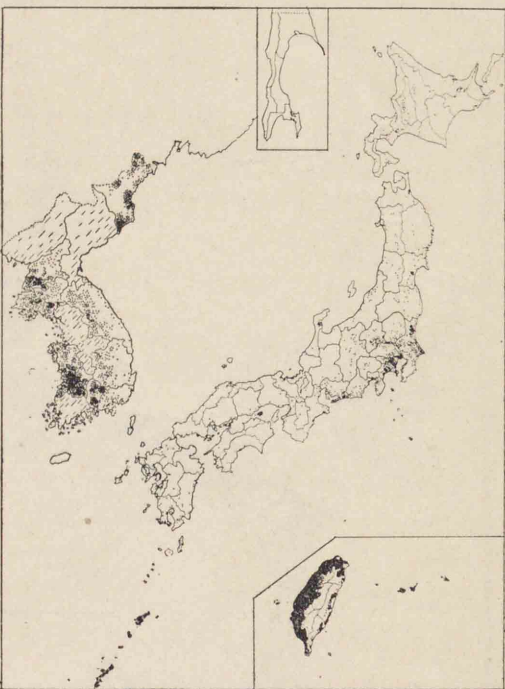
房總半島は突出してゐるため沖漁業の根據地に適する。



館山灣内の船形外房州の勝浦の如きは三浦半島の三崎と共に京濱に生魚の供給をする。



●東京府 豚の分布 (各點五百頭)

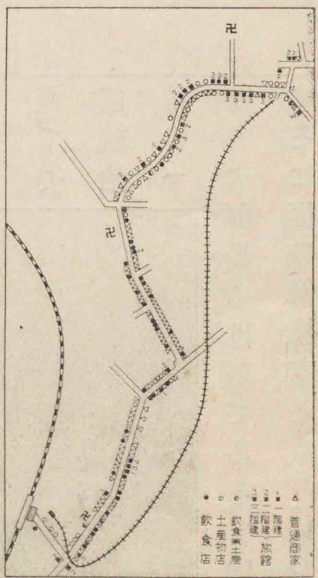
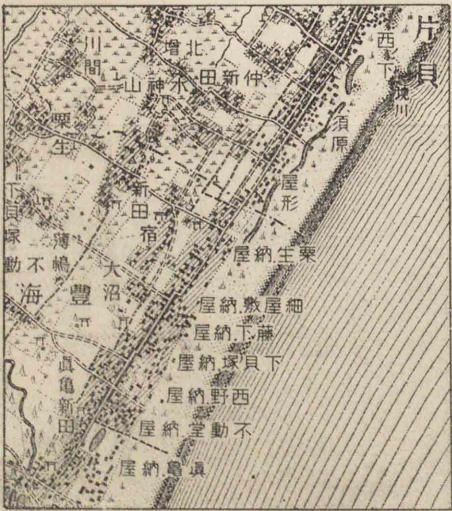


笠原島は略南北に羅列し、太平洋中に隆起してゐるものである。大島には活火山

- 成田の門前町
- 九十九里濱（陸羽）
- 父島の氣候

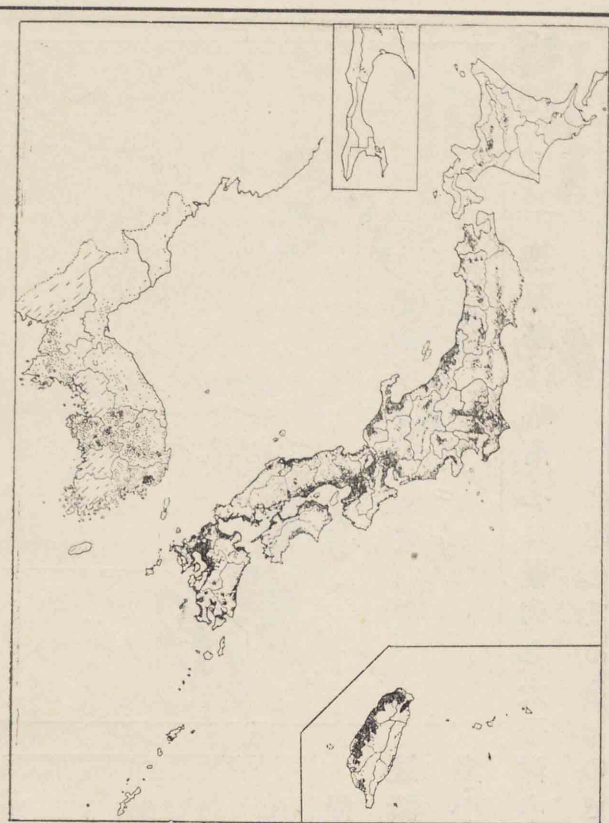
三原山、八丈島には八丈

伊豆諸島小





1 離島であるため  
稍異なる風習保  
存され住民は漁  
業及樺野に於け  
る牧畜に従事し  
てゐる  
●二見港  
熱帯の景観が現は  
れてゐる  
●米の生産分布  
(各島一萬石)

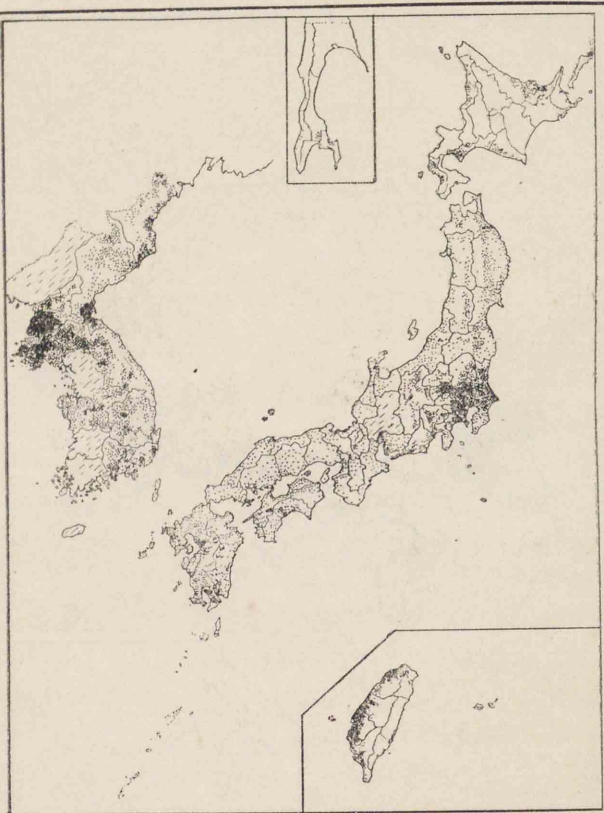


富士があつて、三宅島、新島、神津島、御倉島等も皆火山島で、大島の椿油と八丈島の八丈絹とは知られてゐる。小笠原列島は父島、母島等から成り、その南は硫黄島を經て委任統治地のマリアナ群島に延びてゐる。南



するに従ひ低緯度となり、且つ

●畑の分布  
(各島一千町歩)



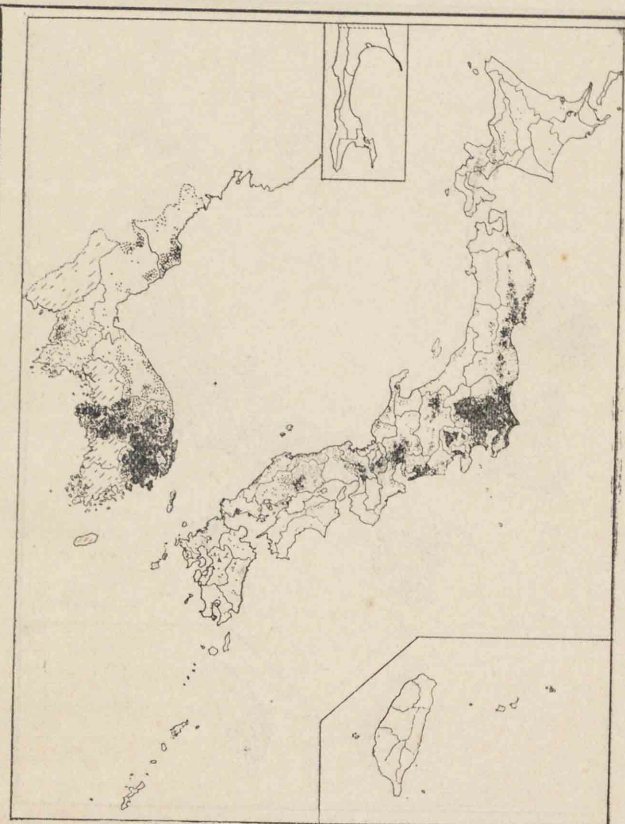
産業

平野が最も廣大であるから農業が盛に行はれてゐる。然し臺地がその大部分を占めてゐるので灌漑の便少なく、従つて米作よりも麥作が盛である。麥は多く他の地方に移出し、米は却

黒潮の影響を受けるので氣温高く、小笠原島に至つては熱帯性の氣候となる。従つて生物皆本土と異なる景觀を呈し、甘蔗、パイナップル、バナナ等を産するなど臺灣と似てゐる。父島の二見港は太平洋中に於ける我が國の重要港で、太平洋横斷の海底電線もこの地で中繼する。東方には南鳥島がある。



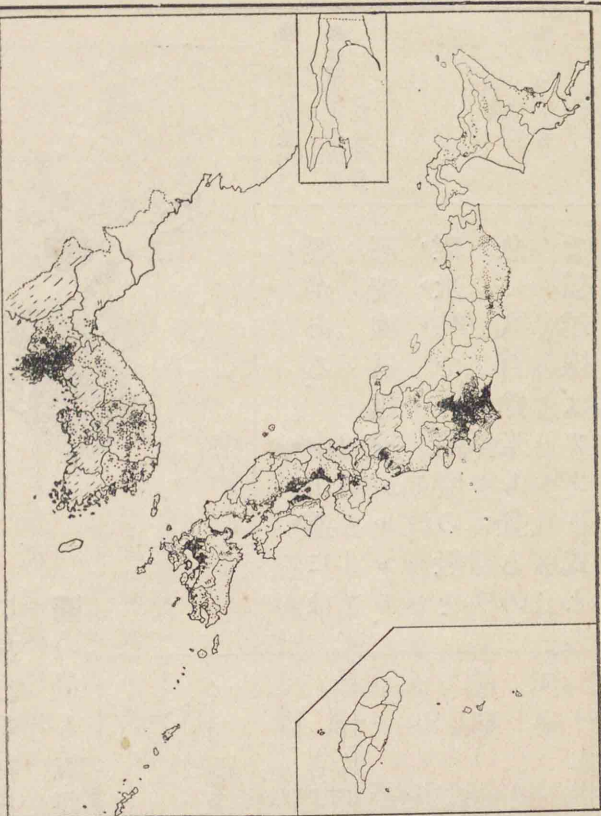
1 川越芋の稱がある  
2 秦野盆地  
●大麥の生産分布  
(各點二十石)



つて他の地方より移入してゐる。甘藷・煙草は共にその生産地帯の東部の最も盛な地域である。甘藷は埼玉千葉に多く、煙草は茨城・栃木・神奈川に産する。野菜は東京の近郊に多く、氣候の暖い湘南地方及房總半島では促成栽培を行つてゐる。養蠶は西部及西北部の山麓が一大中心地である。

鯉・鮪の沖漁業は銚子及南方の二半島を根據地とし、鱸の濱漁業は九十九里濱が盛である。東京灣頭の淺瀬は淺草海苔の養殖成育に適してゐる。  
日・立・と・足・尾とは共に有名な

●小麥の生産分布  
(各點二十石)  
1 他の小産地からの買入を製煉したものを合せてゐる

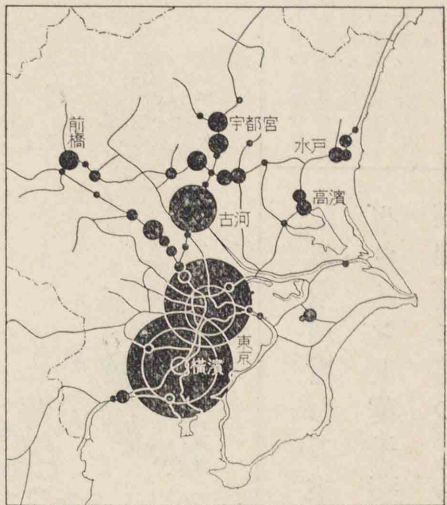


むものが増して來た。綿絲綿織物・毛織物・機械・染物・肥料・洋紙・ビール・セメント・菓子・藥品・雜貨の諸工業及印刷等の如きは主に京濱工業地帯に集つてゐる。

銅山で、日立は銅の外金・銀の産額も多い。石炭は常磐炭田の一部から産し、建築石材も亦各所に出る。

山麓は製絲・絹機業共に極めて盛である。絹織物の外綿織物・絹綿交織の如きも山麓及中央の平野に産する。而もこれ等機業は都市のみでなく農村に於ても副業としてこれを營



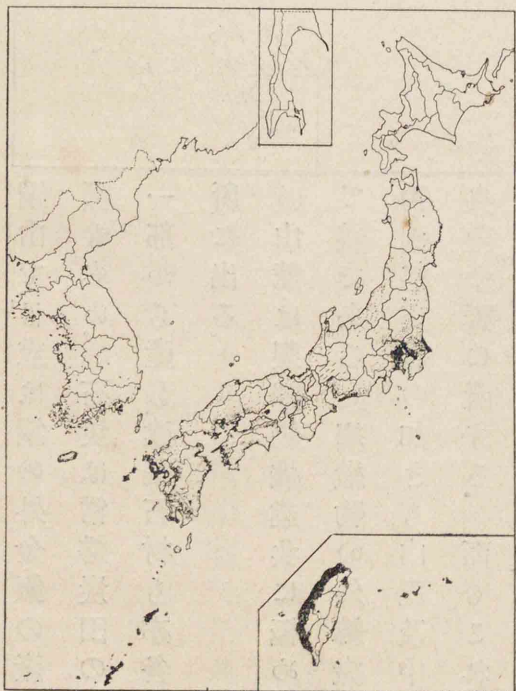


●小麥の發送地  
●甘藷の生産分布  
(各點百町歩)

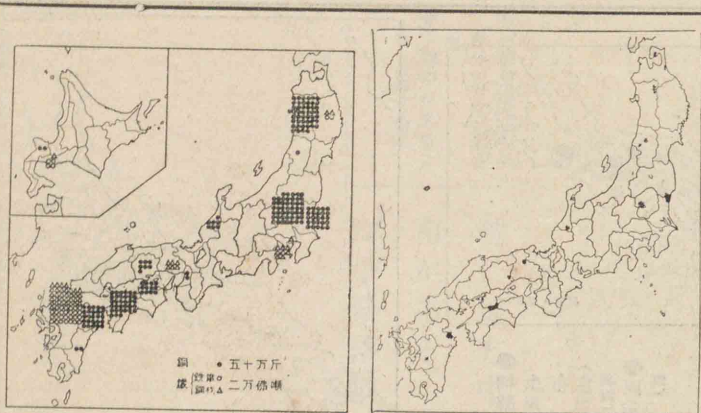
遷がある。中山道には高崎線信越線がかゝり、碓氷峠では高原の縁を急に八百餘米も登るの信越線はアプト式と

交通

關東は平野が廣大であるから街道も鐵道も東京を中心として放射狀に自由に設けられてゐる。只他地方に出づる時山地に左右される。東海道と東海道線とは我が國の最も重要な幹線で箱根越には新舊の變



●銅の生産分布  
(各點十萬斤)  
●銅・鐵(府縣別)



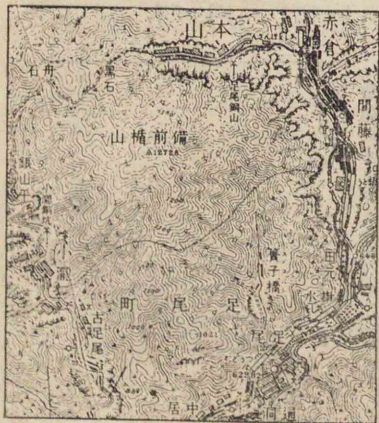
なり、中央線は小佛峠を、東北線と常磐線とはそれぞれ白河と

勿來の關門を通過する。越後平野との捷路として清水峠越の上越線が工事

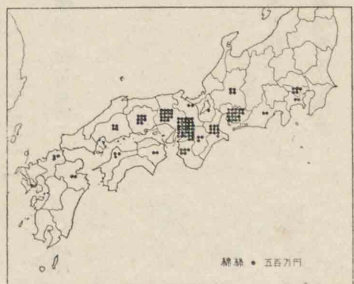
1 我國最長のトンネルでもあれば、且つループ式トンネルもある

その他兩毛線 總武線房總線等がある。省線の電化と郊外電車

●飛行機から見た日立鐵山  
●足尾地圖 (陸地)七萬五千分の一



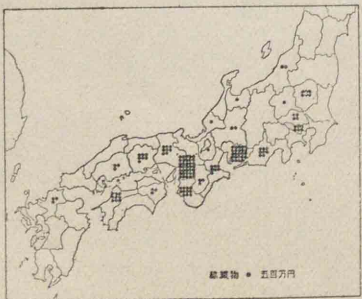
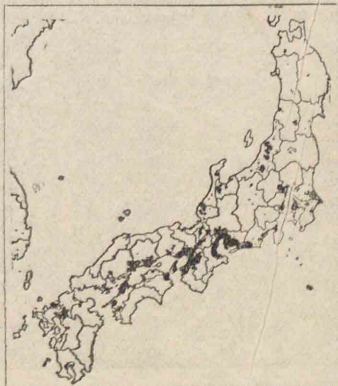




綿絲の生産分布 (各點二十萬圓) 同(府縣別)

の新設延長とは年と共にその密度を増しつゝある。航路は横濱を中心とする。京濱間は鐵道及舩船を利用するが、運河計畫もある。利根川・江戸川・隅田川及之を連絡する運河の如きは我が國ではよく利用されてゐるものである。

**商業** 東京は大阪名古屋に對立して日本の東半を商圈として居り、特殊の製品については勿論全國に販路を



綿織物の生産分布 (大點千圓、中點百圓、小點十圓) 同(府縣別)

綿織物の生産分布 (各點十萬圓) 同(府縣別)



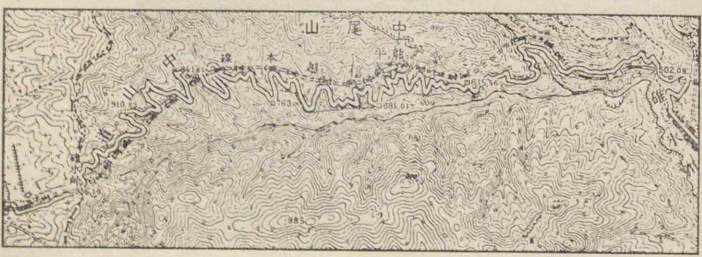
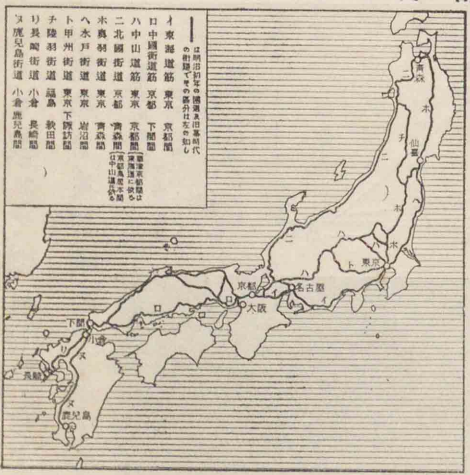
麓に地方中心の有力都市がある。又養蠶地帯は小聚落數多く、米麥の

もつてゐる。横濱港は神戸港と對立して輸移出入の大商圈をもつてゐる。

**人口密度**

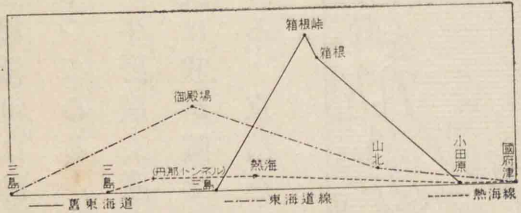
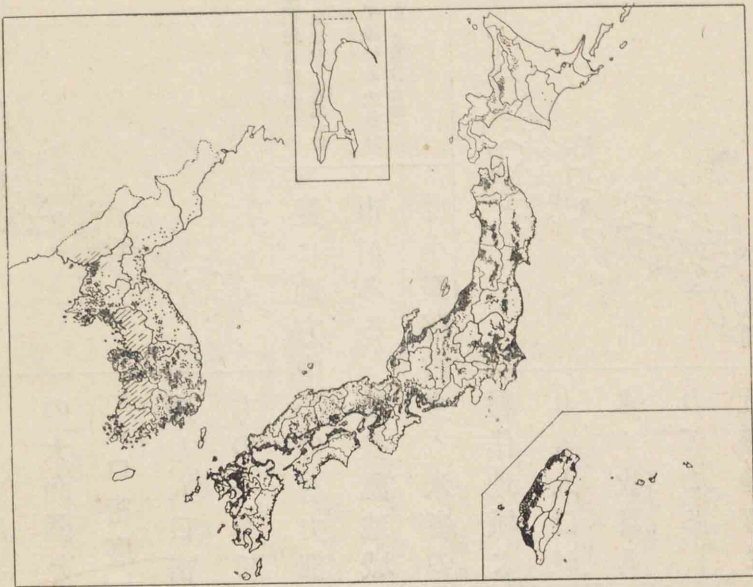
平野廣く、産業交通よく發達し、人口密度は我が國で最も大なる地方の一つである。京濱を遠ざかつた山

耕作地域よりも人口が多く收容されてゐる。近畿地方よ

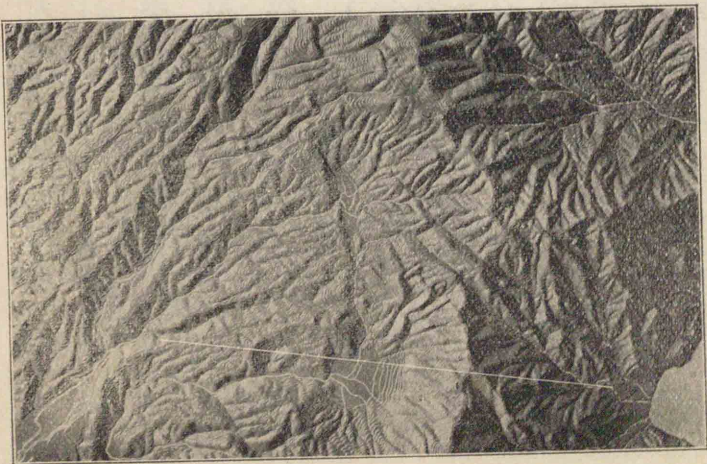


碓氷峠(陸)七萬五千分の一 主要街道





●水田の分布 (各千町歩)  
●執海線丹那トンネル附近の模型  
●箱根越新舊道路の比較



りも後れて開けたけれども、今は近畿と並んで我が國の二大中心といふべきで

●商圏とは商業の勢力範囲をいふ  
●人口の分布 (巻頭三四頁)

ある。

都邑の人口

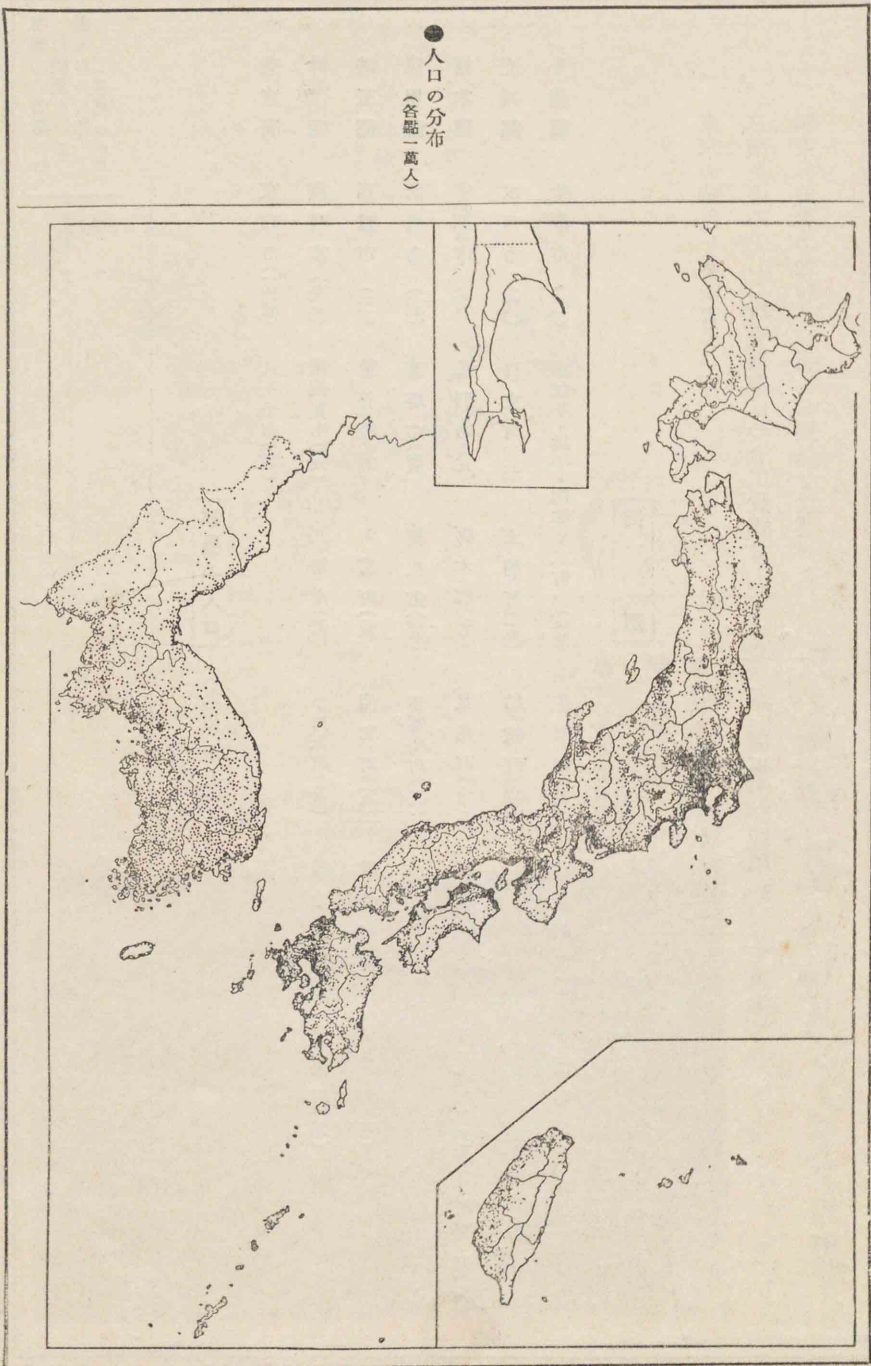
(單位千人)

|      |          |                  |         |          |        |        |
|------|----------|------------------|---------|----------|--------|--------|
| 東京府  | 東京市(九五)  | 八王子市(四五)         | 川崎市(四)  | 小田原町(三五) | 鎌倉町(三) | 浦賀町(八) |
| 神奈川県 | 横浜市(五五)  | 横須賀市(九六)         | 大宮町(五)  | 浦和町(八)   | 秩父町(五) | 所澤町(〇) |
| 埼玉縣  | 川越市(三一)  | 熊谷町(二七)          | 桐生市(四)  | 伊勢崎町(八)  |        |        |
| 群馬縣  | 前橋市(七三)  | 高崎市(四五)          | 桐生市(四)  | 伊勢崎町(八)  |        |        |
| 栃木縣  | 宇都宮市(七六) | 足利市(三九)          | 栃木町(二七) | 足尾町(三)   | 鹿沼町(三) | 日光町(七) |
| 茨城縣  | 水戸市(四)   | 日立町(三)           | 土浦町(五)  | 結城町(四)   |        |        |
| 千葉縣  | 千葉市(四)   | 本銚子・銚子・西銚子三町(三五) | 佐原町(六)  | 北條町(八)   | 勝浦町(七) | 佐野町(六) |

問題

- (一) 東京の特色を挙げよ
- (二) 京濱を中心とした休養地帯につきて説述せよ
- (三) 關東の境界の地形と交通との關係を説述せよ
- (四) 利根川流域の自然と人文とにつきて説述せよ
- (五) 關東の交通網につきて説述せよ
- (六) 各府縣としての特色を挙げよ





### 第二章 中部地方

#### 位置と地理的區分

この地方は本州島の中央部で、又日本列島の中央でもある。地形上、氣候上、人文上すべて我が國の中央に於ける結合した地帯であり、相異なる東北の日本と西南の日本との漸移地帯である。この地方と關東地方と合したものはよく中央の日本の特色をもつてゐる。

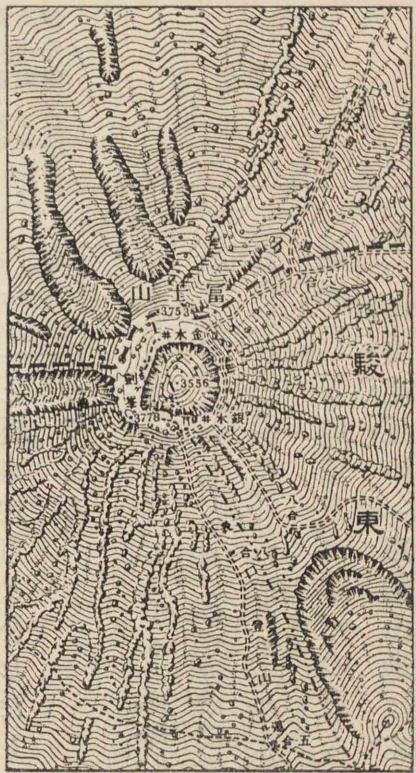
| 府縣名 | 政區劃               | 廳所在地 |
|-----|-------------------|------|
| 靜岡縣 | 伊豆、大部、駿河、遠江、三河、尾張 | 靜岡市  |
| 愛知縣 | 美濃、飛驒             | 名古屋  |
| 岐阜縣 | 甲斐                | 岐阜市  |
| 山梨縣 | 信濃                | 甲府市  |
| 長野縣 | 越後、佐渡             | 長野市  |
| 新潟縣 | 越中                | 新潟市  |
| 富山縣 | 加賀、能登             | 富山市  |
| 石川縣 | 越前、若狹             | 金澤市  |
| 福井縣 |                   | 福井市  |

この地方は地理的に大別すると東海地方、中央高地、北陸地方の三區となる。郡内山地は關東の特色、若狹灣沿岸地方は近畿の特色著しく、濃尾平野は伊勢平野と、又東部山地は關東の北境及西境山地と共に各同一地理區をなしてゐる。

#### 地形

この地方は本州の最も幅の廣い、且つ高峻な地方である。その中央高地の(一)東部山地は越後山脈、關東山塊、及那須火山脈等





- 富士山の頂上 (陸測)
- 飛行機から見た富士山
- 精進湖 (陸測)
- 磐岩流がよくあらはれてゐる
- 1 外に黒姫山・飯縄山・戸隠山等がある
- 2 外に立科山・茅ヶ嶽がある

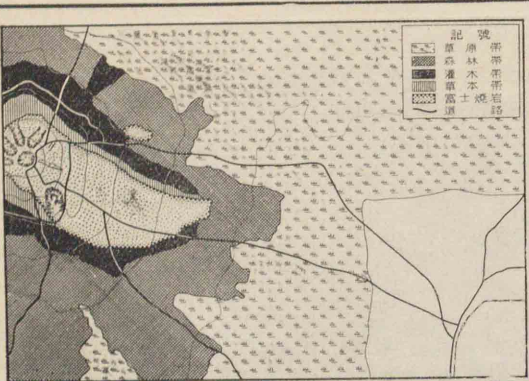


し、北部には妙高山、中部には八ヶ岳があり、南部にはこの火山脈の主峰富士山と箱根山、熱海火山、天城山等がある。富士山は内地第一の高峯で

の一部分から成り、浅間山は活火山である。  
(二) 中部山地は富士帯火山脈に属する。



- 富士登山口の吉田
- 精進湖
- 富士山と御坂山脈との視合にできた湖である
- 富士山の植物帯
- 登るに従ひ気温低下し植物帯が變化する
- 御殿場及須走口を示す



未だ開析されな  
完全な圓錐形の火  
山で、岳麓の裾合に  
できた河口湖・西湖  
精進湖等は風光明媚  
である。

(三) 西部

山地は南  
彎山系の  
東縁の隆  
起地塊で飛驒山脈・木曾山脈・赤石山脈の三つが略南北に雁行して、何れも高峻で三千米内に達し、高山性の地貌をよく現はし、日本アルプスと稱







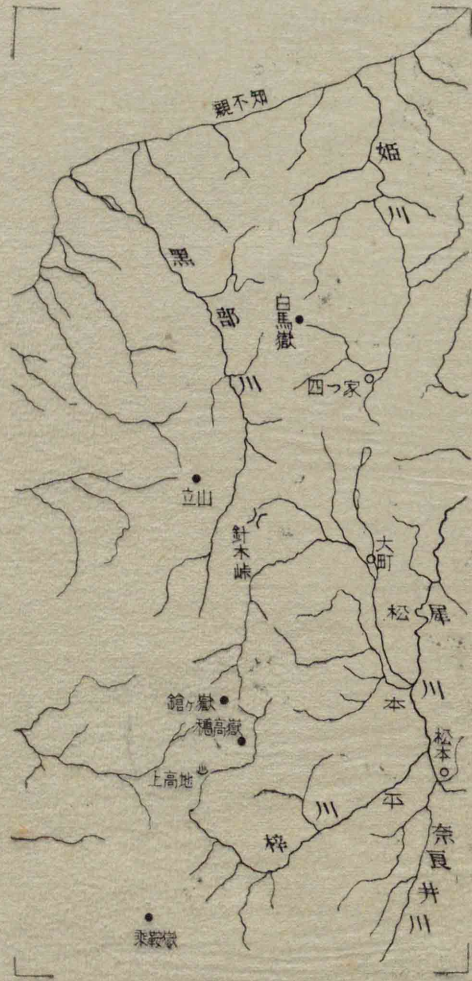
穂高嶽  
高山性の地帯が最も  
よくあらはれてゐる  
白馬嶽  
右は白馬嶽中は杓子  
嶽左は白馬嶽ヶ嶽前  
は雪の四家である

石嶽・白峯山がある。飛驒山脈と白山火

せられてゐる。飛驒山脈中には鎗嶽・穂高嶽・白馬嶽・立山等があり、梓川の上流に靈境上高地盆地がある。黒部川は立山と白馬嶽との間を深く刻んで北流してゐる。この山脈の日本海に盡きる所に親不知の海崖がある。乗鞍火山脈亦これに伴ひ御嶽・乗鞍嶽及活火山焼嶽・硫黄嶽が噴出してゐる。木曾山脈は花崗岩から成り、北に木曾



鎗嶽・穂高嶽・白馬嶽



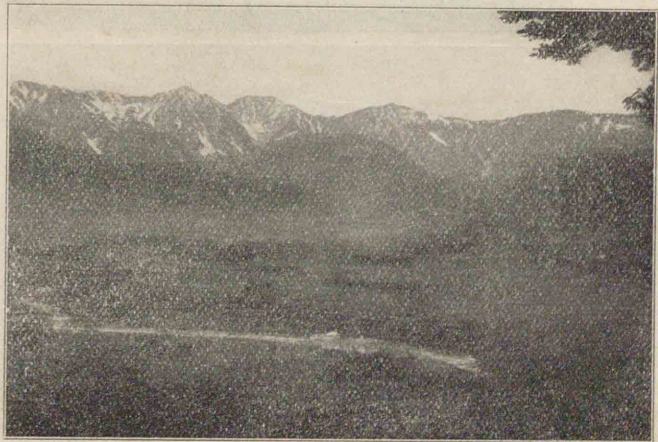




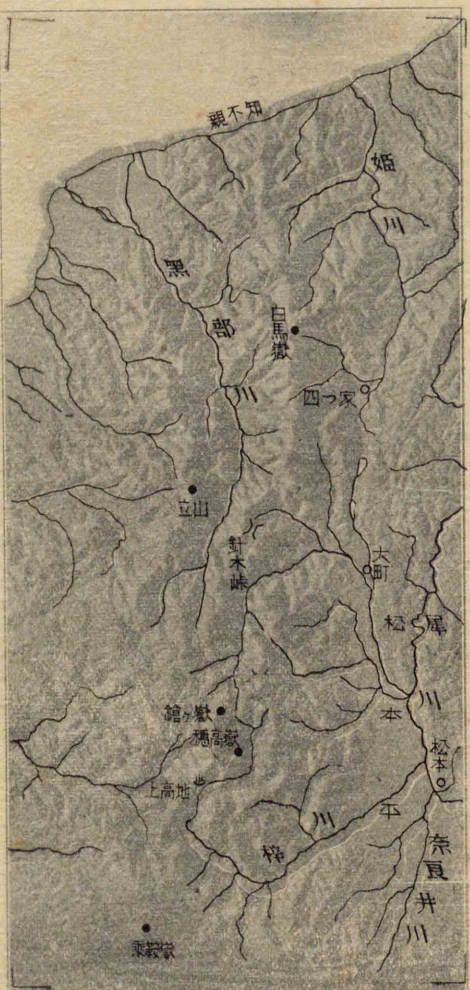
●種高嶽  
高山性の地帯が最も  
よくあらはれてゐる  
●白馬嶽  
右は白馬嶽中は杓子  
嶽左は白馬嶽ケ嶽前  
は蓋の四家である

●駒嶽●南に●恵那山●がある。●飛驒山脈●と●白山火●石嶽●白峯山●がある。

せられてゐる。飛驒山脈中には鎗嶽●穂高嶽●白馬嶽●立山●等があり、梓川の上流に靈境上高地盆地がある。黒部川は立山と白馬嶽との間を深く刻んで北流してゐる。この山脈の日本海に盡きる所に親不知の海崖がある。乗鞍火山脈亦これに伴ひ御嶽●乗鞍嶽●及活火山●焼嶽●硫黄嶽●が噴出してゐる。木曾山脈は花崗岩から成り、北に木曾



●鎗嶽●穂高嶽●白馬嶽●立山●等があり、梓川の上流に靈境上高地盆地がある。



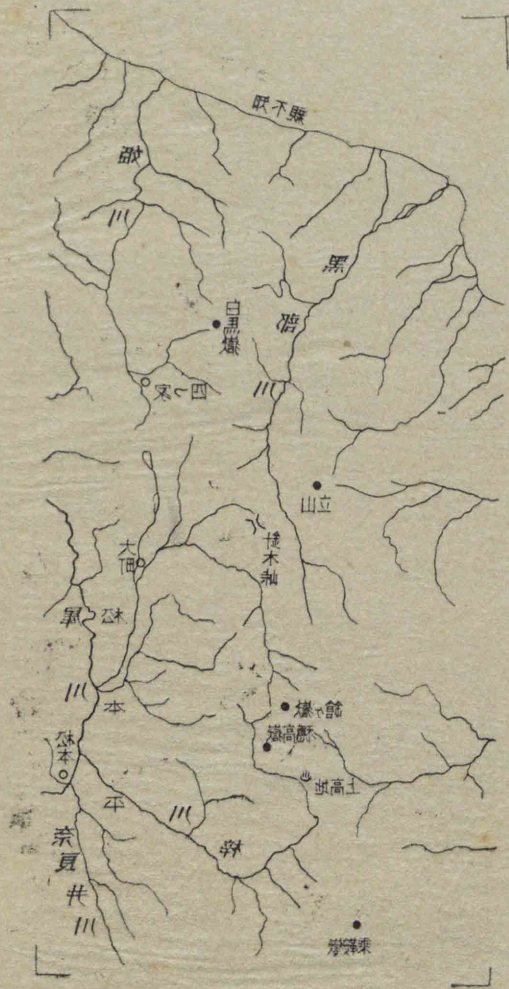
●飛驒山脈・乗鞍火山脈及松本平の模倣  
1 七三・八米  
2 一一・九七米  
●黒部川の峡谷 (陰・西)

る。鳥居峠は我が列島中海岸から最も遠い地点で、これから東北流したものは信濃川となつて濃尾平野を形成し、西南流したものは木曾川となつて濃尾平野を形成してゐる。鹽尻峠は天龍川と犀川との分水界、和田峠は天龍川と千曲川との分水界、碓氷峠は千曲川と碓氷川との分水界である。



山との間は飛驒高原をなしてゐる。宮峠は宮川と益田川との分水界をなし、宮川は高原川と合流して神通川となつて富山平野に下り、益田川は飛驒川とも稱し、木曾川に合流して濃尾平野に出てる





●飛騨山脈・乗鞍  
火山脈及松本平  
の模型  
1七三八米  
2一一九七米  
●黒部川の峡谷  
(陸・湖)

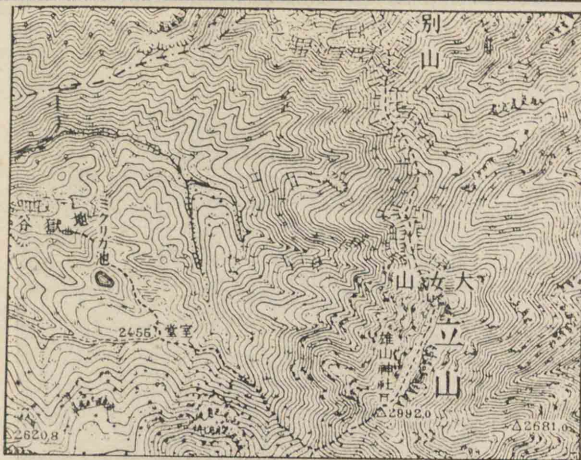
る。鳥居峠は我が列島中海岸から最も遠い地点で、これから東北流したものは信濃川となつて越後平野を形成し、西南流したものは木曾川となつて濃尾平野を形成してゐる。鹽尻峠は天龍川と犀川との分水界、和田峠は天龍川と千曲川との分水界、碓氷峠は千曲川と碓氷川との分水界である。



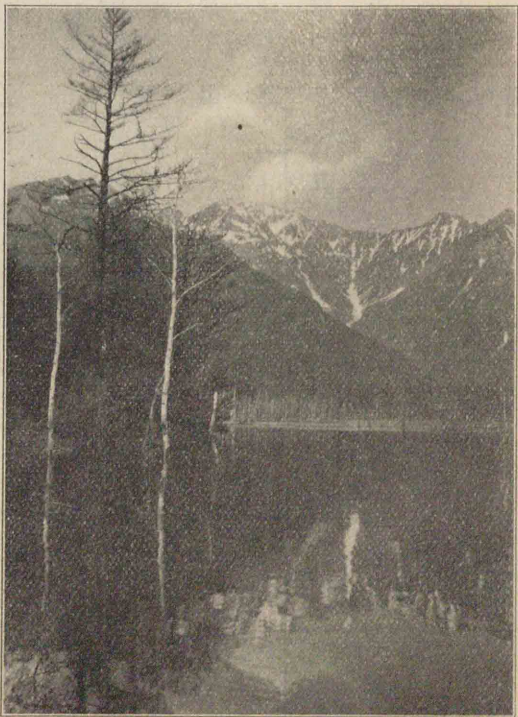
山との間は飛騨高原をなしてゐる。宮峠は宮川と益田川との分水界をなし、宮川は高原川と合流して神通川となつて富山平野に下り、益田川は飛騨川とも稱し木曾川に合流して濃尾平野に出でる。



- 1 松本 五八五米
- 2 諏訪湖 七五九米
- 3 甲府 二七〇米
- 上高地  
白樺群川穂高嶽等  
あらはれてゐる
- 立山(鹽・湖)

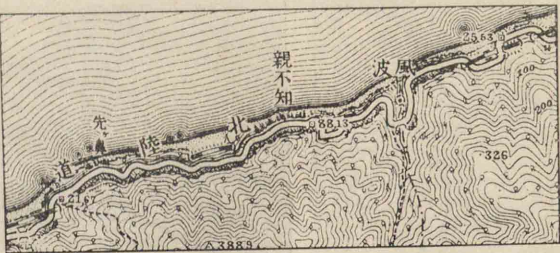


この高地に幾多の(四)  
山間盆地がある。東部  
山地と中部山地との間  
の千曲川の谷に佐久平



上田盆地  
善光寺平  
の三盆地  
が南北に  
並び善光寺平では千曲川と犀川とが合流してゐる。  
中部山地と西部山地との間には大断層線によつて  
生じた日本海岸から太平洋岸に貫いた谷がある。  
北は糸魚川から姫川、松本平、鹽尻峠、諏訪盆地、富士見  
鞍部、釜無川、甲府盆地、富士川等を経て駿河湾に達す

- 親不知(睡湖)
- 飛行機より見た  
木曾駒ヶ嶽



ることができ、その間に三盆地  
が含まれてゐる。赤石山脈と  
木曾山脈との間の天龍川の流  
域に伊那谷があり、南方は天龍  
峽によつて遠江の海岸平野に  
通じてをり、別に又豊川の上流  
へも自然の通谷がある。又木  
曾山脈と御嶽との間には狭長  
な木曾谷がある。



- 御嶽頂上(睡湖)
- 七萬五千分の一、こ  
の山は古くから富士  
について信仰登山の  
盛んな登山である

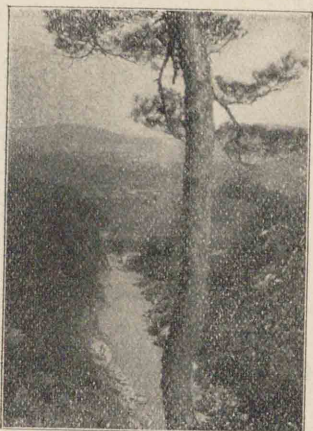
東海地方とは静岡・愛知・岐阜の三縣下  
の主に海岸低地及丘陵地をいふ。(一) 駿  
遠海岸地方では東海道式の荒川が北の  
山地から急に下つて海岸平野を造つて





ある。富士川・安倍川・大井川・天龍川等は  
何れも雨期には洪水を生ずることがあ  
るが、平時は水少く大部分河原である。

大井川の右岸の牧ノ原・天龍川右岸の三方原・安倍



川の左岸の久能地  
塊の如きは古い時  
代の海岸平野が臺  
地となつて残つて  
ゐるものである。  
沿岸潮流のために  
砂嘴が発達し



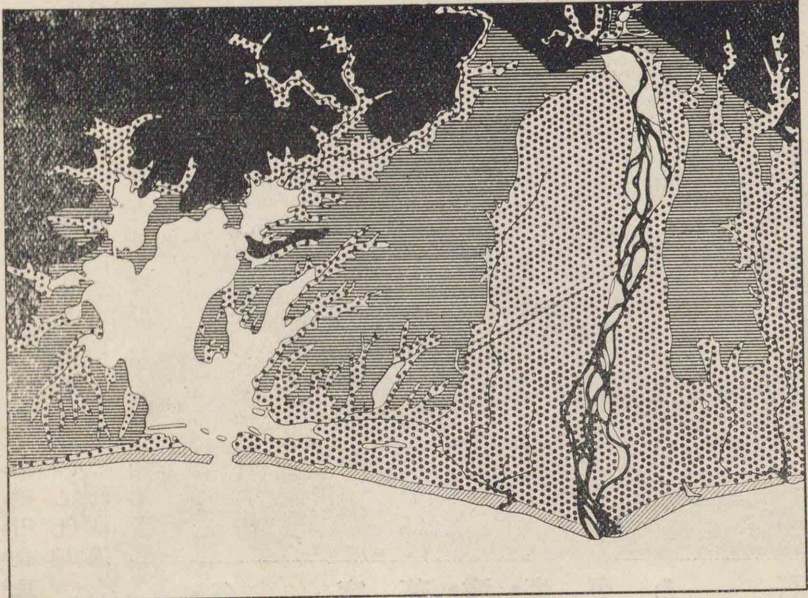
て清水港を圍  
む三保の松原・浮島を圍む田子浦や瀧名湖の  
今切の砂丘になつたりしてゐる。瀧名湖は谷  
の溺れたものである。



●飛行機から見た  
大井川

●天龍峽  
姑射嶽附近の峽谷より  
伊那谷を望む

●天龍峽(陸奥)  
▲同高線の疎密に注  
意せよ



(二)濃尾平野と三河平野

伊勢海の

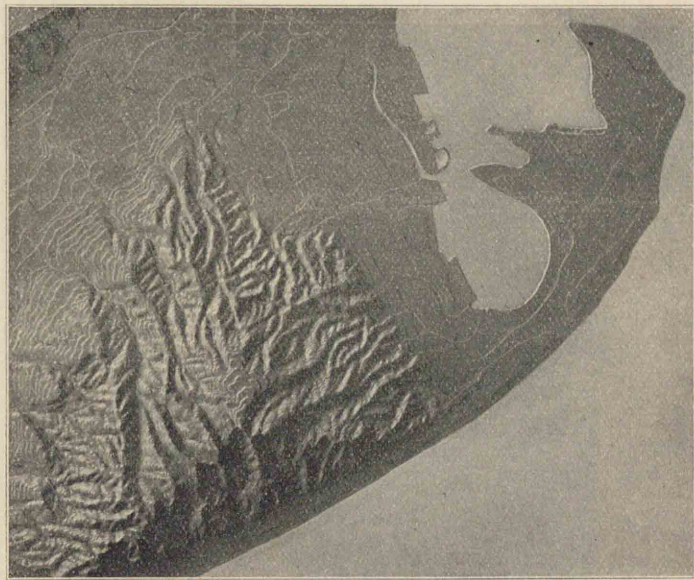
陥没部に向つて周圍から流入した河  
が土砂を堆積して濃尾平野・三河平野  
伊勢平野等の伊勢海沿岸平野を造つ  
た。木曾川を中心とし、東からは庄内  
川・矢作川・支流の大平川・豊川、西からは  
鈴鹿川・櫛田川・宮川が伊勢海に集注し  
てゐる。四周の古い岩石の山地から  
新しい岩石の丘陵地(知多半島の如き)  
に移り、次に臺地名古屋臺地(各務原の  
如き)而して終に最新の堆積から成る  
低地と順次に地形が區分される。

●遠江海岸平野

●點は低地、横線は臺地、黒は山地、斜線は砂丘、天  
龍川・瀧名湖・三方ヶ原等があらはれてゐる。



●久能地塊及三保の砂嘴の模型

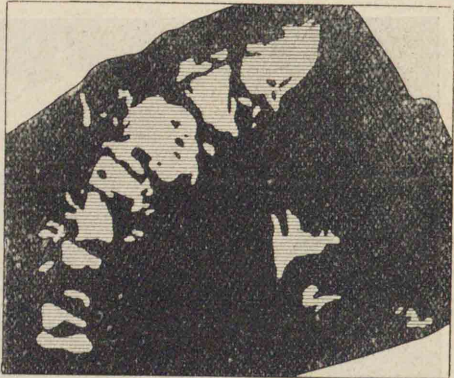


木曾川の本流と榎・斐川・長良川の合流した最低地には氾濫を防ぐために各堤防で圍まれた輪中と稱する土地がある。平野の西縁は養老山脈の明らかな断層崖と麓の沼地とからなり、これは過去の断層による陥没と隆起とを示してゐる。

關原の狭隘は伊吹山脈中の最も低い横谷である。

東海地方の海岸 東部には伊豆半島の突出と駿河灣の彎入とがあつて、駿河灣は著しく深い。御前岬から伊良湖岬までは遠州灘に面する平直の海岸である。伊勢海は渥美半島と志摩半島とに口を扼され、更に知多半島によつて三河灣を分離してゐる。

北陸地方とは日本海に面した新潟・富山・石川・福井の四縣下の主に海岸低地及丘陵



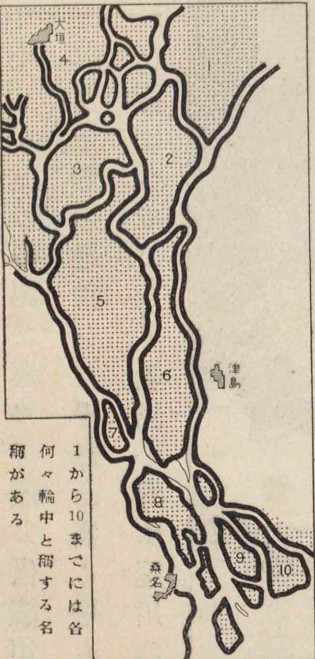
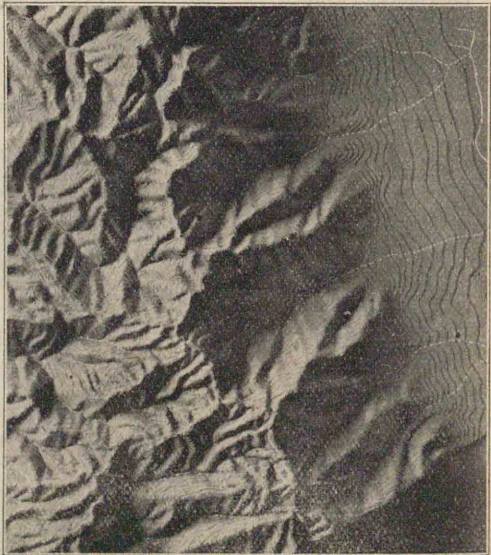
●久能地塊上の茶畑の分布

▲如何なる地形に茶畑があるか比較して見出し、黒は山地

●養老山脈の断層崖の模型

養老の麓はこの崖にかかつてゐる、而して山頂は割合に平で且つ傾いてゐる

地をいふ。(一)越後平野は米山を境として上越地方と下越地方とに分つことができ。下越平野東縁の越後山脈の山麓は極めて規則正しい断層線を示してゐる。丘



1から10までには各何々輪中と稱する名所がある

陵性の東山・西山もこれに平行してゐる。沿岸潮流によつてできた砂嘴は信濃川口を東北へ偏せしめて、砂嘴の内側にあつた潟は次第に縮

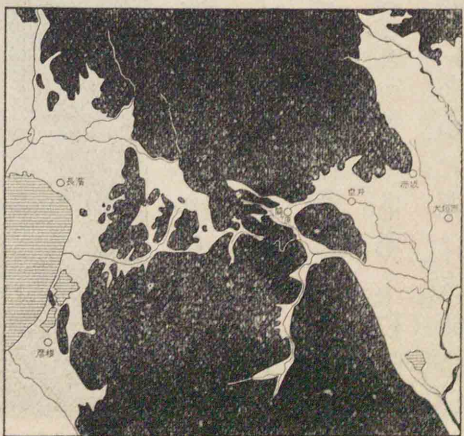


●關ヶ原の狹隘  
●澁尾平野の地形

小して三つの潟となつて残り、信濃川・阿賀川等の堆積した平野は廣く平らに横はつてゐる。上越平野は荒川の



主ニ 低地 台地 丘陵地 山地

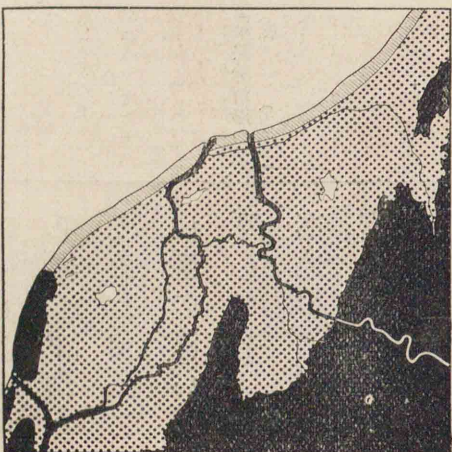


流域にある。  
(二)富山平野はもと富山灣の陥没が深く陸地に變入してゐた所が山地から急下した神通川常願寺川

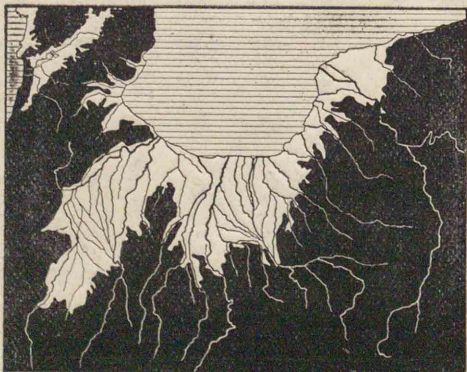
1 黒部川のもので、  
けは單獨に離れてゐる

●富山平野の水系

●越後平野の地形

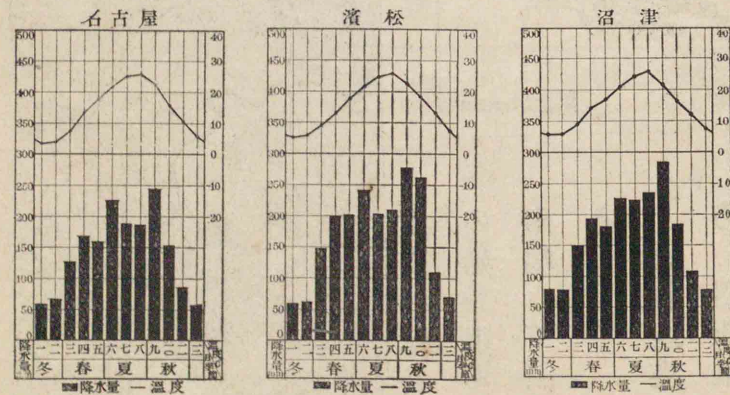
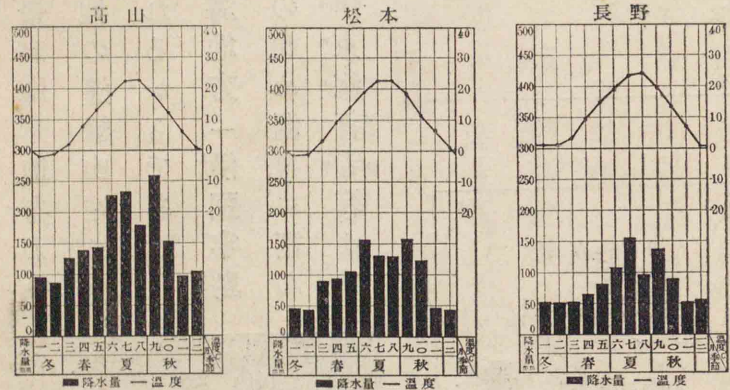
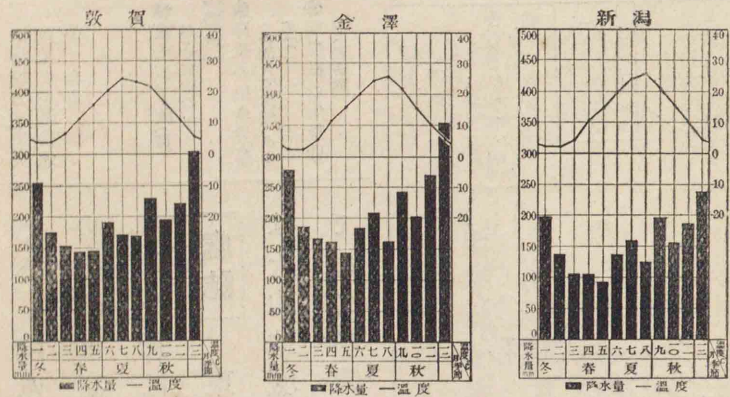


庄川・射水川・黒部川等の扇状地様の三角洲の結合によつて埋められてできた平野である。(三)加賀平野の砂丘の内側は犀川・手取川の三角洲が埋めて平野を造り、今尙河・北潟・柴山潟・邑知潟等を残してゐる。能登半島の地頸部には(四)邑知



潟地溝帯がある。(五)大野盆地は九頭龍川の上流に、(六)福井平野は九頭龍川・日野川・足羽川の合流地にある。(七)能登半島は丘陵性であるが山頂は略同じ高さである。  
(八)佐渡島は本陸に似て大佐渡山地・國中平野及小佐渡山地の三平行地帯から成つてゐる。





ため 寒暑の差 稍甚 だし 陸性の 候の 傾向を とも につ

●中部地方各地の 気候

の中間にある中央高地の諸盆地は、海岸から遠いのと標高の高い

●若狭湾沿岸の地 形 (六六頁)

北陸地方の海岸 海府浦から越前岬に至る間の海岸は富山灣と能登半島との部分を除けば極めて平直な海岸である。又親不知その他一二の外は砂濱つづきで河口も浅く良港に乏しい。富山灣の深いのは駿河灣と好い対照である。能登半島の東岸は沈降して七尾灣の好出入を造つてゐる。若狭灣沿岸は近畿北部の高地が陥没後更に沈降したりアス式の海岸で、小半島と小灣入に富んでゐて、その各灣頭に小平地が點在してゐる。

氣候

東海地方は表<sup>○</sup>日本<sup>○</sup>式の氣候であつて、降水量は夏多く冬少い。之に反し北陸地方は裏<sup>○</sup>日本<sup>○</sup>式で夏も梅雨<sup>○</sup>及颱風<sup>○</sup>の現象はあるが、一般に言へば冬の降水量が遙かに大である。この表裏の相違は季節風<sup>○</sup>の方向が影響するので、冬季裏日本は西北風に直面し日本海方面から齎<sup>○</sup>された水蒸氣は雪となつて降り、分水山地を隔てた風下に當る表<sup>○</sup>日本<sup>○</sup>では乾季<sup>○</sup>となり晴天が續く。表裏日本

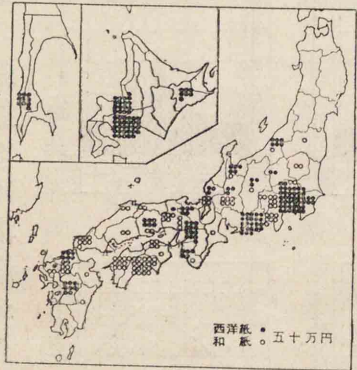
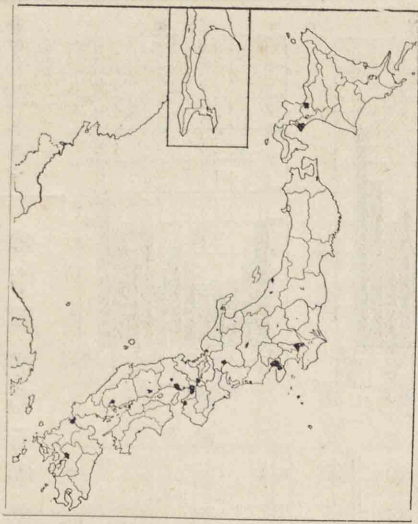


1 東海地方と中央高地との漸移地帯である

● 富士川下流陸棚(甘藷分の一)

● 洋紙の生産分布(各都大百圓、小十萬圓)

● 和洋紙の生産分布(府縣別)

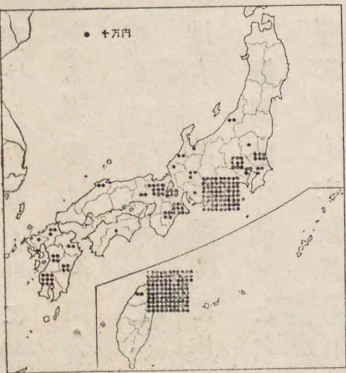
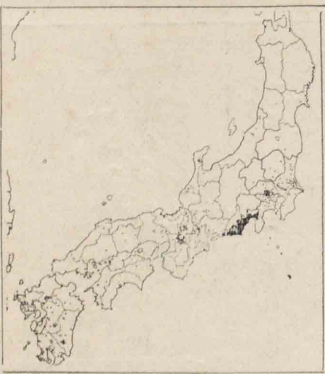


る。降水量が海岸地方より少いのは、高地の邊緣山地に水蒸氣を奪はれるからである。  
**處誌** 東海地方(一)伊豆半島は火山地帯のため温泉に富んでゐて熱海・伊東・修善寺等は京

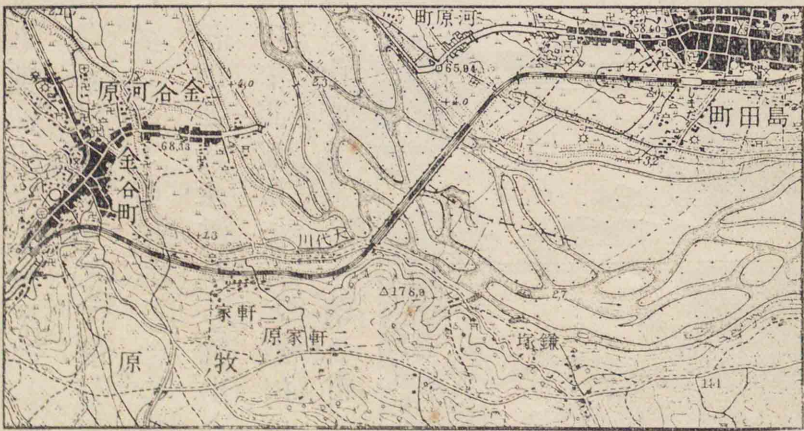


濱人の休養地帯の延長である。南端に下田港がある。  
(二)駿遠海岸地方 沼津市は狩野川流域の中心

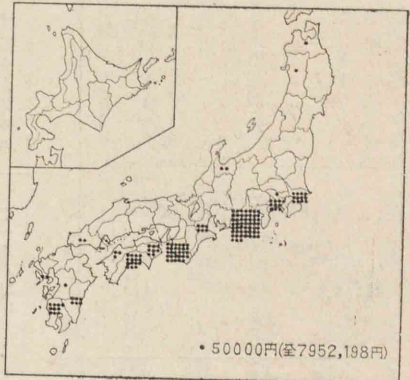
- 1 もとは山麓の森林が原料であつた。水は豊富で富士の熔岩流下の伏流水が湧いてゐる
- 大井川と島田
- 金谷(陸棚)
- 養道、島田の製材所、牧の原の茶畑、渡頭、あらはれてゐる
- 茶の生産分布(府縣別)
- 煎茶の生産分布(各都一萬圓)
- 氣候の温暖なため早く市場に出すことができる



で、氣候良好景色よく葉山に酷似した休養地である。興津も亦好保養地として知られてゐる。富士山麓の大宮・芝川等は洋紙の製造夙に盛である。又この地方は楮・三極の成育に適し駿河半紙を古くから産する。富士川の三角洲には梨を産する。蜜柑は氣候

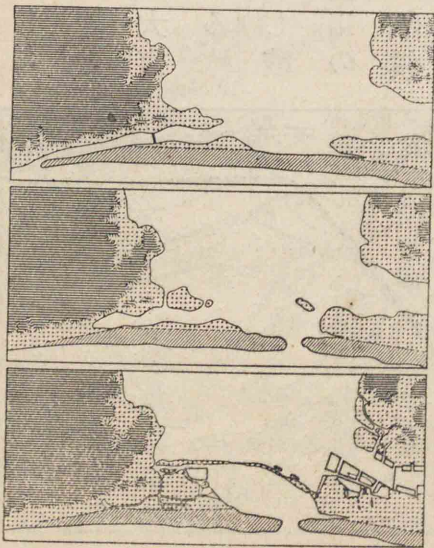






●鯉の集散地  
 濱名湖口の變遷  
 上圖は濱名川の時代  
 中圖は津波で今切の  
 できた時代、下圖は  
 現今  
 湖口の新居には開所  
 があつた、今は開所  
 附近に鯉の養殖池が  
 多い  
 1 牧ノ原、久能地塊  
 には纏つてゐる  
 2 高校  
 漆器・竹細工を  
 産する  
 3 高工  
 帽子・楽器 綿織  
 等を産する

しつゝある。焼津は鯉の遠洋漁業の根據地として全國第一である。大井川には幕府の防禦政策上から橋を架せなかつたため渡河が困難で、雨期の川止には殊に混雜した。兩岸の島田・金谷の對



に恵まれた傾斜地に栽培され、興津附近北伊豆等が盛である。茶は大井川・安倍川等の流域が中心で、緩傾斜の礫層地で排水のよい所に多い。この地方及他の遠い地方の茶を静岡に集めて再製し、清水港から輸出する。静岡市は京濱と名古屋の中間都市でも、徳川氏の重要視した地點、今は縣政の中心である。濱松市は工業都市として勃興

1 大井川上流から筏で下つてくる  
 2 製絲の中心  
 3 愛知醫大、八高、高商、高工  
 4 綿絲・棉織物・毛織物・車輛・陶磁器・時計・飛行機・樂器等  
 ●愛知(岐阜)  
 濃尾平野の一部に於ける野菜・畑・桑田・水田・聚落等の分布

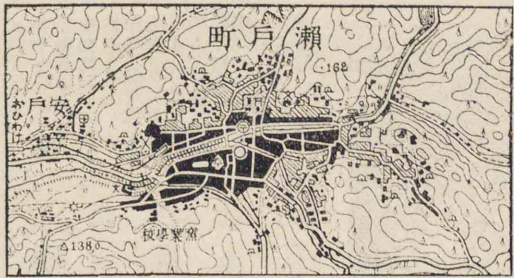
向聚落はために發達した。鐵道開通後は一旦衰微したが島田は製材業で復活した。三河平野 豊川流域は豊橋市、矢作川流域は岡崎市が中心である。  
 (五)濃尾平野の中心の名古屋市は中京の稱がある位で、東京・大阪の間に勃興した新經濟中心地である。各種の製造工業勃興し、中



にも陶磁器柱時計等は特産である。本州島の地峽部に位する優秀の位置が東海道中央關西の三線を交叉せし



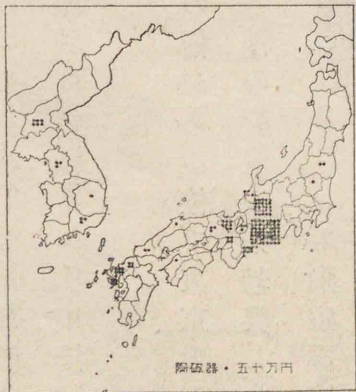
- 1 熱田には熱田神宮・魚市場・木曾御料林の貯木場等がある
- 2 陶磁器の生産分佈 (各點一萬圓)
- 3 同(府縣別)
- 4 瀬戸(陸地)
- 5 瀬戸(陸地)の位置は丘の間にあり現在は敷が狭くしてゐる



めて、商工業の發達を促したのである。關ヶ原・小牧・長久手の如き主要な戦役がこの濃尾平野に行はれたのも、徳川氏が親藩を置き名古屋城を築いたのも、この位置の樞要なために外ならない。名古屋城と熱田神宮とは一脈の臺地の上にある。

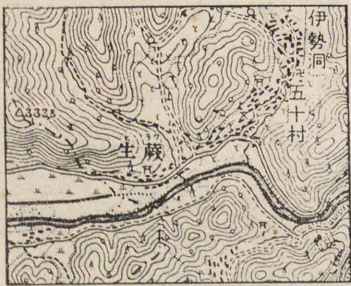
市の南部の熱田には貿易港がある。

西部の枇杷島には有名な青物市場があり、その西北地域は野菜の栽培が甚だ盛で廣く、遠隔の地まで供給してゐる。養鶏も亦大に行はれてゐる。名古屋に近い清洲・一宮市・鳴海・有松等は工業が盛んで、名古屋工業地帯が近郊電車の發達と相俟つて擴大しつゝ、あ



- 有松の附近に桶狭間の古戦場がある
- 清洲二宮は絹工業鳴海・有松は絞
- 1 2 晒木棉・酒・醬油等
- 3 常滑焼
- 4 美濃紙の産地牧谷の藏生
- 5 南向きの日照のよい水の豊富な河に臨んだところにある
- 6 同上(陸地)
- 7 陶器を瀬戸物と稱するほどである
- 8 高農
- 9 提灯・團扇・傘等を特産とする
- 10 もとは川によつて桑名に出した

る。知多半島に半田・龜崎・常滑等の工業地があり、武豊は開港場である。瀬戸から多治見に至る地域は木曾山脈の花崗岩が風化された良質の陶土を産するため、愛知・岐阜二縣下に跨る我が國第一の窯業地帯をなし、名古屋にはこれ等を輸出向にする仕上工業が發達してゐる。東濃の中津は木曾谷の口にあり、製絲業の中心である。美濃臺地の各務原は立川・太刀洗間に於ける中間の陸軍飛行場として選ばれた。岐阜市は長良川に臨む舊城下町、今は縣政の中心で絹織物を産する。大垣市は西濃の米の集散地で、美濃は牧谷を控へ美濃紙の取引が盛である。





●勝沼附近の扇状  
地上の葡萄酒  
(醸造)

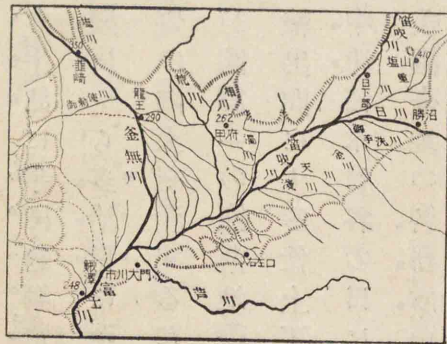
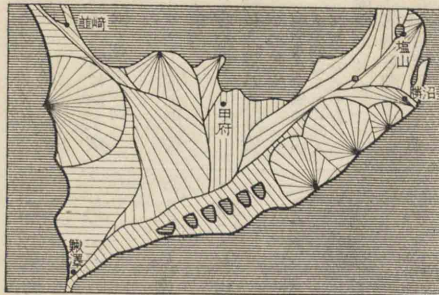
●甲府盆地の葡萄  
生産地

(各縣五千圓)

●甲府盆地の地形  
構成各河の堆積區  
域があらはれてゐる

●甲府盆地の水系

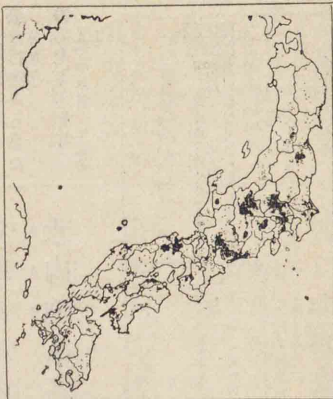
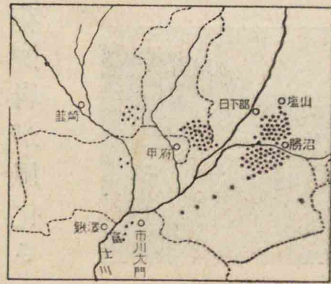
▲地形構成圖と比較  
せよ



る。關原狹隘は古戦場で、又不破、關趾がある。  
中央高地 (一) 郡内山地の桂川の谷は甲斐絹を産し、谷村、上野原等はその市場である。桂川は急流で落差が大きく、而も東京に近いため夙に水力發電所を設けられて東京に送電された。



(二) 甲府盆地は四周山地に圍まれた斷層陥没と笛吹、釜無二川の堆積による山間盆地である。この地に産する葡萄は良



●蠶種の生産分布  
(各縣五十萬圓)

●淺間とその山麓  
町は小諸

●甲斐の語原は峽  
(カヒ)である

【長野】

1 高工  
水晶細工を産す

北の山地に御嶽  
の勝がある

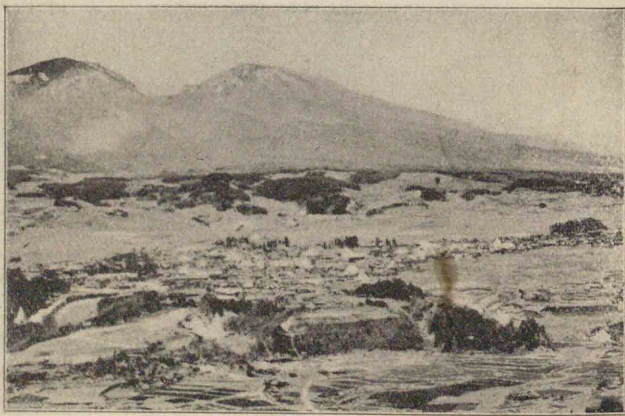
2 富士川に沿ひ身  
延鐵道が通じた

3 一千里  
佐久鯉といひ、

4 鮎を飼料として  
みる

5 蠶絲専門

質をもつて聞え、中央の低地は水田で、周圍の山麓には桑畑が多い。甲府市は盆地の中心都邑で製絲が盛である。交通路はもと富士川下りが利用されたが、笹子トンネルの開通後は主に中央線による。  
(三) 佐久平 淺間山麓の輕井澤は高原避暑地として標式的のものである。製絲業の中心は小諸で、養鯉業の殊に盛な所のあるのは水が豊富なためである。  
(四) 上田盆地(小縣盆地)は上田市が中心で、養蠶製絲及蠶種の製造が盛である。

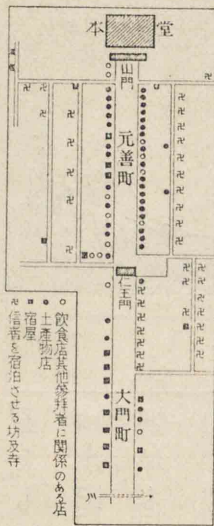






●長野(陸湖)  
 1千曲川の東  
 流曲川と犀川の合  
 古戦場がある  
 飛行機から見た  
 善光寺  
 善光寺前町  
 ▲空中寫眞と比較せよ

である。河東地方は養蠶製絲が盛で、須坂はその中心である。信濃中央分水山地は高原で南信との境をなして



(六) 松本平 飛

驪山脈の東麓の扇狀地には桑畑が多く、松本市は繭生絲の取引が行はれる。ここは海に



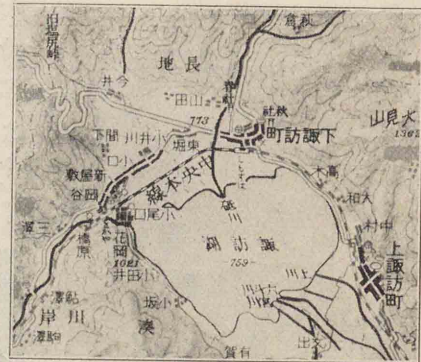
●諏訪盆地(陸湖)  
 廿萬分の一

●諏訪の模型  
 ▲地圖と比較せよ  
 1 高校  
 日本アルプス登山の根據地は松本の外に大町・四家(ヨツヤ)等がある  
 南部で寒天が製造される

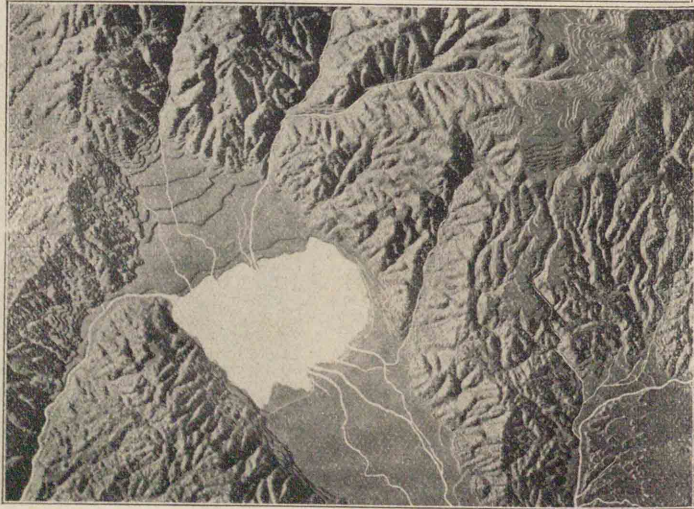
●岡谷附近の機械製絲工場の分布



遠い山間盆地でもと鹽及乾魚の如きは糸魚川から移入され鹽尻はその終點であつた。今は鐵道

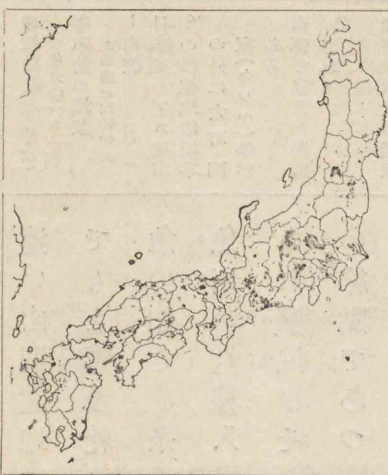


の會點、松本は東西の二大商圏の接觸地である。(七) 諏訪盆地は紡錘狀の地溝帯でそこに諏訪湖が湛えてゐる。湖畔に上諏訪、下諏訪、岡谷が鼎立してゐる。斷層崖下は溫泉に富み、冬季は湖面結氷しスケートが行はれる。岡谷は

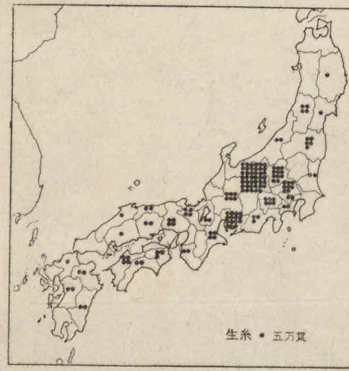




- 寝覺の床  
花崗岩の節理に沿って穿つてある
- 1 中央線・篠井線等
- 2 桑の發芽早く春蠶が多い
- 3 もと東海地方との連絡は木曾山脈を越えてゐたが、今は中央線方面が主である
- 生絲の生産分布 (各點五千貫)
- 同 (府縣別)



湖脚にあり、製絲業の盛なこ  
と全國第一で、我が養蠶地帯  
の中央に位し、各交通系によ  
り比較的容易に原料を集め  
ることができ、(ハ)伊那谷  
は養蠶行はれ飯田がその中  
心である。(九)木曾谷は峽谷



と森林の美とで知られ  
てゐる。福島は谷の中  
心である。鳥居峠と馬  
籠峠とが兩關門をなし  
てゐる。  
(二)飛驒高原は南部は

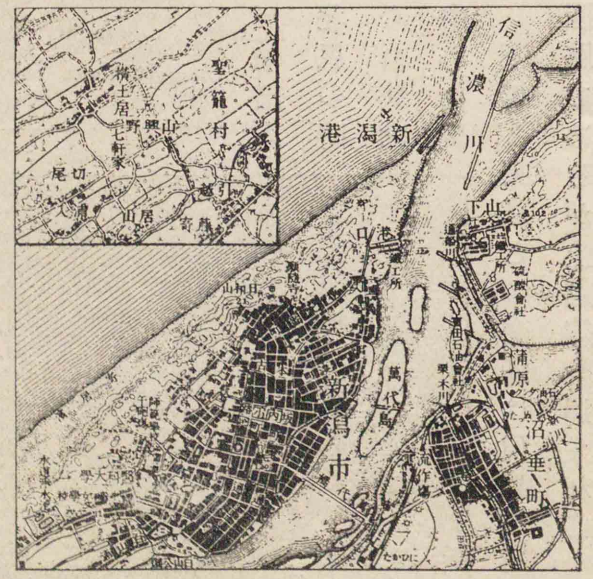
1 春慶塗・二位細工の特産がある  
五八〇米

【新潟】  
● 木曾谷 (陸・湖)  
狭い谷と福島町と御料林があらはれてゐる

● 新潟 (陸・湖) 七萬五千分の一  
● 梨の産地聖籠 (セイロ) 村 (陸・湖) 七萬五千分の一  
砂丘の附近に梨園がある

2 新潟市の一部

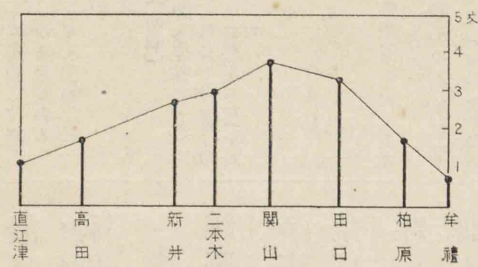
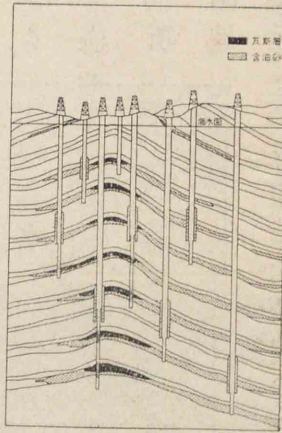
濃尾平野北部は富山平野と交渉が深い。高原には高山と船津及  
神岡鑛山がある。西部の庄川上流には隔絶された白川村がある。  
北陸地方 (一)  
越後平野は米産が極めて多い。  
梨は砂丘列と河畔に産する。石油は西山・東山・新津等の油田から産し、西山最も盛である。製油所は何れも油田地方に比較的接近した所即ち柏崎・沼垂等にある。山麓の都邑五泉





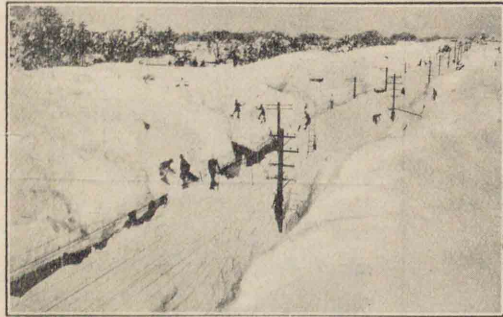
- 1 上布・越後縮・透綾(スキヤ)類
- 2 髷大・髷校
- 3 高工
- 4 油井断面
- 5 西山油田(陸測)油井の配置が略併行した二線になつてゐる

三・小千谷  
十・町等は  
絹・綿麻等各  
種の織物を  
産する。新



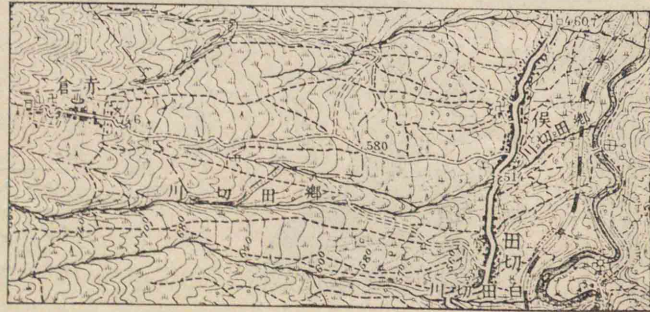
濁市は古い開港場であるが輸出入は盛でない。港は浅く、西北風の時がある。下越の今一つの中心は長岡市で、商取引が盛である。下越と東京との交通は信越越何れの線によるも共に迂回路であるが、上越線全通すれば對角線の最短距離となるので長岡も新潟も時間上東京に接近することになる。上越の中心は高田市で、直江津は本州横断

- 赤倉のスキー場(陸測)線路には雪除けトンネルがある
- 1 洪水の害はある
- 2 高校・薬學専門
- 3 銅器・漆器を産する、高商
- 4 東岩瀬は富山に近いが取引は盛でない
- 5 海岸には屢氣樓が現はれる
- 高田の深雪



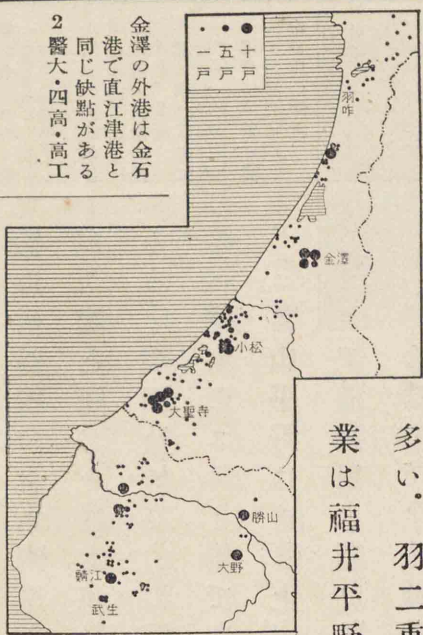
鐵道信越線が日本海岸に達した好位置にあるが新潟と同じく日本海岸の港の缺點をもつてゐる。高田及妙高山の裾野の赤倉等の深雪地帯は絶好のスキー場である。

(二) 富山平野は地形上山から出た水を分流して灌漑用水網を發達させるのに適してゐるので全平野殆んど水田になつてゐる。吳羽丘陵から東の平野の中心は富山市で神通川に臨み、西の中心は高岡市で庄川と射水川との間にある。伏木港は米の移出港である。富山の賣藥行商人は全國のみでなく海外までも及んでゐる。養蠶製絲絹機業が行はれる。富山灣は漁業盛で氷見魚津



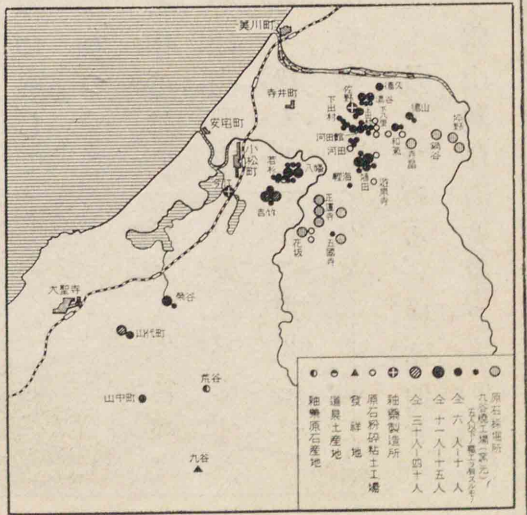


- 1 輪島の海士(アマ)町からは軸合島(ヘクラジマ)に定期間の出稼漁業をする
- 【石川】
- 九谷焼の生産地
- 福井石川兩縣下の羽二重の生産地
- 羽二重の生産分地
- 布(各器大百萬圓、小十萬圓)



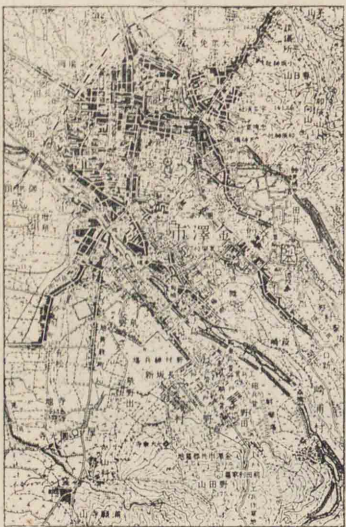
金澤の外港は金石港で直江津港と同じ缺點がある  
2 醫大・四高・高工

の漁港がある。石動山脈中に古戰場俱利伽羅峠がある。  
三 能登半島の輪島は漆器を産し、七尾は開港場で邑知潟地溝帯に通ずる鐵道で北陸線と連絡してゐる。  
四 加賀平野も面積に比し水田が多い。羽二重富士絹機業は福井平野と共に盛



で大聖寺小松から金澤に及んでゐる。九谷焼は九谷に始まり後北に延び小松の東方が盛んである。金澤市は北陸

- 1 白山火山脈に屬する
- 2 深雪地である
- 藤島神社・高工附近に永平寺がある
- 金澤の地形
- ▲ 段丘と市との關係を見よ
- 4 鳥子・奉書紙を産する
- 福井
- 金澤(勝・測)



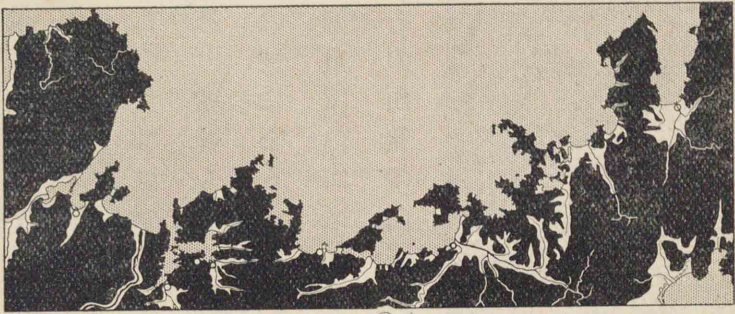
第一の大都會百萬石の舊城下町、絹織物の外漆器陶器等の美術工藝品を産する。市の大部は犀川と淺野川との段丘上にあり、城址も兼六公園もその末端の形勝の地にある。山代山中は北陸の名高い温泉で、白山は夏季信仰登山者が多い。その西麓の白峯附近は雪の深いのでよく知られてゐる。



(五) 福井平野及大野盆地は我が國に於ける羽二重機業の最も盛な地方で、福井市と大野及勝山が中心で、福井市の外港は三國港である。日野川の谷には武生、鯖江がある。舊道に木芽峠、新道に椽木峠がある。つて北陸地方の門戸をなしてゐる。



(六) 若狭灣沿岸



木芽峠から西南は地形・人文共に北陸地方と全く様式を異にする。各小灣頭の砂濱に各地方の中心聚落がある。敦賀・灣頭の敦賀・小濱・灣頭の舞鶴はその適例で、京都府に屬する舞鶴・灣頭の舞鶴及新舞鶴・宮津・灣頭の宮津も同一の様式に外ならない。これ等の聚落を連絡するのが小濱線である。敦賀は本州地峽部に發達した港で、裏日本最良の開港場である。殊にウラジボストクとの間に定期の航路開け、露國との關係密接で、且つ歐亞聯絡の幹線に當つてゐる。

(七) 佐渡は古くから金山で知られ、相川はその鑛山町である。

産業

越後・濃尾・富山の三平野は全國に於ける有數の米産地である。表日本は麥作多く、裏日本は積雪の關係上殆んどこれを缺いてゐる。中央高地の山間諸盆地及濃尾平野附近に於ては桑畑が最も多く我が國の養蠶地帯の中樞をなしてゐる。従つて製絲業もこの地域に盛で、岡谷を第一とし長野縣に盛に行はれる。絹機業は福井を中心とし北陸の西部に一地域をなし、郡内山地には甲斐絹織が發達してゐる。

- 米の生産分布圖 (二四頁)
- 大麥の生産分布圖 (二六頁)
- 小麥の生産分布圖 (二七頁)
- 桑畑の分布圖 (二八頁)
- 繭の生産分布圖 (二九頁)
- 生絲の生産分布圖 (六〇頁)

- 茶の生産分布圖 (五一頁)
- 和洋紙の生産分布圖 (五〇頁)
- 金・銀の生産分布圖 (三五頁)
- 銅の生産分布圖 (二九頁)

表日本では氣候溫暖で、排水よく、日射の強い傾斜した臺地又は丘陵地を利用して、茶・蜜柑の栽培が盛である。中央高地は山地ゆゑ、木曾・赤石の山中及飛驒等では林業本位の生活をなす者が多く、木材を川及鐵道により製材地に運搬する。洋紙は富士山麓の森林に端を發し、駿河半紙・美濃紙は暖濕な氣候の山地に於ける楮・三桠の成育に依つて發達してゐる。越後地方の油田は我が國の最も重要な地帯で、又古い岩石からは佐渡の金・神岡の銀・亞鉛・久根の銅



●鯉の集散地圖 (五二頁)

●陶磁器の生産分

●布圖 (五四頁)

●漆器の生産分布

●主要街道圖 (二二三頁)

●(三一頁)

1 承久の變、元弘の變、戊辰の役の如く兵を東西に動かす時は常にこの三道から併び進んだ  
2 ただ變化としては中央線が諏訪以東では中山道を捨てて甲州街道により、東海道線が名古屋以西に於て東海道を關西線に譲り中山道に沿うて關ヶ原狹隘を西に向つてゐる

尾小屋の金等の金屬が出る。太平洋の鯉は焼津清水沼津伊東に集められて鯉節となり、日本海の烏賊その他は富山灣の魚津その他に集められて鯉等となり、海の遠い中央高地の諸盆地では養鯉業が行はれる。名古屋は最新式の工業地帯で、濱松亦工業市たらんとしてゐる。在來の國産である陶磁器は陶土の豊かな瀬戸・九谷に始め産してその附近に擴がり、漆器は静岡・輪島で産する。

交通

南北兩海岸道路として東海道と北陸道(北國街道)と之に併ぶ中央の山間縦貫路の中山道との三幹線街道が古來東西の連絡に使はれた。外に中山道の補助として甲州街道がある。

その難所は東海道では箱根大井川及熱田桑名間の渡等で、北陸道では親不知俱利伽羅峠木芽峠等である。中山道は碓氷峠和田峠鹽尻峠馬居峠馬籠峠關ヶ原狹隘等を越え甲州街道は小佛峠笹子峠富士見等を越えねばならぬ。

鐵道の東海道線北陸線中央線の三幹線は略舊街道に沿うて縦貫してゐる。三幹線の内東海道線は我が國の最初に開通した長

●人口の分布圖 (巻頭、三四頁)

距離の鐵道で、現在でも最も重要視されてゐる幹線である。横斷鐵道としては信越線があり、上越線が全通すれば著しく距離を短縮する。航路は伊勢海駿河灣の要港から海外に通ずるが、横濱神戸を經由の巨船は殆んど寄港しない。日本海岸は港は少くないが、平直な砂濱と冬の西北の卓越風とのため碇泊困難のものが多く、對外的に最も價值あるものは敦賀港のみである。

商業

東京と大阪との商圏の接觸點は東海地方では濱松、北陸地方では親不知、中央高地では鹽尻、松本、諏訪附近である。新興の名古屋は新にこの間に勢力圏を確立して所によつては大阪よりも寧ろ名古屋と東京との對立をなしてゐる。

貿易は名古屋は陶器、清水は茶を輸出し、敦賀はシベリヤと取引する。その他は少額で、大勢は輸出入共横濱・神戸の後背地である。

人口密度

密度は東海地方が最大で、北陸地方これに次ぎ、中央



高地最も小である。濃尾平野及越後平野は農業地として人口の密集した所であり、松本平善光寺平、諏訪盆地、伊那谷、甲府盆地等の如きは養蠶地帯であることが密度の大きな原因をなしてゐる。名古屋附近が最も密なのは工業地帯であるからである。

裏日本の人は勞力に餘裕があるので各種勞働のため表日本、北海道、樺太等に、殊に積雪の冬に於ては屋外勞働に適しないので乾燥氣候の表日本に季節的に出稼するものがある。

都市の人口 (單位千人)

|          |         |          |          |         |         |         |
|----------|---------|----------|----------|---------|---------|---------|
| 濱松市(九三)  | 静岡市(八四) | 清水市(四六)  | 沼津市(三六)  | 大宮町(三〇) | 島田町(三〇) | 三島町(三〇) |
| 熱海町(一〇)  | 豊橋市(八三) | 岡崎市(四四)  | 一宮市(三三)  | 瀬戸町(三三) | 武豊町(一五) |         |
| 名古屋(七六)  | 岐阜市(八一) | 高山町(一六)  | 多治見町(一〇) | 魚津町(二二) | 伏木町(一一) |         |
| 甲府市(六六)  | 谷村町(八)  | 市川大門町(六) | 上野原町(六)  | 大野町(一一) | 勝山町(七)  |         |
| 長野市(六六)  | 松本市(六六) | 平野村(岡谷)  | 輕井澤町(五)  |         |         |         |
| 下諏訪町(一七) | 大町(八)   | 輕井澤町(五)  | 高田市(三〇)  |         |         |         |
| 新潟市(二八)  | 長岡市(五三) | 三條町(二七)  | 新發田町(三〇) |         |         | 柏崎町(一五) |
| 相川町(七)   | 高岡市(四四) | 新湊町(三〇)  | 魚津町(二二)  |         |         | 直江津町(三) |
| 富山市(三三)  | 輪島町(二三) | 七尾町(三)   | 武生町(九)   |         |         |         |
| 石川縣      | 敦賀町(三二) |          |          |         |         |         |
| 福井縣      |         |          |          |         |         |         |

- (一) 水系圖を作成しその特色を説述せよ  
 (二) 中央高地に於ける主要谷と新舊交通系との關係を説述せよ

問題

- (三) 東海地方と北陸地方とを比較せよ  
 (四) 名古屋の特色を挙げよ  
 (五) 各縣としての特色を挙げよ

第三章 近畿地方

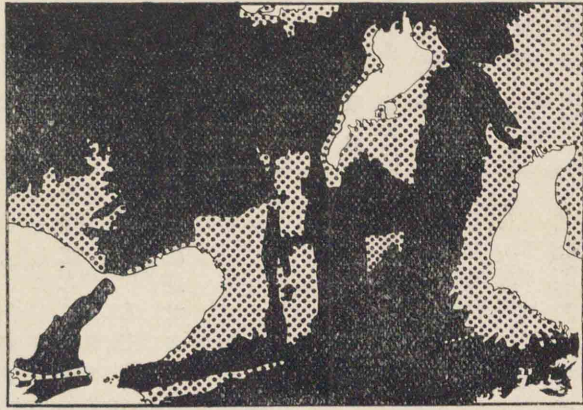
位置と地理的區分 近畿地方は京阪神を中心とした

| 府縣名  | 管轄國名               | 廳所在地 |
|------|--------------------|------|
| 三重縣  | 伊賀・伊勢・志摩・紀伊一部      | 津市   |
| 滋賀縣  | 近江                 | 大津市  |
| 京都府  | 山城・丹後・丹波一部         | 京都市  |
| 奈良縣  | 大和                 | 奈良市  |
| 大阪府  | 和泉・河内・攝津一部         | 大阪市  |
| 兵庫縣  | 攝津一部・丹波一部・但馬・播磨・淡路 | 神戸市  |
| 和歌山縣 | 紀伊大部               | 和歌山市 |

人口分布から見ると東京よりも京阪が我が國の中心になる。それは古來久しく我が文化の中心であつたためである。この地方は地理的に大別すると北部山地、中央低地、南部山地の三區となる。その内北部山地は中國地方の延長と見るべく、播磨平野は山陽地方、但馬地方は山陰地方の様式である。若狭灣沿岸は北陸地方の一部にまで及んでゐる。南部山地は紀伊半島であつて和歌山縣、紀伊國の外奈良・三重二縣の南部を含んでゐる。南四國と同様式である。而して中央低地が純粹の近畿の様式を代表する。但し伊勢平野は中部地方との漸移地帯である。



●近江盆地の地形  
圖 (七七頁)  
●近畿の地壘と盆地と湖海



**地形** 中央低地は幾多の断層によつて切られ隆起した所は伊吹山脈・鈴鹿山脈・布引山脈・比叡山脈・大和高原・生駒山脈・金剛山脈・淡路島等の地壘をなして南北に長く横はり、陥没した所は近江盆地・京都盆地・伊勢平野・伊賀盆地・奈良盆地・大阪平野等の諸盆地をなしてゐる。

近江の盆地は堆積が進みつゝあるが低所には今尙水を湛へて琵琶湖がある。京都盆地にも大きな湖の名残と見るべき巨椋池が残つてゐる。大阪陥没地は半埋められて大阪平野ができ、その残りは大阪湾である。伊勢湾陥没地の伊勢平野と伊勢湾も亦同一の関係である。この外奈良盆地及伊賀盆地は完全に堆積し排水されてゐる。

近江盆地に注ぐ河は野洲川・愛知川の如く何れも琵琶湖に向つて著しく三角洲を突出して湖岸平野を造つてゐる。京都盆地の西境は断層崖でその前

●京都盆地の地形  
圖 (七九頁)

●六甲山塊及海岸  
平野の模型圖  
(八五頁)

↑人工によつて轉  
向した

●奈良盆地の模型  
圖 (八一頁)

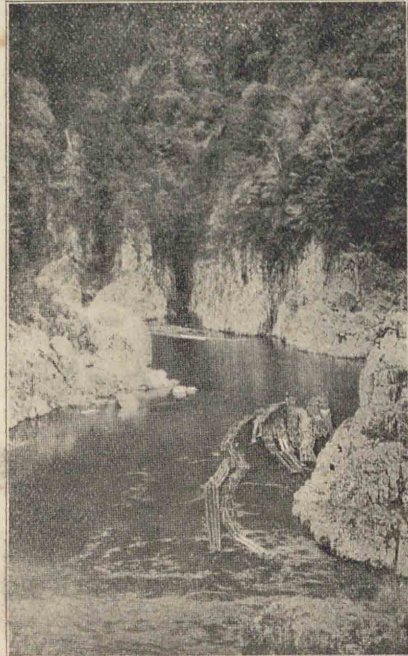
に分離した天王山がある。東境比叡山の前には東山の小地壘がある。桂川・賀茂川・宇治川・木津川等は合流して淀川となり山崎の狭隘を西に出てゐる。大阪平野の東は生駒山脈断層崖で、南と北とは和泉山脈と六甲山塊とが對立した断層によつて陥没してゐる。それを埋める軸は淀川である。大和川はもと大阪臺地の北端を迂回してゐたが今はその頸部を切つて直ちに灣に注いでゐる。六甲山麓の海岸平野は天井川が三角洲を造り、これ等の複合からなつてゐる。伊賀盆地の水は木津川となつて西流する。奈良盆地は東に明かな断層崖があり、大和川は盆地の諸水を集めて狭隘によつて生駒山脈を切つてゐる。

北部山地は中國高原の續きの丹波高原が主で、その間に比叡山・六甲山及奥丹後半島の如き地塊と龜岡盆地の如き谷とがある。播磨平野は播磨灘の陥没に沿うて在る。



南部山地即ち紀伊半島は赤石山脈から四國山脈に續く山地が東は伊勢海口と熊野灘、西は紀伊水道の陥没によつて三角狀に切り離された紀伊山脈で、中央低地との境は橿田川・高見峠・紀川を結ぶ線である。橿田川・紀川の縦谷に對し、十津川・北山川の合流した熊野川は横谷をなし、そこに景色のよい瀨八町がある。

瀨八町の峽流



海岸 紀伊半島の東西兩岸は若狹灣沿岸と共にリアス式の沈降海岸である。大阪灣伊勢灣及播磨灘沿岸は砂濱つづきである。紀淡海峽と鳴門海峽とは和泉山脈から淡路島の南部を経て讃岐山脈に連絡する山脈の低下沈水のために生じた狭い海峽と島嶼と岩礁との部分である。

氣候

中央部の大阪灣及播磨灘沿

一三七八米  
2 綿絲・萬古燒を産する

【三重】

●敦賀の氣候

(四九頁)

●京都・大阪・潮脚の氣候

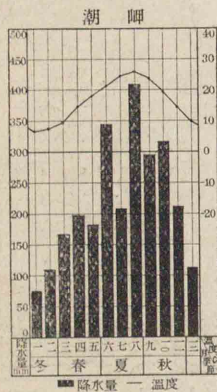
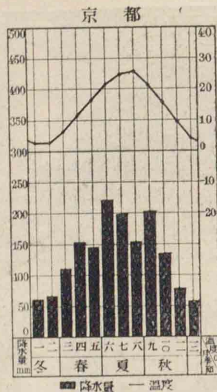
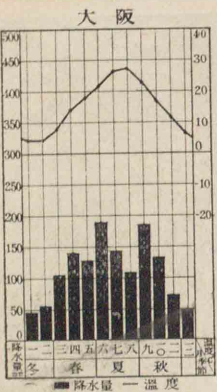
岸は瀨戸内式氣候で、伊勢平野は表日本式である。京都盆地は稍寒暑の差が甚しいが、近江盆地は琵琶湖のため幾分和いである。北部山地の日本海沿岸は裏日本式で冬雪が多い。近江盆地の北半の如きもその影響を受けてゐる。南部山地の南斜面は純然たる表日本式で夏雨が極めて多い。

處誌

中央低地 (一) 伊勢平野は橿田川・宮川等の三

角洲から成り米・菜種を産し、臺地からは茶が出る。舊東海道は龜山から鈴鹿峠を越え草津に向つてゐるが、關西線は加太越をなして伊賀盆地に入つてゐる。龜

山は參宮線の分岐點である。四日市市は名古屋に近い開港場で棉花を輸入し、綿絲・綿布を輸出する。桑名は揖斐







●宇治山田市(陸)  
 内宮は神路山の麓五  
 十鈴川の畔にある

【滋養】  
 ●伊吹山とその麓  
 1 高農  
 綿糸・絹布等を  
 産する

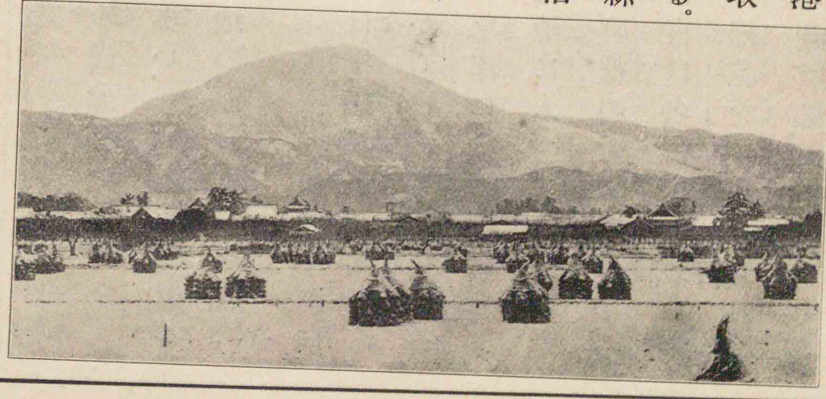
2 關西線はその北  
 を十津川に沿う  
 高商

政の中心、松阪は木綿織を産する。宇治  
 山田市は伊勢神宮のある神都で、海岸に  
 は二見浦がある。(二)伊賀盆地は伊賀一國  
 の主部をなし、上野はその中心である。

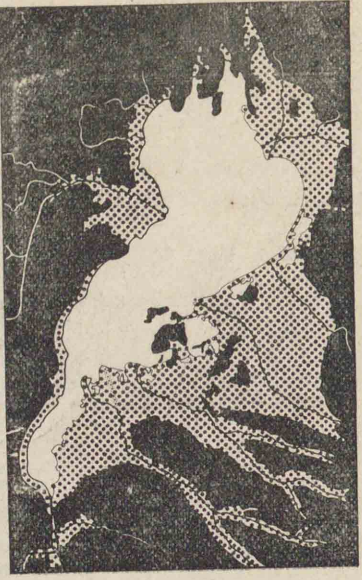
(三)近江盆地 湖東の中心は彦根である。

その南に信長の根據地安土がある。この盆地は伊勢  
 海から敦賀灣に至る地峽部の陥没で、地壘をなす伊吹鈴  
 鹿の二山脈及北部山地は自然の障壁をなし、そこに不破  
 關・鈴鹿關・愛發關の所謂三關が置かれて、三道を扼し、更に  
 京都に入る所に逢坂關があつた。琵琶湖脚の瀬田川(勢  
 多川)の瀬田及びその北に聳ゆる比叡山は昔時京都に  
 對する軍事上の要地であつた。

河口の港  
 で米の取  
 引がある。  
 津市は縣

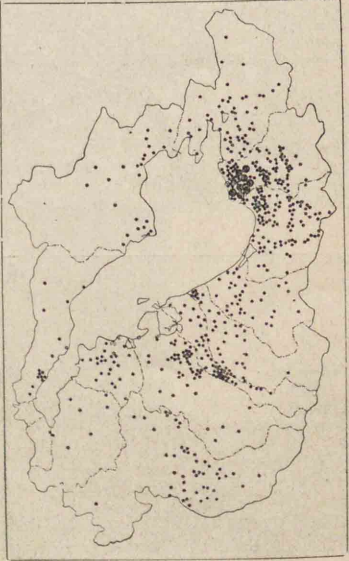


●大麥小麦の生産  
 分布圖(二六頁)  
 ●近江盆地の蒲の  
 生産分布



八幡は麻蚊帳の産地で、日野  
 は所謂近江商人の郷里である。

湖北は  
 麥作に  
 適しな  
 いため  
 養蠶が盛で、その中心は縮緬の産で聞えた  
 長濱である。湖南の中心は縮緬の産で聞えた



て湖上水運の軸であ  
 り、縣政の中心である。  
 琵琶湖は我が國第一  
 の大湖で、湖面の高さ

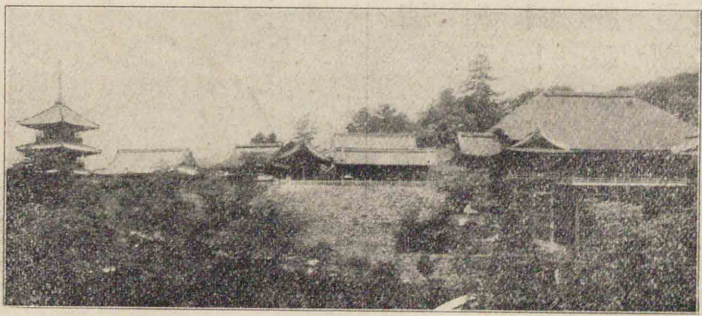
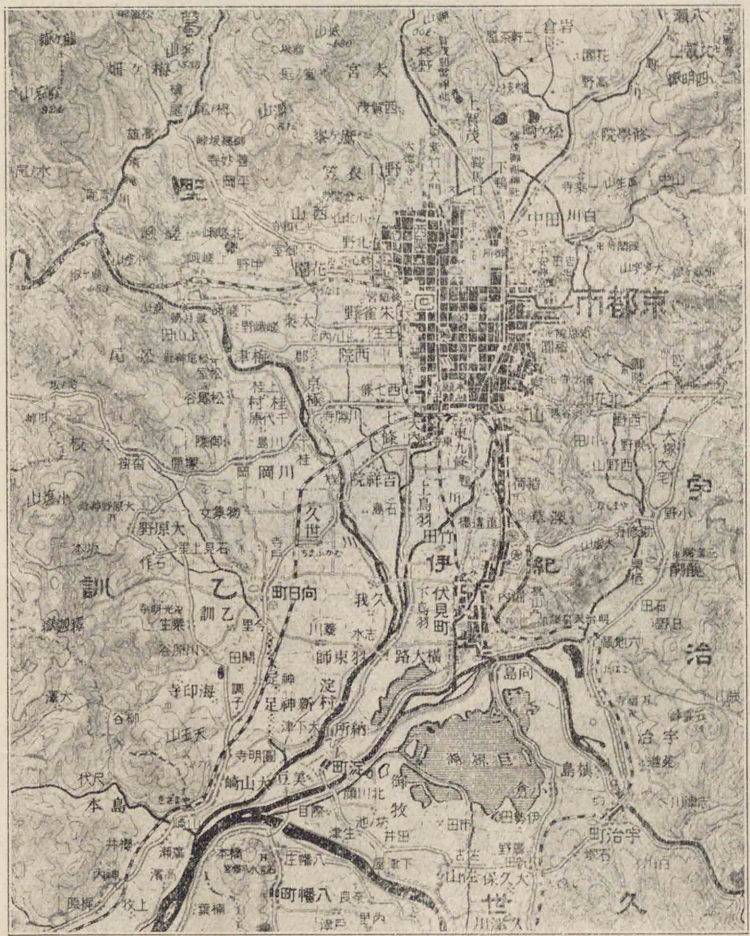
●近江盆地の地形  
 ●近江湖南地方(時雨)廿五分の一



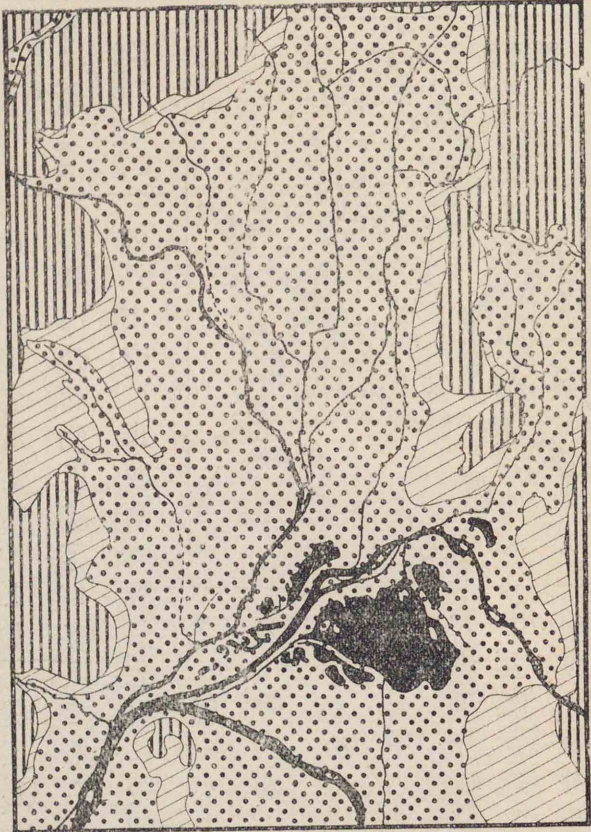
1 落差は四五米

八五米、大津から疏水が京都に通じてゐる。

湖畔に近江八景の美



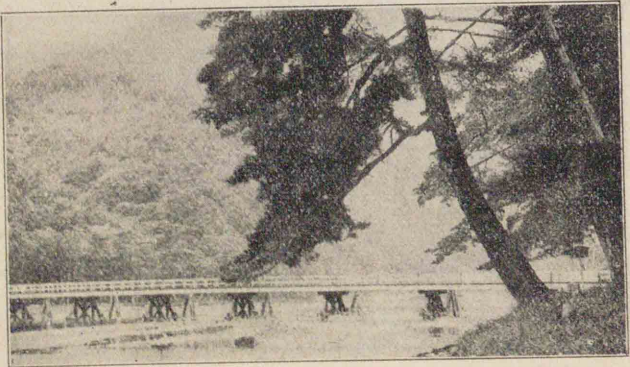
●京都盆地(陸測)廿五分の一  
清水寺



●京都盆地の地形  
●嵐山  
清水と共に京都の代表的な景色である  
1 帝大・府立 醫大  
三高・高等工藝  
高等蠶業・繪畫  
専門

關西學術の中樞である。友禪染西陣織清水  
焼等は純日本の美術工藝を代表してゐる。  
桓武天皇奠都の地は南面した盆地床の略中

がある。  
四 京都盆地 京都市は千  
餘年間の帝都で、今尙即位の  
禮はこ  
の地で  
行はれ  
る。舊  
文化の  
中心地  
で、今も





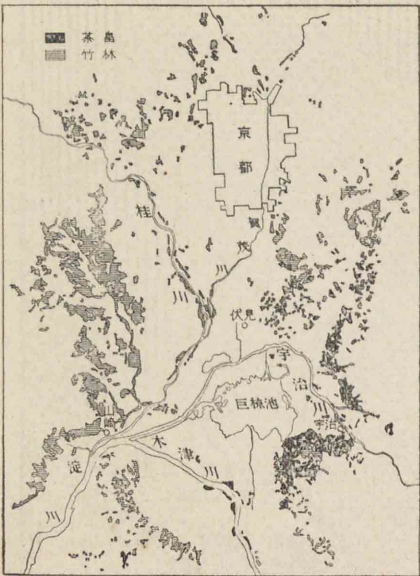
【京都】

1 伏見町がある  
2 宇治川の台戦の  
あつた所

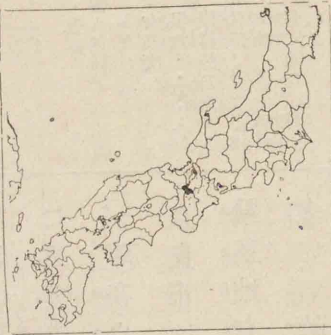
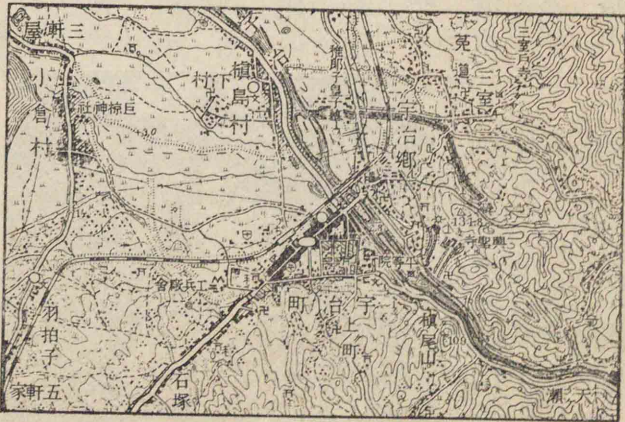
● 宇治(陸通)

● 京都盆地の茶畑  
と竹林

▲ 地形圖の臺地と比  
較せよ



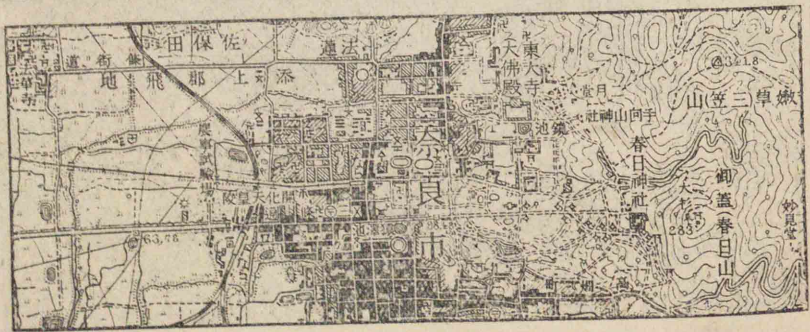
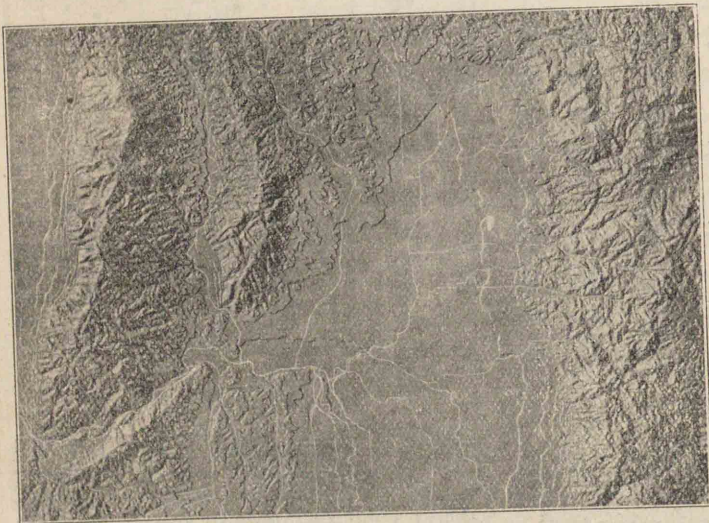
央であつたが、今はその西半は荒廢し東  
北に延び、殊に賀茂川の東方東山の麓は  
都の東郊で神社佛閣の靈地であつたた  
めその後名所舊蹟地として發展し、清水  
寺圓山公園知恩院等が有名である。そ  
の外市中に東西兩本願寺、北山に金閣寺、  
西に嵐山があり、  
東山の南端、平野  
に臨む所は秀吉  
の伏見城のあつ  
た所、今は桃山御陵がある。宇治は宇治  
川の平野に出る要所で、又水力發電所があ  
る。山崎の狹隘は北に天王山、南に男山、八



● 玉露茶の生産分  
布 (各點五百畝)  
近隣の茶は主に良質  
な玉露である  
● 奈良盆地の模型  
● 奈良(陸通)

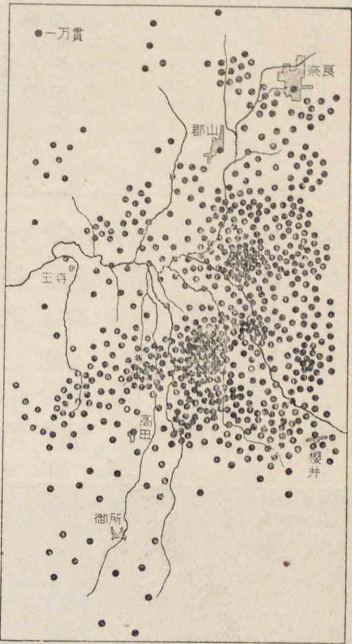
1 もとは山背(ヤマシロ)と書いた

茶畑、西は竹林  
に利用し、宇治  
の名茶と京都  
の筍を産する。  
この盆地は山  
河襟帯自から  
城をなし山城



幡の丘があり、中央を淀川が流れ要  
害の地である。盆地周縁の臺地は  
礫層  
から  
成り、  
東は





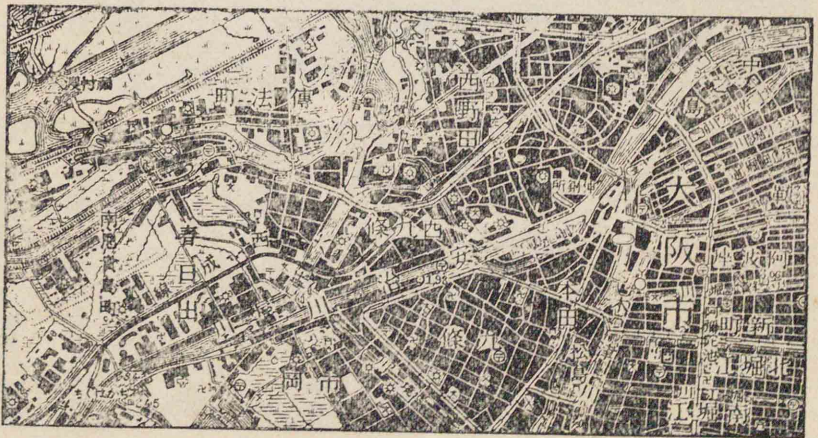
と改名せられた所である。  
 (五) 奈良盆地  
 の北部に南面して都が設けられたが、今は

●大和西瓜の生産分布  
 ●大阪(陸・灘)

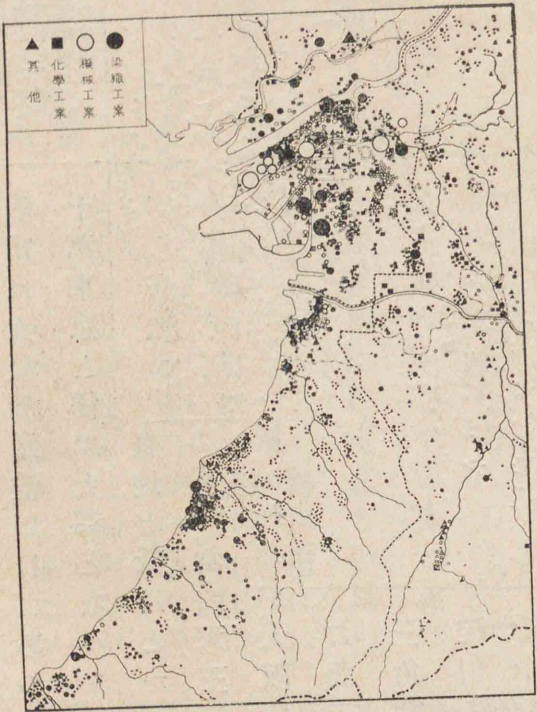
【奈良】

1 女高師  
 根来塗・墨・人形漆器等を産する  
 法隆寺・長谷寺・多武峰の談山神社等の名勝古蹟がある

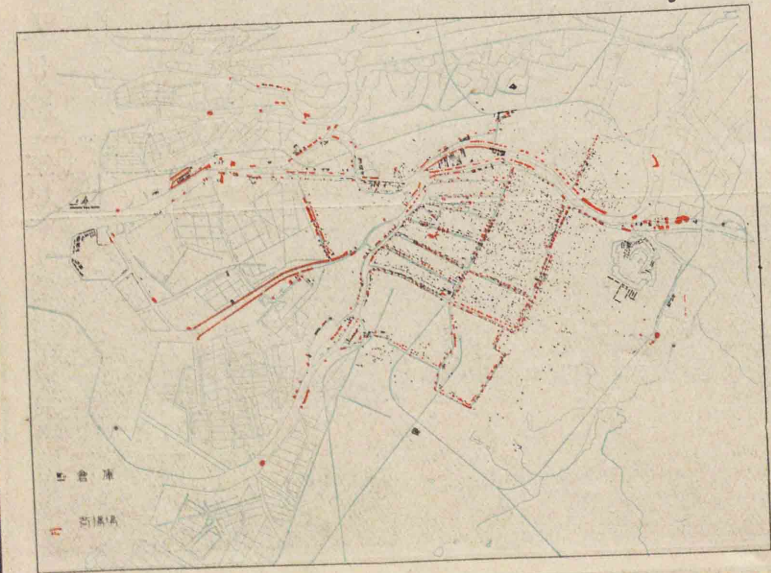
條里と寺とが残つてゐるのみである。當時の東郊で山を負うた地に建てられた東大寺(大佛)正倉院興福寺春日神社等が現奈良市の主要部分をなしてゐる。奈良市はこの盆地の中心聚落である。飛鳥地方及附近に古い都の跡と御陵が多い。畝傍山麓には神武天皇の御陵と



盆地の中に畝傍山耳成山・天香具山の大和三山が立つてゐる  
 ●大阪の倉庫及荷揚卸し場の分布  
 殊に水運の便な所に密集してゐる  
 ●大阪府下の工場分布

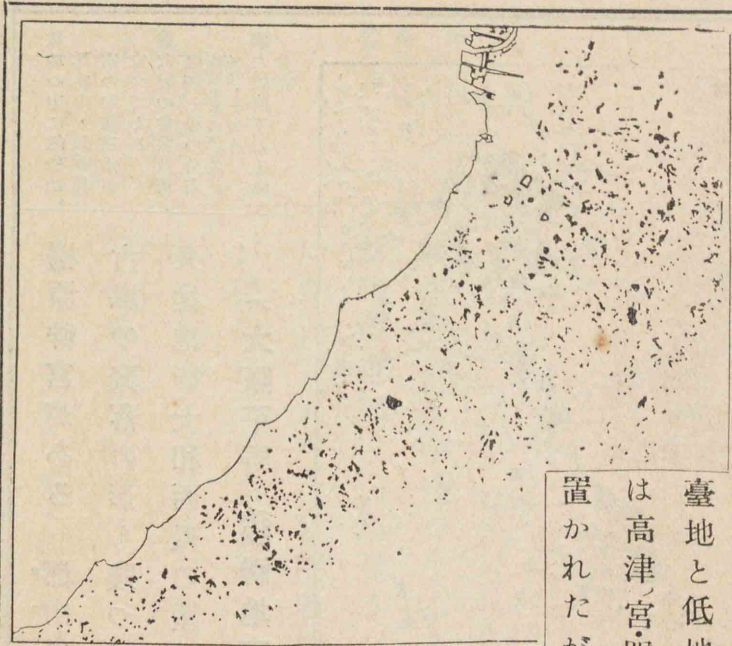


檀原神宮がある。郡山は名邑である。盆地の道路は條里正しく古風の聚落の形も残つてゐる。又盆地は大和西瓜の産出が多い。  
 (六) 大阪平野 (阪神地方) 大

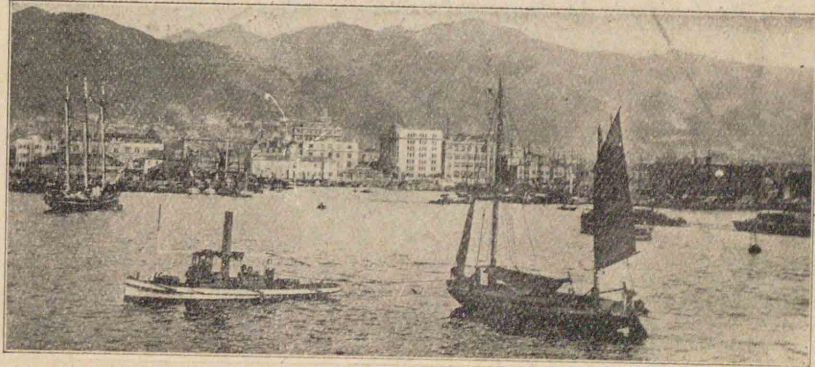




【大阪・兵庫】  
●海上から見た神戸市と六甲山の分布  
●和泉地方の溜池



阪市は大阪灣頭淀川口にあつて人口約二百十萬東京と併ぶ大都となつた。市の地形は臺地と低地とから成り、臺地には高津宮、四天王寺、大阪城等が置かれたが、大阪の生命となつた商業區は低地の三角洲に發達した。淀川には安治川、尻無川、木津川、新淀川等の分流があり、水の都橋の都と呼ばれ、運河網よく發達し、荷物の揚卸し場



醫大・商大・高校・高工・外語造幣局がある

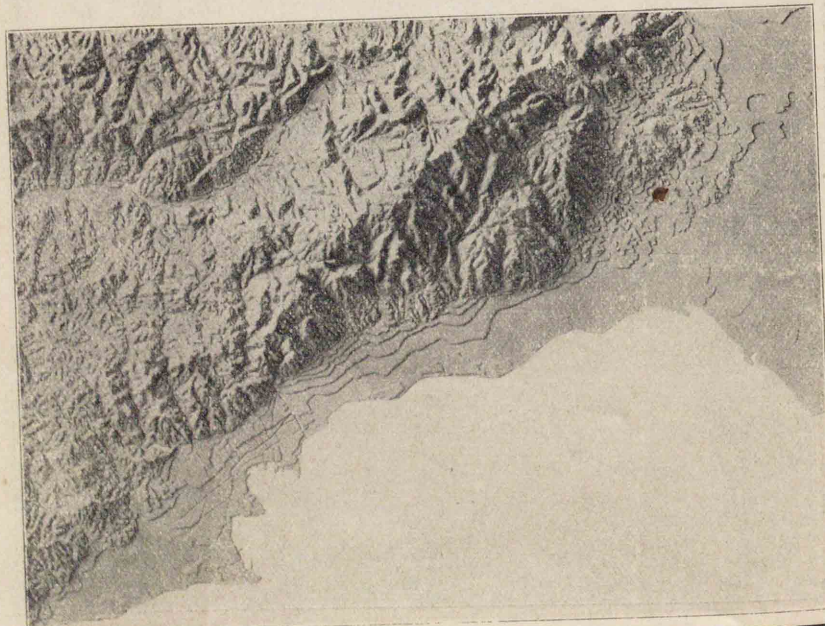
1 綿絲・綿布は殊に盛である

●六甲山塊と海岸平野の模倣

2 高商・高工・高商船

倉庫等が岸に竝んでゐる。

大阪は又煙の都で工場の数多く種類も亦極めて多く、西は尼崎、神戸、南は堺、岸和田まで延長してゐる阪神工業地帯の核心をなしてゐる。内地商業の中心であると共に外國貿易、殊に支那との取引が盛である。神戸市は六甲山塊の南麓で、湊川、生田川の三角洲及和田岬の地を占め、西に兵庫港、東に神戸港がある。神戸は横濱と併ぶ貿

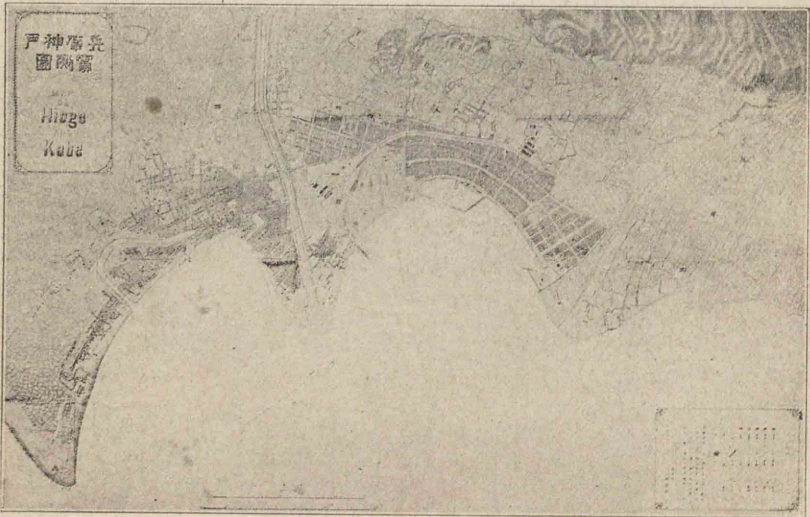




明治九年實測の神戸(陸) 神戸(海) 兩圖に於て淡川及生田川の河道を比較せよ(七萬五千分の一) 川崎(舊淡川口) 三菱(和田岬) 兩造船所 船の出入の最も多い神戸に必ず伴ふべき工業である



易港で棉・鐵等の輸入で優れ、工業品は綿絲・マッチ・樟腦等に特色がある。又巨船艦を製造する造船所がある。東郊の御影・西宮市は所



- 1 醸造に用ふる井水が真好である伊丹・池田も清酒を産する
- 2 吹田には麥酒工場がある
- 3 一の谷の古戦場がある
- 4 木綿・双物・セルロイド等を産する
- 5 總絲・綿布
- 6 柳行李
- 7 銀・銅を産する

謂灘と稱する我が國で最も有名な清酒の産地である。西部の須磨は氣候良好、白砂青松、古蹟に富み、阪神の休養地帯の標式的の地である。尼崎市は阪神二都の連鎖をなす工業市で、阪神兩港と船の便がある。堺市はもと足利時代の貿易港、今は岸和田市及和泉山麓の村落と共に阪神工業地帯の南部を形成してゐる。和泉地方では水田灌漑のため溜池が著しく多い。

北部山地 (一) 主體山地の由

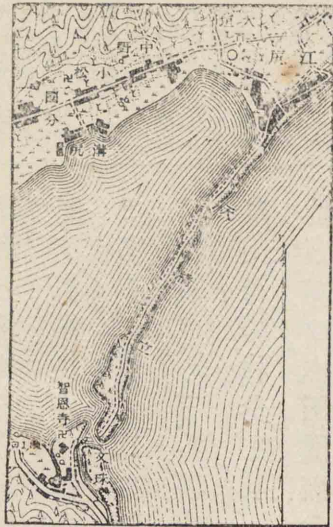
良川の谷に福知山・綾部・加古川の谷に篠山・保津川の谷に龜岡・園部・朝來川の谷に豊岡・和田山・出石等があり、奥丹後半島には縮緬産地の中心峯山があり、播但の境に生野・鑛山がある

住吉陸(海) 大甲山塊の斷層崖に於ける水車谷(もとは盛に醸造用の米を搗いた、寒天製造地、環状地帯の三角洲、天井川を横さる鐵道のトンネル等があらはれてゐる)





- 1 有馬温泉は六甲背後の断層線上に、城崎温泉は白山火山脈中にある。
- 2 附近に玄武洞がある、但馬の牛は神戸に送られて神戸牛となる。
- 3 高橋
- 4 革細工を産する
- 5 陰陽連絡線で市川から生野鞍部を経て朝来川へ一直線に通じてゐる。



り、各溪谷にかく小中心地が發達してゐる。有馬城崎には温泉がある。(二)若狭灣沿岸 舞鶴東灣が海軍用地となつてから西灣頭の舞鶴の外に東灣頭に中舞鶴と新舞鶴とが發達した。舞鶴は日本海方面唯一の海軍根據地である。宮津灣頭に開港宮津があり、附近に天橋立がある。(三)播磨平野は市川加古川揖保川千種川等の下流平野で、中國の山陽式の景觀を備へてゐる。海岸は白砂青松で、室津以西は多島海となり純瀬戸内式となる。千種川三角洲上の赤穂鹽田の鹽は古來良質で知られてゐる。平野の中央に姫路市があり、山陽線から播但線が岐れてゐる。明石市は景色もよく工場もある。龍野は醬油を産する。淡路島には紀淡海峡に近く由良洲本があり、鳴門海

●天ノ橋立(陸奥) 南流する沿岸潮流によつて天ノ橋立の松を頂いた砂嘴が長く突出し與謝の内海を抱いてゐる。

●赤穂の鹽田(海)

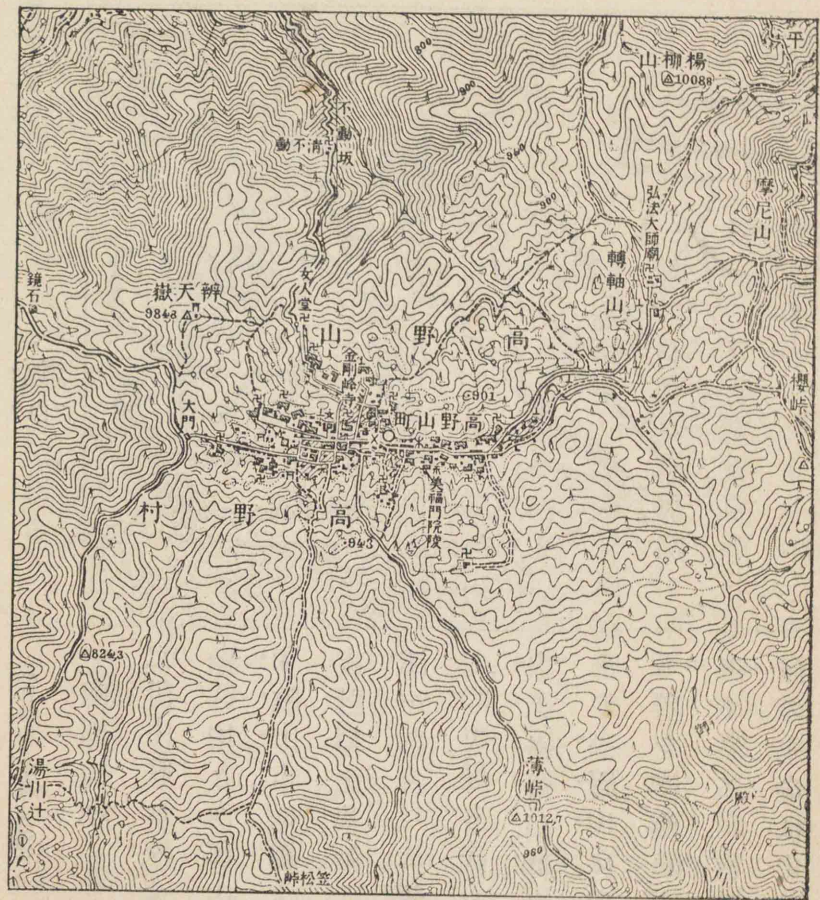
峽に近く福良がある。



【和歌山・奈良・三重】

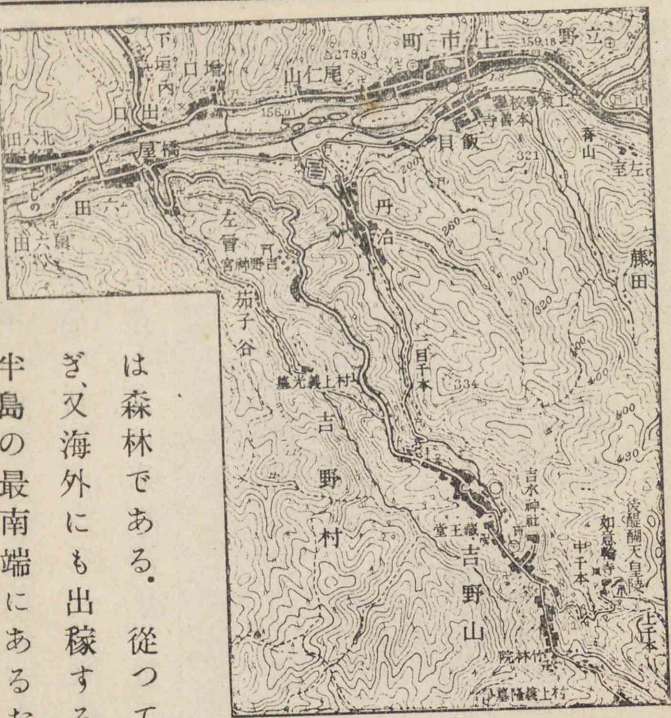
南部山地 (一)紀川の谷は和泉山脈と紀伊山脈に挟まれた狭長な地溝帯で、中央低地と南部山地との漸移地帯である。和歌山市は綿ネルの創業古く、紀川口は吉野杉を集散する。市の南郊には和歌浦がある。(二)紀伊山地は近畿地方としては山最も深く靈地が多い。大臺原山及山上嶽は信仰登山者が多く、金剛峯寺のある高野山は山上の平坦な小高原である所を空海によつて寺域と定められた所である。吉野川の谷に傾いてゐる山嶺の末端は史蹟に富む吉野山である。





十津川筋は外部と隔絶してゐる。吉野杉はこの地方から筏で新宮へ下される。三紀伊半島東岸の志摩半島は海蝕臺地で沿岸は沈降して溺れ谷をなしてゐるか。鳥羽灣の鳥羽的矢灣的の矢は避難港及漁港として好錨地をなし、英虞灣五箇處灣は眞珠養殖の好適地である。

●高野山(陸・湖)同高線の殊な山頂に建物配置され、同高線の密な所に登山口の峠及坂がある



●吉野山(陸・湖)  
●吉野山の櫻と尾根路  
和歌山市に高商がある

は森林である。従つて漁業に力を注ぎ、又海外にも出稼する。潮岬は紀伊半島の最南端にあるため、燈臺無線電信局があり、地頸部の串本は漁業、大島は捕鯨の根據地に適してゐる。新宮は杉材の集散

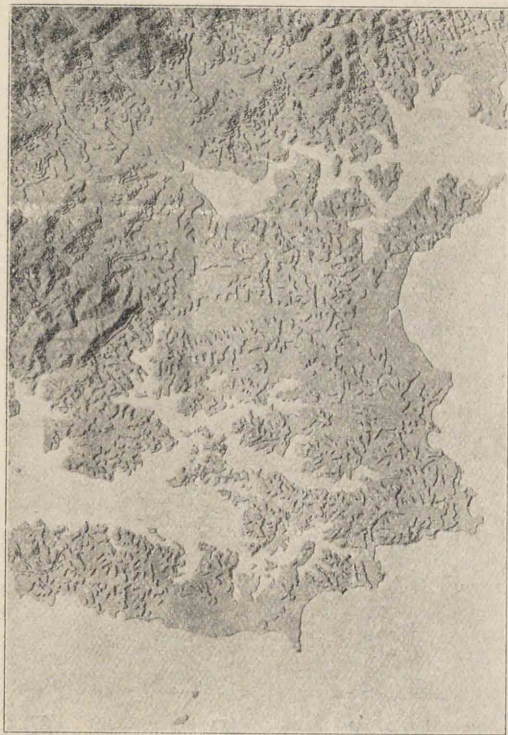
紀伊半島西岸の有田川の北の古い岩石の山地は良質の蜜柑を産し、川口の箕島はこれを集散する。

紀伊半島南岸は米作地少なく、狭い海岸段丘上に甘藷を栽培し、その他





- 米の生産分布圖 (二四頁)
- 大麥小麥の生産分布圖 二六頁
- 成牛の分布圖 (一〇四頁)
- 鹽田の分布圖 (一〇七頁)
- 志摩半島の模型

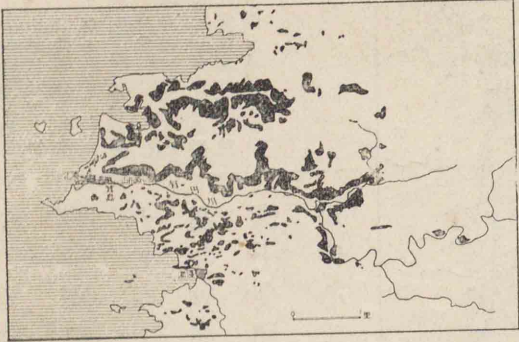


地で附近の那智山と那智瀧とは有名である。鐵道は未だ全通しなく、大阪通ひの汽船が重なる交通機關である。

**産業** 農業は中央低地が主で、南北山地は余り振はなく、殊に紀伊半島は耕地が少ない。米・麥・菜種等は伊勢・近江・大阪・播磨の諸平野に産し、茶は京都・奈良・三重三縣下の傾斜地に産し、玉露が多い。

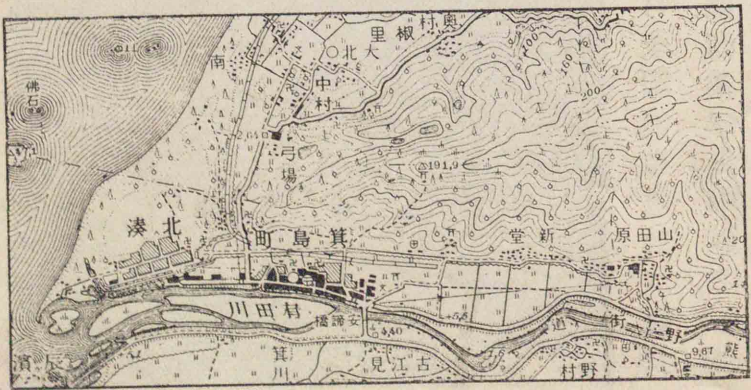
蜜柑は茶と共に東海地方に對する西部の名産地で、牧畜は但馬・淡路の地方に行はれ、中國の牧牛地帯の東端である。森林に富むのは古來「木の國」と呼ばれた紀伊と吉野地方で、水産業の盛なのも熊野灘に面する紀伊半島の沿岸である。鹽田は播磨灘沿岸にあり、

- 1. 關ヶ原・山崎・加太・大和川等の狹隘
- 箕島附近の蜜柑の生産地 (陸測) 二百米以下である
- 有田川附近の蜜柑の生産地



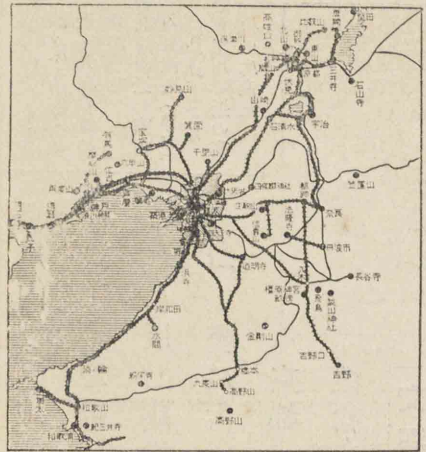
瀬戸内製鹽地帯の東端である。阪神工業地帯は我が國有數の近代式工業地帯で、大阪灣沿岸に連つてゐる。これに反し、絹織物・染物・陶磁器等の在來の美術工藝は古い文化の源泉地、山紫水明の京都に行はれる。その外各地に織物・清酒・漆器等の産がある。

**交通** 中央低地は若狹灣・伊勢灣・大阪灣の三灣入のために生じた地峽部に當るため、東海・中央高地・北陸・山陽・山陰の諸地方からの鐵道及諸街道が總べて京阪に集まつてゐる。これ等の交通路は地壘中の狹隘を巧に通過してゐる。

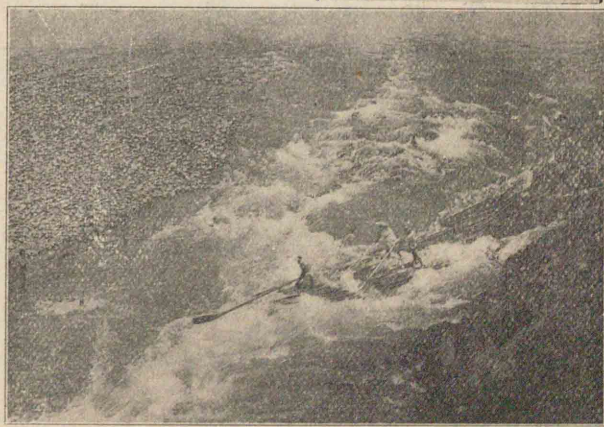




1 若狭灣海岸線は  
全通したが、紀  
勢線の全通は未  
だである  
●潮ノ岬(陸羽)廿萬  
分の一  
●吉野川の筏下し  
●京阪神中心の遊  
覽休養地帯と電  
車及鐵道網



る。又電車網の發達は  
我が國第一である。こ  
れに反し南部山地は交  
通の發達が極めて遅い。  
海上交通は神戸及大阪  
が中心で、内國航路は勿論、外國航路も悉  
くこの二港から發する  
といつても過言ではな  
い。沿岸航路は紀伊半  
島に發達してゐる。



**商業** 大阪は徳川時代に全國大名の米が取引  
された所で、當時既に我が國商業の大中心であつ  
た。今も取引上の中心としては東京に譲らない。

●人口の分布圖  
(巻頭、三四頁)

大阪の商品は廉價で實用向な點に於て全國に得意をもつてゐる。  
貿易は神戸が最も盛である。大阪は開港場ではあるが神戸を經  
て輸出入するものゝ多いのは取引の惰力による點が多い。阪神  
二港は合して一港と見られる。取引先は共に支那・南洋・印度・ヨ  
ロッパ等である。

**人口密度** 中央諸盆地は我が國の人口及聚落密度最も大きい  
地方の一つであるが、紀伊半島は最も稀小な地方の一つで、その差は  
著しい。中央低地に密なのは古來我が國帝都の地で、古くから開  
け、文化が進み、交通が至便で、商工業が進んでゐるからである。

都邑の人口 (單位千人)

|     |         |          |         |         |         |        |
|-----|---------|----------|---------|---------|---------|--------|
| 三重縣 | 津市(五)   | 宇治山田市(四) | 四日市市(四) | 松坂町(五)  | 桑名町(三)  | 上野町(八) |
| 滋賀縣 | 大津市(三)  | 彦根町(三)   | 長濱町(三)  |         |         |        |
| 京都府 | 京都市(七九) | 伏見町(三)   | 福知山町(三) | 新舞鶴町(四) | 中舞鶴町(三) | 宮津町(三) |
| 奈良縣 | 奈良市(四八) | 郡山町(二)   |         |         |         | 舞鶴町(二) |
| 大阪府 | 大阪市(二四) | 堺市(一五)   | 岸和田市(三) |         |         |        |



兵庫縣  
和歌山縣

- 神戸市(六四) 姫路市(五五) 尼崎市(四四) 明石市(三三) 西宮市(三四) 洲本町(二五) 豊岡町(一〇)
- 生野町(七) 赤穂町(六)
- 和歌山市(九五) 新宮町(四) 黒江町(一〇)

問題

- (一) 主な鐵道及街道を圖示してそれと地形との關係を説述せよ
- (二) 關東と關西とを比較せよ

- (三) 京阪神三都の特色を挙げよ
- (四) 紀伊半島の自然と人文とを説述せよ
- (五) 各府縣としての特色を挙げよ

第四章 中國及四國地方

位置と地理的區分

中國及四國地方は近畿・九州二地方の中間にある。

瀬戸内及諸海峡の陥没によつて、中國は半島に、四國は島となつたが、近畿の北部・中央・南部三帯の西の繼續であるから、中國及四國を一括して一地區とした。中國を分つて山陰・山陽との二地方とし、四國を北・四國及

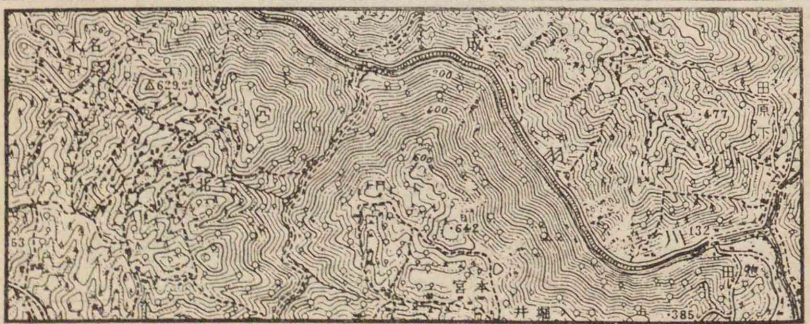
| 縣名  | 管轄國名     | 廳所在地 |
|-----|----------|------|
| 鳥取縣 | 因幡・伯耆    | 鳥取市  |
| 島根縣 | 出雲・石見・隱岐 | 松江市  |
| 山口縣 | 周防・長門    | 山口町  |
| 岡山縣 | 備前・備中・美作 | 岡山市  |
| 廣島縣 | 備後・安藝    | 廣島市  |

香川縣 讚岐  
愛媛縣 伊豫  
徳島縣 阿波  
高知縣 土佐

高松市 南四國の二地方とする。  
松山市 而して山陽と北四國とは合して瀬戸内と稱する一地區を形成する。

地形 中國山地

は古い岩石の侵蝕された一大高原であつて、余り高峻な山はない。分水界は一般に北に偏して略東西に走つてゐる。東部では南斜面に津山及勝山



●中國高原の模型  
成羽川の流域  
●中國高原(陸・湖)  
成羽川の流域  
共に谷は深いが山頂面は略同じ高さで、そこに耕地も墾殖もある。



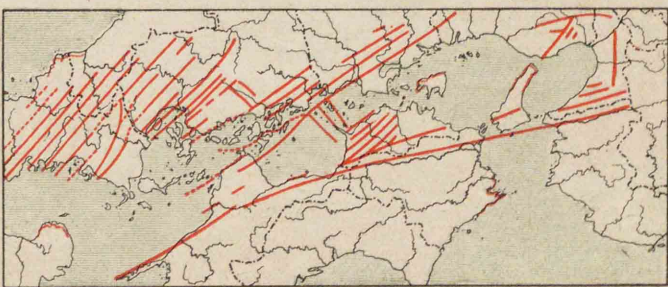
1 大山は中國第一の名山で、その北に船上山がある  
2 三朝温泉

● 出雲海岸地方の地形(一〇三頁)  
● 瀬戸内地方の斷層線

● 鳥取平野と倉吉平野との地形圖(一〇三頁)

の盆地がある。西部の三次盆地は北部斜面に屬するが、南斜面と類似點が多い。山陰に大山・三瓶山等の火山があるのは白山火山脈が走つてゐるからで、温泉も亦この線上にある。

山陰海岸地方の中央海岸に島根半島と松江低地帯があるのは著しい變化である。島根半島の地塊と本陸との間の地溝帯は斐伊川・神門川等の三角洲及夜見濱の砂嘴によつて埋められたが、宍道湖と中海とは残つてゐる。沖には隠岐群島がある。東部海岸は山地が海に迫つてゐる間に千代川・天神川・日野川等の谷が開け、川口には砂丘及潟があつて、そこに鳥取平野及倉吉平野等がある。石見長門の海岸は岩がちで、江川の川口には三角洲もない。



● 瀬戸内の標式的の景(瀬戸近)石塚省三氏筆  
● 瀬戸近(瀬戸)分一

瀬戸内 中國と北四國とはもと地續きであつたものが陥没し沈水して多島海を生じた。

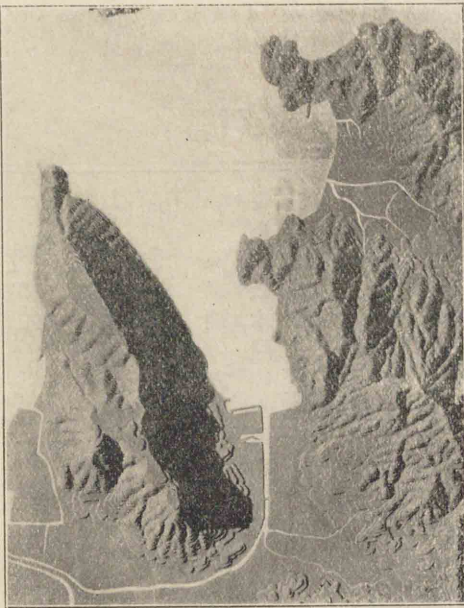
海岸線の方向、島の配列、海岸平野に於ける丘陵の配列及本陸の水系等は斷層のため略東北から西南か、或はこれと直角の方向をなしてゐる。瀬戸から今治に至る諸島の配列と直線狀の海岸線、岡山倉敷玉島に至る谷と丘陵、三次、廣島岩國に至る谷と海岸線、津和野山口小郡に至る通谷の如きは、その著しい例である。

山陽海岸地方は岡山平野が最大で、その他小低地が海岸に散在してゐるのみである。北四國の南境は四國山脈の北麓である。東部には讃岐山脈と讃岐平野とがあり、その平野の中に屋島の如き熔岩臺地がある。西部に高





●松山平野の模型  
圖(一一〇頁)  
●東豫海岸  
●懸崖陥没の時の残片  
が四國山脈の北麓に  
横はつてゐる  
●屋島の模型



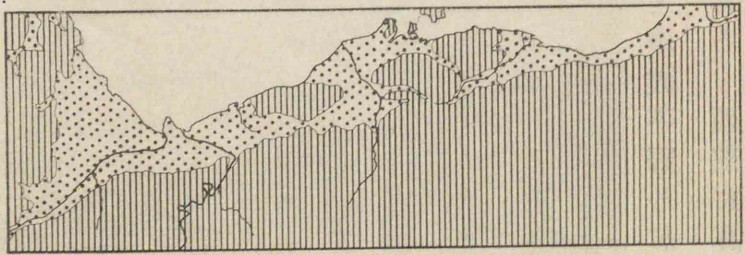
繩半島の地塊と松山平野とがある。中部は四國山脈が直ちに燧灘に面してゐる。

瀬戸内海には播磨灘・水島灘・備後灘・燧灘・安藝灘・伊豫灘・周防灘等の灘と兒島灣・廣島灣の灣入と兒島・讃岐・高繩の三半島及無数の群島がある。潮汐は東は紀伊水道及紀淡明石鳴門の三海峡から、西は下關海峡豊後水道及來島海峡から流入して備後灘で

會合する。内海は島の多いのと花崗岩の明るい山膚と、それが分解されてできた白砂の濱と、緑の松と、碧い海とが快晴の多きと相俟つて美景をなしてゐる。

南四國 吉野川平野

は狭長な地溝帯で對岸の紀川平野と似てゐる。



四國山地は四

1 仁淀川の谷にも横谷がある  
●高知平野の地形  
圖(一一二頁)  
●大崩危の峡谷

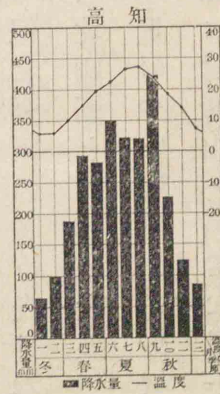
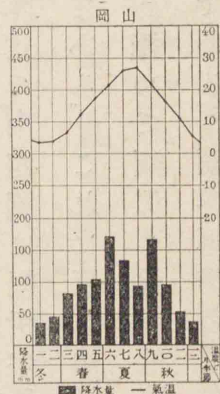
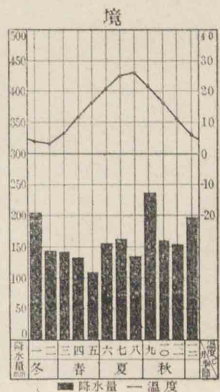


國山脈東西に走り、侵蝕が進んで起伏が著しく、石鎚山と劔山とは最も知られてゐる。東西の方向の縦谷もあれば、吉野川上流の大崩危・小崩危の如き南北の方向の横谷もある。陥没した土佐灣の頭には堆積した高知平野がある。東岸は紀伊水道によつて紀伊山脈と斷たれ、西岸の豊後水道は九州山脈と絶ち、共にリアス式の海岸をなし、東に蒲生田岬、西に佐田岬が突出してゐる。兩水道と土佐灣との間の三角状の突端が室戸岬と蹉跎岬(足摺岬)である。

氣候

山陰の氣候は北陸地方に似て、冬雪の多い裏日本式で、南四國は紀伊半島に似た夏雨の多い表日本式である。これに反し、山陽と北四國とは共に大阪平野と極めて類似し、比較的降水量の少い瀬戸内式の氣候である。夏・冬兩季の季節風に對し、山を隔てた風下



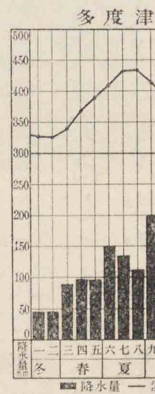


- 境・岡山・多度津・高知の氣候
- 1 高農 加露港は鳥取の外港である
- 2 木綿織・生絲を産する
- 3 中部地方
- 4 高校 瑠璃細工・出雲焼を産する

にあるからである。

處誌 山陰

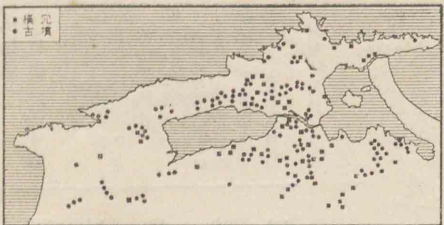
地方 (一) 東部



地方 千代川及天神川下流平野の中心として、鳥取市と倉吉とがある。(二) 出雲海岸地方 松江市は松

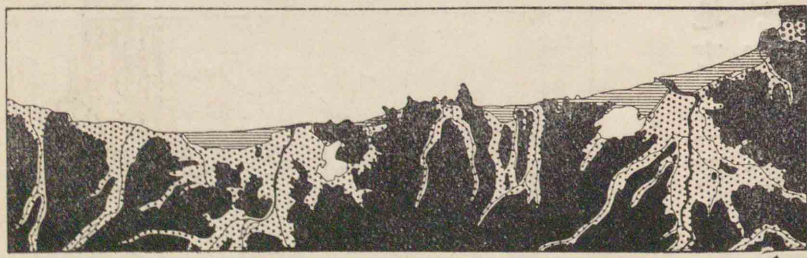
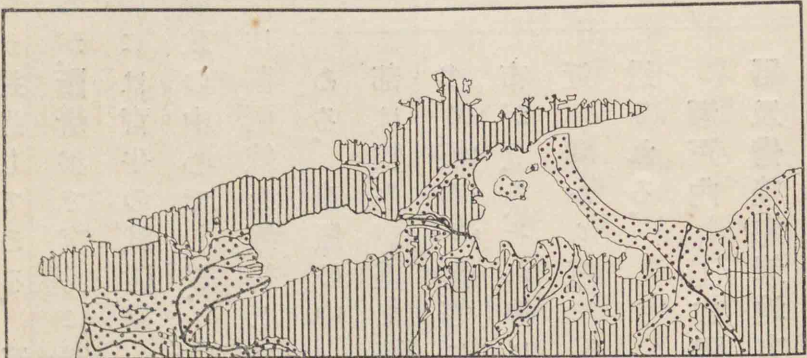
江低地帯の中央、宍道湖の水が中海へ通ずる所に臨んで、山陰文化の中心地である。夜見濱の基脚部に米子市があり、尖端に位置する開港境は昔榮えた美保、關に代つた山陰第一の港である。島根半島の西端は日御碕で、その内側の南面した山麓に出雲大社の神域がある。町名を大社といふ。今市は複合三角洲の中心地で

- 1 西部地方
- 2 開港場
- 【鳥根・山口】
- 出雲海岸地方の地形
- 鳥取平野と倉吉平野の地形
- 出雲地方の古墳及横穴の分布
- 古代の文化の進んでゐたことが想像される
- 出雲大社(陸奥) 杵築町を今大社町と改めてゐる



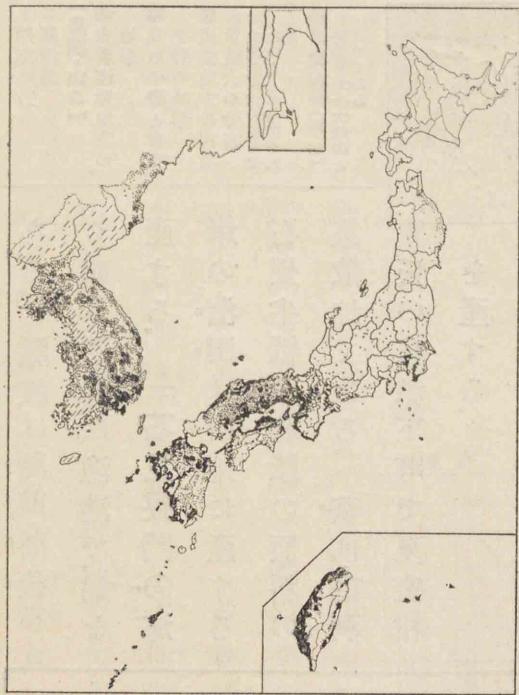
ある。隱岐は島前島後から成り、西郷は漁港で、錫を産する。(三) 石見長門の海岸の濱田は山地に産する石州半紙及和紙の原料の集散地である。萩は毛利氏の舊城下町で、夏蜜柑を産する。

中國高原及盆地 美作の二盆地には津山勝





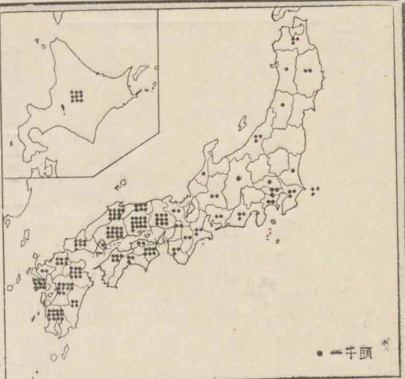
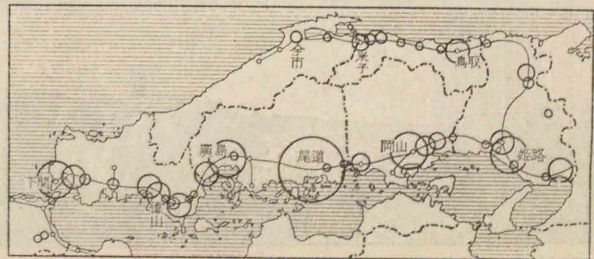
【中國諸縣】  
 1 畜産試験場支場  
 といふ  
 2 高校・高商  
 秋吉臺はカルスト  
 地域である  
 ●牛の發送  
 各縣の比例をあらは  
 す  
 ●成牛の分布  
 (各縣五萬頭)



山の中心があり、陰陽連絡路が通過してゐる。三  
 次盆地は江川の上流にあるが、斷層谷で容易に廣  
 島と連絡してゐる。七塚原には育牛の試験場が  
 ある。山口盆地の山口は縣政の中心である。山  
 口線は斷層谷によつて山陰山陽兩線を連絡して

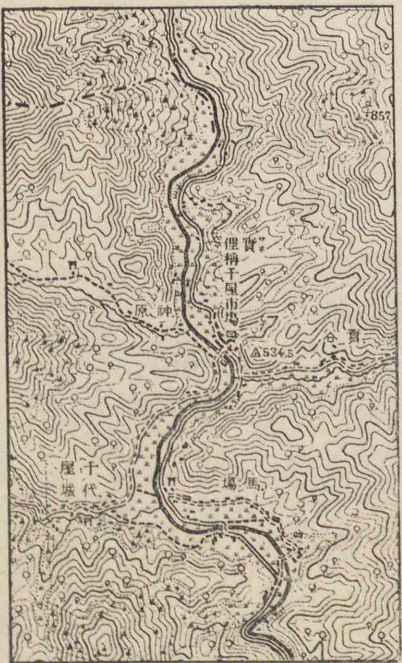
ゐる。高原の中央  
 部は牧牛が盛で、  
 多く根雨千屋等に  
 市が立ち、それ等に  
 近い驛から盛に發  
 送される。

瀨戸内 [I] 山陽地方 (一) 岡山平  
 野及備後海岸地方は吉井川旭川高



● 犢の分布  
 ● 中國牧羊地帯の  
 一部  
 放牧の草地と干屋の  
 牛市場があらはれて  
 ゐる  
 ● 小麦の生産分布  
 圖 (二七頁)  
 1 夏季は北部の高  
 原に賃飼(チン  
 ガヒ)に出す  
 2 醫大・六高  
 後樂園がある  
 【岡山・廣島】

工場は岡山倉敷玉島等に  
 ある。製鹽業は到る處の  
 三角洲に行はれ、松永味野  
 等はその中心である。岡  
 山市は山陽東半の中心で、  
 多くの鐵道が交叉し、宇野  
 線により宇野港に通じ、四



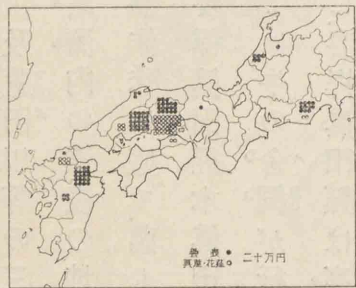
梁川及蘆田川等の三角洲が丘陵を抱く海岸平野である。  
 兒島灣内の遠淺の地は順次干拓されつゝある。米作の  
 外麥作殊に盛で、藺も亦廣く栽培される。従つて花薙疊  
 表麥稈眞田經木眞田等の生産が極めて多い。この低地  
 にては、牛の舎飼が行はれる。花薙疊表は福山尾道岡山  
 等に、麥稈眞田類は高梁笠岡に集散される。綿絲紡績の



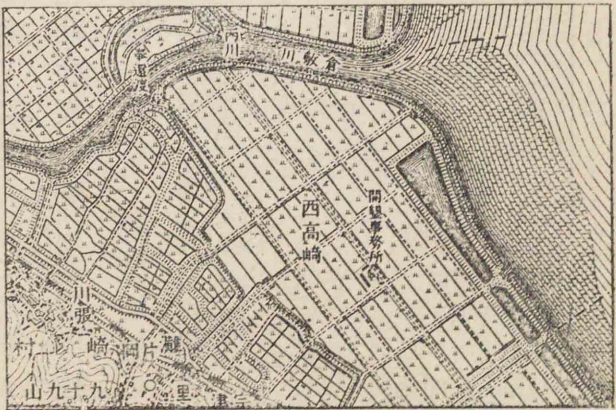
- 1 海が浅く狭いため船が大きいなるとつれ衰へた
- 2 多度津との間に連絡航路がある
- 3 潮岬と角島との無電局の勢力圏の空隙を満してゐる
- 4 高等師範・高校・高工



國と連絡してゐる。備後海岸には福山市及開港尾道系崎がある。尾道市は瀬戸内の略中央に位し、古來船の出入の多かつた港である。多度津今治高濱等との間には連絡船が通つてゐる。軀も亦昔榮えた港であつた。水島灘は鯛の漁れる處、下津井には無線電信局がある。

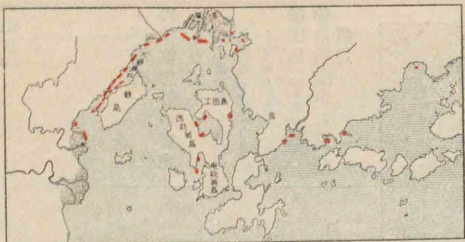


(二) 広島灣  
沿岸地方  
広島市  
は中國第一の都市で、太田川の三角洲にあつて、數多の分流が市中を貫いてゐる

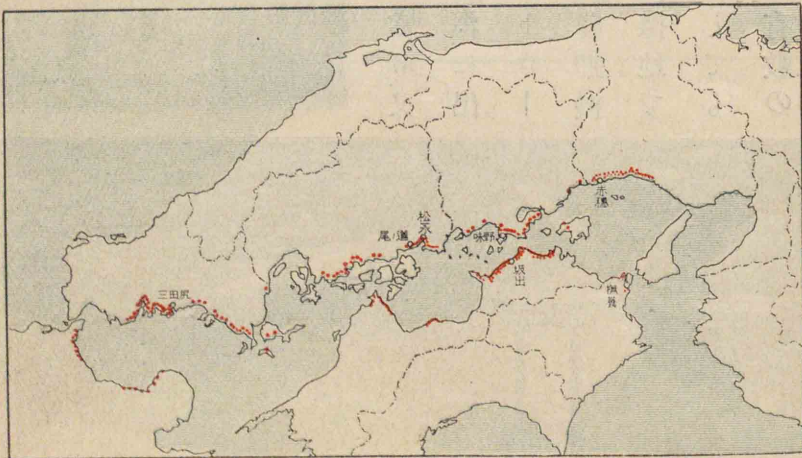


● 兒島灣の干拓  
順次に拓いた區劃正し、新地があらはれてゐる

- 1 今治・高濱・別府・下關等と連絡してゐる
- 2 第二海軍區の鎮守府があり、附近の江田島には海軍兵學校がある
- 鹽田の分布
- 広島灣の牡蠣漁(ヒビ)の分布



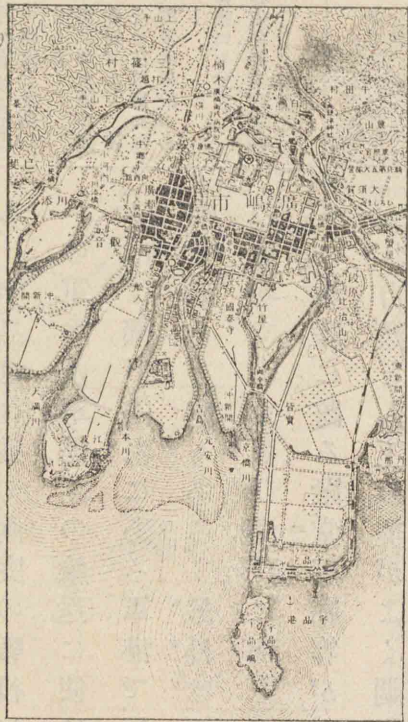
宇品港は嘗て兩度の戰役に大陸への軍隊及軍需品の輸送に使はれた。吳市は瀬戸内海にある軍港で、巨艦巨砲を造る工廠もある。嚴島は短冊形の地塊で、山を負ひ瀬戸に面した海濱に水陸に跨る殿堂廻廊等が配置され、自然と人工の美がよく調和されてゐる。灣内北部の淺堆には牡蠣の養殖が行はれる。(三) 防長海岸地方 開港徳山には海軍燃料廠がある所で、大嶺及朝鮮の無煙炭を原料として煉炭を製造し又製油も行つてゐる。三田尻防府附近には鹽田





【山口】

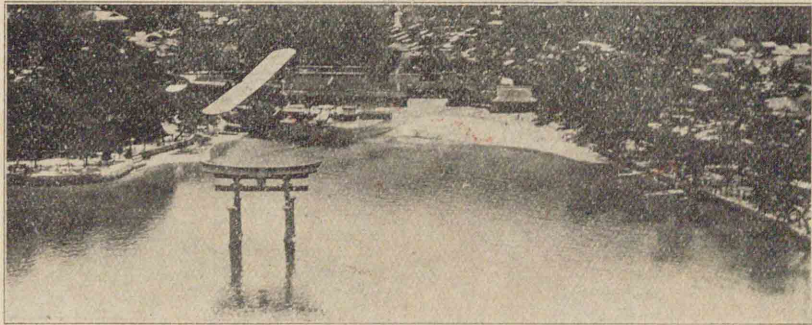
- 1 開港場
- 伊能忠敬の實測した廣島
- 宇品島は遅く離れ三角洲も未だ餘り發達してゐない
- 廣島(函) 七五五
- 飛行機から見た嚴島



が多い。小野田にはセメント工場がある。宇部市は炭坑聚落である。下關市は半島状の中國の西端にあり、關門關釜兩連絡の

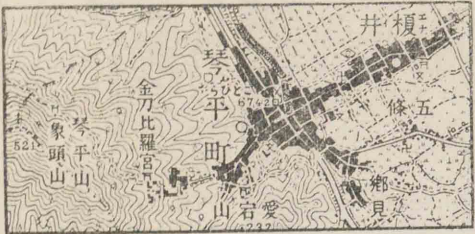


要地に當り、又朝鮮近海に出漁するトロール船及發動機船の根據地で、漁港としても我が國有數の



【香川・愛媛】

- 1 和泉地方に似てある
- 2 高商
- 讃岐平野の溜池
- 琴平の門前町
- 琴平町(陸地)



港である。又米の取引が多い。  
 【II】北四國 (一) 讃岐平野は灌漑用の溜池多く、耕地よく發達し、人口密度が大である。米作の外、麥作も亦盛で、副業としては麥稈眞田を編む。沿岸には坂出を中

心として鹽田が到る處にある。高松市はこの平野の中心で、宇野との間に

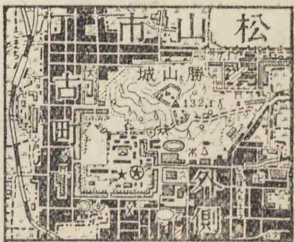




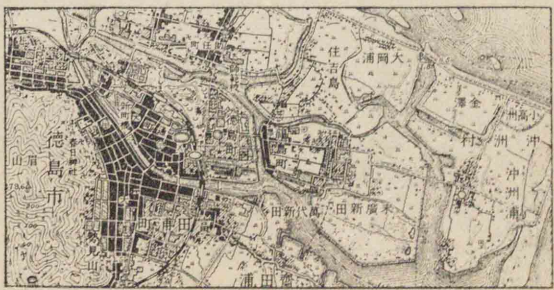
- 1 明治以後改名した離島は銀毒の害が緩和される
- 2 松山(陸) 徳島(陸) 七萬五千分の一
- 3 三角洲にある小丘上の城址とその城下町とがあらはれてゐる
- 4 松山平野の模倣



鐵道連絡船が通つてゐる。多度津は昔金比羅の船着場として繁昌した。丸龜市は舊城下町、善通寺は兵營町、琴平は船乗の信



仰厚い金刀比羅宮のある所である。鹽飽群島は昔海上活躍者の根據地であつた。小豆島の高地には寒霞溪の勝があり、沿岸には醤油を産する。(二)東豫地方新居濱は別子銅山の鑛石を四坂島精煉所に送る中繼港である。開港今治市は來島海峡に近く寄港

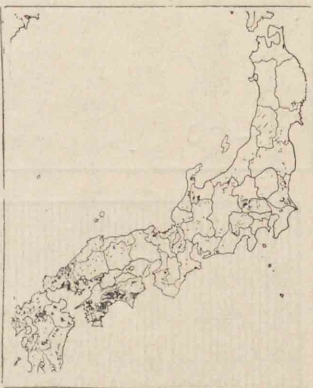


- 1 高校・高商 楮の生産分布 (各縣二十町歩)
- 2 興居島が前にある、今治、宇品と連絡がある、附近に三津濱がある
- 3 伊野附近の製紙地(陸) 伊野には製紙工場がある、神谷は山の水を引いて小規模に製紙を行つてゐる、家が多い
- 4 輸入の染料の歴史による 藍は煙草となつた、煙草用水路の持つたにより水田となつて、産額は減じたが前と特異である



4 高工 (徳島) 祖谷山中(陸) 祖谷は今木橋に代つてゐる

地に適し、又綿機業が行はれてゐる。(三)松山平野 松山市は城址のある丘を圍んだ舊城下町で、北豫の中心、伊豫絣を集散する。高濱はその外港である。東郊に、後温泉がある。



### 南四國

(一)吉野川平野は南北四國の漸移地帯である。平野の西端の池田は交通の要路に當り、附近の礫層から煙草を産する。脇町附近の低地では古來藍の栽培を行つて來た。徳島市はこの平野の中心で、三角洲の南端にある。小松島港によつて阪神と

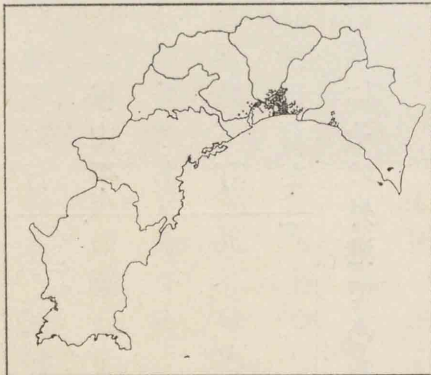
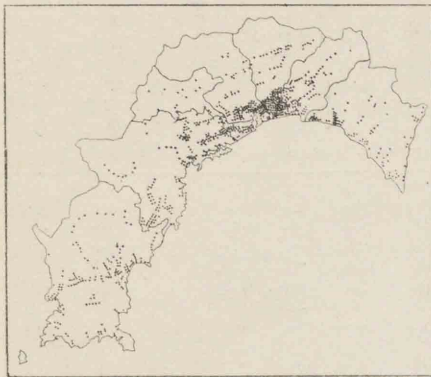




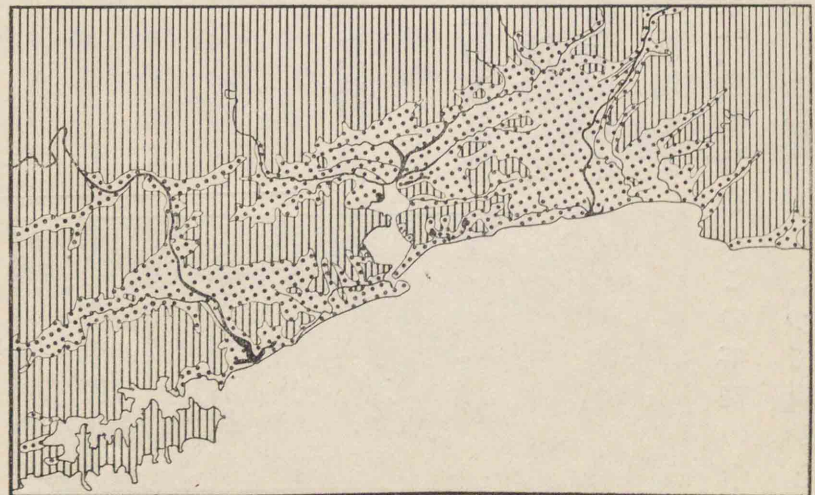
〔徳島・愛媛・高知〕

●高知平野の地形  
●高知平野第一回の米作地の分布

(上)  
●同第二回の米作地の分布(下)  
(共に各圖四十町步)



通じてゐる。撫養は瀬戸内製鹽地帯の東南端である。(二)四國山地は山が深い。祖谷は久しく隔絶された山間の地方として知られてゐる。山地は暖濕の氣候で森林に富み、殊に樟の自然林がある。



●銅の生産分布圖 (二九頁)

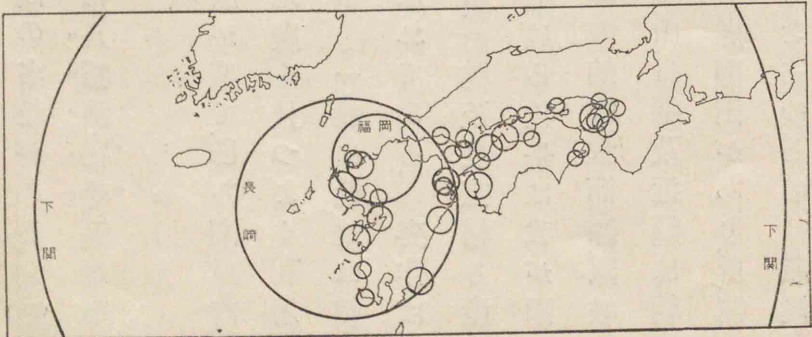
【高知】  
●瀬戸内・九州漁港漁獲物集散高  
(香川縣の資料を缺く)

●高校  
●阪神と汽船の連絡がある

別子の銅山は古くから知られた有数の銅山である。大洲盆地附近は楡紙の産多く、大洲はその集散地で、長濱はその門戸である。

四國山地の横斷路はもと高知から笹ヶ峯を越えて川之江に出たが、今は自動車により高知から大崩危の谷を池田に出るのと、仁淀川の谷を溯り久萬及三坂峠を経て松山に達するのがある。

(三)高知平野は溫暖で、稻の二回の成育に適してゐる。仁淀川流域では三椶楮よく育ち、伊野附近では土佐半紙の生産が盛である。近海は鮪鰹等の漁獲多く、土佐節の名亦世に名高い。室戸岬は遙かに太平洋に突出してゐるので捕鯨の根據地に適し、室戸に漁港がある。高知市は土佐灣頭の港市で、この地方





2 棹の漁港がある

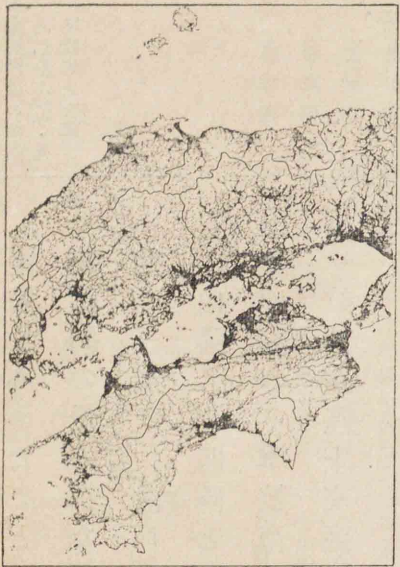
- 徳島・高知
- 米の生産分布圖 (二四頁)
- 畑の分布圖 (二五頁)
- 大麥の生産分布圖 (二六頁)
- 小麥の生産分布圖 (二七頁)
- 煙草の生産分布圖 (二七頁)
- 楡の生産分布圖 (二七頁)
- 牛の分布圖 (二〇四頁)
- 犢の分布圖 (二〇五頁)
- 鯉の集散地 (五二頁)
- 鹽田分布圖 (一〇七頁)
- 石炭の生産分布圖 (一一五頁)
- 石炭・石油の生産分布圖 (一二二頁)

の中心である。(四) 紀伊水道西岸に面して富岡の名邑がある。(五) 豊後水道東岸即南豫地方は各灣頭に宇和島市八幡濱宿毛等があり、それら地方の中心である。

産業

産業は中國では山陽、四國では北四國が盛で、即ち瀬戸内がこの地方の産業の中心である。比較的平地廣く且つよく利用されてゐるのは讃岐平野と岡山平野とである。一般に平地は勿論高原上でも灌漑の許される所は米作が行はれてゐる。麥作は降水量の最も少い岡山讃岐兩平野が主である。桃及夏蜜柑も産し、藍、煙草、櫛楮、三椏等の特産もある。中國に於ける牧牛は我が國第一で、四國は林産が多い。瀬戸内の鯛、土佐沖の鮪、鯉、節鯨、隱岐の烏賊(鰯)等は各地域の代表的水産物であつて、山口縣及近縣は朝鮮近海へ出漁の好位置にある。瀬戸内は到る處鹽田があり、所謂十州鹽田と稱せられ、我が内地製鹽の八割九分を占めるのは氣候

- 銅の生産分布圖 (二九頁)
- 麥稈眞田の生産分布圖 (二〇六頁)
- 疊表・蓑・花筵の生産分布圖 (二〇六頁)
- 綿絲の生産分布圖 (三〇頁)
- 綿織物の生産分布圖 (三〇頁)
- 中國及四國地方の人口の分布 (各縣大一人、中五千、小二百人)



中國及四國地方

及地形に負ふ所が多い。鑛産では別子の銅、宇部の石炭、大嶺の無煙炭、瀬戸内の花崗岩等が主なものである。副業的の工業では内地向の疊表、輸向の麥稈眞田、經木眞田、花筵等の製作が行はれ、我が國の産額の大部分を占めてゐる。近代工業の綿製品は岡山附近、今治等に、在來工業の織物は岡山・愛媛・徳島諸縣下に産する。

交通

山陽線最も早く全通し、東海道線と接續して我が國の幹線をなし、次で山陰線開通し、山口線によつて山陽線と連續してからは中國の環狀線が成立した。北四國も讚・豫線の全通と猪鼻峠の隧道の開通とによつて高松・松山・徳島等が連絡することになつたが、南四國は未だ鐵道に恵まれない。瀬戸内海は古來水運發達し、この地の制海權を得た者は常



▲主要鐵道の線名と起點・終點・乗換驛等とを擧げよ

に優勢であつたことは歴史的事實の示す所である。ここは國內で航路網の最も密な所で、内外主要汽船でこの海を通過しない船は殆んど無い。瀬戸内の美景は内外人に最も楽しい航海をさせる。山陽と北四國との間はW字形に連絡航路が發達してゐる。山陰地方の冬季航海の不便なのは北陸地方に似てをり、南四國の沿岸航路が陸上交通の缺を補つてゐる點は紀伊半島と好對照である。

商業

内地商業は岡山・廣島・下關・高松・松江・徳島・高知等が主なる地方的の中心であるが、總じて阪神の商圏に屬する。貿易は神戸の後背地であるため各港は餘り振はない。

人口密度

人口密度は山陽と北四國が密で、山陰之に次ぎ、南四國が最も疎であることは自然人文の環境と文化地帯への距離の關係による。文化は中央の瀬戸内表で、山陰と南四國とは裏と

●人口の分布圖 (卷頭三四頁)

いふ外はない。

都邑の人口 (單位千人)

|     |         |         |         |         |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 鳥取縣 | 鳥取市(三五) | 米子市(三)  | 倉吉町(三)  | 境町(六)   |
| 島根縣 | 松江市(四)  | 濱田町(三)  | 大社町(九)  |         |
| 山口縣 | 下關市(五)  | 宇都市(四)  | 萩町(三)   | 山口町(三)  |
|     | 柳井町(二)  | 岩國町(二)  |         | 防府町(三)  |
| 岡山縣 | 岡山市(三四) | 玉島町(三)  | 津山町(七)  | 倉敷町(四)  |
| 廣島縣 | 廣島市(九五) | 吳市(三)   | 福山市(四)  | 尾道市(七)  |
| 香川縣 | 高松市(七)  | 丸龜市(七)  | 坂出町(六)  | 善通寺町(六) |
| 愛媛縣 | 松山市(六)  | 宇和島市(三) | 今治市(七)  | 西條町(五)  |
| 徳島縣 | 徳島市(七)  | 撫養町(六)  | 小松島町(七) | 三津濱町(三) |
| 高知縣 | 高知市(六)  | 須崎町(八)  | 伊野町(七)  | 池田町(六)  |

問題

- (一) 山陰と山陽との二地方を比較せよ
- (二) 岡山平野と讃岐平野とが姉妹地方であるといひ得る理由があれば述べよ
- (三) 瀬戸内の自然及人文を總括して説述せよ
- (四) 南四國と紀伊半島との類似點を擧げよ
- (五) 各縣としての特色を擧げよ



### 第五章 九州地方

#### 位置と地理的區分

九州地方は中國及四國の西南に  
 位置し、それ等二地方の續きを一つに接合した所である。  
 この地方は地理的に大別すると北九州、肥前、島中、九州南、九州の四區  
 となる。

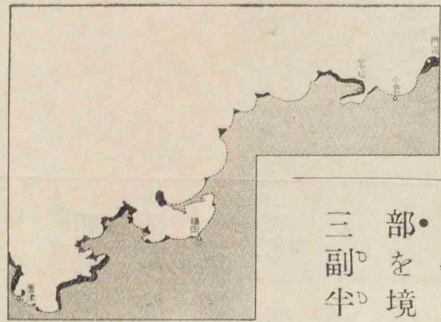
#### 地形

北九州には中國高原に續く筑紫山塊がある。  
 然し、ここには斷層によつて陥没した遠賀川の谷、福岡海  
 岸平野及筑紫平野と、斷層により隆起した福智山塊、三郡  
 山塊、背振山塊、耳納山塊、屏風山脈等とがあつて變化が多  
 い。遠賀川の谷は上流が嘉麻川と赤池川とに分れてY字形の谷  
 をなしてゐる。福岡海岸平野の河は博多灣に集中し、海中道の大  
 砂嘴は灣を抱いてゐる。筑紫平野は筑後川流域で、中流は三角狀  
 の陥没地をなし、下流は三角洲の堆積作用が盛で低平な平野が益

| 縣名   | 管轄國名          | 廳所在地 |
|------|---------------|------|
| 福岡縣  | 筑前、筑後、豊前一部    | 福岡市  |
| 佐賀縣  | 肥前一部          | 佐賀市  |
| 長崎縣  | 肥前一部、豊後、肥後、對馬 | 長崎市  |
| 熊本縣  | 肥後            | 熊本市  |
| 大分縣  | 豊前一部、豊後       | 大分市  |
| 宮崎縣  | 日向            | 宮崎市  |
| 鹿児島縣 | 大隅、薩摩         | 鹿児島市 |
| 沖縄縣  | 琉球            | 那覇市  |

●福岡海岸平野  
 ●北九州の海岸地

形 門司から唐津に至る海岸は陸角を結ぶ弓状の砂嘴があるのと、その上に松林のあるのが特色で博多灣内の海岸線もそれ等の連鎖である。



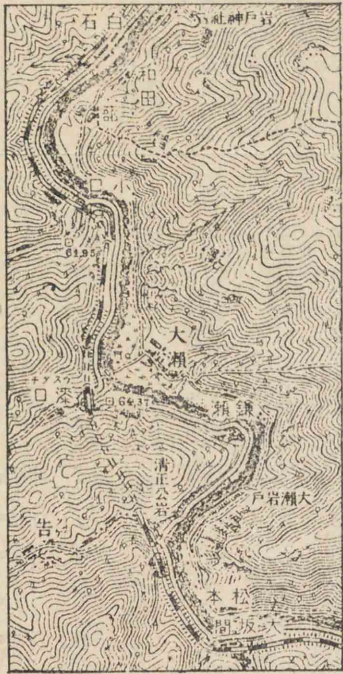
増しつゝある。唐津、住江地、峽部以西は肥前半島で、岩がちの沈降海岸をなし、極めて肢節に富んでゐる。唐津灣、伊萬里灣及大村灣の彎入と東松浦北松浦の兩半島の突出がある。南部には多良岳がある。その南の諫早地、峽部を境にして更に島原野、西彼杵の三副半島が突出し一層肢節の發達を複雑にしてゐる。島原半島



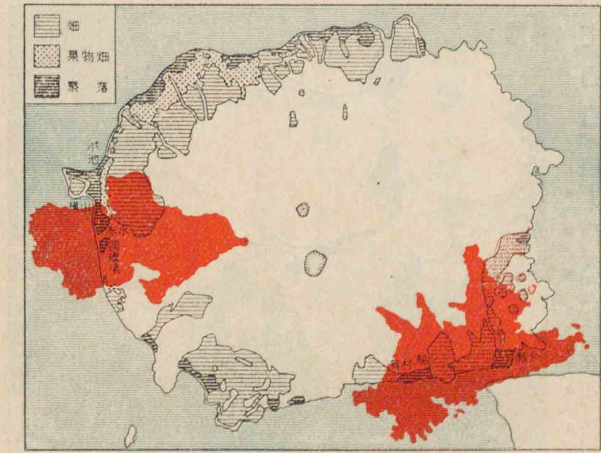
は殆んど火山温泉岳から成つてゐる。平戸島、五島列島は列をし、壹岐、對馬の二島は朝鮮との間にある。中九州は南北九州の連鎖をなす阿蘇火山脈の地域である。阿蘇火山は略中央に位し、東西兩斜面を分つてゐる。阿蘇



●球磨川の峡谷  
(陸奥)



山の東北に九重山由布嶽見嶽及國東半島の兩子山等が連なり、耶馬溪で知られてゐる熔岩臺地の北端に英彦山がある。筑後川の上流には日田森の二盆地がある。別府灣頭は温泉が豊富で、且つ種類が多い。白川は阿蘇火山と九州山脈と西流し、緑川は阿蘇火山と九州山脈との境を流れ、それ等の下流に熊本平野がある。八代海と天草灘との間に天草群島が横はつてゐる。東流する大野川

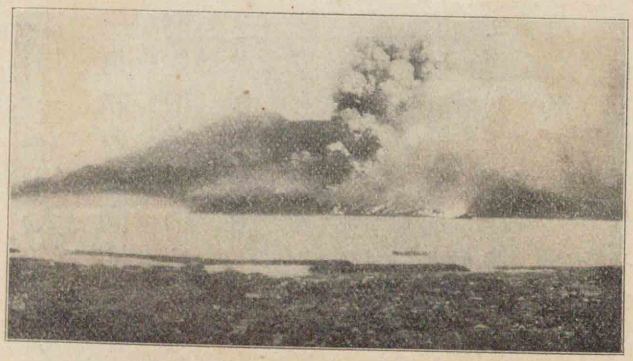
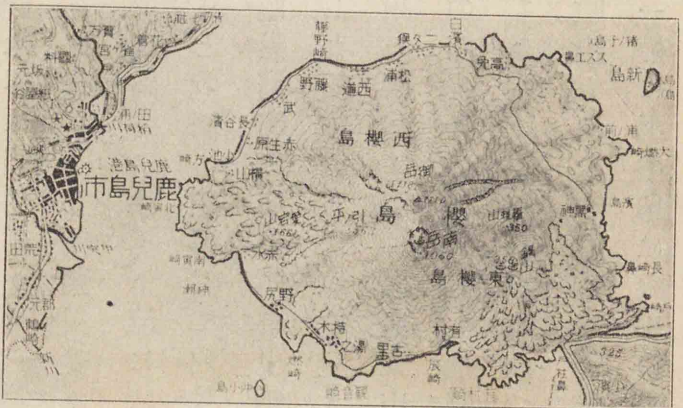


陸上及海中に於ける熔岩流の状態がよくあらはれてゐる

の上流には竹田盆地、下流には大分海岸平野がある。

●櫻島

一、櫻島の土地分類及其噴火前後の比較 二、噴火後の櫻島の模型 三、噴火後の櫻島の地圖(陸奥)廿萬分の一 四、鹿兒島から見た噴火當時の光景 舊噴火口は南北の方向、新噴火口は東西の方向の弱線に沿うてゐる





南九州は四國山脈の續きの九州山脈が九州山地をなす所である。球磨川は横谷をなして溪谷美を發揮し、上流には人吉盆地がある。東西を分つ分水界は祖母山から市房山を経て矢岳に及ぶ。山地は起伏が多く谷が深い。五箇瀬川、美々津川、一瀬川、大淀川等は相並んで山を出で日向灘に注ぎ、下流には三角状の日向海岸平野がある。四國山脈との間は陥没して臼杵灣、佐伯灣等の彎入と佐賀關半島、地藏鼻、鶴見崎等の突出があり、純リアス式の海岸をなして南豫海岸と對し、九州山脈の西端は三太郎越となつて八代海に臨んでゐる。九州の南部は別に霧島火山帯といふ一區をなしてゐる。大隅薩摩の兩半島南へ突出し、鹿兒島灣が地溝帯をなして深く北へ彎入してゐる。この弱線に沿つて霧島火山、櫻島、開聞嶽が南北に連つて噴出し、これに伴ふて霧島及指宿の豊富な温泉が湧出してゐる。一帯に兩半島は火山の噴出物で蔽はれ、その高

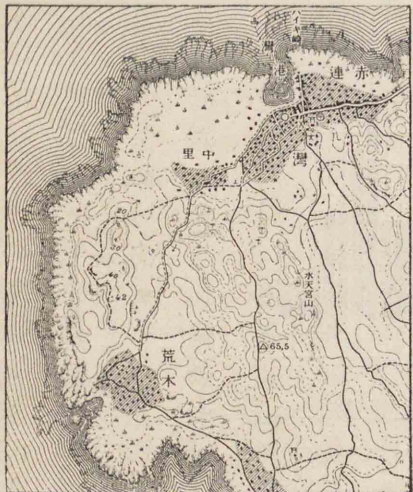
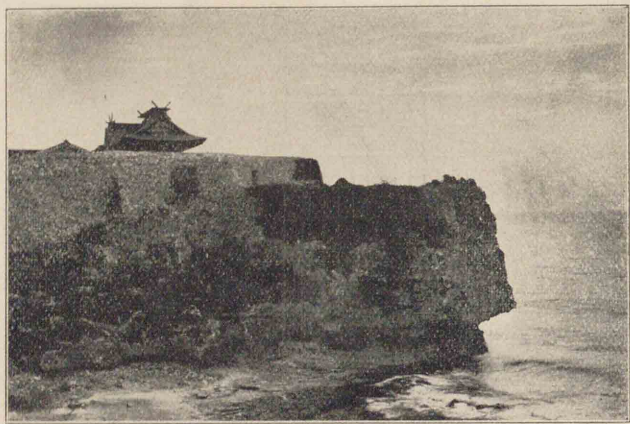
1 或は地藏崎といふ

2 西風卓越する西岸には吹上ヶ濱の砂丘が發達してゐる

● 十三塚原の地圖 (一一三四頁)

● 熱帯植物の茂つてゐる青島  
● 那覇の隆起珊瑚礁上の波上珊瑚  
● 琉球列島の喜界島(陸)七萬五千分一  
● 川邊十島・鳥島等

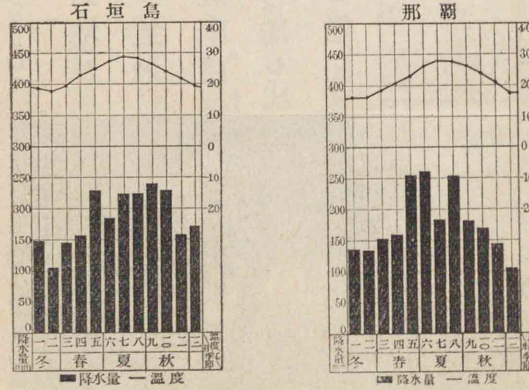
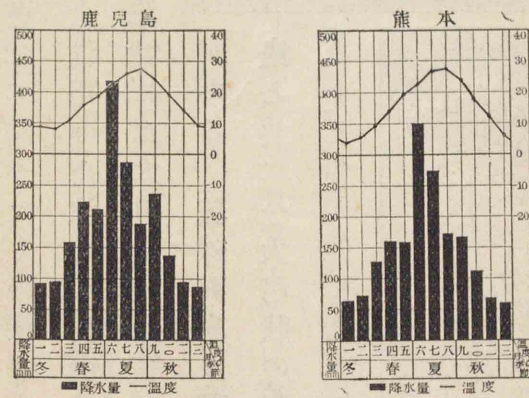
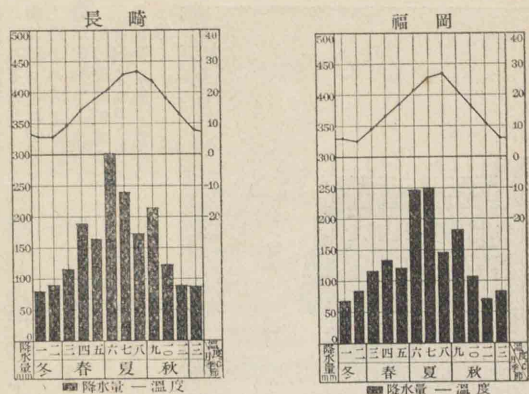
臺が侵蝕を免れて残つたものは原と呼ばれてゐる。大淀川の上流には都城盆地があり、川内川流域には大口及川内等の盆地がある。琉球列島は薩南諸島と共に一大弓狀の列島をなし、その内側に沿うて霧島



火山脈の延長である火山島がある。島嶼の周圍には珊瑚礁が



福岡・長崎・熊本・鹿兒島・那覇・石垣島の氣候



發達してゐる。

二百米以内の浅い東支那海から急に數千米の深さの太平洋に低下する所に琉球列島が隆起し、内側と外側とに、二列の陥没地を生じ、殊に外側は極めて深く琉球海溝と稱せられてゐる。その内側に火山島がある。

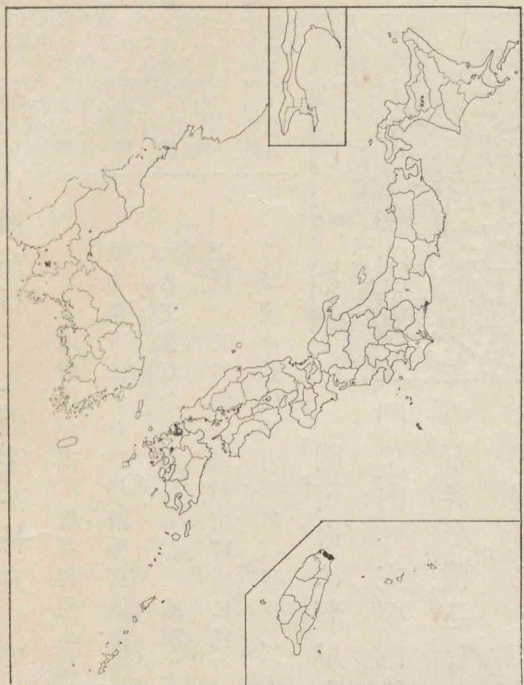
差の多い内陸性の氣候となり、隅地は

- 1 石垣島は防風のため石垣を用ゐるので名がてた
- 2 明治専門
- 八幡製鐵所
- 石炭の生産分布 (各點大點百萬佛噸、小點一萬佛噸)

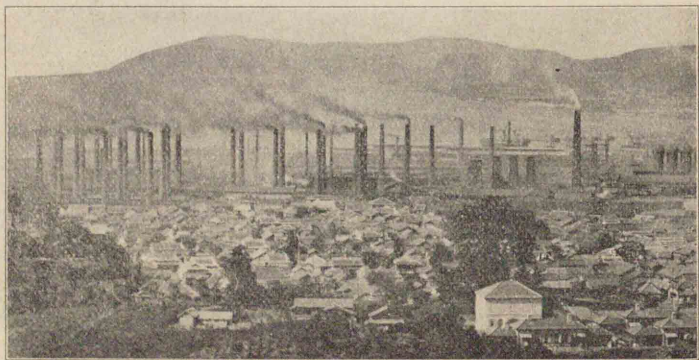
高温多湿で南四國と似てゐる。琉球は本陸に比し著しく温暖で降雪を見ることがない。夏秋の交は颱風襲來の衝に當つてゐる。

處誌

北九州 (一) 北九州工業地帯は我が



國主要工業地帯の一つであつて、門司市・小倉市・戸畑市・若松市及八幡市の五市が殆んど一都市の如く連続し、八幡製鐵所を始め製鐵製鋼・精糖及化學製品製造等各種の工





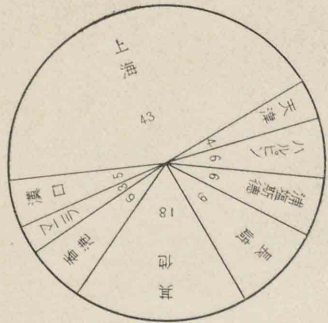








- 佐賀市に高校がある
- 1 附近の島を含む  
2 鯉・鱒・烏賊・海鼠・鯨が獲れる
- 【佐賀・長崎】
- 3 附近に武雄温泉がある
- 温泉岳新湯  
七〇〇米の高地に外人向のホテルがある
- 陶磁器の生産分布圖（五四頁）
- 4 醫大・高商
- 温泉嶽新湯滞在  
外人居住地別

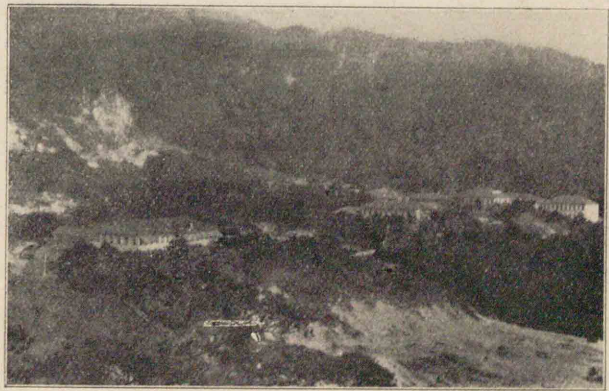


地は燃料が得易いから工業都市大牟田市が勃興した。

肥前半島は山がちなため畑作が行はれ甘藷等を栽培してあるが米作は少ない。

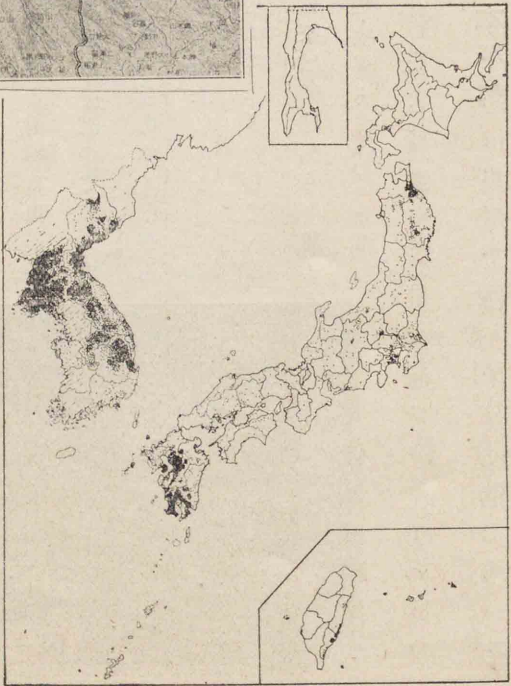
従つて大に漁業が発達し、殊に壹岐・對馬・五島等は盛である。有田は陶土を産し、有田焼は古くから著はれ、西南の日本の窯業の

核心である。各灣頭には長崎・唐津・伊萬里等の如き港が発達し、唐津・炭田の石炭は唐津から、杵島炭田のものは住江から輸出される。長崎市は鎖國時代二百餘年間唯一の和蘭及支那との貿易場であつて、外國文化もこの地からのみ輸入された。港外に炭坑があり、港



- 1 東の麓に島原、西の麓に小濱がある
- 2 嚴原(イツハラ) 佐須奈、鹿見(シシミ)
- 粟の生産分布 (各縣百町歩)
- 阿蘇山 (麓・週三十分 萬分の一)

内に大造船所がある。支那へ乾魚の輸出が多い。平戸は長崎開港前の貿易港であつた。佐世保市は

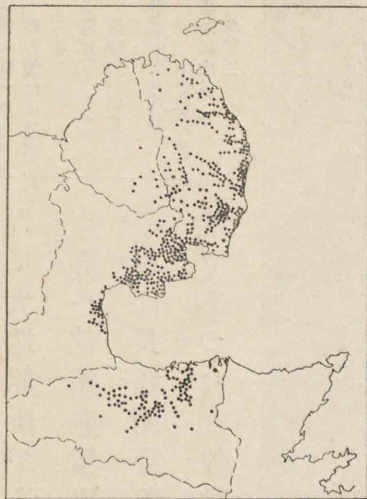


大陸に對する戦略上重要な軍港である。島原半島の温泉岳の新湯は大陸在住の外人が避暑に來る所である。壹岐・對馬は朝鮮への飛石であつて、對馬の三港はもと朝鮮と取



【熊本】(一)  
【福岡・大分】(二)  
【大分】(三)

●飛行機から見た別府温泉  
●國東半島及別府灣頭の壘表の生産分布(各點一萬枚)



引した所である。壹岐の勝本、五島の福江は各の中心である。  
**中九州** (一) 阿蘇山は二重式火山で、舊噴火口の大きいことは世界第一である。

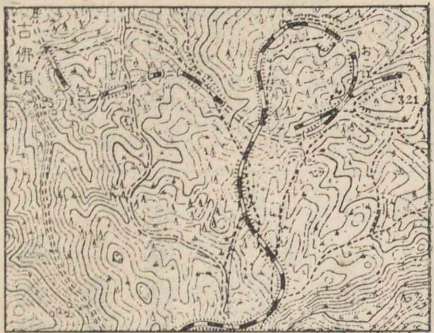
火口原の北半は黒川の流域で阿蘇谷と稱し宮地がその中心、南半は白川の流域で南郷谷と稱へ高森がその中心である。二川は合して外輪山を破つて西へ出る。中央火口丘の山々は東西か南北かの線上にある。その中岳は現に活動してゐる。この火口原は低地から中腹まで水田畑牧場と環状に分布し

數萬の人が住み九州横斷鐵道がこの谷を経て開通した。

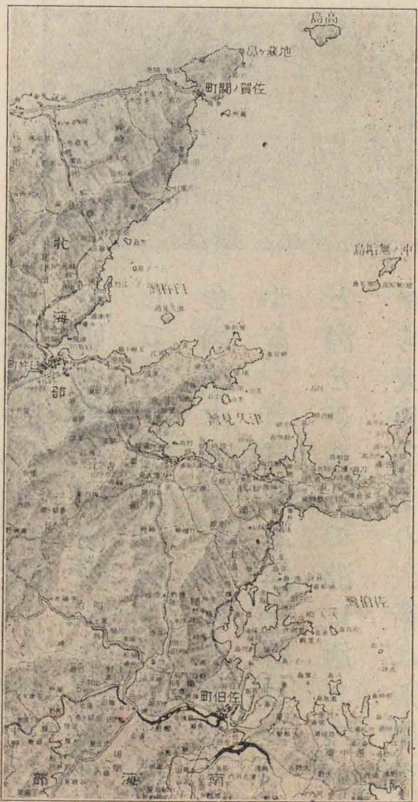
(二) 熊本平野は良米を産し、又甘藷粟も多い、そ



1 大・五・高・高工の築城と谷千城の築城と知られてゐる  
2 東部に清泉の湧く水前寺成趣園がある  
3 洋紙・セメント等を産する  
4 杵築は集散地である  
●豊後水道西岸(陸・海)の鐵道(陸・海)



の中心は熊本市である。市は距離から見た九州の中心で、九州横斷鐵道の分岐點である。土半島には開港三



角・菊池地方には限府、球磨川の三角洲には八代がある。

(三) 周防灘沿岸には名邑中津がある。國東半島の海岸は七島蘭の栽培最も盛で、七島表を産出する。(四) 別府灣沿岸の大分市は縣政の中心、別府市は標式的の温泉都である。近く九州の工業地帯を控へ、遠く阪神からも船車の便が開けて有名になつた。



十三塚原(陸奥) 國分の西北にあり、火山噴出物で成り、たゞ地味で、煙に利用されてゐる。七、五、一、千分の一。

【大分】 九州山地の諸山の外、四國、中國、朝鮮等に於ける小鐵山の原を、集めるのに、便利な港だから、割合に産額が大である。

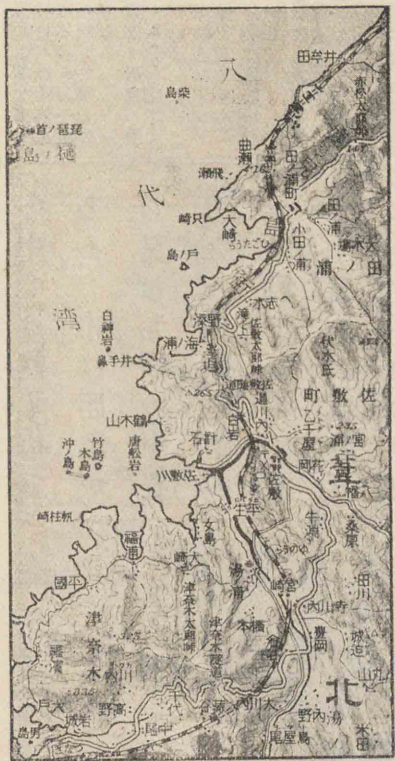
【大分・宮崎・熊本・鹿兒島】 三太郎越(陸奥) 赤松太郎佐太郎津奈木太郎の三姓とあり、式のお岸とが道開通前。

南九州  
(一) 豊後  
水道西岸



の佐賀、關は半島の地頸部に位し、大精鍊所があつて、金、銀、銅等を産する。白杵、佐伯の兩灣頭に各白杵、佐伯の中心聚落がある。

(二) 九州山地は山が深い、ため川の上流には球磨川の五家莊、一瀬



川の米、良莊、美々津川の椎葉村の如き、比較的隔絶した生活を、して來た所がある。山地には金銅、鑛、木材、薪炭、椎茸、竹等を産する。(三) 日向海岸平野は砂丘と潟とがあつて、港に適しないから、大阪通ひの汽船は細島に

▲出雲地方と比較

大分市に高商、宮崎市に高農がある。

【宮崎】(三) 熊本(四)(五)

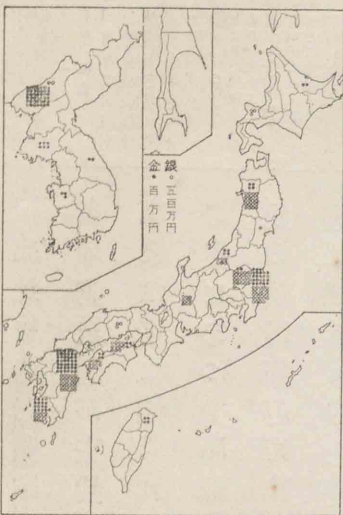
1 肥薩線と改稱された

2 十三塚原及鹿兒島の北の吉野臺の如き

●金・銀の生産分(府縣別)

【鹿兒島・宮崎】

寄る。宮崎市は縣政の中心で北には延岡がある。この地方は神代に於て夙に開けた所であつたが、交通不便で、久しく文化の中心に遠ざかつてゐた。(四) 人吉盆地 横谷球磨川から盆地の中心人吉に達した鐵道はループ式の特種の設備で、矢嶽に向つてゐる。(五) 三太郎越はもと肥薩の國境をなす三太郎の險と謂はれてゐたが、今や海岸鐵道線が全通して、從來の矢嶽經由に代つて、鹿兒島本線となつた。



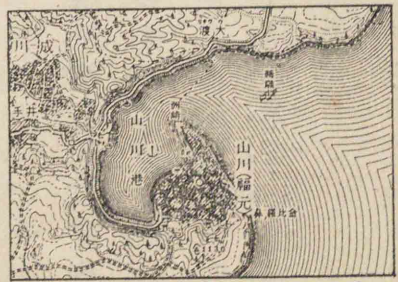
(六) 薩隅地方は霧島火山帯で、輕石層の臺地では畑作が行はれ、甘藷、粟の産が多い。國分は煙草を産する。金銀鑛山は藩政時代から採掘精鍊が進んでゐた。今も申木、野山、野等は貴金屬の産が多い。この地方は九州の南端であるから、漁業の



- 1 枕崎の鯉船は南洋までも出流する
- 2 七高・高農
- 3 川内とは川内川の兩岸の隈之城村向田と東水引村大小路を合せた通稱である
- 山川港(陸測) 山口港で、聚落は砂嘴の上にある
- 鹿兒島(陸測) 鹿島の末端が背後に迫つて城山となつてゐる、土族可からは維新の名士を出した(共に七萬五千分の



根據地に適し、薩摩半島の枕崎及山川港大隅半島の内之浦が主要な漁港である。鯉の製品薩摩節は世に知られてゐる。鹿兒島市は鹿兒島灣の奥にあつて櫻島を前に望み景色がよく、島津氏の舊城下町で、南九州唯一の開港場である。薩摩餅・薩摩焼を産する。伊集院は薩摩焼・谷山は錫を産し、川内は川内川流域の、又都城市は都城盆地の中心で茶・繭を産し、宮崎と並ぶ名邑、内海・油津は港、青島は勝地である。



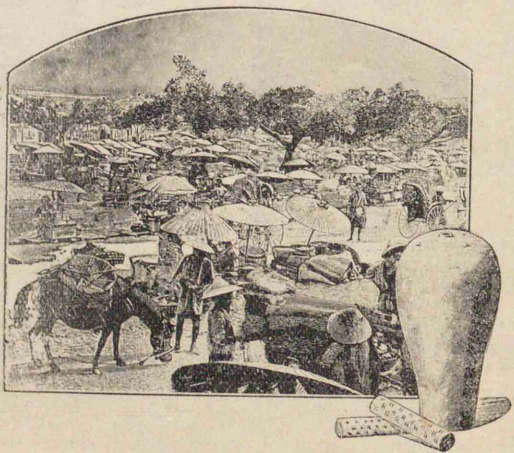
を有してゐるが、奄美大島は琉球と同じである。屋久杉と大島紬とは特産で、首邑は名瀬といふ。

(ハ) 琉球列島は沖繩島・宮古島・石垣島・西表島等が

- 琉球列島は沖繩群島と先島群島とに分ち、先島群島は更に宮古列島と八重山列島とに分つてゐる
- 1 念に貢として入念に製造したてめ技術が進歩した
- 糸満人は海上に雄飛する
- 那覇の市場
- 琉球の榕樹
- 氣根が多い



主な島で、熱帯性の榕樹・芭蕉が到る處に見られ、甘蔗に適し、黒砂糖を産する。甘蔗は常食の料となり、豚は戸毎に飼はれてゐる。泡盛酒・芭蕉布・漆器・琉球餅等は特産である。沖繩島の首里市はもと王城のあつた所で、那覇市は今



縣政及經濟の中心である。北部に運天港がある。

産業

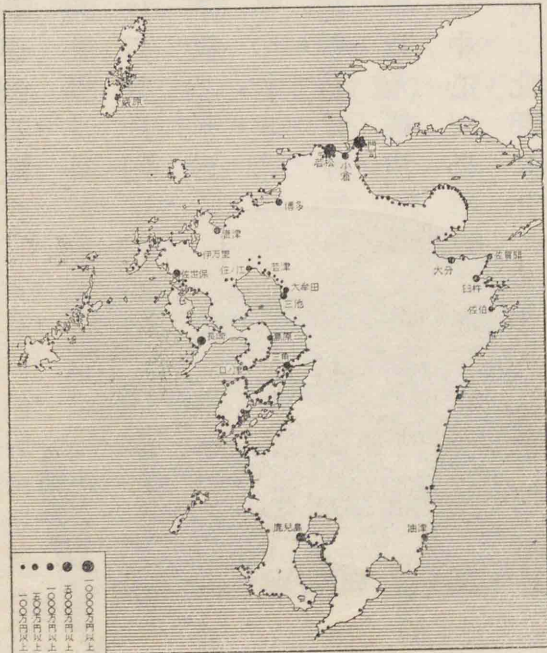
筑紫平野及熊本平野は米・麥をよく産し、南九州・中九州・肥前半島等の畑地には甘蔗及粟が盛に栽培される。氣



- 米の生産分布圖 (二四頁)
- 畑の分布圖 (二五頁)
- 甘藷の生産分布圖 (二八頁)
- 粟の生産分布圖 (三一頁)
- 榎の生産分布圖 (二七頁)
- 馬の分布圖 (二九頁)
- 當歳胸の分布圖 (四九頁)
- 豚の分布圖 (三三頁)
- 石炭の生産分布圖 (二五頁)
- 石炭石油の生産分布圖 (二二頁)
- 金銀の生産分布圖 (三五頁)
- 銅の生産分布圖 (二九頁)
- 鐵の生産分布圖 (二九頁)
- 綿絲の生産分布圖 (三〇頁)
- 洋紙の生産分布圖 (五〇頁)
- 綿織物の生産分布圖 (三〇頁)
- 九州の港灣の移出入の比較

候温暖なため榎の樹多く、竹林も亦よく繁茂する。南九州・中九州は牧馬で聞えてゐる。豚は琉球に多い。北九州及肥前半島は石炭を多量に産し、南九州は金・銀・銅等の貴金屬を以つて夙に知られてゐる。漁業は肥前半島及南九州沿海に盛である。近代式各種工業が北九州に集中してゐるのは主に石炭産出の影響である。産業から見ると中九州は南北九州の漸移地帯である。

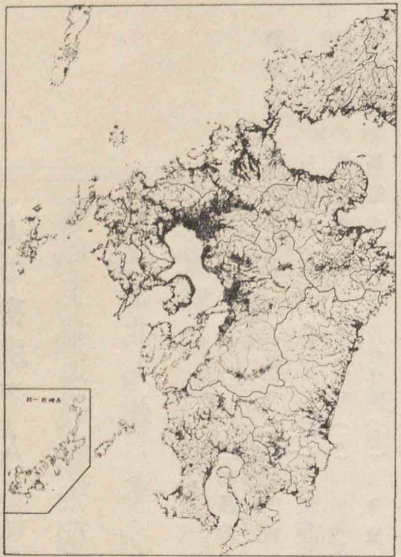
**交通** 交通網は北九州が最も密であつて、南九州は疎である。海上交通は西岸が盛で、東岸は振はな



▲ 主要鐵道の線名と起點・終點・乗換驛等とを擧げよ

● 人口の分布圖 (三四頁)

● 九州の人口分布 (各點大一萬人、中五千、小二百人)



い。鐵道は始め西部斜面に沿うて福岡・熊本を経て南下し鹿兒島に達し最後は東部斜面の大分・宮崎兩縣の間の開通によつて環狀線が完成した。横斷線は中央に豊肥線が極めて最近全通するに至つた。

**商業**

古來支那大陸との關係深く、又西・葡・英・蘭等の歐羅巴人も亦西岸に渡來し灘津(多)・坊津・平戸・長崎等は我が國に於ける對外貿易の獨占地であつた時代がある。今も門司・長崎を始め十二の開港場がある。而して東岸には一つの貿易港も無くして、殆んどすべてが西北海岸に群つてゐる。これは炭田の分布と海岸の出入と交通の發達とに關する所が大である。主なる取引は門司を始め各港の石炭の輸移出である。



**人口密度** 人口は南九州は疎であるが、北九州最も密であつて殊に工業地帯炭坑地帯が殊に甚しい。市の數も他の地方で見ないほど北九州に多く集つてゐる。

**都邑の人口** (單位千人)

|      |         |         |         |                    |         |        |        |
|------|---------|---------|---------|--------------------|---------|--------|--------|
| 福岡縣  | 福岡市(四)  | 八幡市(二)  | 門司市(三)  | 久留米市(七)            | 大牟田市(六) | 小倉市(五) | 若松市(九) |
|      | 戸畑市(七)  | 飯塚町(三)  | 後藤寺町(六) | 直方町(八)             |         |        |        |
| 佐賀縣  | 佐賀市(四)  | 唐津町(六)  | 伊萬里町(四) |                    |         |        |        |
| 長崎縣  | 長崎市(八)  | 佐世保市(九) | 島原町(九)  | 平戸町(三)             | 藤原町(九)  |        |        |
| 熊本縣  | 熊本市(四)  | 八代町(三)  | 隈府町(八)  | 人吉町(七)             | 三角町(五)  |        |        |
| 大分縣  | 大分市(五)  | 別府市(七)  | 中津町(四)  | 臼杵町(九)             | 佐賀關町(三) | 日田町(三) | 佐伯町(二) |
| 宮崎縣  | 宮崎市(三)  | 都城市(三)  | 小林町(五)  | 油津町(六)             |         |        |        |
| 鹿児島縣 | 鹿児島市(三) | 谷山町(六)  | 枕崎町(四)  | 隈之城・東水引二村(通稱川内)(三) | 名瀬町(八)  | 山川村(〇) |        |
| 沖縄縣  | 那覇市(五)  | 首里市(〇)  |         |                    |         |        |        |

**問題**

- (一) 南北九州を比較せよ
- (二) 肥前半島の特色を挙げよ
- (三) 阿蘇火山脈の特色を挙げ且つ人文との關係を説述せよ
- (四) 南九州と南四國及紀伊半島とを比較せよ
- (五) 北九州の文化の發達した地理的原因を詳述せよ
- (六) 各縣としての特色を挙げよ

**第六章 奥羽地方**

**位置と地理的區分**

この地方は本州島が大屈曲をなして北に向ふ部分に當り、東北の日本の南部を占め、北海道樺太に向ふ漸移地帯である。

この地方は地理的に大別すると東部・中部・西部の三區となる。

**地形**

三列の山地と二列の低地が南北の方向に走つて、水系も亦之に支配され、本流は南北の方向の縦谷に沿うて流れてゐるが、西部では横谷をなしてゐる所もある。

**東部山地**は古い岩石の侵蝕されたもので、中央部及西部の山地とは全く景觀を異にする。この山地は仙・臺・灣を境にして更に紡錘狀の南北の山地即ち阿武隈山地及北上山地に分たれる。阿武隈山地は數百米の高原で、その上に殘丘として聳えるものが靈山

**行政區劃**

|     |                |      |
|-----|----------------|------|
| 縣名  | 管轄國名           | 廳所在地 |
| 福島縣 | 磐城大部・岩代        | 福島市  |
| 宮城縣 | 磐城一部・陸前大部      | 仙台市  |
| 岩手縣 | 陸前一部・陸奥一部・陸中大部 | 盛岡市  |
| 青森縣 | 陸奥大部           | 青森市  |
| 山形縣 | 羽前・羽後一部        | 山形市  |
| 秋田縣 | 羽後大部・陸中一部      | 秋田市  |

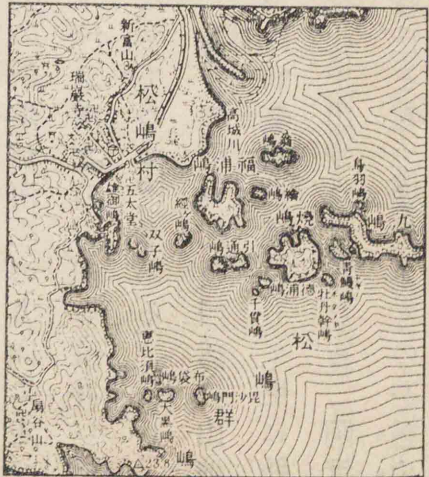


●松島(陸側)  
●飛行機から見た松島(上)  
●地圖に示すところと同じ五大島附近(同(下))

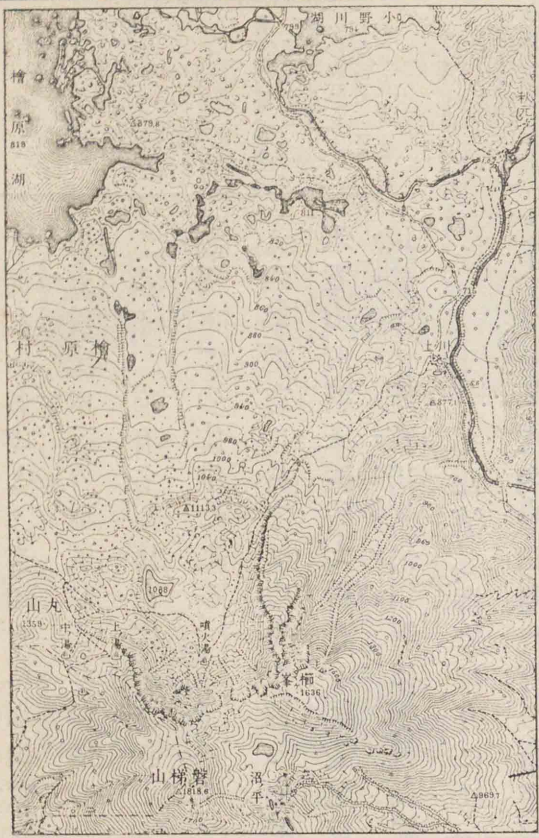


大瀧根山・大神山等である。北上山地は阿武隈山地よりも比較的高低が多く最高峯を早池峯といふ。

北上山地から東流する諸川の刻んだ谷の沈降したものガリアス式の海岸を形成する。兩側にリアス式の海岸をもつ牡鹿半島は南に突出して尖端に近く金華山島がある。東部低地 北流する阿武隈川南流する北上川及これに背きて北流する馬淵川等の流域を通ずる一大縦谷があつて諸平野

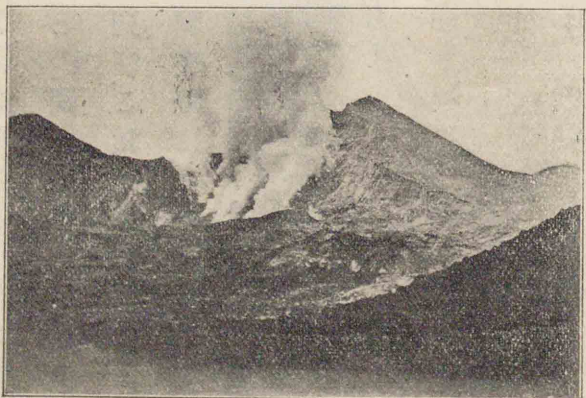


●破裂後の磐梯山  
●磐梯山(陸側)  
●磐梯山は明治廿一年の破裂で山體の大部分を飛ばし麓に檜原湖外二湖を生じてゐる(七萬五千分の一)



を含んでゐる。その内松島灣附近には断層侵蝕及沈降の諸作用によつて多島の松島を生じてゐる。中央分水山地は褶曲山地としては高く

ないが、これに伴ふ那須火山脈の那須山・磐梯山・安達太郎山・妻山・蔵王山・岩手山・八甲田山・恐山等その上に高く聳





●西部地方の地形

え、何れも名山として知られ、東山・飯坂・鬼首・浅虫等の温泉がこれに伴つてゐる。尚有名な猪苗代湖・十和田湖等もこの山中にある。



●十和田湖(陸湖) 三十萬分の一

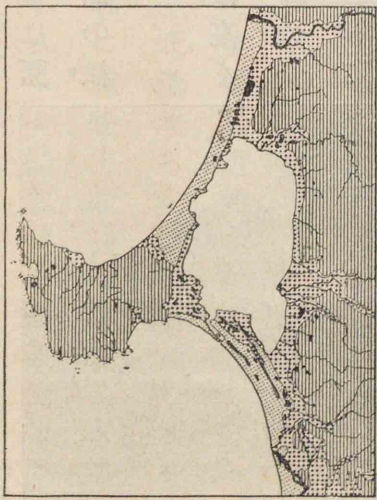
●男鹿半島

西は断崖をなしてゐる地塊で、寒風山がそこに噴火した

西部地方に於ては中央山地と出羽丘陵との間に断続的に會津米澤山形新庄横手大館等の諸盆地が縦に並び、これを潤ほす阿賀川・最上川・雄物川・米代川等は越後山脈及出羽丘陵に各横谷をなし



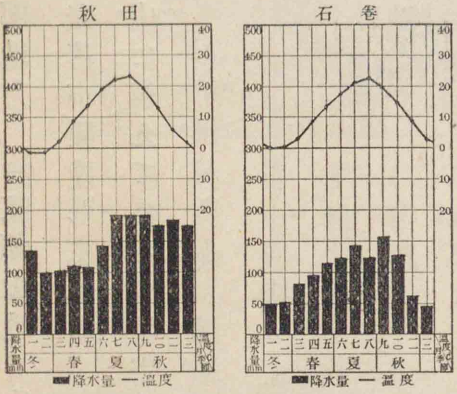
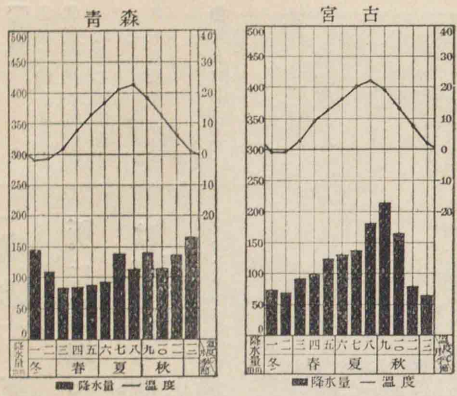
て西流し、海岸地方には庄内・秋田・能代等の諸平野があり、各河口は沿岸潮流のため何れも北に偏してゐる。ただ岩木川流域の津軽平野は山



●植物帯圖

(二一七頁)

●宮古・青森・石巻 秋田の氣候



氣候

この地方は中央の日本以西に比ぶれば地域が北に長く延びてゐるため、緯度による気温の變化があらはれ、北するに従つて気温が低い。植物帯は柳帯に屬する。西海岸が東海岸より暖いのは對馬海流と親潮との影響である。雨雪季も中央山地を境にして表と裏との差がある。

間盆地と海岸平野との中間性をもつてゐる。その東青森灣頭に青森平野がある。鳥海火山脈に屬する月山・鳥海山・森吉山・岩木山等は低い出羽丘陵の上に聳えてゐる。男鹿半島は二つの砂嘴によつて陸繋島となり、内に八郎潟を抱いてゐる。



- 【福島】
- 1 相馬焼を産する
  - 2 東京無線電信局に屬し發信を掌る
  - 3 八八七米

●北上海岸(陸・潮)  
廿萬分の一



處誌 東部地方 (一) 東部山地 (1) 阿武隈山地は四五百米の高所に耕地や聚落が發達してゐる。分水界は傾斜が鈍く、磐越東線は平から郡山に越えてゐる。牧畜は諸所に行はれる。北の谷に羽二重を産する川俣がある。濱通りの南部の常磐炭田は京濱に

近いためよく利用されてゐる。平はその中心で、中村は相馬地方にあり、原町には對米無線電信局がある。(2) 北上山地には放牧地が多く、横断路は仙人峠を越える。リ阿斯式海岸の灣頭に

【宮城・岩手・青森】

- 飛行機から見た
- 仙臺
- 仙臺(陸・潮)七萬五千分の一



は吉濱、釜石、宮古等があるが、内陸との連絡は不便で、且つ相互の陸上交通も必ず峠を越さねばならぬから、阿武隈山地東岸

の如き鐵道は未だに發達せず、船が各港を連絡してゐる。牡鹿半島の荻濱は横濱函館





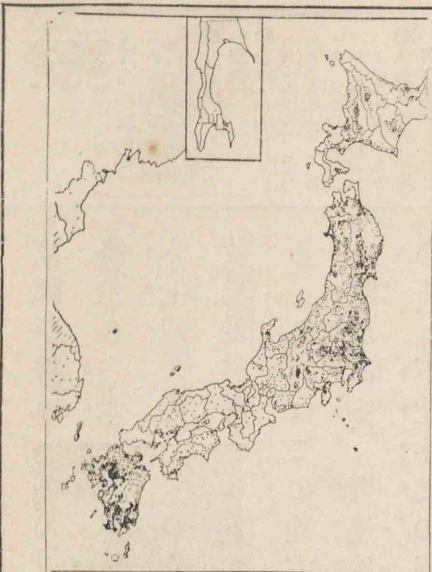
- 1 中通りと稱する
- 2 高商
- 【福島】
- 煙草の生産分布
- 七戸牧場(陸奥)
- 七戸牧場(陸奥)
- 七戸牧場(陸奥)



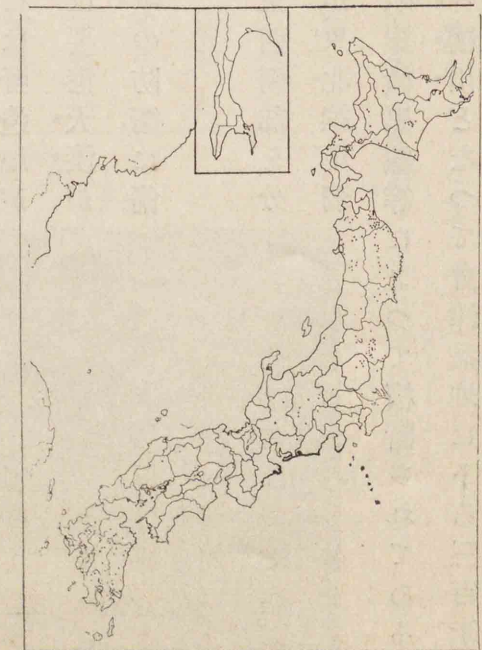
間の寄港地である。  
 (二) 東部低地 (1) 阿武隈川の谷は養蠶が盛で、煙草も栽培される。上流の白河は奥羽の關門で、附近に白河關址があり、馬市が立つ。郡

山市は東北線と磐越東西線の交叉點にあり、猪苗代湖に近く、動力と勞力との供給得易く、工業が勃興しつゝある。福島市は福島盆地の中心で、繭生絲等の取引が多い。(2) 陸前平野は米を産する。仙臺市は廣瀨川が山麓に出た所に位し、伊達氏の舊城下町で雄大な形を備へてゐる。東北の日本第一の文化

- 1 帝大・二高 高工
- 2 野蒜運河と貞山堀とがある
- 【宮城】
- 3 中尊寺がある
- 4 高農
- 鐵瓶を産する
- 附近に小岩井農揚がある
- 當才駒の分布
- (各點五百頭)
- この密度が最もよく
- 牧馬地帯を示すものである
- 馬の分布
- (各點五百頭)



の中心地で、教育、軍事の諸機關がある。鹽釜では漁船に石油を供給する。石巻はもと米の集散が多かつたが、東北本線に貨物を奪はれた。然し今は又小田



から、鐵道が開通した。(3) 北上川の谷の南の口に一關があり、その附近に藤原氏三代の根據地平泉の舊蹟がある。水澤には緯度觀測所があり、黒澤尻花巻は鐵道の分岐點である。盛岡市はこの谷の中心で、馬市が立つ。(4) 陸奥



【青森】

【奥羽諸縣】\*

【福島】(一)

1 浅虫の東部で

2 板谷峠で

3 中山峠で

●飛行機から見た

米澤

●米澤(陸測)

共に城下町としての

特色をあらはしてあ

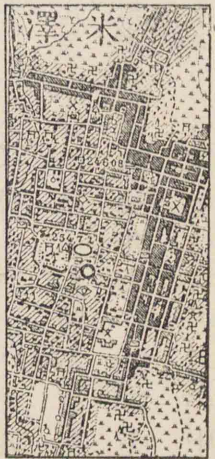
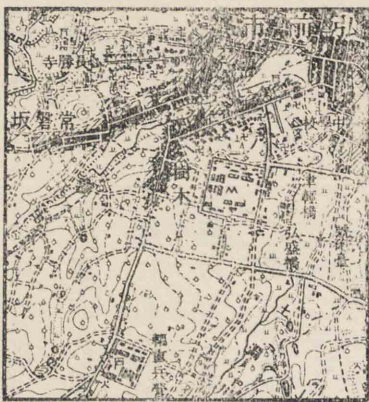
る、人家の密な町人

町と疎な土族町とが

よく対照をしてゐる

●弘前郊外の苹果

園(陸測)



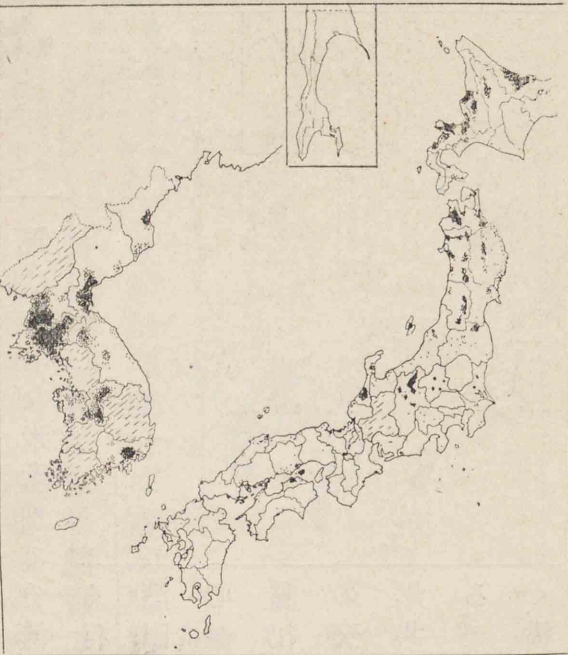
東部平野の臺地に三本木七戸の好牧場地がある。八戸はこの地方の中心で、附近に湊及鮫がある。野邊地灣頭には野邊地がある。下北半島の内側には要港大湊があつて、津軽海峡の防衛に備へてゐる。

中央山地は東西兩部を分つ障壁であるが、東北線奥羽線磐越西線陸羽線横黒線等によつて横斷されてゐる。猪苗代湖から日橋川となつて會津盆地に下る三百米

- 1 會津籠城、白虎
- 2 高工
- 3 高校

【山形】(二)

津輕平野に於ける苹果園の分布、弘前郊外の懸崖、川前山の地盤、近川山脈の地盤、山形市の地盤、白虎の地盤、會津籠城、白虎の地盤、高工の地盤、高校の地盤



●苹果の生産分布(各點八千貫)の水の落差は、猪苗代發電所を起し、東京へ長距離の送電をする。地方西部



(一)會津盆地の中心は若松市で、戊辰

の戦蹟がある。(二)最上川流域

(1)米澤盆地(置賜地方)は山形盆地

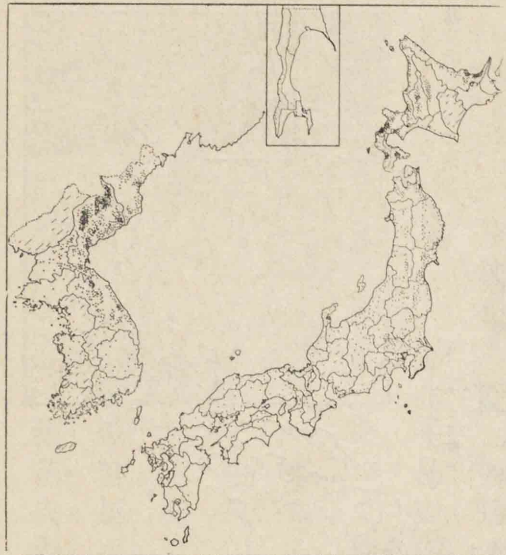
と共に養蠶と米作とが盛である。その中心は米澤市で米澤織を

産する。(2)山形盆地(村山地方)の中心は山形市で、市は扇状地の

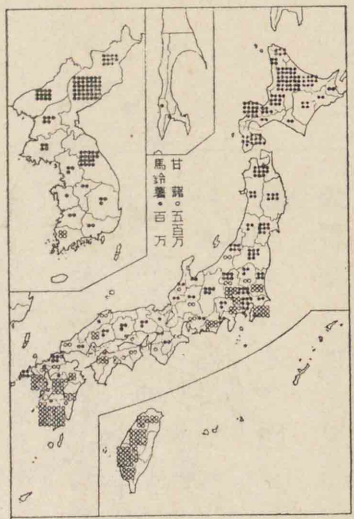
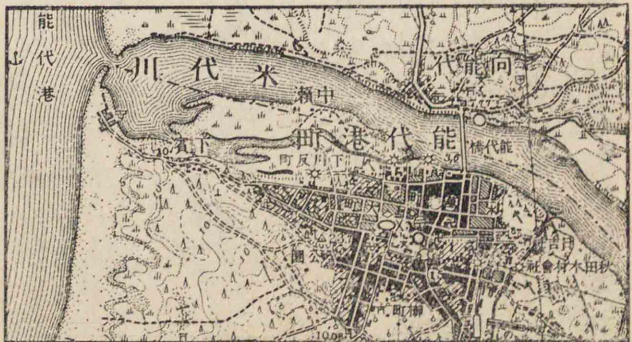
上にあり、櫻桃を産する。最上川の水運は鐵道が併行して敷設され



- 1 附近の余目で羽越線と陸羽西線とが會合する
- 2 横黒線が出てゐる
- 能代港（陸羽西線の下米代川、林用鐵道、町木場製材所等があらはれてゐる）
- 【秋田】(三)
- 馬鈴薯の作付反別（各邑百町歩）



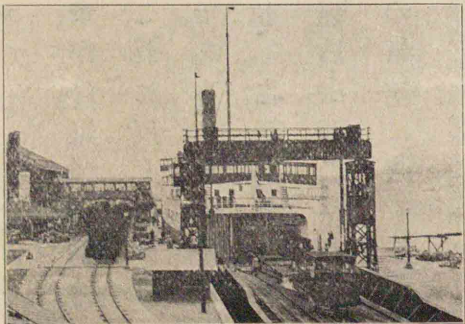
たため衰へた。(3)新庄盆地は耕地と牧場とが交つてゐる。新庄は尾花澤・大石田と共にこの流域の深雪地である。奥羽本線と陸羽東西線がこの地で交叉してゐる。(4)庄内平野は有名な米産地で、分流によつて灌漑がよく行はれてゐる。北に酒田・南に鶴岡市の二中心がある。酒田は米の移出で知られ、北海道との交通もあるが、日本海岸共通の缺點を有し新潟の如く苦しんでゐる。(三)雄物川流域 (1)横手盆地は水田が多く、横手はその名邑である。(2)秋田平野の中



- 甘藷・馬鈴薯の生産分布(府縣別)
- 青森埠頭に於ける貨車積載の青函連絡船
- 銅の生産分布圖 (二九頁)
- 1 鐵専：高校
- 2 氣候と土質と努力によつて發達した
- 3 木通細工（アケビザイク）・津輕塗を産する
- 【青森】(五)(六)

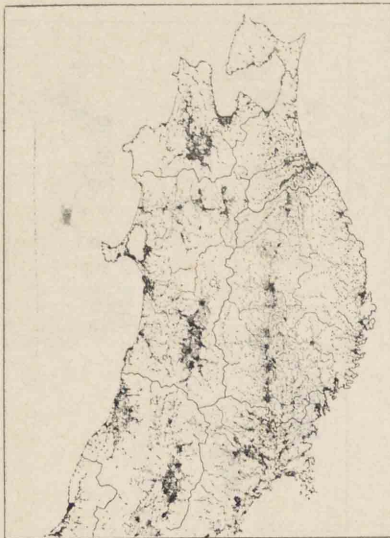
の銀銅の鑛山に富み、又杉の美林があつて、米代川河畔に運ばれて製材される。河口の能代港はその中心である。(五)津輕平野は我が國第一の苹果の産地で、弘前市はこの平野の中心である。(六)青森平野 青森灣頭の青森市は本州島の北端に近いたため、青函及青森・室蘭間の連絡船が發着し、又津輕半島の羅漢柏材の集散地で

心は、秋田市で、絹織物を産する。土崎港はその外港で、又製油所があるが、西北風の強い時船は船川港に避ける外は無い。附近の秋田油田は南北に長く、越後油田と對してゐる。(四)米代川流域 秋田縣の山地は小坂・不老倉・阿仁・尾去澤等





- 米の生産分布圖 (二四頁)
- 小麦・大麦の生産分布 (二六頁)
- 大豆の生産分布圖 (二〇四頁)
- 桑畑の分布圖 (一八頁)
- 繭の生産分布圖 (一九頁)
- 奥羽地方の人口分布 (各縣大一萬人、中五千入、小二百人)



あり、漁港としても注目されて来た。

**産業**

米は南部に多く、北部では年によると米作に気温の不足することがある。又東部よりも西部に多い。これに反し麥が東部に多いのは降水量殊に冬の雪が少ないためである。馬鈴薯大豆はよく風土に適し、北部に於て多く收穫される。北部は桑の成育に適しないため養蠶は南部に限られてゐて、福島・山形二縣の諸

盆地に盛である。冷涼の氣候に適する苹果は津輕平野を中心として北部に多い。馬は東部の原野に放牧せられ、我が國で最も重要な地帯をなしてゐる。鑛業も亦この地方の一特色で、秋田縣の金屬鑛山及油田、釜石の鐵山、常磐の炭田等それら知られてゐる。津輕半島と出羽丘陵の北部は

森林よく育ち、東部の沿海では鮪、鯨を漁獲する。近代式の製造工業は未だ多く起らず、從來の絹織物、漆器、陶器及その他の手工藝品があるに過ぎない。

**交通**

中央の日本と連續して本州島を縦貫する諸鐵道が縦列の地形に沿うて發達してゐる。

東部低地の東北本線、東海岸の常磐線、西部盆地列の奥羽線、西海岸の羽越線の四線は略併行してゐる。東西の横斷線は奥羽線、磐越線、陸羽線、横黒線等の如く漸次横谷を利用して開通しつつある。日本海岸の港は北上海岸のものに比し、後背地との連絡はよいが、浅い河口にあるのと、冬は殆んど交通が絶える缺點がある。

**商業**

東京の商圏に屬するが、日本海岸では羽越線の開通によつて大阪の商圏が北に延びつゝある。港は北海道及樺太と取引が多いが、貿易港は青森ただ一港である。

**人口密度**

人口は本州島の他の地方に比ぶれば最も稀薄である。文化が東北に移る所に當つてゐる。各河谷平野、盆地及海岸

● 人口の分布圖 (巻頭、三四頁)



平野には相當に聚落も發達し、各平野には一つ若くは二つの中心都會がある。そこが地形及位置の關係で鐵道の交叉點になつてゐる所が多い。地形と交通と聚落と人口との關係が明瞭である。

都邑の人口 (單位千人)

|     |         |           |         |           |         |         |         |
|-----|---------|-----------|---------|-----------|---------|---------|---------|
| 福島縣 | 郡山市(四三) | 若松市(四四)   | 福島市(四四) | 平町(三)     | 白河町(三)  | 須賀川町(六) | 喜多方町(二) |
| 宮城縣 | 中村町(九)  | 川俣町(七)    | 石卷町(五)  | 鹽釜町(六)    | 氣仙沼町(二) | 岩沼町(六)  | 一關町(九)  |
| 岩手縣 | 盛岡市(五)  | 釜石町(三)    | 弘前市(六)  | 宮古町(六)    | 水澤町(三)  | 野邊地町(二) | 黒澤尻町(七) |
| 青森縣 | 青森市(五)  | 八戸、湊、鮫三町村 | 米澤市(四)  | 八戸、湊、鮫三町村 | 酒田町(五)  | 新庄町(二)  |         |
| 山形縣 | 山形市(五)  | 米澤市(四)    | 能代港町(三) | 鶴岡市(三)    | 酒田町(五)  | 新庄町(二)  |         |
| 秋田縣 | 秋田市(四)  | 能代港町(三)   |         | 土崎港町(六)   | 横手町(六)  | 小坂町(三)  | 船川港町(七) |

問題

- (一) 奥羽地方の東部西部の二地方を比較せよ
- (二) 奥羽地方の氣候の特色及それと人文との關係を説述せよ
- (三) 日本海沿岸地方と北陸地方とを比較せよ

- (四) 奥羽地方の水系圖を描き、之に鐵道と主なる聚落とを記入し、それ等の相互の關係を説述せよ
- (五) 各縣としての特色を挙げよ

第七章 北海道地方

位置と地理的區分

北海道地方は奥羽地方の北に位し、北及西

行政區劃(十六市、十四支廳) 市名 函館、札幌、小樽、旭川、室蘭、釧路

支廳名 南館、江差、倶知安、室蘭、札幌、石狩、空知、浦河、上川、留萌、宗谷、釧路、網走、大沼、この他に千島列島がある

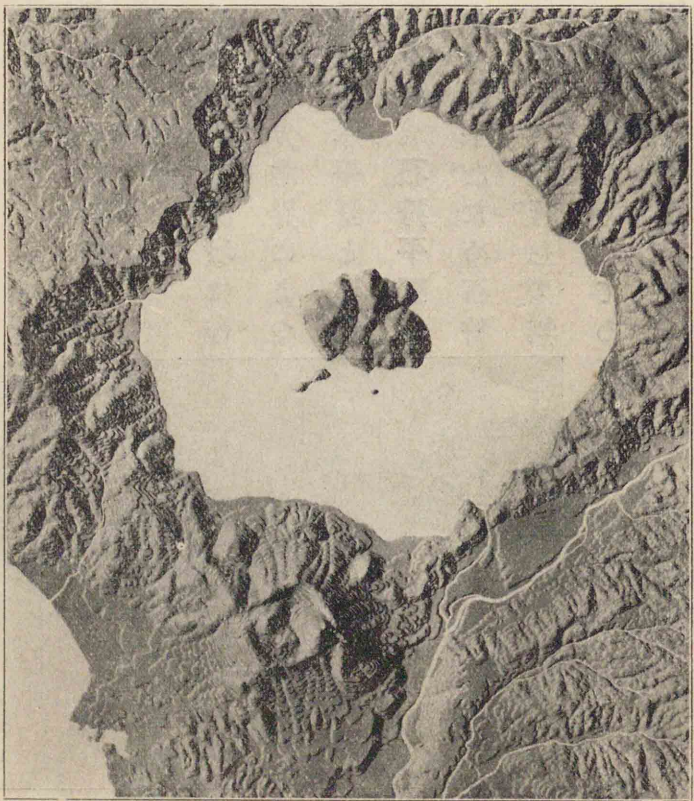
は海を隔て、露領シベリヤに對し殊に千島列島はカムチャッカ半島に接近してゐる。

この地方を地理的に大別すると半島部、中央低地、胴體部の三区となる。

地形 半島部は

火山を含む山地で奥羽地方と連続してゐる

たものが、津輕海峽の陥没によつて分離されたものである。平野は殆んど無いが火山には有名なものが多く、破裂して南





麓に大沼公園を造つた駒ヶ嶽、夷富士と  
 呼ばれる後方羊蹄山、洞爺湖をもつ有珠  
 岳、支笏湖をもつ樽前岳等があり、本島で  
 最も有名な登別温泉も亦この地帯に屬  
 してゐる。

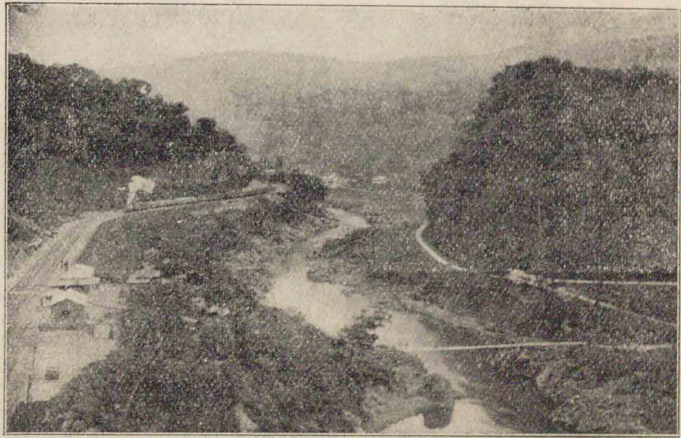
● 神居古潭の横谷  
 ● 千島の火山島  
 (陸測)十五萬分の



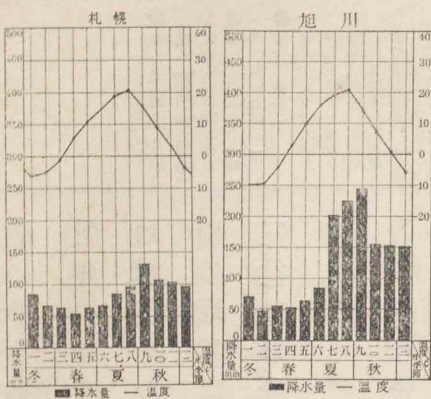
中央低地は殆んど石狩川の流域で極

めて低い分水界によつて膽振海岸平野と連続してゐる。石狩平野は極めて低平なため石狩川は自由に蛇行して無数の三月沼を造つてゐる。

胴體部は山脈が丁字形をなし、中央部の交叉點



1 蝦夷山脈は分つて日高山脈、北見山脈とする  
 ● 北見常呂川上流の原生林  
 ● 旭川と札幌との氣候



が最も高い。蝦夷山脈は襟裳岬から宗谷岬まで縦走し、石狩岳、天鹽岳はそれに屬し、千島火山脈は中央部から東知床岬に達し、東部には雄阿寒岳、雌阿寒岳とそ  
 の附近に阿寒湖、屈斜路湖、摩周湖の一群があり、オホーツク海太平洋兩斜面の分水界をなし、中央部には最高

峯旭岳の外近年活動した十勝岳がある。蝦夷山脈の西には夕張山脈、天鹽山脈等が前山の形に於て存し、その間の陷没地には空知川の上流にある富良野盆地、石狩川及其の支流美瑛川の流域にある上川盆地、天鹽川の上

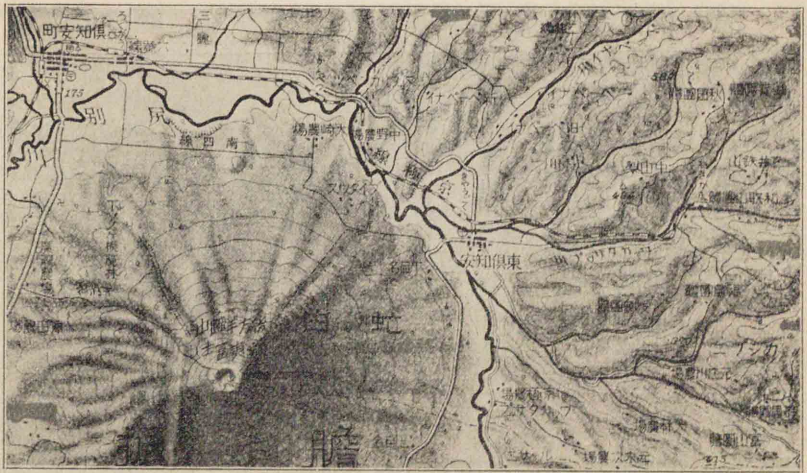




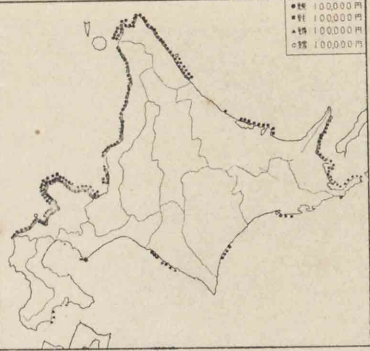
●後方羊蹄山と山麓の開墾地(陸)遷移住者の原籍地を語る開墾の名づく地名が多い(廿五分一)  
●余市(陸)測海岸に沿った人家の残存所はすべて湖の漁場であり、果樹園の符號はすべて蘋果園である



流にある名寄盆地等が併んで縦谷の盆地列をなし、空知川、石狩川、天鹽川等は横谷をなして西流してゐる。石狩川の横谷は神居古潭の峽流である。三盆地の分水界は低く、一の通谷をなしてゐる。胴體部の東南部には十勝及釧路根室等の平野がある。十勝平

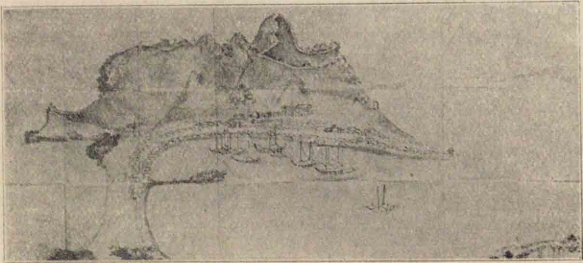
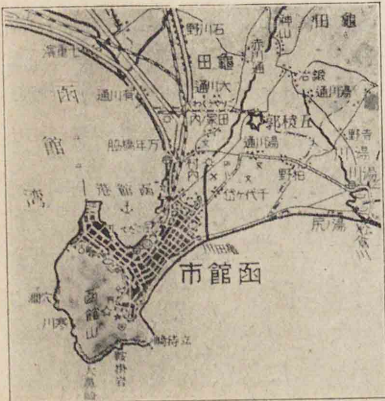


●北海道の沿海漁場



●函館(陸)測廿萬  
●幕末の箱館港  
▲地圖と比較せよ  
▲琉球と比較せよ

てオホーツク海に入り、到處砂嘴が発達し、その内側に網走湖、猿瀨湖等の潟がある。千島列島は弧状をなす火山列島で、その外側には深い海溝がある。

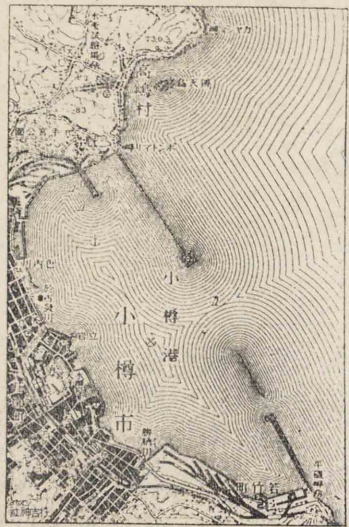


野は臺地性の平野で十勝川が侵蝕してゐる。釧路根室平野も臺地性で、釧路川、西別川、標津川等の流域である。釧路から花咲半島に至る地域は岩石海岸であつて、厚岸灣、中灣がある。根室灣及根室海峽に面する地域は砂質海岸で、野付崎の砂嘴及風蓮湖の潟がある。胴體部の東北部に當る北見海岸平野は常呂川及その他の河川が併行し



氣候

奥羽地方より更に高緯度になるため氣温は一層低い。日本海岸が太平洋岸より比較的高温であるのは對馬暖流と親潮との關係によることは奥羽地方と同じである。旭川が時に驚くべき低温を示すことのあるのは最も海と隔つた内陸盆地にあるからである。雪は降るが降水量は奥羽地方よりも遙かに少い。初秋の低氣壓の影響は稍あるが梅雨の現象は全く無い。オホーツク海に面してゐる北見の海岸及根室海峽方面は凍結及流水の襲來がある。寒暖二流の接觸するため所謂ガスと稱



●小樽  
▲地圖と比較せよ  
●小樽(陸測)七萬五千分の一

する霧が屢起る。



する霧が屢起る。

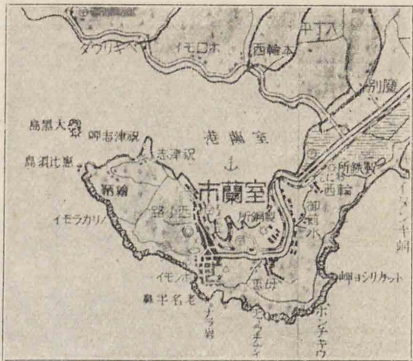
植物帶

津輕海峽以北は杉は殆んど無く蝦夷松檜松等が主となる。

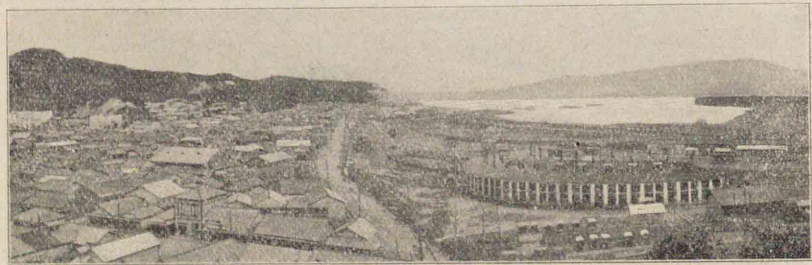
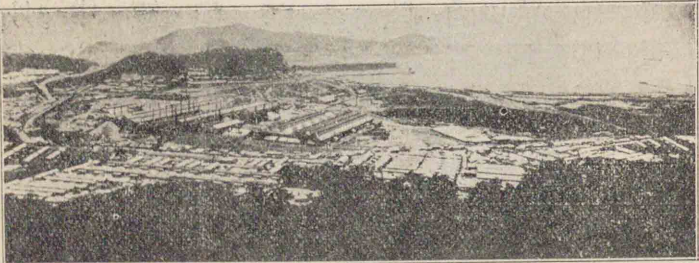
處誌

半島部には

耕地は少いが後方羊蹄山の麓の如きは古い開墾地で俱知安はその首邑である。余市は本島で最も多く苹果を産する。鯨はもと西海岸で多く獲れ、江差、壽都、岩内等はその漁港として榮えたが、今は水温の變化によつて漁獲が減じ、これ等



●室蘭(陸測)廿萬  
●室蘭輸西の製鋼所  
●室蘭  
●苹果の生産分布圖(二五一頁)



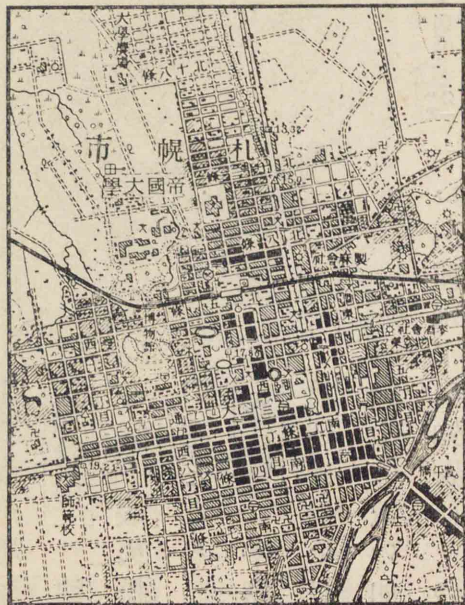


1 やませと稱する強い南風の蔭に福山はもと松前と稱し最初の開拓の根據地であつた

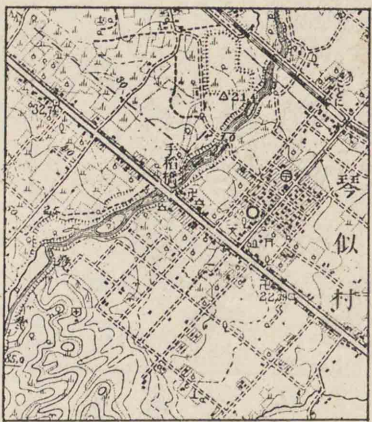
2 高商

●札幌  
中央の街路は廣く且つ新式である

●札幌(陸・柳)  
市内に泉の多いのは扇状地の伏流水である



の聚落は打撃を受けた。然し積丹半島の北では今尙漁獲があり、余市はその中心である。本島の最も重要な開港函館・小樽・室蘭の三港はすべてこの半島部にある。各港は何れも更に小突出になつて風波を避けてゐる。函館市には砂洲により陸繋島になつた函館山の内側に港がある。この地は本島の關門で最初に開けた所である。小樽市は高島岬

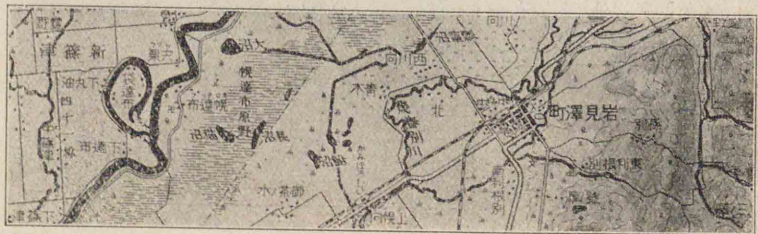
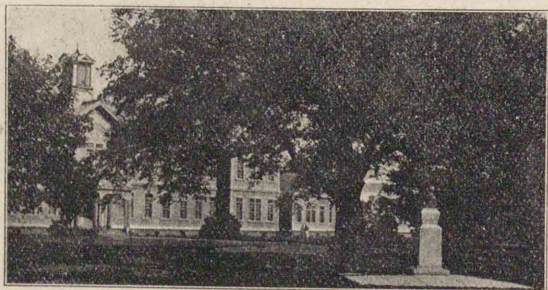
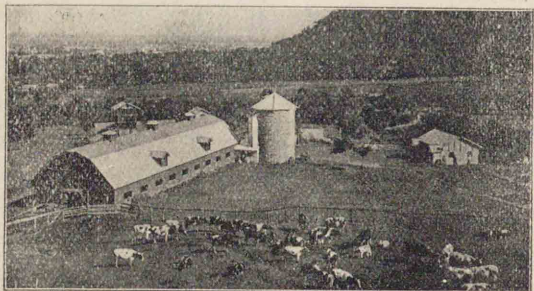


●札幌の西郊(琴似村)(陸・柳)  
畑では各種の西洋野菜が栽培され、草場では乳牛が放牧され、果樹園には櫻桃がある

●札幌郊外の乳牛舎  
楡の大樹を有する大学の校庭

●石狩平野の一部  
石狩川の蛇行、不毛の低濕地、岩見瀨附近の開墾された農場等があらはれてゐる(陸・柳、廿五分)

室蘭市は輪西の砂洲により陸繋島となつた繪鞆岬の内側には港のあることは函館の地形と酷似し



の内側に長い防波堤を設けた港で、札幌の外港であると共に石狩平野・上川盆地・十勝平野等の咽喉であり、又樺太との関係も深く、石狩炭田の石炭の輸移出が多い。

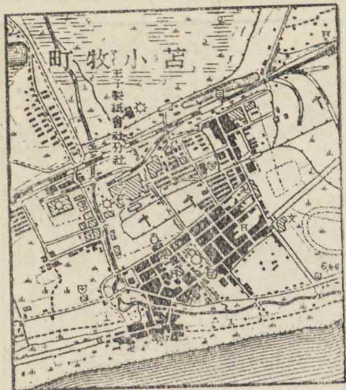


室蘭は青森との定期船の外内浦灣を隔てた森とも連絡船があり、且つ長輪線も開通した

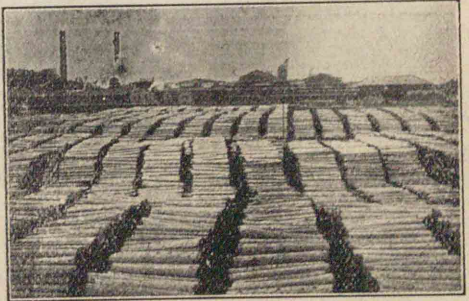
● 苫小牧製紙會社

1 帝大・道廳・試験場等

● 苫小牧(陸測)



てゐる。石狩炭田から容易に石炭を輸送され得るので大製鋼所が設けられてゐる。中央低地の石狩川の沿岸は低濕に過ぎて耕作に適しない所が多いが遠ざかるに従つて放牧及耕作が行はれる。東の山の麓にある岩見澤は古い開墾地である。札幌市は豊平川の扇状地の上にあつて本島の文化の中心で、政治・學術の諸機關が備つてゐる。街區は米國式の條里正しいものである。農産物を原料とするビール醸造製麻等が行はれる。石狩川口は淺いが石狩は溯る鮭を獲る好位置にある。膽振海岸の苫小牧には大製紙工場がある。



術の諸機關が備つてゐる。街區は米國式の條里正しいものである。農産物を原料とするビール醸造製麻等が行はれる。石狩川口は淺いが石狩は溯る鮭を獲る好位置にある。膽振海岸の苫小牧には大製紙工場がある。

胴體部

(一) 上川盆地が殆んど水田として利用され

● 米の生産分布圖 (二四頁)

● 旭川市の東方の東旭川村

屯田兵の開墾した兵村で條里正しく用水路も自然の傾斜に沿うて流れてゐる(七萬五千分の一)

● 石狩川上流の鮭の人工孵化場

支笏湖から流れ出る千歳川畔にある

1 第七師團司令部も置かれ軍事上の要地である

● 旭川(陸測)七萬五千分の一



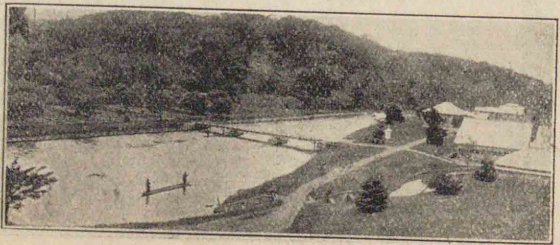
てゐる點は石狩平野と趣を異にしてゐる。灌漑用水網よく發達し、又大陸性の氣候のため米の成育時期に高温なのが好都合である。盆地の水系の軸に旭川市がある。市街の條里、製麻製粉等工場のあることなど札幌に似る。



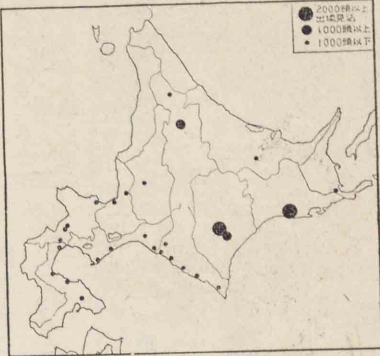
この地は海から最も離れた内地であるが、南北の通谷と東西の横谷とによつて函館本線・宗谷線・富良野線等が三方に通ずることが出来る要地にある。

(二) 名寄盆地にも水田がある

る。北見行の名寄線が名寄から岐れてゐる。(三) 富良野盆地は空知川の谷及狩勝峠と共に石狩平野と十勝平野との連絡路をなしてゐる。(四) 中央山地の周縁地 石狩







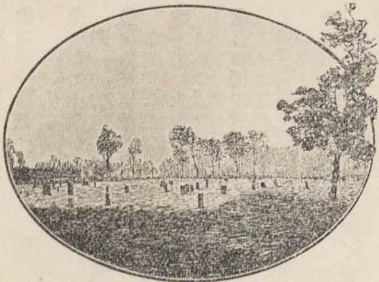
●北海道の馬市の分布  
 ●狩勝峠  
 ●雄大な景である  
 ●北ヨーロッパに多く栽培される  
 ●根室(陸)七萬五千分の一



留・萌は上川盆地に近い港である。(五)十勝平野は十勝川の氾濫原が水田と化しつゝあるが、臺地が主なので未だ畑・林牧場等が多く、畑では豆及甜菜が作られる。甜菜は低温地に適する砂糖の原料



- 馬の生産分布圖 (二四九頁)
- 當歲駒の生産分布圖 (四九頁)
- 1 開港場
- 2 驛に馬が備付けられてあつて行人に使はせる
- 3 近くの落石岬(オツチシ)には米國航路の汽船への通信に便利なる無電局がある
- 石狩平野北部の開墾



であつて、今これが耕作奨励中である。帯廣はこの平野の中心で、池田は網走線の分岐點である。(六)釧路根室平野 釧路平野は牧畜が行はれ、大・樂毛の馬市は名高く、白・糠・標・茶には軍馬の育成所がある。厚・岸・濱・中沿海は昆布の産地で、釧路市は集散地である。根室地方では開拓未だ進まず、驛遞の制度が今尙行はれてゐる。花・咲・半島はガス多く、植物は矮小である。鮭は西・別・川口の西・別で獲れる。根室は千島沿海の漁業の根據地で、水産物の取引が盛であるが、海面凍結するときには半島の南岸の花・咲を代用する。

(七)北見海岸の中心は網走で、常呂川の中流には野・付・牛があり共にマッチの軸木を産する。千島列島は根室を根據地として交通し、近海は漁業が比較的盛である。米露二國との國際的關係上この列島は重要な位置を占めてゐる。國・後・擇・捉・占・守・阿・頼・度等は主な島で、紗・那は首邑である。



- 畑の分布圖 (二五頁)
- 小麥の生産分布圖 (二七頁)
- 馬鈴薯の生産分布圖 (二五二頁)
- 苹果の生産分布圖 (二五一頁)
- 日高國平取村のアイヌ部落 屋根の葺き方に特色がある (二四頁)
- 米の生産分布圖 (二四頁)
- 大豆の生産分布圖 (二〇四頁)
- 白老村のアイヌ部落 (陸・湖) コタンと稱する海濱の人家疎かな一區がアイヌ人の特別區である (二〇四頁)



**商業** 開拓に洋式の長所を採用したり、移住民を奨励したりしたため農業が大に進み、耕地も次第に増した。大農法で廣大な畑を耕し、作物の種類にも洋種が多い。燕麥・甜菜・亞麻・甘藍・蕎麥・小麥・馬鈴薯及苹果・櫻桃等の栽培が行はれるのは冷涼地の特色をよく現はしてゐる。米はガスの影響ある海岸約四軒の地帯を除いては全道に耕作可能で、現在上川盆地に最も多く産する。畑地は豆類の産額頗る多く、玉蜀黍・裸麥・菜種等も産する。



上川盆地・石狩平野・十勝平野等は耕地が最も多い。一般に原野多く放牧に適し、又冬期舍飼のため牧草も豊富であるから牧畜は盛である。殊に良馬を産し、御料牧場・軍馬育成所を始め各地で好成绩を擧げてゐる。蝦夷松・檜

- 馬の生産分布圖 (一四九頁)
- 當歳駒の生産分布圖 (二四九頁)
- 洋紙の生産分布圖 (五〇頁)
- 和洋紙の生産分布圖 (五〇頁)
- 千島・奥尻島 石炭の生産分布圖 (二二五頁)
- 石炭・石油の生産分布圖 (二二二頁)

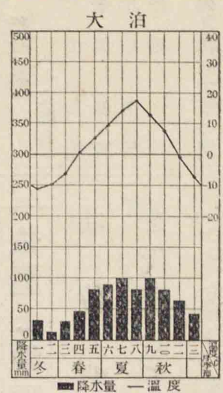
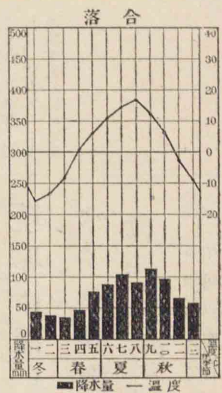
松等の寒帯性の原生林があるので、それ等は製紙原料のパルプにし、白楊はマッチの軸木に、檜は鐵道の枕木として他へ供給する。石炭の量は東北の日本第一で、九州炭に次ぐ炭量を出し、火山地方からは硫黄を産する。水産は鱈・鮭等も獲れるが、低溫の水に適する鮭・鱒・殊に鱈が最も盛である。漁期には本州から出稼するものもあり、又函館その他を根據としてシベリヤ近海に出漁するものもある。昆布は又特色ある水産である。工業は農林の産物を原料とする麥酒・酒精・澱粉・麻絲・洋紙等の製造が札幌・旭川を始め各地に勃興してゐる。

**交通** 開拓の當初は沿岸の航路先づ發達し、次に内地の開發につれ鐵道網が次第に密になつた。函館本線は半島及石狩平野の中軸を貫いて上川盆地に達し、根室線は十勝平野及釧路根室平野と石狩平野との連絡、宗谷線は樺太との連絡を保つてゐる。室蘭





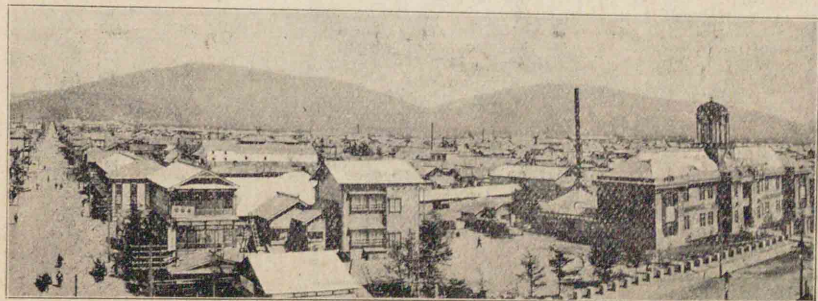




●落合・大泊の氣候  
●豊原  
●豊原(陸) 新開地の景観があらはれてゐる

は東北山脈と稱し、南は尖つて北知床半島をなし、南端の北知床岬の沖には海豹島がある。中央低地の南部は南流する鈴谷川と

**地形** 二條の山地とその間の一條の低地が縦走してゐる。東半は更に多來加灣の陥没によつて南北の二つに分れ、東部山地の南部は鈴谷山脈、中部は知床半島及富内、西部は低地とから成つてをり、北部



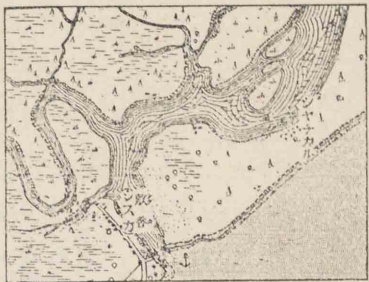
●大泊(陸) 七萬五千分の一臺地の谷に市街が発達してゐる

●大泊港

北流する内淵川及その支流大谷川の流域で、兩流域の分水界は極めて低く、一通谷をなしてゐる。中央低地の北部は露領から流れて来る幌内川下流の低濕な平野で所謂ツンドラ帯である。西部山地は西能登呂岬から國境まで連続してゐる樺太山脈で、眞縫久春内間だけが地峽をなしてゐる。西海岸は鈍い弧線の集合で、亞庭灣と多來加灣との孤線が最も大きい。海岸は隆起した段丘のある所が多い。地形を全體的に見ると北海道の胴體部の連続である。







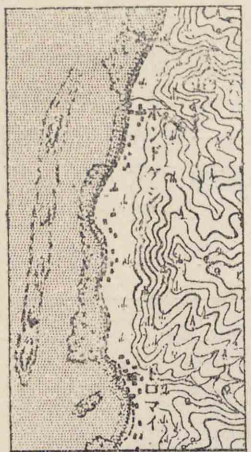
●敷香(陸測)七萬五千分の一  
ツンドラがよくあらはれてゐる

●真岡  
ツンドラ

●築港前の本斗  
沖の岩礁がよくあらはれてゐる

●真岡(陸測)  
(次頁)  
海岸段丘がよくあらはれてゐる

馬海流が岸に沿うて北上してゐるからである。降水量は我が國に於て最も少い。ガスは宗谷海



氣候

我が國に於ける最も高緯度の地方であるから氣温が最も低く、寒暑の較差も大である。冬は海面も凍結するが、西岸に凍らない所のあるのは對馬海流が岸に沿うて北上してゐるからである。降水量は我が國に於て最も少い。ガスは宗谷海

生物帶

植物は寒帯性の蝦夷松、椴松、落葉松等の針葉樹と白樺とがあり、ツンドラには水苔類と矮小な落葉松とのみしか見えない。森林には狐



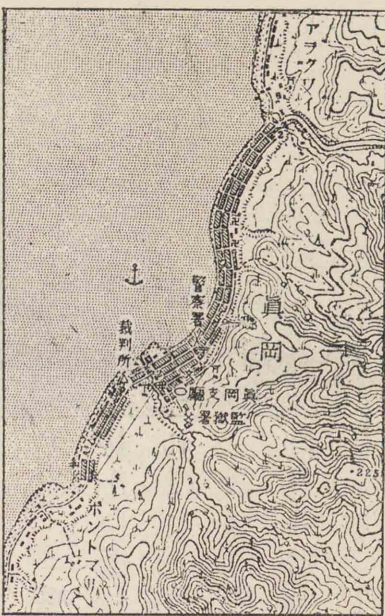
が棲息し、海豹島には臘肭獸が保護されて繁殖し、海馬島には海驢がゐる。土人の一部は馴鹿を飼ふ。

處誌

中央低地 (一) 鈴谷平野は本島中開拓が最も進み、農業がよく行はれてゐる。樺太の行政の中心地として平野の中央に



●農場と農村部落  
樺太の農業地帯





1 敷香は毛皮の集散地である  
 樺太に於けるアイヌ部落  
 ▲北海道のアイヌ部落と比較せよ  
 ●ギリヤツク  
 人とテントとがあらはれてゐる

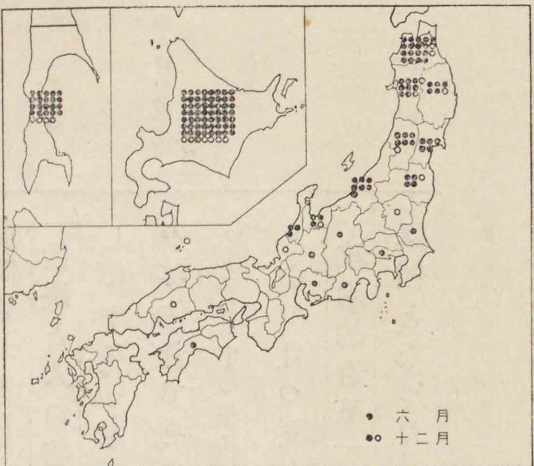


豊原の市街が新に經營された。大泊は平野の南端の近くに在り、鈴谷山脈の南端が亞庭灣頭に臨むところに發達し、水産物及木材の集散が多い。稚内及小樽と連絡してゐるが、冬は凍結するため、碎氷船を用ゐる。鐵道はこの地から平野に沿うて豊原落合を経て榮濱に達し、更に北上する。(二)幌内平野はツンドラで、耕作に適しないから農業は行はれない。西南部の灣頭に敷香と内路とがある。



西部山地 (一)主體山地に於ては針葉樹の原生林から製紙の豊富な原料、川上炭田から燃料を得、狐から毛皮が獲れる。建設中の眞豐線は河谷を利用し

● 樺太の内地人の原籍別  
 ● 米の生産分布圖 (二四頁)  
 ● 大豆の生産分布圖 (二〇四頁)  
 ● 馬の生産分布圖 (一五二頁)



● 六月  
 ○ 十二月

て横斷せんとしてゐる。(二)西海岸は氣温比較的高く農業も漁業も行はれ、その南部は海も凍らず、冬本土との好連絡地で、眞岡と本斗の二港がある。眞岡は漁業の根據地で、本斗は岩礁が沖に横はつた天然の防波堤をもつ良港である。

**産業**

氣温低く作物の成育時期が短いから、北海道には及ばないが夏が比較的高温のため米作も甜菜も試みられてゐるし、燕麥・大豆・馬鈴薯・蕎麥等の如き北海道と同種のもものが鈴谷平野及西海岸に耕作されてゐる。山地からは木材・石炭・毛皮等を産する。水産は最も價值あるもので、寒帯性の鱈・鱒・鮭・鱒・昆布等を産すること、は北海道に似てゐる。近時蟹も獲れる。漁期には定期的に出稼に來るものが多い。工業は未だ發達しないが、パルプ・製紙・製材等



●洋紙の生産分布  
圖 (五〇頁)  
I 大泊 落合・眞岡・泊居等

●人口の分布圖  
(三四頁)

の工場は各地にある。

交通

鐵道は鈴谷平野の縦谷に縦貫本線先づ開通し、次は西海岸線設けられ、今や豊原・眞岡の兩中心地を結ぶ横斷線が全通せんとしてゐる。航路は凍結流水及ガス等の中心を通過するが大泊・眞岡・本斗等によつて北海道及本州と連絡してゐる。

住民と人口密度

南から移住したアイヌは南部に、北から南下したオロコ・ギリヤックは北部に残存してゐるが、大部分は内地からの移住者で、その原籍地は奥羽地方が主である。アイヌの如くオロコ・ギリヤックも亦、特殊の風習を保存してゐる。人口密度は極めて小で、且つ夏と冬とに於て季節的に増減がある。

政治的沿革

幕末、日露交渉の結果、南半と千島とを交換し一時露領となつたが、明治三十七八年戦役の結果再び我が有に歸した。

都邑の人口 (單位千人)

大泊町(四)

豊原町(三)

眞岡町(三)

落合町(八)

本斗町(七)

問題

(一) 樺太と北海道とを比較せよ  
(二) 樺太の氣候と人文との關係を説述せよ  
(三) 樺太西海岸の自然と人文とを説述せよ

(四) 樺太及北海道の移住地としての價値について説述せよ

第九章 臺灣地方

行政區別

(五州三廳)

州名 廳所在地  
臺北 臺北市  
新竹 新竹街  
臺中 臺中市  
臺南 臺南市  
高雄 高雄市  
廳名 廳所在地  
臺東 臺東  
花蓮港 花蓮港  
澎湖 馬公街  
1 この他に澎湖島がある  
2 三九五〇米  
3 三九三一米  
4 山間の湖で景色よく有名である

位置と地理的區分

臺灣は我が國の西南端に位し、亞熱帶性の氣候の地域を代表してゐる。臺灣海峡によつて、支那の福建、廣東二省と對し、香港に近く又南洋に對する發展の好根據地である。

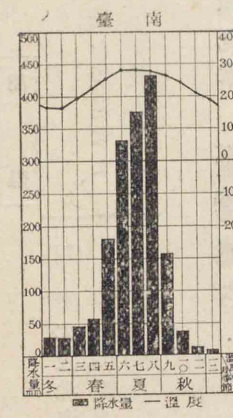
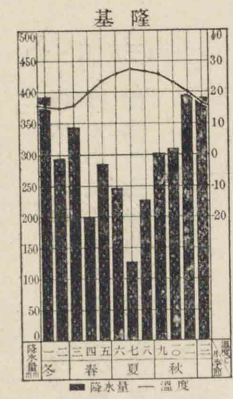
地形

この地方を地理的に分つと、東部山地、東部縦谷、中央山地、臺灣平野の四區となる。  
中央山地は北北東から南南西へ島軸に沿うて走り、東西兩斜面を分ち、我が國最高峯の新高山及次高山等はこの中に聳えてゐる。  
三貂角とトム角とはこの山地北端の兩翼で、宜蘭平野はその中央の彎入に堆積したものである。西斜面の濁水溪の上流は縦谷、中流は横谷をなしてゐる。埔里盆地及日月潭(湖竹)は本山

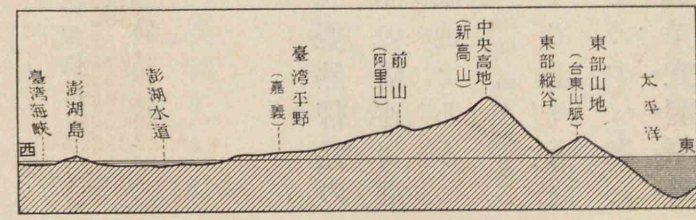


1 二六五二米  
2 又は西部平野ともいふ

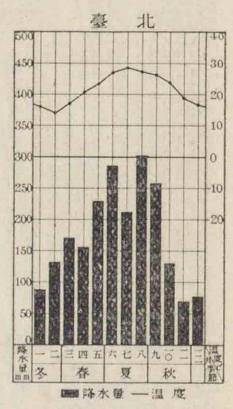
▲主なる河の名を挙げよ  
●臺灣の東西横斷面  
●基隆・臺北・臺南恒春の氣候



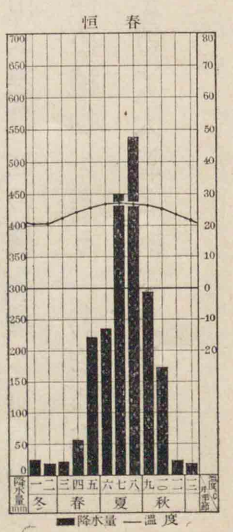
多島な澎湖島がある。中央山地の東には



とその西に横はる前山との境をなす谷で、前山は本山よりも低く、阿里山はその中にある。北部には霧島火山脈の延長である大屯火山群があり、有名な北投温泉がこれに伴つてゐる。臺灣平野は廣く長く南北に互つて、その北部には臺地が多く、淡水河の上流には臺北盆地がある。中央の最も幅の廣い所は濁水溪の諸分流の堆積地で、その他何れの河もそれ〴〵大三角洲を造り、それが複合して臺灣平野ができた。西海岸は遠淺で、自然に平野から海に傾いてゐて、臺灣海峽は陸棚をなし、その上に低平で多島な澎湖島がある。中央山地の東には



東部山地をなす臺東山脈があり、規模は小であるが、中央山地と同じ形式に



縦走し、秀姑巒溪のみがこれを横ぎる。中央山脈と臺東山脈との間には東部縱谷があつて、荖萊溪は北流し、卑南溪は南流し、秀姑巒溪の二支流は南と北から對向して流れ、それ等の分水界は微小で、花蓮港から臺東まで一通谷が發達してゐる。東海岸は西海岸と異なり、岩石海岸で、海は急に深くなつてゐる。本島の北の突出は富基角、南の突出は南岬及南西岬といふ。

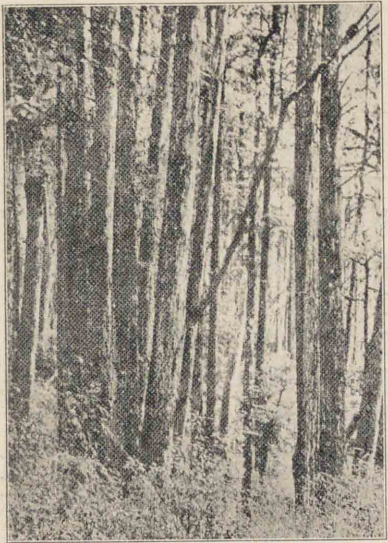
**氣候** 氣候は亞熱帶性で、内地と甚しく異なつてゐる。琉球よりも更に熱帶性である。夏の氣温は必ずしも内地より著しく高くは無いが、冬が極めて暖く、一二月の平均温度は東京の五、六月の



と等しい。故に氣温による四季の變化の感が内地ほど強くない。然し降雨の季節的の變化が極めて著しいので、それによつて一年を乾季・雨季の二つに分つてゐる。これが熱帶の特色である。但し北部と南部とはその乾季・雨季が正反對である。

夏は西南の季節風卓越して風上の南部は雨季となり風下の北部は乾季となるが、冬は東北の季節風卓越して風上の北部は雨季であり、風下の南部は乾季である。臺灣平野の中央部は南北雨季とも降水量が少なく全島で最も降水量の少い所である。

●植物帶圖(二七頁)  
●阿里山の楡林



植物帶

植物は低地では熱帶性の榕樹・檳榔樹・林投樹等が繁茂し、バナナ・パイナップルがよく發育する。而して山地では垂直的に變化し、阿里山は溫帶性の楡を産し、新高山の頂には寒帶性の植物がある。動物は内地に見ない水牛がゐり、大陸と同じ東洋區に屬してゐる。

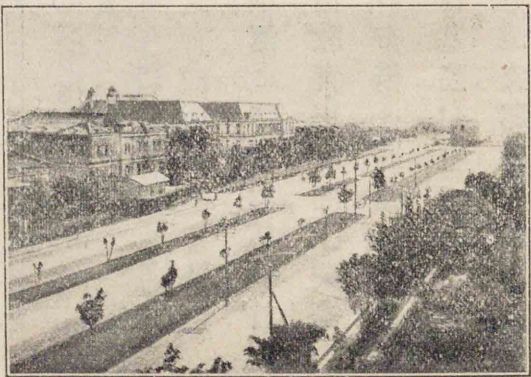
處誌

東部低地には花蓮港・臺東(南)の二

門戸があり、分水界の低い三川の流域の縦谷を通じて縦貫鐵道及軌道が全通し、内地の開發を促してゐるが、中央山地のため西部と隔絶されてゐるので未だ文化は低い。北部の宜蘭は宜蘭平野の中心で蘇澳はその門戸である。この地方は鐵道によつて臺北と通ずる。

中央山地は高峻且つ雄大で、東西を隔絶

し、横斷路の八通關さへ二八四一米に達してゐる。埔里は山間の要地である。阿里山には檜紅檜の大森林があり、鐵索とループ式の林用鐵道が運材のため設けられてゐる。北部から石炭・瑞芳・金瓜石からは金銅、西麓からは石油を産出する。蕃族がこの山地に



●臺北の三線道路

1 木材の集散地

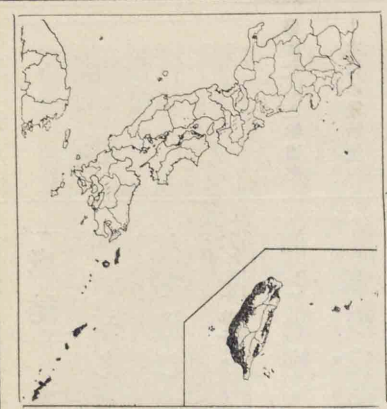


●臺灣の茶の生産分布(州別)

(各點一千甲)

1 總督府  
2 大學・高校・醫專  
高商・高農

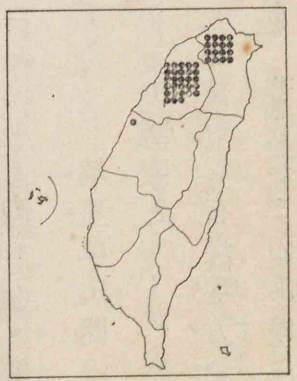
●甘蔗の生産分布(各點廿町歩)



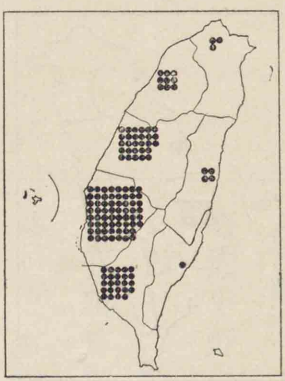
籠つてゐるのは地勢險峻、交通不便の結果である。

臺灣平野は更に北部・中部・南部の三區に分たれる。(一)北部の臺地及丘陵地には茶を盛に栽培する。

内地に比すれば、氣温の激變少なく、且南部ほど乾濕の差が甚しくないため、良質のものを産し、その上年に十數回の摘葉ができる。臺北盆地と桃園臺地等を主産地とし臺中まで及んでゐる。桃園及臺北州の諸工場で粗茶を再製して烏龍茶、包種茶、紅茶等とし、基隆及淡水から輸出する。



臺北市は臺北盆地の中央、淡水河に臨み、本島の首都で、臺灣の文化の中心をなし、政治、教育、軍事、商工業等の機關及設備が整つてゐて、新裝の市街は莊麗である。外港はもと淡水であつたが、今は基隆が主である。淡水(尾港)は淡水河口にあり、港は浅いが支那と取引する。



●臺灣の甘蔗の生産分布(州別)(各點一千甲)  
1 舊港・後龍・梧棲  
東石・馬公

基隆市は本島第一の良港で、附近から石炭を得られる便を有し、本島の北端に位し、内地に向つた關門で、縦貫鐵道の起點に當り、茶、樟腦の輸出が多い。桃園は茶、新竹は柑橘、苗栗は樟腦の集散地である。

(二)中部のみ麥の耕作が行はれてゐる。觀があるのは降水量の少いたためである。臺中市彰化は米、甘藷、落花生を集散し、大甲は筵帽子を特産とし、鹿港は他の五特別開港場と共に對岸支那に限り取引が行はれる。西岸一帶は浅いが支那型船の碇泊には堪へ、又竹筏も用ひられてゐる。嘉義は阿里山の木材を受けて製材する。

(三)南部の産物は甘蔗が主である。

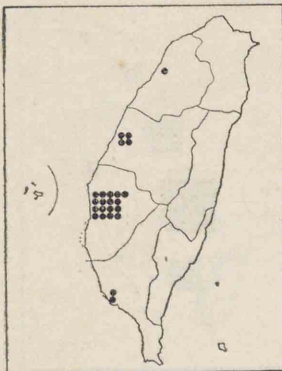
この地方は氣温高く、夏季雨多く、甘蔗の栽培に適し、殊に外國種を移植して改良し、よい成績を擧げてゐる。甘蔗輸送の輕便鐵道網は極めて密に發達し、甘蔗は畑から工場に集められ、製糖され、粗製糖は内地に輸送されて更に精糖されるものもある。



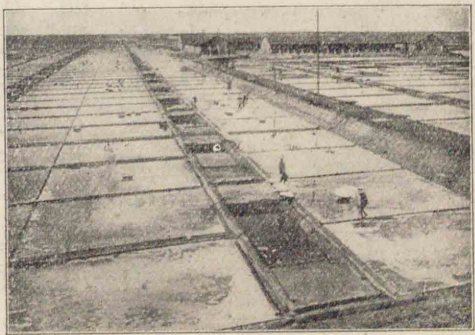
- 1 城址がある
- 2 廟がある

●臺灣の鹽田  
天日製鹽

●臺灣の鹽田の分  
布(州別)(各縣百甲)



臺南及屏東は製糖業の中心で、高雄及安平はその輸出港である。中部の沿岸と共に南部に天日製鹽の盛なのは、遠淺で鹽田を造るに適し、日照強く、蒸發が盛なためである。パインナップルの集散の中心は鳳山である。臺南市はもとの首府でオランダ人及鄭氏の史蹟があり、舊文化の中心である。安平はその外港であるが浅い。高雄市は南部の總門戸で、築港によつて大船を泊するやうになつた。恒春は南端の都市で恒に氣

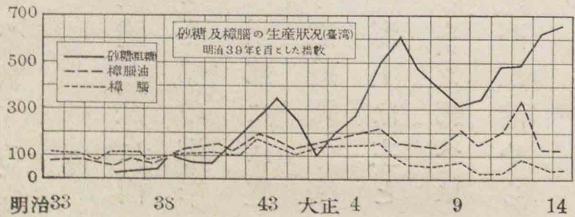


溫が高い。澎湖島、澎湖、漁翁、白沙の三島に圍まれた内灣に臨んでゐる馬公は位置が優秀で、且つ良港なため臺灣海峽方面に於ける海軍要港となつてゐる。

産業

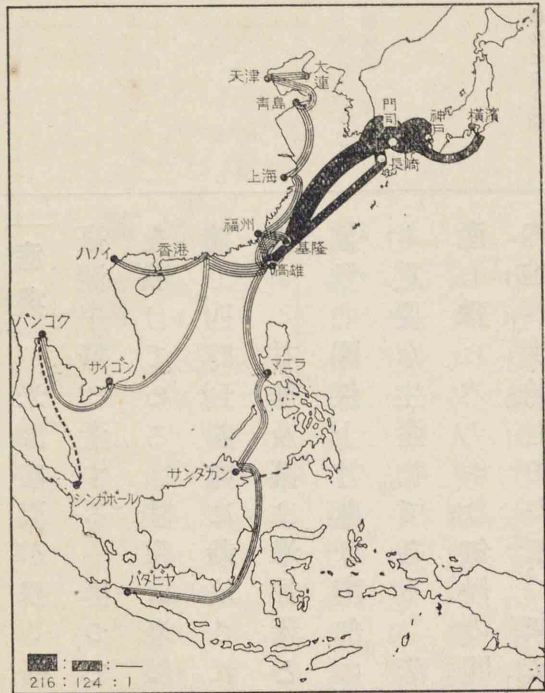
米は高温が長く續くため二回の收穫があつて、主として臺灣平野に産する。従つて灌漑のため大きい埤圳と稱する溜池を設けてゐる。甘藷は米に次ぐ食用植物で、又良く本島の氣候に適し、四時出来る處に栽培され、殊に臺灣平野の南部に多い。甘蔗及茶は米、甘藷と共に四大農産物で、地形氣候の關係上甘蔗は南部に、茶は北部に多く、共に最も重要な生産物である。落花生及バナナは全島に産し、殊にバナナは氣候の關係上特産で、共に夥しく内地へ供給してゐる。豚は琉球と同じく各戸盛に飼育する。山地からは檜、紅檜の良材と石炭、金、石油等の鑛産とを産する。天日製鹽は地形、氣候等の關係上西海岸で行はれる。工業は農林業に關聯したものが主要なもので、北部では製茶が最も盛、製糖は

●豚の分布圖  
(二三頁)





●臺灣總督府の命令航路  
線の太さは船の噸數と航海の回数との相乗積の比例による

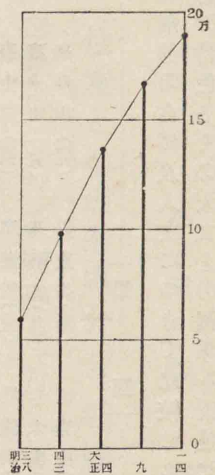


南部を中心に全島到る處に行はれる。樟からは樟腦を製する。その他の工業は未だ盛でない。  
**交通** 鐵道は臺灣平野・東部縦谷等に縦貫鐵道が發達し、殊に西部では主要な都市を悉く連絡してゐるが、横斷鐵道は北部の海岸線の外は一線も無い。南部には輕鐵多く、我が國でも最も鐵道網の密な地方の一つである。海上は主として内地へは基隆港から、支那へは全貿易港から、南洋へは高雄港から航路網が發達してゐる。

**商業**

北部の基隆、南部の高雄は二大貿易港で、對岸の支那に對してはこれ等の外六特別開港場が西海

●臺灣移住内地人増加表  
1 其の數八萬五千  
●角板山の蕃人部落  
●臺灣移住内地人の原籍別



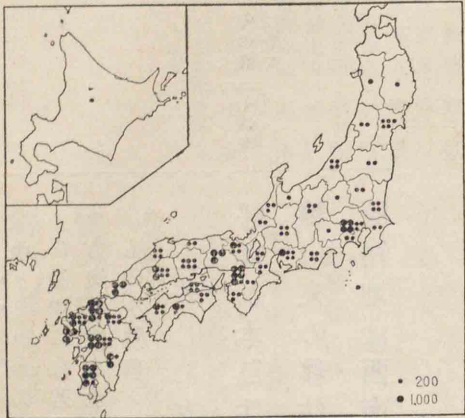
腦は世界の需要の大部分を供給する。

**住民**

最初の住民は馬來種の最北部に屬する蕃族であつた。

對岸の福建省地方の閩族と廣東地方の粵族が臺灣平野に移住して來るに及んで、蕃族は平野から追はれて山地に籠り、今尙そこに據つてゐる。従つて平野の漢人種との融合性弱く尙原始的の生活をつづけて蕃風を保存してゐる。七種族

岸に分布してゐる。烏龍茶は米國に、包種茶は南洋に、砂糖は内地及外國に輸出せられ、樟





1その数三七四萬  
二千人

中タイヤルの如きは最も猛惡と稱せられてゐる。但し平地と交界する地域及東部の沿岸には若干進歩した蕃人があり農業又は勞役に従つてゐる。總督府も撫育の方策を定め水田耕作、豚、蠶の飼育、交易方法等を指導してゐる。化せられて温順なものを熟蕃と稱し、然らざるものを生蕃と呼んでゐる。

土着した支那人は隸屬當時歸化して我が國籍に入り、本島人と呼ばれ、本島住民の約九割二分の多數を占めてゐる。内地人は改隸以來の移住で未だ多くなく、僅かに十八萬人に過ぎない。その原籍地は西南の日本のものが多い。

都邑の人口 (單位千人)

|      |         |         |         |         |         |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 花蓮港廳 | 花蓮港 (九) | 臺東廳     | 臺東 (九)  | 澎湖廳     | 馬公街 (二) |
| 臺北州  | 臺北市 (三) | 基隆市 (九) | 淡水街 (三) | 宜蘭街 (三) | 蘇澳街 (二) |
| 新竹州  | 新竹街 (四) | 桃園街 (三) | 埔里街 (五) | 南投街 (四) | 彰化街 (三) |
| 臺中州  | 臺中市 (四) | 鹿港街 (三) | 斗六街 (六) |         |         |
| 臺南州  | 臺南市 (八) | 嘉義街 (五) | 恒春庄 (三) |         |         |
| 高雄州  | 高雄市 (九) | 屏東街 (三) |         |         |         |

問題

(一) 臺灣の南北兩部の自然及人文につきて比較せよ  
(二) 臺灣の地形の特色とその人文との關係を説述せよ

(三) 臺灣と内地との著しい相異點を挙げよ  
(四) 北海道と臺灣との地理的景觀を比較せよ

第十章 朝鮮

位置と地理的區分

朝鮮はアジア大陸東部の一大半島で、朝鮮海峡によつて内地と對してゐる。滿洲及シベリヤとの境は長白山脈を中央として、東に豆滿江、西に鴨綠江が流れて比較的自然的國境をなしてゐる。我が國と大陸との關係上重要な位置を占めてゐる。

この地方は地理的に大別すると南朝鮮、中朝鮮、北朝鮮の三區となり、又別に表朝鮮、裏朝鮮に分つこともできる。

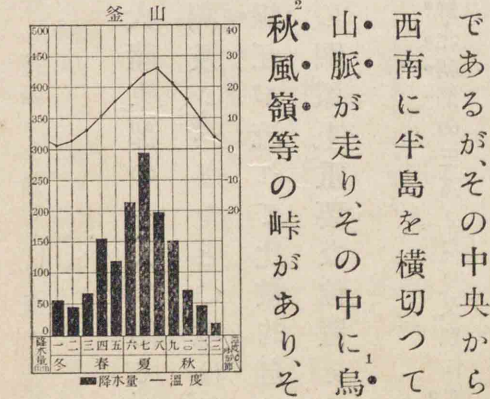
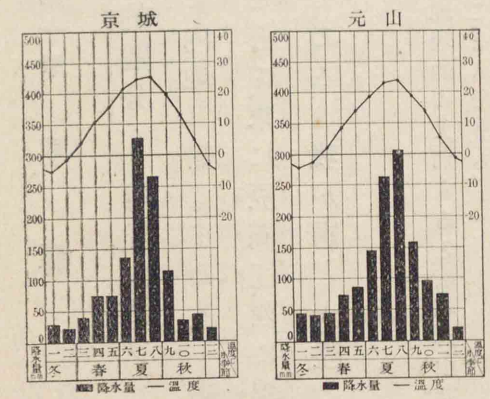
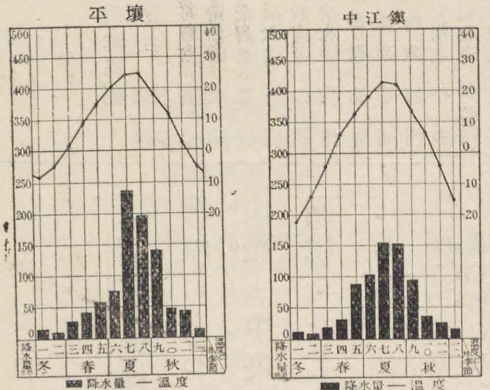
地形

北朝鮮は長白山脈、國境附近に横はり、その主峯白頭山、高く國境線上に聳えてゐる。妙香山脈は東西に、狼林山脈は南北に走り、その附近には蓋馬高臺が廣く横はつてゐる。中及南朝鮮は低山性の山地と淺い谷とが發達し、分水界は殊に著しく東に偏し、裏朝鮮の河は短く急で、海岸平野は殆んど無いが、表朝鮮の河は大同江

|      |           |     |     |
|------|-----------|-----|-----|
| 行政區劃 | 道名        | 在處  | 地名  |
|      | 慶尙南道      | 釜山  | 釜山  |
|      | 慶尙北道      | 大邱  | 大邱  |
|      | 全羅南道      | 光州  | 光州  |
|      | 全羅北道      | 全州  | 全州  |
|      | 忠清南道      | 公州  | 公州  |
|      | 忠清北道      | 清州  | 清州  |
|      | 京畿道       | 京城  | 京城  |
|      | 江原道       | 春川  | 春川  |
|      | 黃海道       | 海州  | 海州  |
|      | 平安南道      | 平壤  | 平壤  |
|      | 平安北道      | 新義州 | 新義州 |
|      | 咸鏡南道      | 咸興  | 咸興  |
|      | 咸鏡北道      | 羅先  | 羅先  |
|      | 北緯三十三度十二分 |     |     |
|      | 北緯三十三度    |     |     |
|      | 二分の間にある   |     |     |

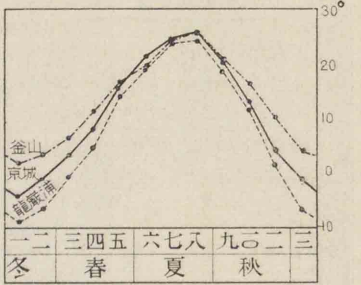


1 八八八米  
 2 二〇〇米  
 ●平壤・京城・釜山  
 ●中江鎮・元山の  
 氣候



ある。脈・嶺・に・蘆・  
 が・山・が・西

漢江・錦江・榮山江等の如く長く緩かで、平野が到る處にある。東海岸は永興灣・迎日灣の外出入乏しく、沿岸殆んど島を缺ぎ、海は急に深いのに反し、西海岸は出入極めて多く、島も亦無數で、海は遠淺である。潮汐干満の差の如きも東は殆んど無いのに、西は我が國第一の差を示してゐる。主なる分水界をなしてゐるのは大白山脈であるが、その中央から斜に西南に半島を横切つて小白山脈が走り、その中に烏嶺關・秋風嶺等の峠があり、その西

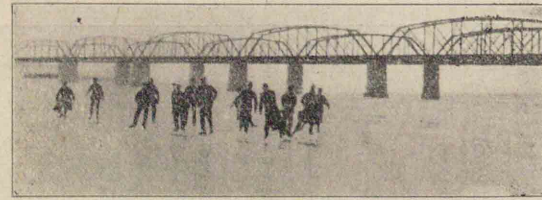


●北・中・南朝鮮の  
 ●氣温の比較  
 ●連清の江  
 ●水結した江  
 ●江の比鴨江  
 ●最も海岸より遠  
 ●とい中江鎮は著し  
 ●とがある示すこ  
 ●旭川鎮と敷香・  
 ●中江鎮と敷香・  
 ●よ川等と比較せ  
 ●鴨江・大同江・  
 ●漢江の如き  
 ●三西風の如き  
 ●位つて北風が三  
 ●が緩く和げば氣  
 ●昇へる氣温が上  
 ●で繰返されるこ

それがため洛東江・蟾津江等はその等山脈の間を南流して朝鮮海峡に注いでゐる。西南部の海岸は小白蘆嶺兩山脈の海に没したところで、多島海をなしてゐる。黄海斜面の河口はすべて喇叭形の入江である。

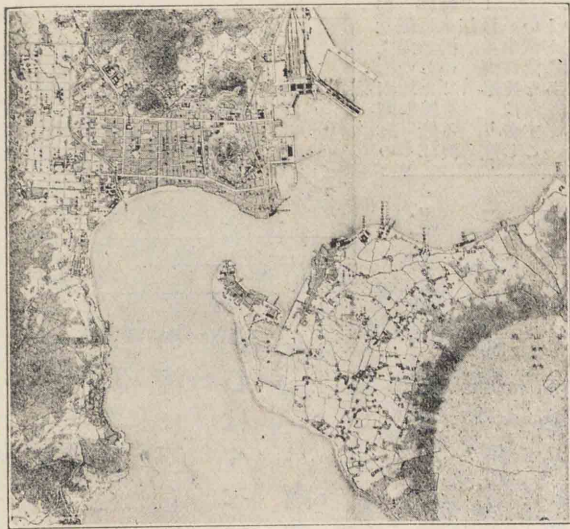
氣候

は無いが、京城平壤龍巖浦と南部の氣候は中國北九州等と大差北するに従ひ、寒暑の差が大となる。それは緯度の變化と大陸の影響があるからである。北部では冬河が凍結するほど氣温が下る。所謂三寒四温といふのは全く大陸の氣壓の變化に左右されるためである。降水量は南から北するに従つて減





〔慶尚南道・全羅南道・忠清南道〕  
釜山の遠景  
釜山(陸測)  
約五萬分の一

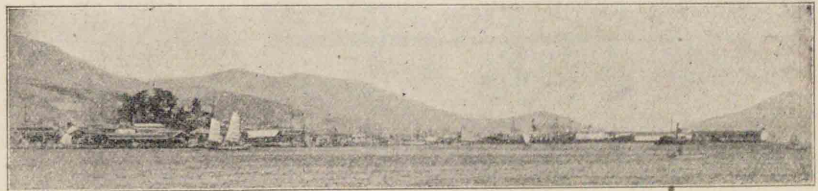


じ、又東岸よりも西岸が少ない。對馬海峽の濃霧は寒暖兩流の影響である。

處誌

南朝鮮の東部は洛東江の流域で、その中心に大邱がある。大邱は我が國第一の大市が今尙行はれ、

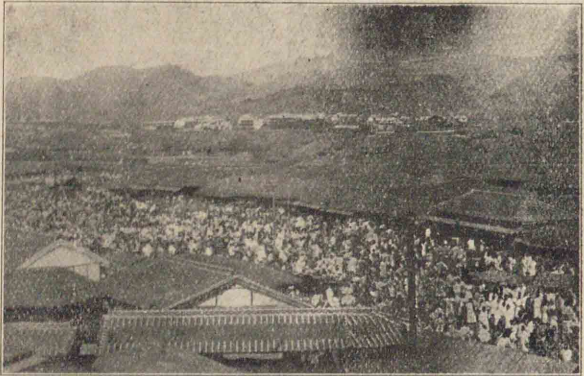
その東の慶州は新羅の舊都で舊蹟に富んでゐる。釜山は下關との間に定期の連絡船があり、京釜線の起點で朝鮮の南の關門である。絶影島が前に横つて安全な碇泊場をなし、船車の連絡の設備もよく整つてゐる。ここは内地人も多く、殆んど内地化した都會である。その西の馬山は港で、三



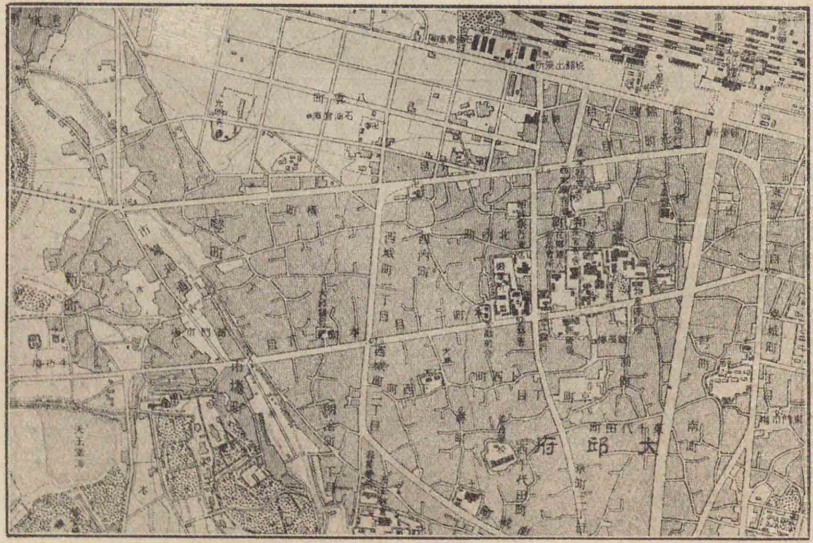
縮尺約一萬五千分の一

●大邱(陸測)  
西門外の市場町、西門市場、市場北道、牛市場及東門市場、舊城跡の環狀路、舊城内、新道路、新市街等がよくあらはれてゐる

浪津から鐵道を通ずる。要港鎮海は朝鮮海峽に於ける軍事上大切な根據地である。錦江榮山江等の流域を湖南地方といひ、農業の盛な地方で、米を多く産し、殊に内地に乏しい棉の好適地として重要視されてゐる。

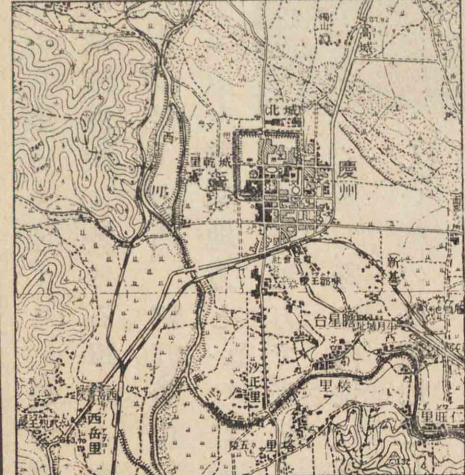


この棉は榮山江口の群木浦、米は錦江口の群山から主に移出する。沿海は漁業が盛で内地から出漁するもの

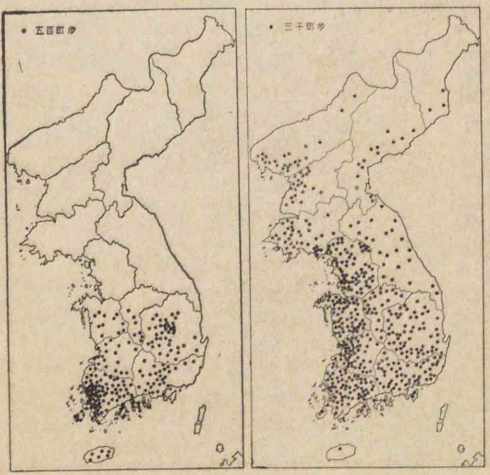




- 朝鮮の米の生産分布
- 陸地棉の生産分布
- 景福宮の慶會樓
- 1 大學、醫專、法專、高工、高商
- 慶州(陸測七萬五千分一)
- 京城(陸測七萬五千分一)
- 京海道、江原道、黃海道



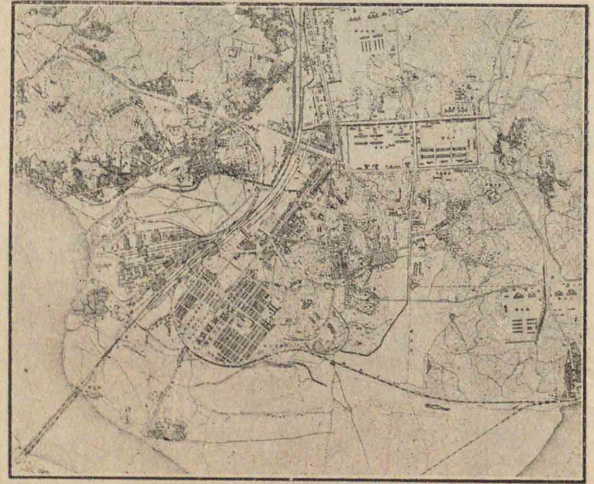
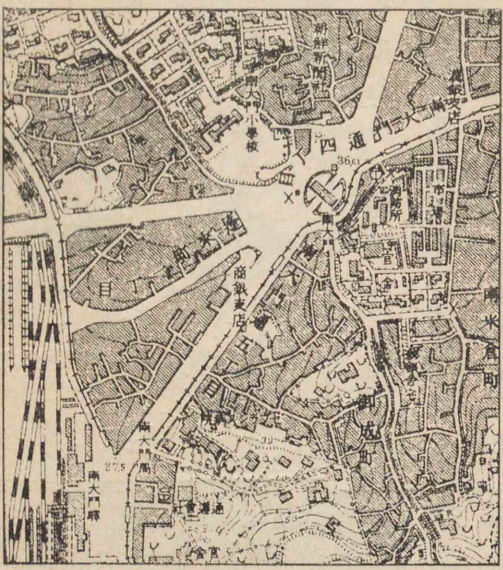
が多い。光州、全州、公州等は地方政治經濟の各中心、扶餘は百濟の舊都、江景はもと大市の開かれた所、大田、裡里は鐵道の分岐點かく都會の多いのは湖南地方の重要なことを物語つてゐる。中朝鮮は主に漢江の流域で、その中心に半島に首都京城がある。



京城は北は北漢山、南は南山に圍まれ自然の城壁を繞らす盆地に發達した城市で、總督府、昌德宮、景福宮等は南面して北漢山麓にあり、鐘路通は西大門から東大門に貫き、その中央で丁字形に交つてゐる南大門通の南端は南大門で京城の門戸である。



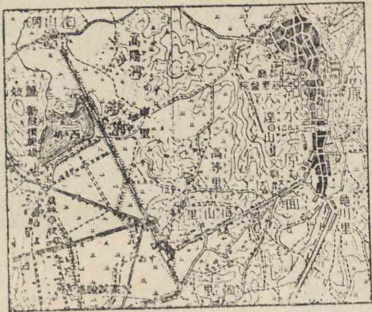
- 京城
- 京城南大門(陸測一萬分の一)
- 龍山(陸測一萬六千分の一)



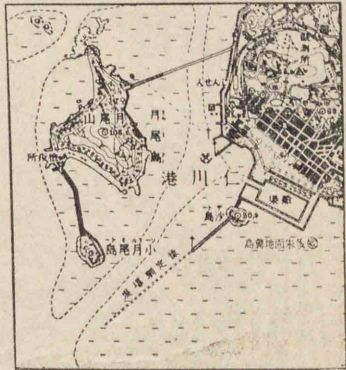
南大門外漢口畔の龍山は師團司令部兵營等の軍事關係地並に鐵道關係地として發達した京城の一區である。京城は殆んど朝鮮の中央に位し、京元線もこの地から分岐してゐる交通の要地である。仁川は京城の外港で、内地及支那との貿易が盛であるが、潮汐干



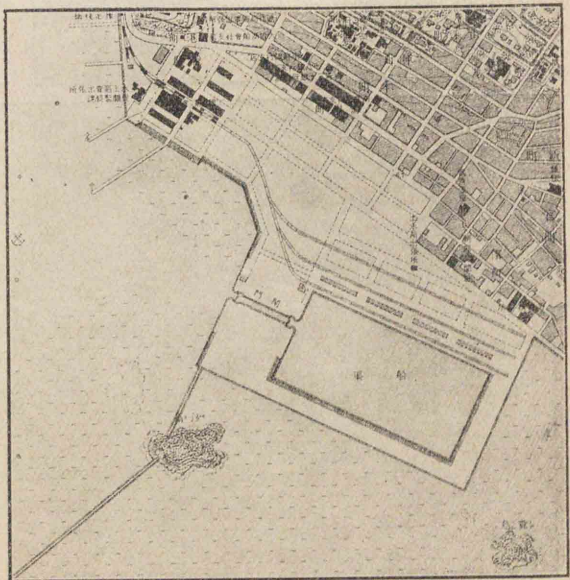
(以下三圖共註・測)  
 ●仁川港 七萬五千分の一  
 ●仁川の濕船渠 一萬七千分の一  
 I 高農・蠶業試験場  
 ●水原の勸業模範場  
 【黃海道・平安南道・咸鏡南道】



滿の差が甚しいため閘門式濕船渠を設けてその缺點を補つてゐる。



開城は高麗の舊



都で人蔘の産で最もよく知られ、朱安には天日製鹽の鹽田があり、水原には勸業模範場があつて各種の農事改良の試験を行つてゐる。

北朝鮮の(一)西部は大同江流域が主で、その中心の平壤は大同江に臨む丘陵に城壁を設けた要害の地で、古來屢

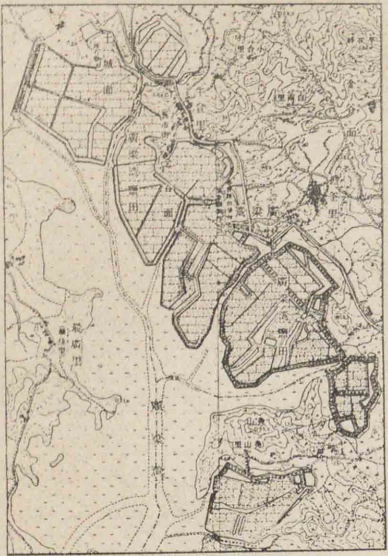
●平壤(陸測)

●陸地、低地、大同江、聚落、城壁等があらはれてゐる  
 ●約三萬五千分の一

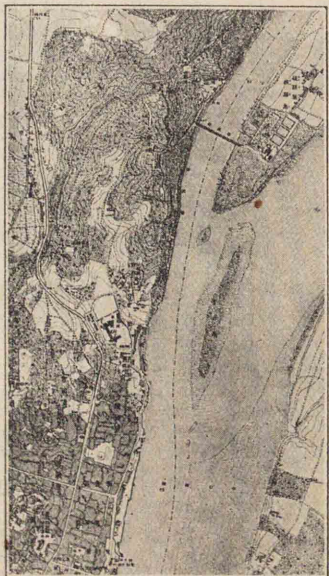
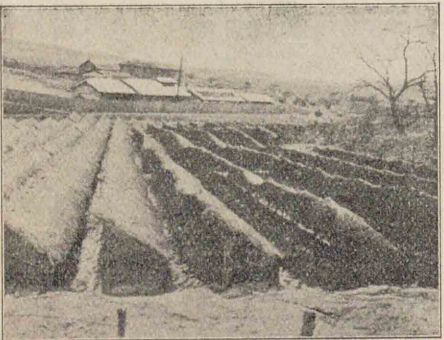
●廣梁灣の鹽田

(陸測) 十萬分の一

●開城の人蔘畑

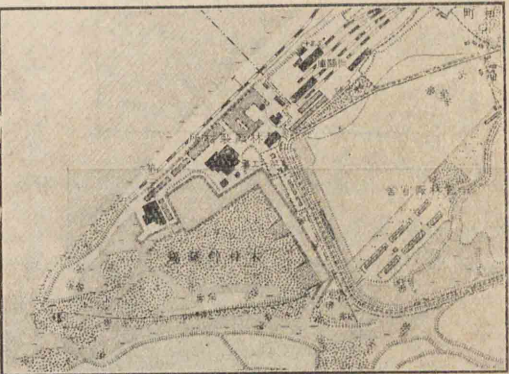
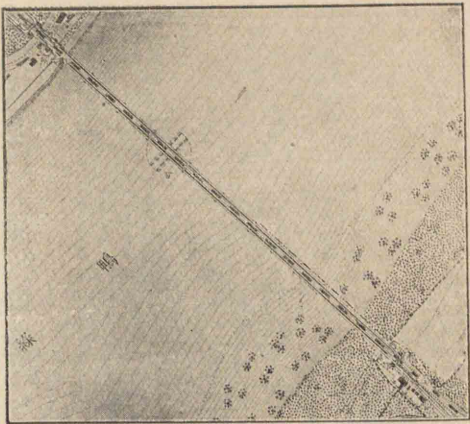


戦のあつた所である。その外港鎮・南浦は大同江の河口にある。平壤の近くの寺洞からは無烟炭を産し、載寧・殷栗からは鐵鑽を産し、共にその一部は内地に輸送する。大同江畔の衆



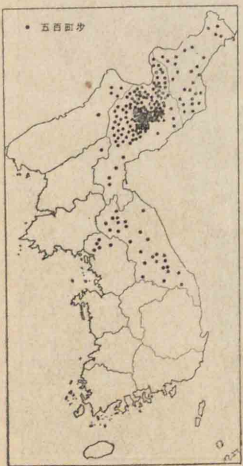
二浦には製鐵所がある。鴨綠江畔の新義州は國境の都邑で、江を隔てて滿洲の安東と對し、その間に架する長鐵橋は滿鮮の連絡橋である。新義州





(兩國共一萬五千分)  
 ●鴨綠江の開閉橋  
 郡の兩袖に衛兵所が  
 ある(陸測)  
 ●新義州に於ける  
 營林廠の貯木場  
 及製材所(陸測)  
 ●朝鮮の燕麥の生  
 産分布

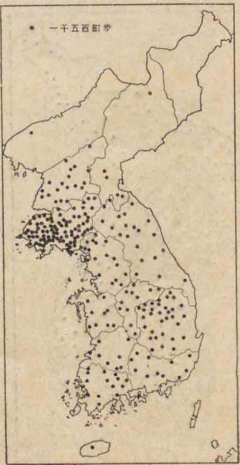
つて裏朝鮮の防備の根據地であつた。  
 鏡城はその地方の名邑、羅南は國境に  
 對する師團司令部及兵營の所在地、會  
 寧は滿洲の間島に對した國境の要地  
 で、雄基はシベリヤに近い港である。



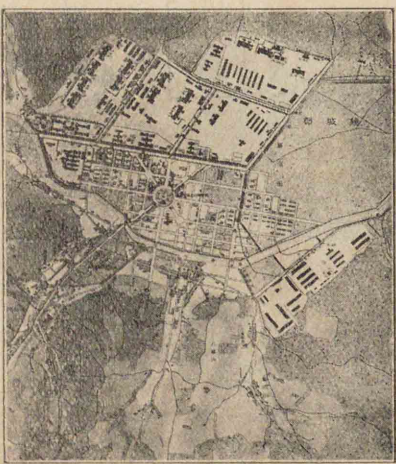
龍巖浦は何れも鴨綠江下り  
 の木材の集散地である。  
 北朝鮮の(二)東部の中心は  
 元山である。元山は街道で  
 は鐵嶺鐵道では斷層谷によ  
 つて京城と通じ、且つ永興灣  
 に臨む裏朝鮮第一の港市で  
 ある。永興は一時要港であ  
 る。城津及清津は港市、咸興及

●朝鮮の小麦の生  
 産分布  
 ●小麥の生産分布  
 (二七頁)  
 1 森林を焼いて開  
 墾耕作し肥料盡  
 きれば他へ移住  
 して又同一のこ  
 とをする  
 ●平壤(陸測)  
 ●豆満江と城壁に圍ま  
 れた郡邑があらはれ  
 てゐる(約五萬分一)  
 ●羅南(陸測)  
 ●兵營町の特色があ  
 り分れてゐる(約四萬

蓋馬高臺は燕麥の耕作が盛で、火田民  
 が住んでゐる。  
 産業 米及棉は比較的高溫多濕で  
 平野の多い西南部に産し、小麥は低溫  
 寡雨の北部に多い。大豆は特に盛で到る處に多く産する。所謂



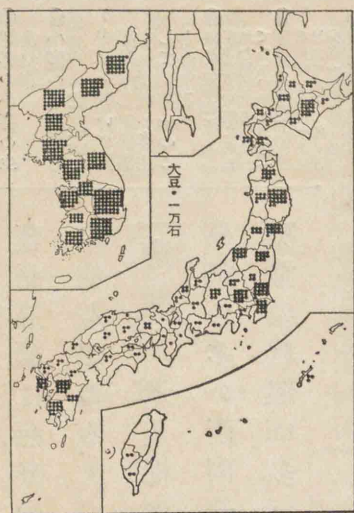
朝鮮人蔘は特産で支那へ輸出する。所謂



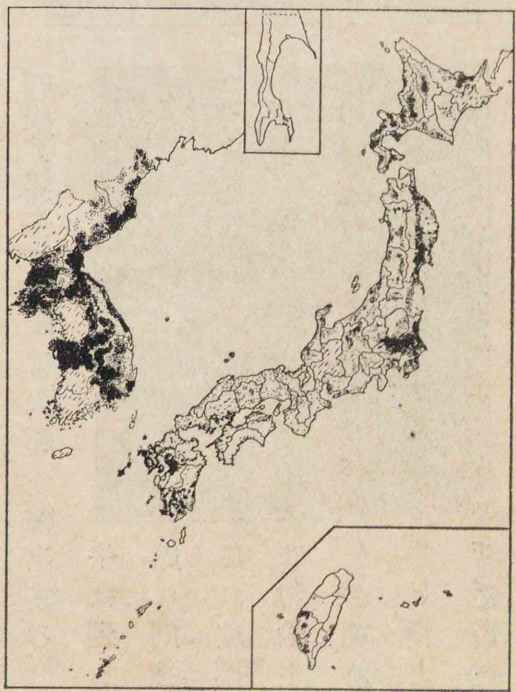
牛は到る  
 處に飼養  
 され、皮革  
 は勿論生  
 牛も朝鮮  
 牛と稱し  
 て近時内



- 1 近時植林を奨励し面目を改めつゝある
- 2 鴨綠江・豆滿江の流域
- 植物帶圖 (二七頁)
- 牛の生産分布圖 (一〇四頁)
- 大豆の生産分布圖 (各縣百町歩)
- 同府縣別
- 朝鮮の大豆の生産分布
- 3 殊にその北部に多く、南部には寒流のため鍊が獲れる



地に移出される。南朝鮮は濫伐の結果樹木に乏しいが、北部には紅松(朝鮮松)・唐檜落葉松等の寒帯性の針葉樹林が密生し、秋冬の候積雪結氷を利用して伐木し、夏に



筏として流す。金雲山・遂安・銅(甲山)・鐵石炭等は産の著しいものである。東海岸の明太魚と西海岸の石首魚とは朝鮮人の賞

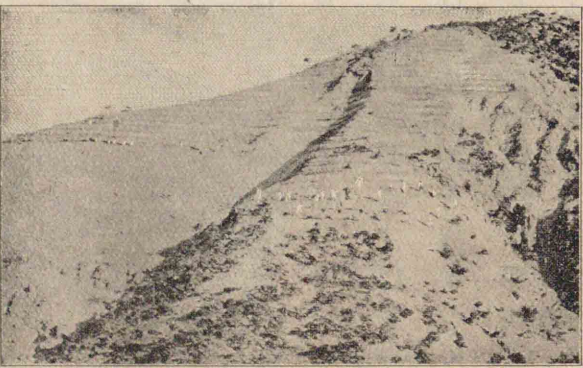
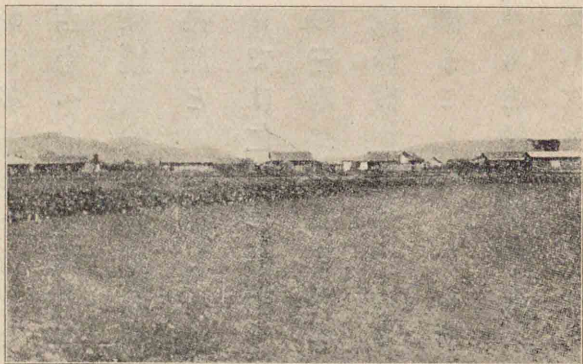


- 東洋拓殖會社の開拓地の農場と農村
- 砂防工事
- 1 織物・陶磁器・眞鍮の食器類等
- 擔夫



美する特殊の魚で、その漁獲多く、南海岸には寒暖二流の關係で鯛・鱈・鱈等が獲れる。中國及北九州から出

漁するものが多い。西海岸で天日製鹽の行はれるのは降水量少なく且つ風強く蒸發盛なため、遠淺であるのは鹽田作成に便である。工業は從來簡易な衣食品を小規模に製作したに過ぎなかつたが、内地人によつて近代式工業が漸次行は





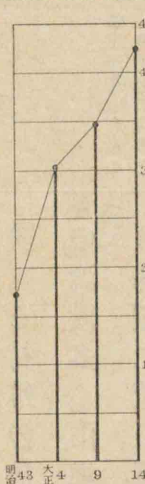
1 四呎八吋の廣軌である

●朝鮮の店

2 咸鏡線がこれについである

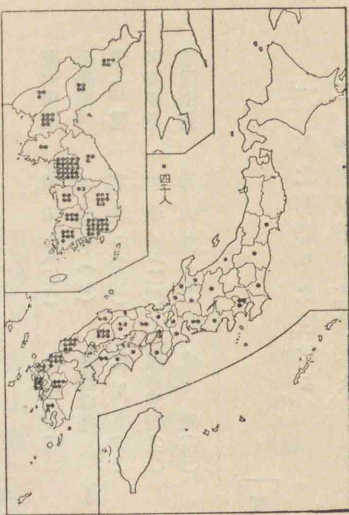
仁川・群山・鎮南浦・馬山・鎮海等の港には各連絡のために支線が通じてある

●朝鮮在留内地人増加表



れるやうになつて來た。

**交通** 京・義・京・釜の二幹線が半島を斜に縦貫し、一方それは内地と滿洲との連絡に資するだけでなく、歐亞連絡の幹線の一部をなしてゐる。中央部から西南へ向へる湖・南線と、東北へ向ふ京・元線とは縦貫幹線から隔つてゐる。二海岸地方と中央部との連絡をはかつてゐる。航路は西海岸では仁川・東海岸では元山・南海岸では釜山の三港が中心で、内地及支那と連絡してゐる。河は河口が喇叭形で流は緩かですつ屈曲し流路も長く、上流まで船で溯ることのできるのは内地の河と異なつてゐる。もと轎が流行したが、道路の改修につれて自動車次第に之に代りつゝある。



●朝鮮現住内地人の道別及原籍別 ▲貿易港を擧げよ

**商業**

市は内地では昔盛であつたが朝鮮では今尙到る處に定期に開かれ日用品を取引してゐる。大邱の市はその最大のものである。然し近來内地風に常設の店舗が増して來たので、市場の勢力が衰へつゝある。貿易は前記の三港が主で、釜山は内地、仁川は内地及支那との取引が特色で、輸移出品は米・大豆・棉花・牛皮・生牛・鐵鑛・無煙炭・水産物等で、輸移入品は綿布・麻布・綿絲・砂糖・鐵機械及石炭等である。

**住民及人口密度**

朝鮮民族の容貌は内地人に酷似してゐる。朝鮮は支那の接壤地であるため、古代進んでゐた支那文化の影響を早くから受けてゐた。従つて佛敎學術その他の文化を我が國に輸入する媒介をしたのは位置的關係上當然であつた。今は逆に我が新文化を輸入してその文化を開發することに努めてゐる。



●人口の分布圖  
(三四頁)

總人口は約一千九百萬、その密度は内地の三分の一で、奥羽地方よりも小である。密度は裏朝鮮よりも表朝鮮、北朝鮮よりも南朝鮮が大である。故に東北部が最も小で、西南部が最も大である。都會も小さいものが分散してゐて著しく大きいものは少ない。内地人の移住者は増しつゝ、あるも漸く四十萬で總數の千分の七に過ぎない。

都邑の人口 (單位千人)

|      |          |         |        |         |         |        |
|------|----------|---------|--------|---------|---------|--------|
| 慶尚南道 | 釜山府(二〇六) | 馬山府(三)  | 鎮海(五)  | 慶尚北道    | 大邱府(七六) | 慶州(二六) |
| 全羅南道 | 木浦府(七)   | 全羅北道    | 群山府(三) | 忠清南道    | 大田(二五)  |        |
| 京畿道  | 京城府(三六)  | 仁川府(五)  | 開城(四五) | 水原(一〇)  |         |        |
| 平安南道 | 平壤府(二四)  | 鎮南浦府(二) | 平安北道   | 新義州府(三) | 義州(一〇)  |        |
| 咸鏡南道 | 元山府(三五)  | 咸興(三)   | 咸鏡北道   | 清津府(二)  | 鏡城(二五)  | 會寧(三)  |
|      |          |         |        |         |         | 羅南(三)  |

問題

(一) 南北朝鮮を比較せよ  
表裏朝鮮を比較せよ

(三) 朝鮮と内地との景觀を比較せよ  
各道としての特色を挙げよ

第二編 總說

第一章 地文

第一節 地形

山脈と火山脈

東北の日本の山系は樺太の東北山脈から蝦夷山脈を経て關東山塊に連續し、これ等と雁行して北上阿武隈の兩山地があり、更にその西に渡島半島から奥羽中央分水山地併に出羽丘陵に連續する山地がある。かく縦列の山地が北から南に併び走つて北・彎・山・系を成し、東北の日本の地帯を構成してゐて、津輕海峽・宗谷海峽の空隙があるけれども、明かにその間に山脈の連關を認める事ができる。西南の日本の山系は臺灣山脈から琉球列島及九州・四國・紀伊の諸山脈を経て赤石山脈に連絡して外帯をなし、



▲主なる山の名を挙げよ

これ等と併んで筑紫山塊から中國高原を経て飛驒山脈に達する内帯があり、これ等内外兩帯は合して南・彎・山・系と稱へ、西南の日本の地帯を構成し、その間に豊後水道紀伊水道伊勢海瀨戸内海下關海峡等の陷没があるが、ここにも明かに相互の地帯の聯絡を見出すことができる。朝鮮の太白山脈は別な系統に屬してゐる。

以上の山地の形成のために生じた地帯の弱所に沿うて火山が噴出して略一定の方向に配列してゐるものが多い。東北の日本に於ける那須火山脈は奥羽と北海道に跨り、鳥海火山脈は那須火山脈に併行し本州中部から奥羽を経て北海道に及んでゐる。千島火山脈は之と直角に交つて北海道本島から延びて千島となつてゐる。西南の日本に於ては中國高原の軸に併行して白山火山脈が中部地方から山陰地方を経て北九州に及び、阿蘇火山脈は瀨戸内から中九州及肥前半島に延びてゐる。霧島火山脈は南九州か

▲主なる火山の名を挙げよ

ら琉球列島を経て臺灣に連續してゐる。富士帶火山脈は獨りその中央にあつて本州島の中央を横斷し、更に太平洋中に伊豆諸島小笠原諸島となつてゐる。朝鮮の長白火山脈は別な系統に屬してゐる。

かく南彎北彎兩山系と富士帶火山脈との接合點は本州島の最も幅廣く且つ高峻な中央の日本の地域を構成してゐるのである。日本アルプスと稱する三千米内外の高山性の地域も、内地第一の高峰で山容秀麗無比なる富士山もそこに聳えてゐる。

▲主なる温泉の名を挙げよ  
▲知れる地震地を挙げよ

温泉も亦多くはこれ等の火山脈に従屬して湧出してゐる。火山地帯としては世界で有名な地域の一つであるが、地震に於ても世界の地震地帯としてはその核心の一つである。

**水系** 列島の分水界の幹線は略列島の方向に沿うて走つてゐて、太平洋斜面と縁海斜面とに分れその中間に瀨戸内斜面がある。



縁海斜面は更に日本海斜面オホーツク海斜面東支那海斜面黄海斜面臺灣海峡斜面等に分つことができる。縦谷と横谷とを兼ねて流るゝものには比較的長流がある。一般に急流であるのは山地が多いからである。

**湖沼** 琵琶湖の如き陥没によるものもあれば、蘆湖洞爺湖猪苗代湖中禪寺湖等の如く直接間接に火山に原因するものもあり、霞浦八郎潟の如く海岸の低地に湛へられたものもある。

**平野** 中央の日本の四周にある關東平野濃尾平野越後平野等は長流利根川木曾川信濃川等の新舊の堆積地であり、大阪平野筑紫平野臺灣平野石狩平野等は淀川筑後川濁水溪石狩川等による堆積地である。その他は山間の溪谷及海岸に沿うて幾多の平野があるが、一般に山がちであるから廣大なものはない。

**海岸** 瀬戸内海九州の西北部朝鮮の西南部等の海岸は出入に富

み島も多く有數な複雑な海岸地域である。東京灣伊勢海等の大きな灣入もあれば紀伊水道豊後水道の兩岸の如き小灣入に富むところもある。一方又北陸出羽等の海岸の如く平直にして砂丘に富む海岸もある。

### 第二節 海洋

**海底の地形** 黄海東支那海朝鮮海峡臺灣海峡瀬戸内海等は二百米以内の淺海で、太平洋の海深は四千米内外である。我が列島は其の境に列をなしてゐる山脈の頂が海上に現れたもので、その外側には日本海溝琉球海溝等がある。前者は八五一四米、後者は七四八一米の深さに達し、土地の變動の大なるを示し、我が列島が眞のアジャ大陸の邊緣である事を物語つてゐる。

**潮汐** 仁川沖有明海は潮汐の干満極めて大であり、北陸海岸裏朝

1 その差十米  
2 三十裡



1時間二十秒の速度

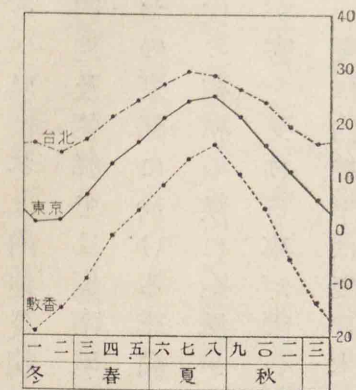
鮮の如きは甚だ小であるといふ變化をあらはすのは位置海岸の出入、海底の深淺等による。瀬戸内海の鳴門、來島、下關の三海峡の潮流が急なのは狭い瀬戸から潮汐が出入し内外の水位の差が大となるからである。

**海流** 暖流である日本海流(一名黒潮)は南から來り、臺灣琉球の近海を経て九州四國、本州の南を東北上し、犬吠岬附近から日本列島に遠ざかつてゐる。その分流である對馬海流は九州の西北岸に沿うて對馬水道を過ぎ、日本海岸を北上し、宗谷海峡からオホーツク海に入り北見の海岸に達してゐる。更にその小分流は樺太の西岸及朝鮮の西岸を北上したり、津輕海峡を東流したりしてゐる。寒流である千島海流(一名親潮)は北から來り千島列島、北海道奥羽の東岸に沿うて南下して黒潮と會してゐる。別に樺太の東岸を南下する樺太海流とシベリヤ沿海州及朝鮮の東岸を南下する

リ・マン・海流の二寒流がある。朝鮮津輕宗谷根室等の諸海峡附近に於て濃霧の起るのは寒暖二流が接觸してゐるからである。

### 第三節 氣候

我が國の大部分は海洋性の温帶の氣候をもつ。南北に細長い列島で略緯度二九度に亘つてゐるから、温帶としても樺太はかなり冷涼であるし、臺灣の南部は冬も高温である。然し最も氣候の



良い部分が東京から長崎まで東西に細長く横たはつてゐることは天恵である。寒暑の較差は南北に於て著しい相違がある。本州島から樺太島に至るよりも、朝鮮半島に於て北に向ふ較差の増加率が遙かに大であるのは大陸の影響であ



る。風は冬は内地及朝鮮では北又は北西風、臺灣では東南風、夏は内地及朝鮮では偏南風、臺灣では西南風の強く卓越するのはアジアの東部に於ける季節風の渦巻の方向による。この季節風の交代の初秋の候に颱風が時々襲来して、臺灣・琉球を始め西南の日本が害を受ける事が多い。

夏は内地では表日本に雨多く、臺灣では南部に、朝鮮では東部に雨の多いのは共に卓越風の風上に當るからで、冬は内地では裏日本に雪多く、臺灣では北部に雨の多いのは同じくこの季節の卓越風の風上に當るからである。本州・四國・九州の南海岸及臺灣北部は雨最も多く、瀬戸内・中部地方の内部・北海道・樺太・朝鮮の西北部は雨が少い。一般に雨は低緯度の地方に多く、高緯度の地方に至るに従ひ少く、又山地を隔て、卓越風の風下に當る地方は少ない。季節的に見ると梅雨の時には北海道・樺太・臺灣を除いた地方には長雨

丁 田植を助けることとなる

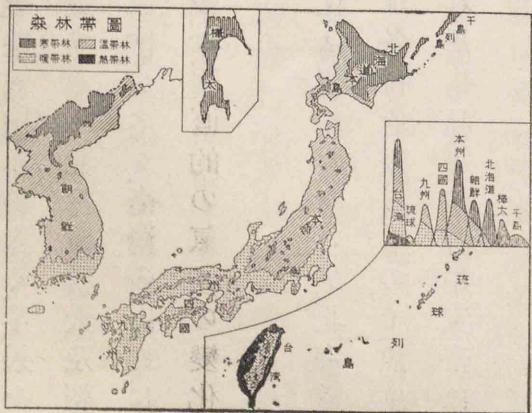
が續き、颱風の時には時期は短いが全国的に雨量が多い。

氣候區を大別すると樺太區・北海道東部區・北海道西部區・奥羽東部區・奥羽西部區・東海區・中央高地區・北陸及山陰區・瀬戸内區・北九州區・南海及南九州區・琉球區・臺灣東北區・臺灣西南區・南朝鮮區・北朝鮮區の十六となる。

#### 第四節 生物

植物の分布は氣候の變化の多いため多種多様である。臺灣・琉球・小笠原諸島には熱帯性の榕樹・檳榔・ヘゴ・林投樹・蘇鐵・樟・竹類等茂り、バナナ・パイナップル等の果實を産する。九州・四國・本州の西南部・朝鮮南部等には暖帯性の樺・黒松多く、蜜

● 植物帯





柑・桃・梨・葡萄等の果實を産し、北部には温帯性の掬赤松多く、苹果を産する。暖温帯を通じて杉・檜がよく繁茂する。北海道樺太及朝鮮北部には寒帯性の蝦夷松・榎松・落葉松・白檜が多く、臺灣の山地に檜を産し、中部地方の高山に偃松があるのは、垂直的の氣候の變化に起因してゐる。

動物は移動性があつて植物の如く變化は著しくないが、北海道の熊・朝鮮の虎・臺灣の水牛・琉球のハブ等は各特色あるもので、魚族も水温によりて自から寒暖の二種に分れ、馬・牛・豚等の有用家畜は到る所に飼養せられてゐる。

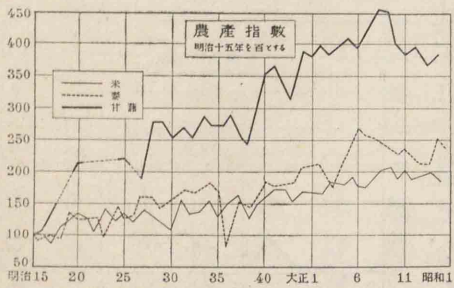
## 第二章 人文

### 第一節 産業

我が國は瑞德國と稱へ、古來農業を以て立國の本として來たの

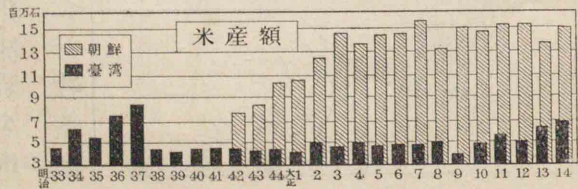
- 〔農業〕
- 水田の分布圖 (二二頁)
- 米の生産分布圖 (二四頁)

- 1 灌溉用の溜池多し
- 米産の増加表
- 畑の分布圖 (二五頁)
- 大麥の生産分布圖 (二六頁)
- 小麥の生産分布圖 (二七頁)
- 大豆の生産分布圖 (二〇四頁)
- 茶の生産分布圖 (五一頁)
- 甘蔗の生産分布圖 (一八六頁)
- 甘藷の生産分布圖 (二八頁)
- 農産の増加表
- 桑畑の分布圖 (一八頁)
- 繭の生産分布圖 (一九頁)



で今も猶之に従事するものが多く、總戸數の六割を占めてゐる。北海道以南は氣温及降水量之に適して到る所米を産し、殊に高知平野及臺灣は年に二回の收穫さへある。麥は雪多き裏日本に極めて少なく、その他は大麥裸麥を産し、小麥は比較的寡雨地域に適し、燕麥は北海道及北朝鮮の北部の如き冷涼な地方にのみ産する。大豆は朝鮮が主で、茶は駿遠海岸近畿の中央部及臺灣の北部、甘蔗は臺灣と琉球が主である。然し地域が小で人口密度が大であるから、米・麥・大豆の如き主要食料品をはじめ外國から輸入を仰ぐものが少くない。

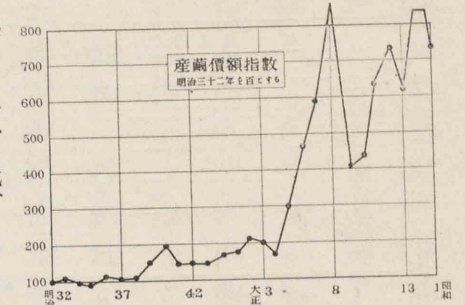
桑畑は中央の日本に多く、養蠶業が盛であつて、





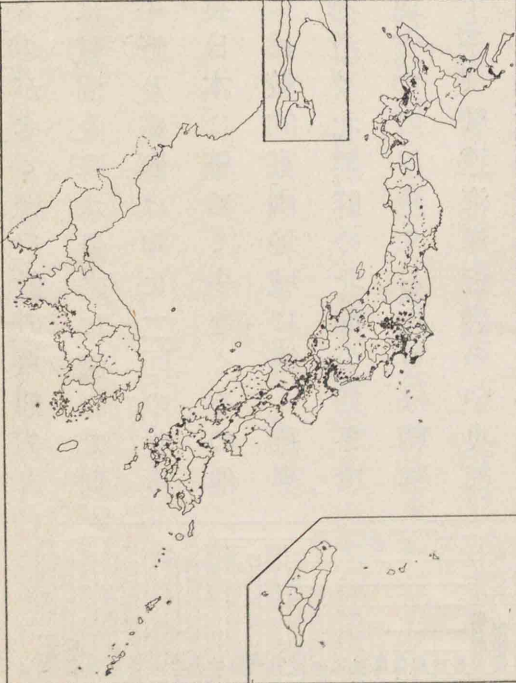
〔牧畜業〕

- 牛の分布圖 (二〇四頁)
- 馬の分布圖 (二四九頁)
- 豚の分布圖 (二三三頁)
- 産肉額の増加表
- 乳牛の分布 (各點三十頭)



〔林業〕

比ぶれば盛でなく、殊に羊毛は殆んど産しない。秋田・木曾・吉野・熊野・阿里山の杉・檜、北海道・樺太・北朝鮮の針葉樹が有名で、山地多く風土も適す



我が國の最も特色あり價値ある産業を代表してゐる。牛は中國と朝鮮、馬は奥羽、北海道と南九州、豚は琉球、臺灣及東京の近縣に多い。近來乳牛増加し、牛及豚の屠殺數も激増して來たが、牧畜は

● 牛及豚の屠殺數比較

〔水産業〕

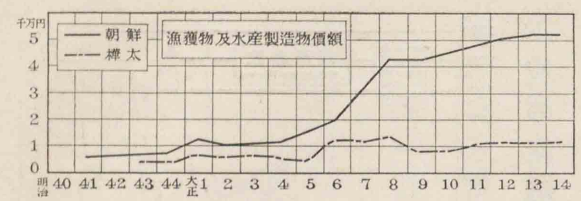
1 鮭は日本海岸では信濃川、太平洋岸では利根川が南の限界である。

● 鯉の集散地圖 (五二頁)

● 漁獲物及水産製造物の増加表 (朝鮮・樺太) 製鹽業は内地では瀬戸内が獨占といふべく、臺灣及朝鮮では天日製鹽を行つてゐる

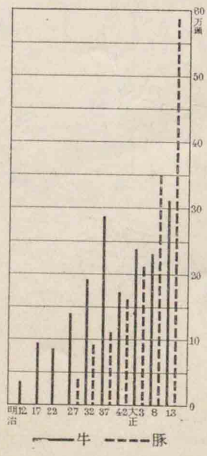
〔鑛業〕

2 常磐炭田・樺太・臺灣にも産する



るので林産は多い。西南の日本の太平洋岸及臺灣では樟より樟腦を産し世界に供給する。

東北の日本殊に北海道・樺太の河海では鯨を主とし、鮭・鱒・昆布等を産し、中央及西南の日本の近海



では鱈・鰹・鯛等を漁獲する。トロール船又は石油發動機船により本土の漁港から遠く伊豆諸島・小笠原島・南洋諸島・シベリヤ・朝鮮等の近海まで出漁するものが次第に多くなつた。

四面海を環らし且つ寒暖二流に洗はれてゐる我が國では水産物に富み世界三大漁場の一つにさへ數へられてゐる。

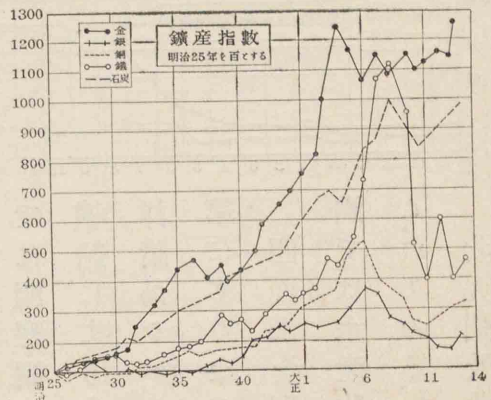
北九州及北海道の石炭は鑛業中最も有用なもの、但



- 石炭の生産分布 圖 (二二五頁)
- 金・銀の生産分布 圖 (二三五頁)
- 銅の生産分布 圖 (二九頁)
- 鐵産の増加表
- 石炭・石油の分布 (府縣別)

(工業)

- 絹織物の生産分布 圖 (二九頁)
- 綿絲の生産分布 圖 (三〇頁)
- 生絲の生産分布 圖 (六〇頁)
- 綿織物の生産分布 圖 (三〇頁)
- 絹織物の生産分布 圖 (三一頁)
- 毛織物の生産分布 圖 (三一頁)

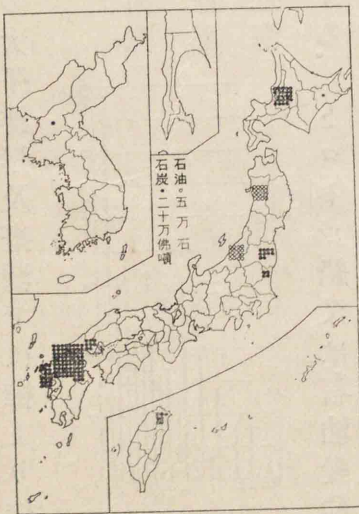


小坂の諸鑛山に産し、世界に於ける有數の産出國である。

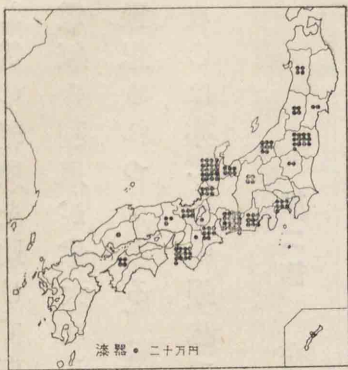
古來各地の陶器・漆器・絹織物類の如き美術工藝は小規模の工業であつたが近來はこれ等も動力

し無煙炭は平壤・大嶺からのみ産する。鐵は朝鮮を主とし、釜石にも産するが、他國に比し遙に少なく、多くは海峽植民地及支那から輸入する。石油は日本海沿岸の新潟・秋田に産し、樺太及臺灣は今は少いが將來有望視されてゐる。金は朝鮮・臺灣・南九州等に産する。銅は足尾別

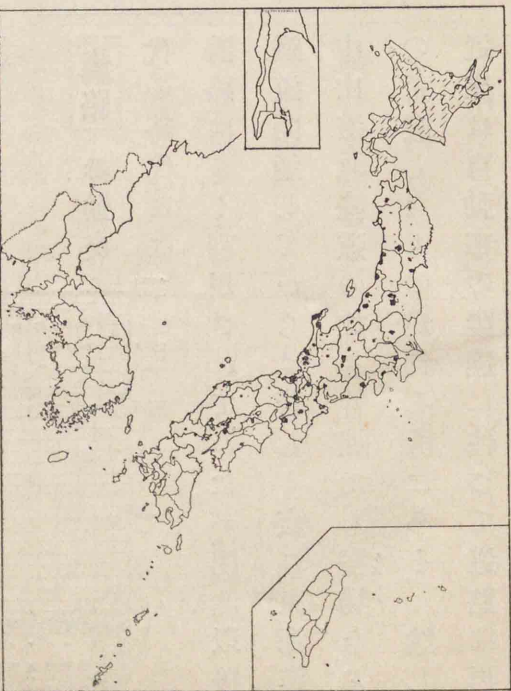
子・日立



- 漆器の生産分布 (各縣大百萬圓、小一萬圓)
- 同 (府縣別)
- 綿布・造船・製織 醸造・マッチ・肥料・化學製品・精糖・絹織物・毛織物等



を利用した工場と變化して生産額を増した。綿絲紡績の如きは原料の棉花を全く外國に仰いで偉大なる生産額に達しつゝある。生絲の産出は長野縣



を中心とし養蠶業の盛な中央の日本に於て多量に生産され、世界の首位を占めてゐる。京濱・阪神・名古屋・北九州の四大工業地帯に於ては各種の近代式製造工業が行はれてゐる。過去に於ては石炭の供給がこ

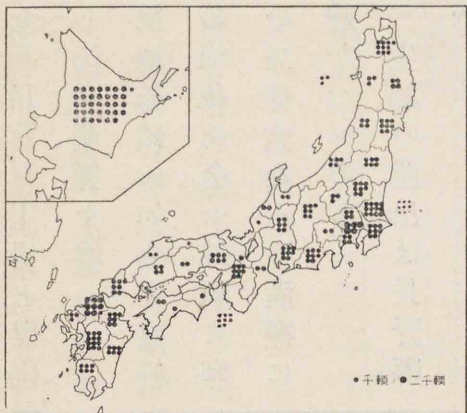


● 發電力の増加表

れ等の勃興を助けて來たが、今後は水力電氣の利用が偉大なる結果を齎す事を豫想されつゝある。勞力の供給の豊富なのは亦一つの強味である。

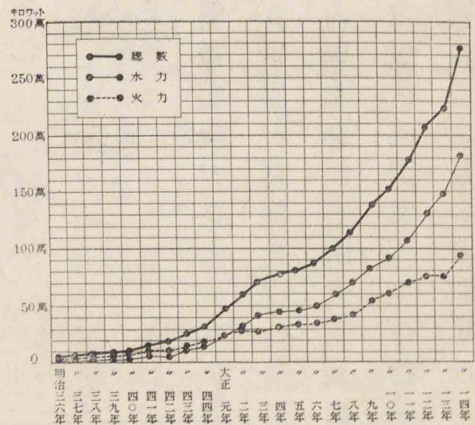
第二節 交通

● 主要街道圖 (三一頁)

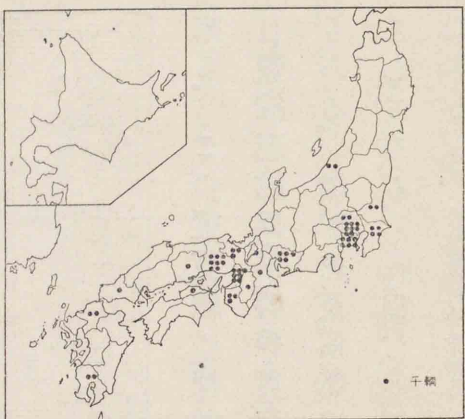


● 馬車の分布

道路 參勤交代の時代には道路はよく利用されてゐたが、明治以後鐵道開通してからは著しく寂れ、東海道中山道北陸道の如き幹線でも宿場などの荒廢したものが到る所にある。然し近來は自動車の發達に伴つて道路は再

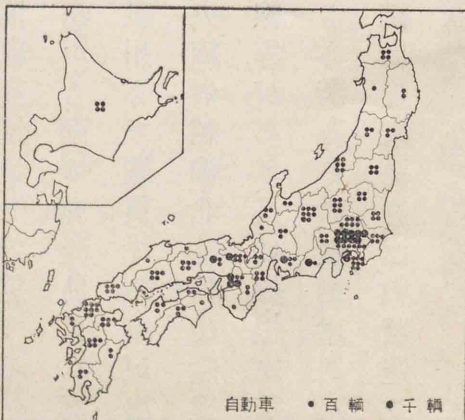


● 牛車の分布  
● 自動車の分布



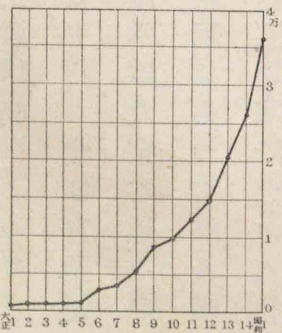
び活用されることになつた。乗合自動車交通網の急速の發達は著しいことである。

鐵道 明治五年東京横濱間



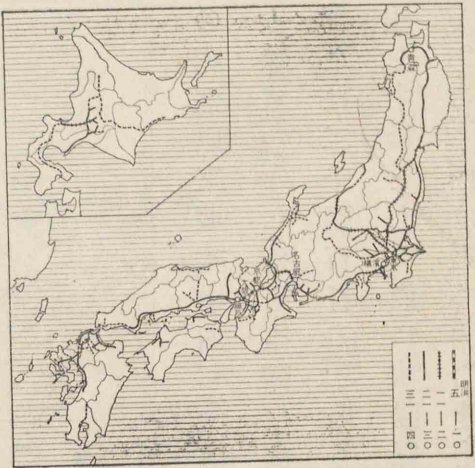
● 自動車數の増加表

の開通以來順次増加し、今は内地總延長一萬七千料(一萬四)に達し、臺灣には千三百料(八百)、朝鮮には二千四百料(千五)ある。幹線は東海道線を中軸として、西に山陽線、東北には東北線がある。西は更に關門連絡船により、鹿兒島





● 鐵道發達の變遷

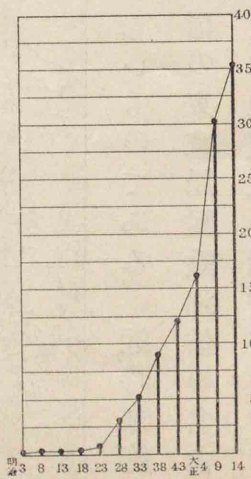


▲ 横斷線を擧げよ  
輕鐵及貨物線等は  
筑豊炭田・臺灣  
の糖業地に多い

來る。この縦貫線の補助線としては中央線・信越線・北陸線・山陰線・日豊線・羽越線・常磐線・奥羽線・湖南線・京元線等があり、長崎線・根室線もある。横斷線及横斷線を兼ねたものも亦漸くその數を増さんとしてゐる。大都市の近郊の電車交通網は近來又急速の發達をしてゐる。京濱・阪神・名古屋地方の如き殊にさうである。

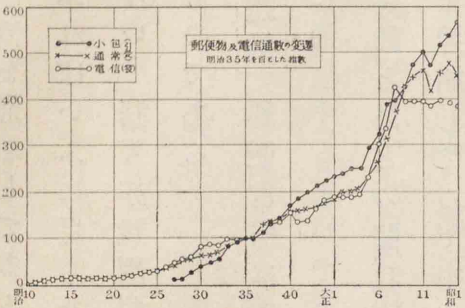
本線と連絡し、關釜連絡船によつて京釜京義兩線と連絡する。北は青函連絡船によつて函館本線及宗谷線、その北は稚内・大泊連絡船によつて樺太鐵道に達する。南は門司・基隆間の汽船によつて臺灣縦貫鐵道と連絡する。かく北は榮濱から南は鹿兒島又は高雄、西北は新義州まで縦貫する事が出来る。

● 船舶噸數の増加表



**航路** 我國は海國であるから沿岸に帆船・汽船の航路を見ないところはなない。日本群島相互の連絡は何れも航路による外なく、沿岸に鐵道の發達の乏しい地方は勿論航路が今尙大切な交通機關であるが、鐵道の沿岸に敷設され

● 郵便物及電信通數の増加表



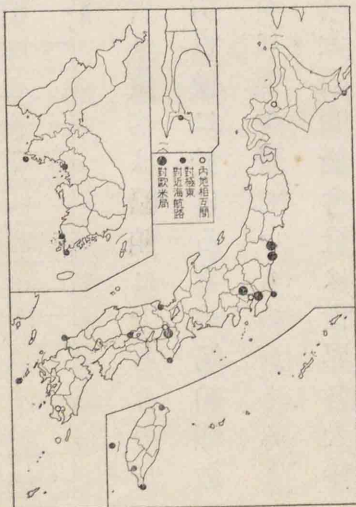
てある地方でも貨物は船舶によるものが多い。今明治以後に於ける我が船舶噸數の増加を見るに進歩著しいものがある。日本郵船會社・大阪商船會社は世界各大陸に航路を開いて列國の船舶と伍して活動してゐる。航路網の最も密なのは瀬戸内海で、内外船の外國航路は横濱・神戸・門司の



三港を通過してゐる。河は急流が多いので河運は英米獨佛に比ぶればいふに足りない。運河に至つては殆んど見るべきものはない。湖も亦琵琶湖及霞浦などに行はれてゐる航路がその主なものである。

●無線電信の通信網

**通信** 郵便電信は内地は勿論萬國に通信する事ができる。水底電線は島と島との間、我國と外國との間を連絡してゐて、中にも米國の太平洋横斷線に接續する内地小笠原線、支那と連絡する長崎上海線は最も著しいものである。近時無線電信通信網も次第に密となり、對米通信の東京局對歐通信の名古屋局等を始め航海中の汽船との通信及内地相互の通信のため諸局ができ、各通信勢力圏をもつて空隙なきを期してゐる。



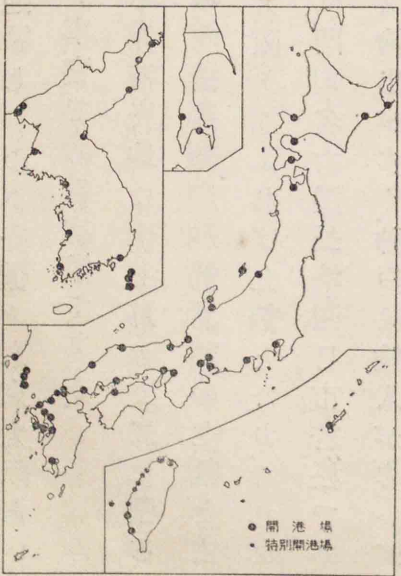
1 大阪・名古屋・廣島・熊本・札幌・仙臺

**電話** 市街地は勿論地方都邑相互の通信にも便利となつた。無線電話も最近發達し、東京其他の主要都邑に放送局が設置された

第三節 商業

**内國商業**

大阪は古來商業の一大中心であつたが、近時は東京も盛となつて全國を二大中心で商圏をもつてゐる。東京の商圏は東北の日本で、大阪の商圏は西南の日本であるが、東京と大阪との特殊品は各全國的に商圏を擴げてゐる。然るに最近名古屋の勃興はこの二大商圏に變化を與へつゝある。横濱は東京の外港で、神戸は大阪の外



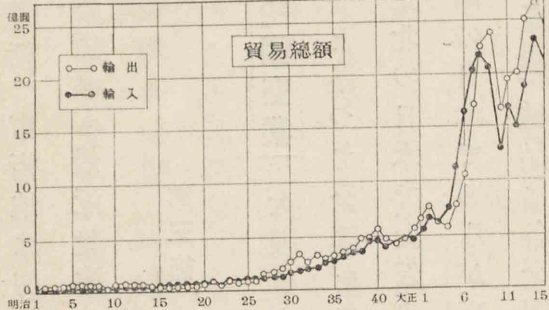
●開港場の分布



港ともいふべく、工業地帯も各連続してゐる有様で、東京・大阪といふよりも京濱と阪神といふ方が事實である有様である。

外國貿易

貿易港は内地に三十九植民地に十七、外に支那に限る特別開港場六、合計六十二港ある。内横濱・神戸が貿易額の七割を占



め、これに大阪を加ふれば九割となり、これに次ぐものは門司・名古屋・長崎・四日市・若松である。横濱は輸出が多く、神戸は輸入が多いが、輸出入総額は略同じであつて、前者は東北の日本を後背地とし、後者は西南の日本を後背地として相對立してゐる。然し後者は大阪と同一港とも認むべきものであるから、阪神二港の取引を合すれば、横濱一港に優ることになる。近年の貿易総額は四十五億圓で常

●貿易額の増加表

に輸入超過である。輸出品は生絲を第一とし綿織物・絹織物・綿絲・マッチ・陶磁器・精糖・機械類・紙類・石炭・メリヤス等之に次ぎ、原料用製品及精製品多く、輸出先は北米合衆國・支那・印度・關東州・蘭領印度・香港・イギリス・フランス等である。輸入品は棉花を第一とし肥料・羊毛・米・機械類・砂糖・小麥・小豆類等之に次ぎ、原料品最も多く、精製品原料用製品もあり、輸入取引國は北米合衆國・印度・支那・イギリス・支那・關東州・ドイツ・濠洲等である。

第四章 住民

民族

中央部の本土には優勢なる大和民族が占居し、北には東北の日本の原住民族であるアイヌ族が残留し、オロコ・ギリヤークは樺太の北部に居て、大陸から來た民族との接觸を示してゐる。南方の臺灣には夙に渡來した先住民族のマライ種が山中に残留し、

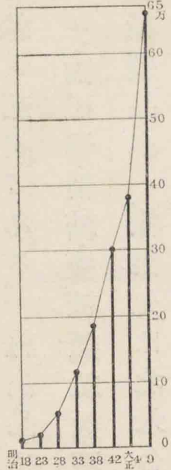


●内地人口の増加表

後に渡來した數多の漢族は平野に居て、支那民族との接觸を示してゐる。西北の朝鮮半島には朝鮮民族がある。これ等は大和民族と接觸してすべて同化されつゝある。大和民族は忠君愛國の念強くアジヤに於ける最優等の人種で東洋及西洋の文化の各長所を採り新文化を建設し各種の點に於て歐米の人種に劣らない。

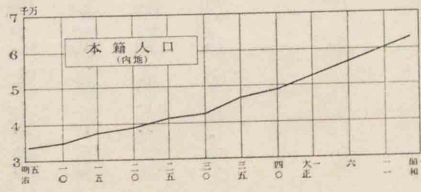
●人口の分布圖 (三四頁)

**人口** 人口の總數は八千三百萬人、その内、内地に約六千萬、年々の増加は著しく六十萬乃至八十萬で、一平方料の人口密度は約百六十人で、國としては世界の第四位を占めてゐる。最も密な地方は關東平野、東海地方、近畿中央諸盆地、瀬戸内、北九州等で、疎な地方は樺太、北海道、北朝鮮及その他の山地の如きであ

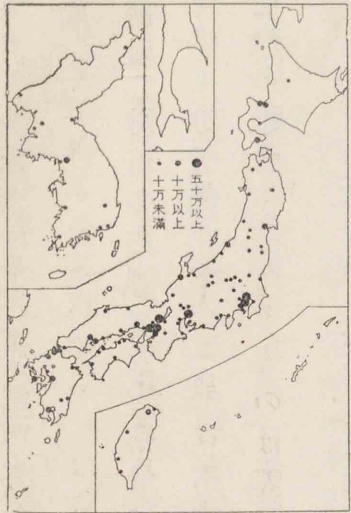


る。植民地の總人口は二千二百四十六萬、その内、内地人は八十萬で未だ少なく約四分に當る。内地人で海外に在留してゐるものは六十餘萬人、滿洲、ハワイ、北米合衆國、カナダ、ブラジル等に多い。人口密度の大きい地方には都市多く、都市の人口も亦大きい。北九州の如きは最も多く市の密集してゐる地域の一つである。

●在外邦人の増加表



●市の分布



**教育**

小學校は全國到る處にあつて六年の義務教育制を勵行してゐるので、不就學兒童は僅かに百分の二に過ぎないといふ好成績を示してゐる。中等學校亦極めて多く、二千校に近からんとし、専門學校も近年増設され、地方の主要都市には専門學校の一校位無い所はない程に全國に均霑してゐる。二科以上の大



學をもつ都市は東京・京都の外大阪・福岡・仙臺・札幌・臺北・京城等である。

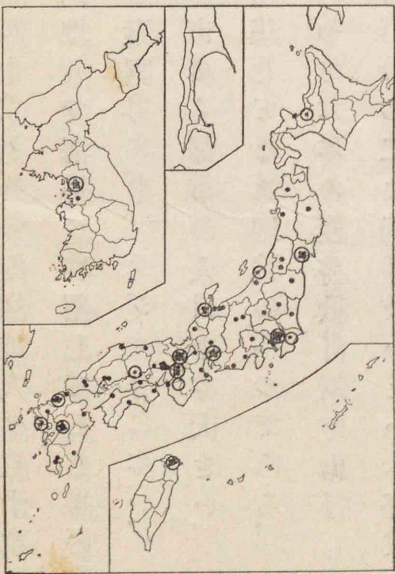
**神社** 神社の内、神宮及官幣社は近畿地方に最も多く、寺の主なるものも亦近畿に多い。寺は山中の靈地などにも大寺があるが、基督教の教會の主なるものは大都市に多い。

### 第五節 政治

**國體** 我が國は古來萬世一系の天皇を戴く君主國で、明治になつては憲法發布され立憲帝國となり、國體の美は世界に比がない。

#### 政體

天皇は國の元首として



●全國專門學校以上諸學校の分布  
○は大學、監は專門學校

統治の大權を統べさせ給ひその下に立法行政司法の三機關がある。

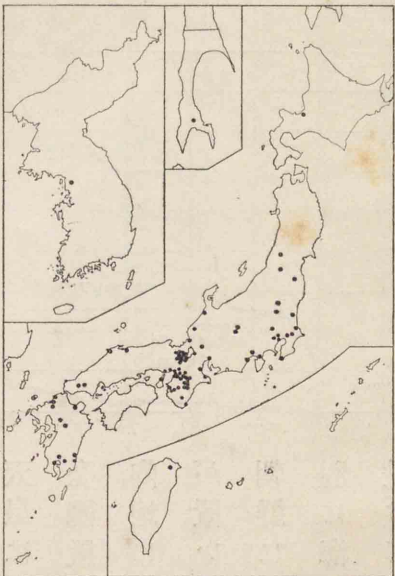
立法部は帝國議會で貴族院（上院）衆議院（下院）から成り法律案と豫算案を議する。

行政部は中央政府に内閣が

あり、外に外務・内務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農林・商工・逓信・鐵道の十一省がある。各省の大臣は各省の長官であつて又内閣總理大臣と共に内閣を組織し天皇を輔弼して政務の責に任ずる。地方行政は三府四十三縣北海道・樺太・臺灣・朝鮮に分ち知事・長官又は總督をして治めしめてゐる。

司法部の最上級の大審院は東京に、その下の控訴院は主要都市

●神社の分布  
○神宮及官幣社



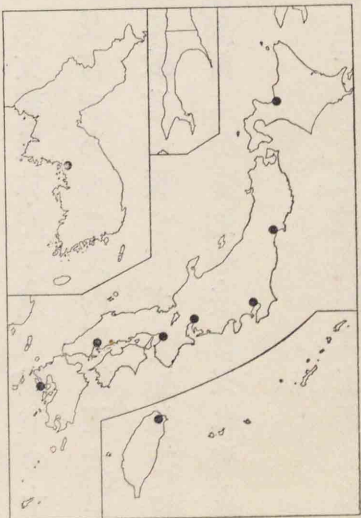


●控訴院及高等法院の分布

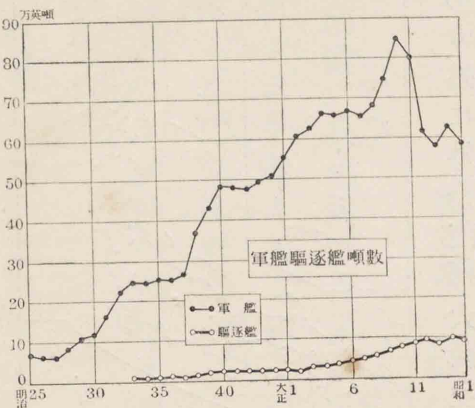
に更にその下の地方裁判所・區裁判所はそれ／＼各地に配置して司法網を張つてゐる。樺太以外の植民地には獨立した異なる制度がある。

**兵制**

天皇は大元帥で陸海軍を統べさせられ、全國徵兵の制が布かれてある。陸軍は内地に十四師團を置き主要地に司令部が置いてある。外に東京には近衛師團、朝鮮に二個師團、臺灣には守備隊がある。別に海峽等の國防上の要地には要塞を設けてある。海軍は横須賀・吳・佐世保の



●軍艦・驅逐艦の噸數増加表



三軍港と大湊・舞鶴・鎮海・馬公の四要港を置いてゐる。軍艦・驅逐艦は著しい増加を來たしたが、華府會議の結果或る程度の制限が行はれてゐる。

**外交**

世界の主要國はすべて我國の條約國となつてゐる。その數三十國、大使若くは公使を派遣してある。要地には又領事が置いてあつて、通商及居留民の保護に當つてゐる。

等中日本地理終



昭和三年九月廿四日印刷  
昭和四年二月廿七日發行  
昭和四年二月十六日訂正再版發行

等中日本地理

定價金七十四錢

昭和四年臨時定價金壹圓貳拾參錢



著者 田中啓爾

發行者 東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地 目黑甚

印刷者 東京市京橋區弓町二十五番地 高橋郁

印刷所 東京市京橋區弓町二十五番地 三協印刷株式會社

發行所

東京市京橋區南傳馬町二丁目  
新潟縣長岡市表町四丁目(本店)  
新潟市古町通七番町(支店)

目黑書店

(東京) 電話京橋三四一七番 振替口座二八〇九番  
(關長) 電話長岡一八番 振替口座三六一九番  
(新潟) 電話新潟九〇三番 振替長野四〇九〇番

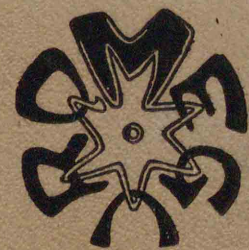




地理的熟語表

|           | 頁   |          | 頁     |             | 頁   |
|-----------|-----|----------|-------|-------------|-----|
| (ア) アプト式  | 28  | 湖岸平野     | 72    | (ト) 東海道式の荒川 | 41  |
| 鞍部        | 40  | (サ) 珊瑚礁  | 123   | 特別開港場       | 187 |
| (イ) 委任統治  | 2   | 殘丘       | 141   | (ナ) 内地      | 2   |
| (ウ) 裏日本式  | 48  | (シ) 植民地  | 2     | 灘           | 100 |
| (エ) 縁海    | 1   | 砂嘴       | 12    | 中繼港         | 110 |
| 圓錐形の火山    | 37  | 砂丘       | 42    | (ニ) 二重式火山   | 132 |
| 沿岸潮流      | 42  | 深雪地帯     | 63    | (ハ) 濱漁業     | 26  |
| 遠洋漁業      | 52  | 縦谷       | 74    | 梅雨          | 48  |
| (オ) 表日本式  | 48  | 神都       | 76    | 原           | 123 |
| 沖漁業       | 22  | (ス) 水郷   | 20    | 氾濫原         | 168 |
| (カ) 潟     | 12  | 裾野       | 63    | (フ) 分離丘陵    | 58  |
| 開析        | 36  | (セ) 製織都市 | 16    | 佛都          | 58  |
| 海崖        | 38  | 扇狀地      | 18    | 柳帯          | 145 |
| 乾季        | 48  | 商圏       | 30    | (ホ) 本土      | 2   |
| 海蝕臺地      | 10  | 漸移地帯     | 35    | (マ) 前山      | 182 |
| 海岸段丘      | 91  | 瀬戸内式氣候   | 75    | (ミ) 三ヶ月沼    | 158 |
| 干拓        | 105 | 淺堆       | 107   | (ヤ) 舍飼      | 105 |
| (キ) 峽谷    | 5   | 制海權      | 115   | (ユ) 輸移出入    | 31  |
| 休養地帯      | 14  | 接壤地      | 207   | 油田          | 61  |
| 舊城下町      | 20  | (タ) 斷層線  | 40    | (ヨ) 養蠶地帯    | 15  |
| 季節風       | 48  | 斷層崖      | 44    | 熔岩臺地        | 99  |
| (ク) 灌溉用水路 | 18  | 颱風       | 48    | (リ) リアス式の海岸 | 48  |
| 黒潮        | 25  | 對向聚落     | 52—53 | 隆起地塊        | 37  |
| 環境        | 116 | 卓越風      | 69    | 陸棚          | 182 |
| 外輪山       | 132 | 溜池       | 87    | (レ) 礫層      | 18  |
| (ケ) 景觀    | 20  | 多島海      | 99    | (ワ) 輪中      | 44  |
| (コ) 後背地   | 12  | 蛇行       | 158   | (ヲ) 横谷      | 44  |
| 高山性地貌     | 37  | (チ) 地壘   | 72    | 溫泉都         | 133 |
| 湖脚        | 60  | 低地       | 6     |             |     |
| 鑛山町       | 66  | (テ) 出作   | 65    |             |     |





庫  
9  
92

広島大学図書  
0130449492  
